

科目名	基礎ゼミナール（スタディスキル）						
授業形態	履修形態		単位数		年次	開講期	
講義	必修		2		1年	前期	
担当者名	佐藤 美幸、福岡 泰子、立川 美香、清水 佑子、磯村 由美、江口 恵里、吉富 和子			関連する資格			
授業概要							
大学生として必要な基本的態度や学習技術、学習習慣を身につけ、大学生活への動機付けとする。また、自ら考え・学ぶ姿勢、相手の意見を聴く姿勢を身につけ、コミュニケーション能力を獲得する。大学生活を送る上でのマナーや自己管理について考え、生活を整える。							
到達目標 （B1101） 1．大学で学ぶ姿勢を身につける 2．大学の仕組み、大学での学びについて理解できる 3．スタディスキルを身につける（聴く、読む、書く、話す） 4．大学生としての生活やマナーを身につける 5．自ら目標設定し、評価できる				成績評価方法 授業内レポート 授業外レポート（提出物） 最終レポート			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			30
授業態度・授業参加度			○				
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○					
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション、大学で学ぶということ（佐藤） 【予習】 シラバスを確認する（10分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		振り返りシート
2) 大学で学ぶということ2（大学生生活、時間管理）（佐藤） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		振り返りシート
3) 香川学園・大学について・建学の精神／健康管理（学長・保健室） 【予習】 資料を読んでくる、大学のHPを見てくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		振り返りシート
4) 入学前課題 図書館の活用（見学）（佐藤） 【予習】 資料を読んでくる、大学の図書館のHPを見てくる（20分） 【復習】 入学前課題について、再度確認をする。課題を行う（70分）		図書館の利用（課題） 振り返りシート
5) 自分の強みを探そう1 PROGテスト（キャリア支援センター） 【予習】 資料を読んでくる（30分） 【復習】 資料を再度よみ、振り返る（30分）		振り返りシート
6) 聴く力：ノートテイキング・メモをとること（佐藤） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る。実践する（60分）		振り返りシート グループワーク
7) 読む力：文章の読み方（佐藤） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返り、課題を行う（60分）	【	振り返りシート グループワーク
8) 書く力：文章の書き方（佐藤） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る。（60分）		振り返りシート 課題
9) レポートの書き方（佐藤） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る。レポート作成（75分）		振り返りシート 課題（レポート作成）
10) 大学生としてのマナー（キャリア支援センター） 【予習】 資料を読んでくる（30分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（30分）		振り返りシート
11) 看護を学ぶということ（福岡） 【予習】 資料、看護学概論の教科書を読んでくる（30分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（75分）		振り返りシート レポート課題
12) 大学生としての生活（マネーマネジメント）（学外講師） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		振り返りシート グループワーク
13) 話す力：コミュニケーションスキル（佐藤） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		振り返りシート
14) 自分の強みを探そう2（PROG解説）（キャリア支援センター） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		振り返りシート PROG振り返り
15) 前期のまとめ・振り返り・夏休みの過ごし方（佐藤） 【予習】 資料を読んでくる（15分） 【復習】 資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		振り返りシート
授業外学習		
講義資料は該当ページに目を通してから授業に臨んでください。資料の該当ページはガイドブックを参照してください。授業で提示された提出物は翌週の提出です。なるべくその日のうちに復習を兼ねて取り組んで下さい。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
資料配付（基礎ゼミナール講義資料、ガイドブック、ワークブック） レビューブック（メディックメディア）		看護学全ての科目に関連する

課題に対するフィードバック
提出物は、授業内でコメントもしくはシートにコメントを入れて返却する レポートは、コメントして返却する
備考
遅刻、理由のない欠席をしないこと 授業途中での退席をしないこと 携帯電話の使用・飲食・私語を禁ずる 各回に振り返りシートを用いて振り返りを行う 課題は指定された日に必ず提出する

科目名		基礎ゼミナール（キャリアデザイン）							
授業形態		履修形態		単位数		年次		開講期	
講義		必修		2		1年		後期	
担当者名		佐藤 美幸、福岡 泰子、立川 美香、清水 佑子、磯村 由美、江口 恵里、吉富 和子			関連する資格				
授業概要									
グループワークを通じて、円滑なグループワークの運営を行うためのスキルを身につけ、発表を通じて他者に伝える力を養う。また将来の看護職としての自己像を描き、自己像に近づくための方法を考え、看護職者・社会人としての基本的な姿勢や態度を身につける。									
到達目標 （B1102） 1．グループワークが効果的に進められる 2．効果的なプレゼンテーションが行える 3．自分のキャリアがデザインできる 4．自分の4年後の姿を踏まえた目標設定ができる 5．患者の体験談を通じて、患者の気持ちやおかれている立場を理解する					成績評価方法 レポート、グループワーク、プレゼンテーションを総合的に評価する 試験は最終レポートとする。				
評価項目		評価基準							
		知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）	
定期試験(中間・期末)		○	○					50	
小テスト、授業内レポート		○	○	○				20	
宿題、授業外レポート		○	○	○				20	
授業態度・授業参加度				○					
プレゼンテーション			○	○					
グループワーク				○		○		10	
演習									
実習									

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 後期オリエンテーション、後期目標の設定、前期、夏休みの振り返り（佐藤） 【予習】 前期、夏休みの振り返りをしておく（60分） 【復習】 資料を読み、振り返る（30分）		振り返りシート
2) 文献の探し方／グループワークとは（図書館司書、佐藤） 【予習】 資料を読んでおく（30分） 【復習】 資料をもとに振り返りをしておく。課題を行う（60分）		振り返りシート 文献を探す（課題）
3) プレゼンテーションスキル（伝える力）（福岡） 【予習】 資料を読んでおく（30分） 【復習】 資料を基に振り返りを行う（60分）		振り返りシート
4) 認知症サポーター養成講座（宇部市からの派遣講師） 【予習】 認知症について調べる（60分） 【復習】 認知症についての学びをさらに深める（30分）		事前課題
5) 看護職になるために(1) 看護の先輩の講話（外部講師） 【予習】 資料を読んでおく。事前課題を行う（30分） 【復習】 課題に沿ってレポートを作成する（60分）		事前課題 レポート
6) 看護職になるために(2) 卒業生の体験談（外部講師） 【予習】 資料を読んでおく。事前課題を行う（30分） 【復習】 課題に沿ってレポートを作成する（60分）		事前課題 レポート
7) 看護職になるために(3) 管理者および助産師、保健師（外部講師／学内教員） 【予習】 資料を読んでおく。事前課題を行う（30分） 【復習】 課題に沿ってレポートを作成する（60分）		事前課題 レポート
8) 看護職になるために(4) グループワーク（全担当者） 【予習】 資料を読んでおく。質問を考える（30分） 【復習】 課題に沿ってレポート作成（60分）		振り返りシート
9) 健康について（立川） 【予習】 資料に目を通して、自分自身の健康について振り返りを行う（30分） 【復習】 自分自身の健康について改めて振り返る。（60分）		振り返りシート
10) B型肝炎患者講義（外部講師） 【予習】 B型肝炎について調べる。肝臓の構造と機能を復習する。（60分） 【復習】 振り返りを行い、レポートにまとめる（30分）		レポート 事前課題
11) グループワーク（テーマをもとにGWをおこなう）（全担当者） 【予習】 テーマについて資料を集め調べておく（60分） 【復習】 GWについての振り返りをする（30分）		事前課題 グループワーク グループワーク評価
12) グループワーク（発表）（全担当者） 【予習】 発表準備をする（60分） 【復習】 振り返りを行う（30分）		グループワーク グループワーク評価
13) キャリアデザイン1（マナー・情報管理）（キャリア支援センター） 【予習】 前期で学んだマナーを確認しておく（30分） 【復習】 資料をもとに復習をする（30分）模擬試験に向けて学習する		振り返りシート
14) キャリアデザイン2（低学年模擬試験）（立川） 【予習】 人体の構造と機能の学習をしておく（30分） 【復習】 分からなかったことを再度学習する（60分）		模擬試験 自己採点
15) 基礎ゼミナールのまとめ 今後の目標設定（佐藤） 【予習】 各自1年間を振り返っておく（20分） 【復習】 課題に沿ってレポート作成（70分）		最終レポート
授業外学習		
授業の前に配付資料に目をとおしておいてください。 提出物は原則として翌週の提出です。必ずその週に取り組んで下さい。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
資料を配付する	看護学全ての科目に関連する	

課題に対するフィードバック
提出物は全体でコメントもしくはコメントを入れて返却する レポートはコメントをつけて返却する
備考
遅刻、理由のない欠席をしないこと 授業途中での退席をしないこと 携帯電話の使用・飲食・私語を禁ずる 各回に振り返りシートを用いて振り返りを行う 課題は指定された日に必ず提出する

科目名	情報処理の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	堤 健人	関連する資格		

授業概要

原則、講義は対面で実施する。コンピュータを用いた情報処理に焦点をあて、高度情報通信社会におけるコンピュータの利用、活用についての考え方を身につけるとともに、文書作成や表計算処理などの基本的な活用方法を修得する。また、情報の管理やインターネット等を利用する際のモラルや危険性などを認識する。

到達目標

B1201y

1. 情報や情報処理についての基本概念・知識を修得する。
2. コンピュータの全体像を理解し、構成するハードウェアとソフトウェアの機能について説明することができる。
3. 高度情報通信社会について認識し、モラルやマナーに則った言動ができる。
4. 情報セキュリティの重要性を知り、適切な対策ができる。

成績評価方法

小テスト、授業内レポート、授業外レポート

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○		○	○		40
宿題、授業外レポート	○	○		○	○		40
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	ガイダンス（授業概要や授業計画、授業形態、評価についての確認）	
2)	情報セキュリティ 【予習】適切なパスワードについて調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
3)	情報とは 【予習】情報の定義を調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
4)	コンピュータと情報社会 【予習】社会の情報化について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
5)	アナログ情報とデジタル情報 【予習】アナログ情報とデジタル情報の違いについて調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
6)	二進数の世界 【予習】二進数について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
7)	コンピュータ内部での情報の表し方 【予習】十六進数について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
8)	コンピュータ内部での情報の表し方 【予習】コンピュータの扱う負の数について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
9)	コンピュータ内部での情報の表し方 【予習】浮動小数点形式について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
10)	コンピュータのハードウェアI 【予習】コンピュータの五大機能について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート、小テスト
11)	コンピュータのハードウェア 【予習】保有するスマホやパソコンのCPUを調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
12)	コンピュータのハードウェア 【予習】SI接頭語について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
13)	コンピュータのハードウェア 【予習】インターネットに接続するための機器を調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
14)	プログラミング言語と言語処理システム 【予習】プログラミング言語について調べる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート、小テスト
15)	コンピュータのソフトウェア 【予習】頻繁に利用するアプリケーションと用途を挙げる(30分) 【復習】本時の学習内容をまとめる(30分)	授業内レポート
授業外学習		
各自の適した方法で復習し、学習内容が定着するようにしましょう。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
必要に応じて、資料等を配付する。テキストは指定しないが、参考図書を以下に示す。 参考図書：『基本を学ぶ コンピュータ概論（改訂2版）』安井浩之・木村誠聡・辻裕之（著）、オーム社、2019．		情報処理演習

課題に対するフィードバック
授業内レポートは、基本的に次の講義の冒頭でフィードバックを行う。
備考
原則、講義は対面で実施するが新型コロナウイルスの感染状況等によってはオンデマンド形式に変更する場合もある。

科目名	情報処理演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	白石 義孝	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

大学での情報リテラシー教育に必要な、文書作成ソフト（Word）、表計算ソフト（Excel）およびプレゼンテーションソフト（PowerPoint）の使用方法を例題の実習を通して基礎から学ぶ。

- レポート・資料作成に必要な知識・操作を解説する。
- 実習問題を通じて情報活用の基礎を習得させる。
- コンピュータやネットワークの基礎、著作権の基礎、レポート作成のコツ、プレゼンテーションの基本技能などについても説明する。

到達目標

（B1202）

- ある対象を他者に分かりやすく工夫して説明することができること。
- 課題作成を通して、プレゼンテーションソフトの基本操作を習得できること。
- 基本的な関数を中心とした表計算ソフトの基本操作を習得することができること。
- レポート課題を通して、作図機能を用いて図を作成し、表計算ソフトでデータを分析・表現し、それらの図や表・グラフを活用して文書作成ソフトでレポートを書くことができること。

成績評価方法

毎回の授業時の課題作業や演習課題の作業点と最終課題により総合的に判断する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（%）
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート	○	○		○			40
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション		○	○	○			15
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○		25
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	・授業オリエンテーション（授業計画・授業評価）、コンピュータの基礎、インターネットの基礎、インターネット社会と著作権、SNSの安全な利用 【予習】テキストを読む(15分)【復習】テキストの課題を完成させる(30分)	・SNSの安全な利用について調べる
2)	・Windowsの基礎知識、Office2021とMicrosoft365、IMEと日本語入力、Word : Wordの基礎知識、文書の作成（その1） 【予習】テキストを読む(15分)【復習】テキストの課題を完成させる(30分)	・WindowsとWordの基本操作を確認する
3)	・Word : 文書の作成（その2）、ページ設定と文書の印刷 【予習】テキストを読む(15分)【復習】テキストの課題を完成させる(30分)	・Wordを使って文書を作成する
4)	・Word : 表の作成、文書の編集、表現力をアップする（その1） 【予習】テキストを読む(15分)【復習】テキストの課題を完成させる(30分)	・Wordの機能を使って、わかりやすい文書を作成する
5)	・Word : 表現力をアップする（その2）、長文作成をサポートする、ExcelデータをWord文書に利用する、ビジネス文書の基礎知識 【予習】テキストを読む(15分)【復習】テキストの課題を完成させる(30分)	・ルールに則ったビジネス文書を作成する
6)	・Excel : Excelの基礎知識、データの入力・編集、表の作成（その1） 【予習】テキストを読む(15分)【復習】テキストの課題を完成させる(30分)	・Excelのデータ入力方法を確認する
7)	・Excel : 表の作成（その2）、表の印刷、いろいろな数式、グラフと図形（その1） 【予習】テキストを読む(15分)【復習】テキストの課題を完成させる(30分)	・Excelの表にいろいろな数式を入力して計算結果を確認する
8)	・Excel : グラフと図形（その2） 【予習】テキストを読む(15分)【復習】テキストの課題を完成させる(30分)	・Excelを使って、様々なグラフや図形を作成する
9)	・Excel : データベースの利用、ピボットテーブル、操作の自動化、レポート作成のコツ 【予習】テキストを読む(15分)【復習】テキストの課題を完成させる(30分)	・Excelのデータベース機能を使ってデータを集計してみる
10)	・PowerPoint : PowerPointの基礎知識、プレゼンテーションの作成（その1） 【予習】テキストを読む(15分)【復習】テキストの課題を完成させる(30分)	・PowerPointの基本操作を確認する
11)	・PowerPoint : プレゼンテーションの作成（その2）、図やオブジェクトの挿入と編集、図表・グラフ・表の挿入と編集 【予習】テキストを読む(15分)【復習】テキストの課題を完成させる(30分)	・図表やグラフを取り込んだプレゼンテーションを作成する
12)	・PowerPoint : プレゼンテーションの作成（その3）、特殊効果の設定、印刷関係の機能、スライドショーをサポートする機能 【予習】テキストを読む(15分)【復習】テキストの課題を完成させる(30分)	・スライドショー機能を使ってみる
13)	・PowerPoint : プレゼンテーションの基本技能、作成したプレゼンテーションの発表 【予習】テキストを読む(15分)【復習】テキストの課題を完成させる(30分)	・PowerPointを使用した発表の練習を行う
14)	・総合演習 : 最終課題作成に向けた準備作業を行う 【予習】テキストを読む(15分)【復習】最終課題を作成する(60分)	・ExcelとWordを使用したレポートを作成する
15)	・総合演習 : 最終課題を作成する 【予習】テキストを読む(15分)【復習】最終課題を完成させる(120分)	・ExcelとWordを使用したレポートを完成させる
授業外学習		
授業時に提示した課題を授業外学習で完成させて提出してください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト ・30時間アカデミック Office2021（杉本くみ子、大澤栄子著、実教出版）		情報処理の基礎、教育方法・技術論

課題に対するフィードバック
授業中の質問は随時受け付け、可能な限りその場で回答する。授業外学習での質問はメールやGoogleClassroomにて受け付け、次の授業中までに回答する。
備考

科目名	エッセンシャルイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格	養護教諭	

授業概要

対面で授業を行う。日常生活や異文化理解、職場や地域社会を話題としたリーディング及びライティングをパラグラフ単位で理解する能力を修得する。さらに、視聴覚資料の活用及び語彙、語法理解を深めることにより、スピーキング及びリスニング能力の向上を図り、現在の世界に不可欠とされる英語によるコミュニケーション能力を育成する。また、この講義は学生の英語レベルにより初級、上級のクラス編成を行い、初級クラスはTOEICの450点を、上級クラスは550点を目標に授業を展開する。

到達目標

(B1203y)
 1 異文化を理解し、英語でコミュニケーションを図ることが出来る。
 2 TOEICテスト(公開テストまたはIP)で550点以上のスコアをとる力を身に付ける。

成績評価方法

定期試験(中間・期末)、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション			○	○			10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	TOEICの特徴についての説明、異文化理解と英語を学ぶことの意味 TOEICパート1の小テストを行う。 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share 前期期間中に英語で口頭発表をしてもらう。
2)	写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3)	写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4)	写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5)	写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6)	写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7)	写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8)	写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9)	写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10)	写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11)	写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12)	写真を用いた問題の解き方および穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13)	英語運用能力向上のための方法論 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14)	まとめディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15)	総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習		
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
『An Amazing Avenue for the TOEIC L&R Test 400』 はぎ 寛美他編著 成美堂		アドバンストイングリッシュ

課題に対するフィードバック
提出された各課題はそれぞれ点数化し、総評を授業内で公表する。その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。
備考
未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	エッセンシャルイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	谷國 晶洋	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で実施する。
総合的な英語運用能力の育成に焦点を当てた授業を展開する。その方法として、TOEIC L&Rの色々なタスクを通し、1)英文読解、2)英文法、3)リスニング、4)スピーキング、5)ライティングの指導を行う。
この講義は学生の英語レベルにより初級、上級のクラス編成を行い、初級クラスはTOEIC (Listening & Reading)テストで450点、上級クラスは550点を目標に授業を展開する。

到達目標

B1203y
・ TOEIC (Listening & Reading)テスト(公開又はIP)で450点以上のスコアをとる力を身に付けることができる。
・ 読解力を向上させることができる。
・ コミュニケーション能力を向上させることができる。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）-----80%
授業態度・授業参加度 -----20%
で、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○	○	○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) イントロダクション：授業の進め方等についての諸注意。		
2) Unit 1 Restaurants [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Review Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)		Review Quiz
3) Unit 2 Daily Life [予習] Word Bank をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)		Review Quiz
4) Unit 3 Campus life [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)		Review Quiz
5) Unit 4 Shopping [予習] Word Bank をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)		Review Quiz
6) Unit 5 Entertainment [予習] Word Bank をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)		Review Quiz
7) Unit 6 Office Work (1) [予習] Word Bank をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)		Review Quiz
8) Unit 7 Office Work (2) [予習] Word Bank をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)		Review Quiz
9) Unit 8 Bank & Post Office [予習] Word Bank をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)		Review Quiz
10) Unit 9 Job Hunting [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)		Review Quiz
11) Unit 10 Housing [予習] Word Bank をやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)		Review Quiz
12) Unit 11 Transportation [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)		Review Quiz
13) Unit 12 Hotels [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)		Review Quiz
14) Unit 13 Events [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)		Review Quiz
15) Unit 14 Health [予習] Word Bankをやっておく。(60分) [復習] Mini Testをやり、一章分を復習しておく。(30分)		Review Quiz
授業外学習		
各授業の前までに、「授業計画と概要」に示す予習および復習をしておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：An Amazing Avenue for the TOEIC L&R Test 400. [2024] Hiromi Hagi（他）成美堂		アドバンストイングリッシュ ライセンスイングリッシュ

課題に対するフィードバック
Review Quizは翌週の授業の冒頭に答え合わせをする。
備考
TOEIC (Listening & Reading)テスト(公開又はIP)を受験し、規定のスコアに達すれば単位を認定する。

科目名	アドバンストイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格	養護教諭	

授業概要

対面で授業を行う。少子高齢化社会、環境問題、介護問題等グローバルな問題に関する英文を読み、自分の考えや意見をレポートにまとめる方を修得する。さらに、この講義においては、作成したレポートをもとにしてプレゼンテーションを行い、より高度で、実践的なコミュニケーション能力を育成する。この講義は学生の英語レベルにより初級、上級のクラス編成を行い、初級クラスはTOEICの500点を、上級クラスは600点を目標に授業を展開する。

到達目標

- (B1204y)
- TOEICテスト(公開テストまたはIP)で600点以上のスコアをとることができる。
 - 異文化を理解し、英語でコミュニケーションを図ることができる。

成績評価方法

定期試験(中間・期末)、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション			○	○			10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	TOEICの特徴についての説明、異文化理解と英語を学ぶことの意味 マークシートでTOEICパート2の小テストを行う。 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share 後期間中にレポートを提出してもらう。
2)	応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3)	応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4)	応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5)	応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6)	応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7)	応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8)	応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9)	応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10)	応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11)	応答文選択問題の解き方および一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12)	総合演習 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13)	英語運用能力向上のための方法論 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14)	まとめディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15)	総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習		
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
『Best Practice for the TOEIC L&R Test－ Pre-Intermediate－』 吉塚弘他編著 成美堂 別途、各自でTOEICの問題集を購入してもらいたい。		

課題に対するフィードバック
課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。
備考
未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	アドバンストイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	谷國 晶洋	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業は対面で実施する。
コミュニケーションに最低限必要な基礎文法をベースに、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の4技能全てのアクティビティを行いながら、{使える}英語の習得を目指す。
この講義は学生の英語レベルにより初級、上級クラス編成を行い、初級クラスはTOEIC (Listening & Reading)テストで450点、上級クラスは600点を目標に授業を展開する。

到達目標

B1204y
・ TOEIC(Listening & Reading)テストで450点以上のスコアをとる英語力を身に付けることが出来る。
・ 英語の読解力を向上させることが出来る。
・ 書く力を向上させることが出来る。
・ 聞く力を向上させることが出来る。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）-----80%
授業態度・授業参加度 ----20%
で、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○	○	○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	イントロダクション：授業の進め方等についての諸注意。	
2)	Unit 1 My Hometown [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
3)	Unit 2 Hobbies [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
4)	Unit 3 Shopping [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
5)	Unit 4 Nature Quiz [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Review Quiz
6)	Unit 5 Dream House [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
7)	Unit 6 Food [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
8)	Unit 7 First Date [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
9)	Unit 8 Detective Story [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
10)	Unit 9 Career [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
11)	Unit 10 Parties [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
12)	Unit 11 Rules and regulations [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
13)	Unit 12 Invention & Discovery [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
14)	Unit 13 Movie Reviews [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
15)	Unit 14 World Records [予習] Vocabularyをやっておく。(60分) [復習] 一章分を復習しておく。(30分)	Pair Work
授業外学習		
各授業の前までに、「授業計画と概要」に示す練習問題に解答しておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト English Ace.山本厚子他[2012] 成美堂		

課題に対するフィードバック
備考
TOEIC TEST (Listening & Reading) を受験し、規定のスコアに達すれば、単位を認定する。

科目名	オーラルイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	イトワート N. ナットン		関連する資格	

授業概要

日常的なコミュニケーションの場においては、リスニングの力が重要な役割を果たしている。ビデオやテープ等の視聴覚資料等の活用により、英語の音に興味を持たせ、リスニング力の向上を図り、英語による発話意欲を刺激する。リスニング力と発話意欲を向上させることにより、コミュニケーションを円滑にしていく能力を育成する。具体的には、オフィスや地域社会及び海外旅行等に必要とされる英会話力を身に付けさせる。さらに、海外からの旅行者に英語を用いた口頭による日本文化や生活習慣の説明、観光案内を行う発信型の英会話力を身に付けさせる。（対面授業）

到達目標

B1205

- 知識・理解の観点（具体的に説明できる。）
- 思考・判断の観点（内容を要約できる。）
- 関心・意欲の観点（考えを表現する。）
- 態度・価値観の観点（討議に参加できる。）
- 技能・表現の観点（相手に反応できる）

成績評価方法

STUDENTS ATTENDING THIS COURSE WILL BE EVALUATED ACCORDING TO THEIR CLASS PARTICIPATION, ATTENDANCE AND TEST RESULTS.
〔授業態度・出席と試験結果に従って評価する。〕

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○			70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					10
授業態度・授業参加度	○		○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	ORIENTATION AND SELF-INTRODUCTIONS.〔オリエンテーションと自己紹介〕 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	CLASS OUTLINE AND PAIR WORK.
2)	GREETINGS.〔挨拶〕 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
3)	WHERE ARE YOU FROM?〔どこから来ましたか〕 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
4)	WHAT TIME IS IT?〔何時ですか〕 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
5)	WHAT'S YOUR JOB?〔あなたの仕事は何ですか〕 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
6)	RENTING A FLAT.〔アパートを借りる〕 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
7)	SHOPPING.〔買い物〕 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
8)	CAN YOU HELP ME?〔手伝ってもらえますか〕 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
9)	AN AMERICAN RESTAURANT.〔アメリカンレストラン〕 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
10)	AT CUSTOMS.〔税関で〕 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
11)	MEDICAL PROBLEMS.〔医療の問題〕 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
12)	TALKING ABOUT THE FAMILY.〔家族について話す〕 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
13)	WHAT CAN YOU DO?〔何ができますか〕 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
14)	HOLIDAYS.〔休日〕 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
15)	AT THE POST OFFICE.〔郵便局で〕 【予習】TOPIC ORIENTED RESEARCH (30M) 【復習】READING AND PRONUNCIATION PRACTICE.(30M)	PAIR WORK AND ESL ACTIVITIES.
授業外学習		
授業の予習復習をする。授業前に分からない単語を調べてくる。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
STUDENTS WILL BE PROVIDED WITH HANDOUTS TO COVER ALL PLANNED TEACHING ACTIVITIES. STUDENTS ARE ASKED TO ENSURE THEY BRING ENGLISH /JAPANESE AND JAPANESE / ENGLISH DICTIONARIES TO CLASS.〔学生はすべての計画された指導活動を学習するために教材（印刷物）を配布される。授業に英和・和英辞典を必ず持参することを求める。〕		

科目名	メディカルイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	2年	前期
担当者名	内海 俊祐		関連する資格	

授業概要

対面で授業を行う。看護師が言語を異にする患者及び医師とコミュニケーションを図るために必要な基礎的英語力を育成する。その方策として、患者への動作の指示や介助、説明に不可欠な用語及び表現を身につける。さらに、医療器具、体の部位、痛み等に対する英語を身に付け、患者及び医師への対応に必要とされる英語の知識を深める。

到達目標

(B2201)

- 1 言語を異にする患者及び医師とコミュニケーションを図ることが出来る。
- 2 基礎的な医療関連の英文を理解する能力を身に付ける。
- 3 外国における医療・看護への関心が高まる。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション			○	○			10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	看護関係の英語の特徴について テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
2)	国際医療に占める英語の位置 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3)	英語関連の資格試験 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4)	病院における英語の使い方についての説明 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5)	英語による患者とのコミュニケーション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6)	英語による医師とのコミュニケーション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7)	英語による同僚とのコミュニケーション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8)	英語による患者の家族とのコミュニケーション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9)	状況別の英語の使い方についての説明 1 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10)	状況別の英語の使い方についての説明 2 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11)	状況別の英語の使い方についての説明 3 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12)	状況別の英語の使い方についての説明 4 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13)	状況別の英語の使い方についての説明 5 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14)	状況別の英語の使い方についての説明 6 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15)	総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習		
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
『First Aid: English for Nursing』樋口晶彦 John Tremarco著、金星堂 毎回プリント類を配布する 参考書：『現場ですぐに役立つ！看護・医療スタッフの英語』山中マーガレット著、2008年、朝日出版社		スペシフィックイングリッシュ

課題に対するフィードバック
課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。
備考
未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	メディカルイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	2年	前期
担当者名	谷國 晶洋	関連する資格		

授業概要

本授業は対面で実施する。

看護師が言語を異にする患者及びドクターとコミュニケーションを図るために必要な基礎的英語力を育成する。

その方法として： 患者への動作の指示、介助、説明に不可欠な英語の語彙及び表現を身に付けさせる。 医療器具、体の部位、痛み等に対する英語を身に付けさせる。さらに、 英語を使うドクターの指示、患者の要求を聞き取るためのリスニングの練習を行う。

到達目標

B2201

- ・基礎的な医療関連の英文を理解することができる。
- ・言語を異にする患者やドクターと英語を用いてコミュニケーションを図ることができる。
- ・英語の語彙を拡大することができる。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）-----80%
授業態度・授業参加度-----20%
で、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○	○	○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) イントロダクション：授業の進め方等についての諸注意。		
2) Unit 1 At the Reception 【予習】医療単語のエクササイズに目を通しておく。(60分) 【復習】一章分を復習しておく(30分)		Pair work
3) Unit 2 Medical Consultation 【予習】医療単語のエクササイズに目を通しておく。(60分) 【復習】一章分を復習しておく(30分)		Pair work
4) Unit 3 Medical Examination 【予習】医療単語のエクササイズに目を通しておく。(60分) 【復習】一章分を復習しておく(30分)		Pair work
5) Unit 4 Guide to Medical Departments 【予習】医療単語のエクササイズに目を通しておく。(60分) 【復習】一章分を復習しておく(30分)		Pair work
6) Unit 5 Review Unit 1-4 【予習】復習問題を自ら解いておく。(60分) 【復習】一章分を復習しておく(30分)		Pair work
7) Unit 6 Diagnosis Results 【予習】医療単語のエクササイズに目を通しておく。(60分) 【復習】一章分を復習しておく(30分)		【 Pair work
8) Unit 7 Medicine 【予習】医療単語のエクササイズに目を通しておく。(60分) 【復習】一章分を復習しておく(30分)		Pair work
9) Unit 8 Preoperative Testing 【予習】医療単語のエクササイズに目を通しておく。(60分) 【復習】一章分を復習しておく(30分)		Pair work
10) Unit 9 Preoperative Testing 【予習】医療単語のエクササイズに目を通しておく。(60分) 【復習】一章分を復習しておく(30分)		Pair work
11) Unit 10 Review Unit 6-9 【予習】復習問題を自ら解いておく。(60分) 【復習】一章分を復習しておく(30分)		Pair work
12) Unit 11 Hospitalization before the Operation 【予習】医療単語のエクササイズに目を通しておく。(60分) 【復習】一章分を復習しておく(30分)		Pair work
13) Unit 12 Operation 【予習】医療単語のエクササイズに目を通しておく。(60分) 【復習】一章分を復習しておく(30分)		Pair work
14) Unit 13 Hospitalization 【予習】医療単語のエクササイズに目を通しておく。(60分) 【復習】一章分を復習しておく(30分)		Pair work
15) Unit 14 Leaving the Hospital 【予習】医療単語のエクササイズに目を通しておく。(60分) 【復習】一章分を復習しておく(30分)		Pair work
授業外学習		
「授業計画と概要」に示す予習および復習をしておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：First Steps in English for Nursing.[2025]竹野純一郎、朝日出版社		スペシフィックイングリッシュ

課題に対するフィードバック
備考

科目名	ライセンスイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

TOEIC等の試験の結果により単位を認定する。試験自学自習を通し、公的資格にチャレンジし、英語によるコミュニケーション能力を向上させる。

到達目標

- (B1206)
- 1 国際コミュニケーション協会が実施する「TOEIC（公開またはIP）試験」で450点以上のスコアを取ることができる。
 - 2 財団法人日本英語検定協会が実施する「実用英語検定試験」で2級以上の公的資格を取ることができる。

成績評価方法

合格基準に達し、単位認定を希望する学生は、本学が指定する単位認定申込書に必要事項を記入し、合格証あるいは得点票を添えて、担当教員に提出する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	（TOEICや実用英語検定試験等の受験に必要な学習内容を以下列挙する） 動詞を中心としたイディオムを学ぶ。	
2)	前置詞を中心としたイディオムを学ぶ。	
3)	文法（１）...関係代名詞及び関係副詞を学ぶ。	
4)	文法（２）...英語の時制を学ぶ。	
5)	文法（３）...仮定法を学ぶ。	
6)	文法（４）...分詞構文を学ぶ。	
7)	リスニング（１）...写真を見て、正しい説明を聞き取る練習をする。	
8)	リスニング（２）...対話を聞き、正しい応答を学ぶ。	
9)	リスニング（３）...説明文を聞き、内容を把握する。	
10)	英文読解（１）...ボトムアップ方式で英文を把握する。	
11)	英文読解（２）...速読直解の練習をする。	
12)	英文読解（３）...スキミングの練習をする。	
13)	英文読解（４）...スキニングの練習をする。	
14)	TOEICテストの模擬練習をする。	
15)	実用英語検定2級の模擬練習をする。	
授業外学習		
TOEICや実用英語検定試験等を受験する際、問題傾向に十分に慣れておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
参考書：本学の図書館にTOEICテストおよび実用英語検定試験受験のための説明書や問題集を多数取り揃えています。活用してください。		エッセンシャルイングリッシュ アドバンスイングリッシュ オーラルイングリッシュ

課題に対するフィードバック
備考
補習指導を行うので、申し出ること。

科目名	ライセンスイングリッシュ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

TOEIC等の試験の結果により単位を認定する。自学自習を通し、公的資格にチャレンジし、英語によるコミュニケーション能力を向上させる。

到達目標

- (B1206)
- 国際コミュニケーション協会が実施する「TOEIC（公開またはIP）試験」で450点以上のスコアを取ることができる。
 - 財団法人日本英語検定協会が実施する「実用英語検定試験」で2級以上の公的資格を取ることができる。

成績評価方法

合格基準に達し、単位認定を希望する学生は、本学が指定する単位認定申込書に必要事項を記入し、合格証あるいは得点票を添えて、担当教員に提出する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	（TOEICや実用英語検定試験等の受験に必要な学習内容を以下列挙する） 動詞を中心としたイディオムを学ぶ。	
2)	前置詞を中心としたイディオムを学ぶ。	
3)	文法（１）...関係代名詞及び関係副詞を学ぶ。	
4)	文法（２）...英語の時制を学ぶ。	
5)	文法（３）...仮定法を学ぶ。	
6)	文法（４）...分詞構文を学ぶ。	
7)	リスニング（１）...写真を見て、正しい説明を聞き取る練習をする。	
8)	リスニング（２）...対話を聞き、正しい応答を学ぶ。	
9)	リスニング（３）...説明文を聞き、内容を把握する。	
10)	英文読解（１）...ボトムアップ方式で英文を把握する。	
11)	英文読解（２）...速読直解の練習をする。	
12)	英文読解（３）...スキミングの練習をする。	
13)	英文読解（４）...スキニングの練習をする。	
14)	TOEICテストの模擬練習をする。	
15)	実用英語検定2級の模擬練習をする。	
授業外学習		
TOEICや実用英語検定試験等を受験する際、問題傾向に十分に慣れておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
参考書：本学の図書館にTOEICテストおよび実用英語検定試験受験のための説明書や問題集を多数取り揃えています。活用してください。		エッセンシャルイングリッシュ アドバンスイングリッシュ オーラルイングリッシュ

課題に対するフィードバック
備考
補習指導を行うので、申し出ること。

科目名	海外語学研修			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

海外語学研修に参加することにより単位を認定する。海外での研修や旅行あるいはインターンシップで必要とされるコミュニケーション能力を育成するために、夏季および春季の海外語学研修を実施する。研修先のセンターでは、現地母語者から週8時間以上の語学指導を受け、さらに、現地の文化および社会をよりよく知るために、スポーツへの参加、自然環境の視察およびフィールドトリップを行う。また、以上の内容の研修が円滑に行われるために、海外生活の諸問題を取り上げながら事前指導を行う。

到達目標

(B1207)

- 異文化および自文化を理解することが出来る。
- 母語以外の言語による実践的コミュニケーション能力を身に付ける。
- 異文化との共生への関心が高まる。

成績評価方法

事前指導、海外研修、海外研修レポート、事後指導への参加状況を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習			○		○		50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
海外生活の諸問題を取り上げながら事前指導を行う。事前指導の内容は下記の通りである。 1) 日本語と英語の比較 2) 日本文化と欧米の比較 3) 異文化体験の意義 4) 海外から日本にEメールを送る 5) 欧米事情 6) 環境関連の英語 7) 福祉関連の英語 8) 9) 日本文化紹介のための英語 （日本人と閉鎖性／日本人と国際化／日本の特徴／日本についての情報の伝え方） 10) 11) 12) 13) 海外生活のための英語 （日常会話の慣用表現／英会話のスピード／生活習慣の差異／状況別の英語表現／英会話の注意点／英語のまま理解することについて） 14) まとめとディスカッション 15) 総括 ガイダンスに臨む場合は時間をかけて各自準備をし、ガイダンス後は内容を振り返る時間を取る。		グループワーク
授業外学習		
渡航先の地理・文化・生活様式などを調べておくこと。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
毎回プリント類を配布する 参考書：『日本を語る』、日鉄ヒューマンデベロプメント著、1995年、アルク	オーラルイングリッシュ	

課題に対するフィードバック
課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を個別に伝える。
備考
この授業の単位は海外語学研修への参加を要件とする。

科目名	海外語学研修			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

海外語学研修に参加することにより単位を認定する。海外での研修や旅行あるいはインターンシップで必要とされるコミュニケーション能力を育成するために、夏季および春季の海外語学研修を実施する。研修先のセンターでは、現地母語者から週8時間以上の語学指導を受け、さらに、現地の文化および社会をよりよく知るために、スポーツへの参加、自然環境の視察およびフィールドトリップを行う。また、以上の内容の研修が円滑に行われるために、海外生活の諸問題を取り上げながら事前指導を行う。

到達目標

(B1207)

- 異文化および自文化を理解することが出来る。
- 母語以外の言語による実践的コミュニケーション能力を身に付ける。
- 異文化との共生への関心が高まる。

成績評価方法

事前指導、海外研修、海外研修レポート、事後指導への参加状況を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習			○		○		50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
海外生活の諸問題を取り上げながら事前指導を行う。事前指導の内容は下記の通りである。 1) 日本語と英語の比較 2) 日本文化と欧米の比較 3) 異文化体験の意義 4) 海外から日本にEメールを送る 5) 欧米事情 6) 環境関連の英語 7) 福祉関連の英語 8) 9) 日本文化紹介のための英語 （日本人と閉鎖性／日本人と国際化／日本の特徴／日本についての情報の伝え方） 10) 11) 12) 13) 海外生活のための英語 （日常会話の慣用表現／英会話のスピード／生活習慣の差異／状況別の英語表現／英会話の注意点／英語のまま理解することについて） 14) まとめとディスカッション 15) 総括 ガイダンスに臨む場合は時間をかけて各自準備をし、ガイダンス後は内容を振り返る時間を取る。		グループワーク
授業外学習		
渡航先の地理・文化・生活様式などを調べておくこと。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
毎回プリント類を配布する 参考書：『日本を語る』、日鉄ヒューマンデベロプメント著、1995年、アルク	オーラルイングリッシュ	

課題に対するフィードバック
課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を個別に伝える。
備考
この授業の単位は海外語学研修への参加を要件とする。

科目名	社会学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	瀬崎 譲廣	関連する資格		

授業概要

「人は一人では生きていけない」——このテーマは、文学作品や音楽などあらゆる表現媒体において古くから扱われてきたが、それは人文科学・社会科学と分類される諸学問の究極のテーマでもある。社会学という学問は、社会的な生物である人間の「社会的な」という部分にフォーカスを合わせ、人間（たち）を観察し、分析し、人間社会における法則性を発見しようという学問と言える。この授業では、社会学という学問が生まれるにいたった背景から話をはじめ、学生皆さんの多くが共通に経験した、またこれから経験するであろう社会について概説する。また、現代社会の問題について、社会学の観点からの指摘を紹介する。これによって、「社会学的なものの見方」を理解することを授業の目的としたい。

到達目標

B1210

社会学についての基本的な知識や、考え方の特徴を理解する
社会学の観点から、現代社会が抱える諸課題について理解する

成績評価方法

講義中に課す宿題や小レポート等、および定期試験によって評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			70
小テスト、授業内レポート	○	○		○			30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーリング 社会学の特徴		グループワーク
2) 社会の近代化と社会学の成立 復習：小レポート（10分程度）		
3) 社会の近代化と社会学の成立 復習：小レポート（10分程度）		
4) 社会学の基本の3つのアプローチ 復習：小レポート（10分程度）		
5) 社会学の基本の3つのアプローチ 復習：小レポート（10分程度）		
6) 社会学の基本の3つのアプローチ 復習：小レポート（10分程度）		
7) 社会学の調査方法 復習：小レポート（10分程度）		グループワーク
8) 社会化の社会学 復習：小レポート（10分程度）		
9) 学校の社会学 復習：小レポート（10分程度）		グループワーク
10) 産業社会と組織の社会学 復習：小レポート（10分程度）		
11) 家族の変容の社会学 復習：小レポート（10分程度）		
12) 家族の変容の社会学 復習：小レポート（10分程度）		
13) 地域社会の変化 復習：小レポート（10分程度）		
14) 地域社会の変化 復習：小レポート（10分程度）		グループワーク
15) 授業全体のまとめ		
授業外学習		
特に課しませんが、授業に関連することで興味を持ったことや分からないことなど、自分で積極的に調べることを期待します。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
授業中に配布する資料を用いて授業を進める。 教科書は指定しない。 参考書は授業中に適宜紹介する。		

課題に対するフィードバック
小レポートには次回コメントを付けて返却。または、提出された小レポートをふまえた授業を行う。
備考
授業のなかで、資料等の読解に関連して質問を適宜行います。積極的な参加、発言を期待します。

科目名	ボランティアと社会			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	白石 義孝、伊藤 一統	関連する資格		

授業概要

ボランティアの意義と実情について学び、現代社会におけるボランタリーセクターの重要性について理解することを目的とする。

ボランティアの思想や歴史的経緯、様々な活動の実態など、基礎的な知識について概説するとともに、現代社会の状況について解説し、ボランティア活動への注目の高まり、またその行為に参加しようとするものの存在の背景を考察する。活動の実際を知ってもらうために、実際の活動を行っている方から直接話を聞く機会も設けたい。

到達目標

(B1501)

- ・ ボランティアについての正確な理解
- ・ ボランタリーセクターの重要性の認識と各自のボランティア意識の高揚
- ・ ボランティア活動への参加

成績評価方法

- 定期試験・小テスト（レポートの場合あり）
- リサーチ課題
- ボランティア活動体験レポート

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○			50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○		○	○	○		20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習			○	○	○		30

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤・白石）対面 予習：シラバスの内容を確認する（10分） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）遠隔		グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
2) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤） 予習：テキストに目を通す（30分） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）遠隔		グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
3) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤） 予習：テキストに目を通す（30分） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）遠隔		グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
4) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤） 予習：テキストに目を通す（30分） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）遠隔		グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
5) パート1（知識編）ボランティア活動やNPOへの理解を深める（伊藤） 予習：テキストに目を通す（30分） 復習：授業で提示した課題に取り組む（30分）遠隔		グループワーク プレゼンテーション 個人小レポート
6) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石） 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）		グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
7) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石） 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）		グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
8) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石） 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）		グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
9) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石） 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）		グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
10) パート2（実際編）国内外、および宇部市周辺で実際に行われているボランティア活動やNPOについて知る（伊藤・白石） 予習：テキストに目を通す（30分）復習：授業で提示した課題に取り組む（60分）		グループワーク及びプレゼンテーション、中間支援センターへの訪問取材レポート
11) パート3（参加編） 自らもボランティア活動に参加し、体験レポートを作成し、報告する（白石） 予習：ボランティア活動先の情報収集（30分） 復習：レポート作成（120分）		ボランティア実習（学校支援・福祉施設・地域環境保全・市民ワークショップへの参加など）
12) パート3（参加編） 自らもボランティア活動に参加し、体験レポートを作成し、報告する（白石） 予習：ボランティア活動先の情報収集（30分） 復習：レポート作成（120分）		ボランティア実習（学校支援・福祉施設・地域環境保全・市民ワークショップへの参加など）
13) パート3（参加編） 自らもボランティア活動に参加し、体験レポートを作成し、報告する（白石） 予習：ボランティア活動先の情報収集（30分） 復習：レポート作成（120分）		ボランティア実習（学校支援・福祉施設・地域環境保全・市民ワークショップへの参加など）
14) パート3（参加編） 自らもボランティア活動に参加し、体験レポートを作成し、報告する（白石） 予習：ボランティア活動先の情報収集（30分） 復習：レポート作成（120分）		ボランティア実習（学校支援・福祉施設・地域環境保全・市民ワークショップへの参加など）
15) 総括（伊藤・白石） 予習：授業中に紹介した課題について事前調査する（120分） 復習：期末レポート作成（180分）		個人ワークによる全体の振り返り
授業外学習		
毎回の授業で紹介したキーワードを自筆でノートにまとめておく。 ボランティア実習の写真撮影時には個人情報保護に配慮する。（担当者の許可を得るなど） グループワークの課題はGoogleClassroomに提示するので期限までにコメントの書き込みをすること Covid19の感染拡大により、ボランティア実習に参加できなくなった学生には「実習救済レポート」を課す		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト 「テキスト市民活動論【第2版】」大阪ボランティア協会 ・ ボランティアに関する書籍・学術雑誌全般 ・ NPOに関する書籍・学術雑誌全般 その他、特に推奨する参考文献については講義中で適宜紹介する。		教職に関する科目、社会学に関する科目

課題に対するフィードバック
実習先での活動内容やレポート作成に関する指導を全体に対して行うとともに、個別の質問については、授業後またはメールにて対応する。
備考
各回の授業の構成は、基本講義と実習指導、および課題レポート作成の3つのパートからなる ・ 毎回パート1とパート2の基本講義を60分程度（伊藤が担当） ・ 引き続きパート2とパート3の実習指導と課題レポート作成について30分程度（白石が担当）

科目名	憲法・人権論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	藪本 知二	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

判例の展開に留意しながら、日本国憲法の基本原理ならびに基本的人権（包括的基本権、平等権、自由権、参政権、社会権）および統治機構（国会、内閣、裁判所）を理解する。

到達目標

B1103y

- 立憲主義の意義を理解する。
- 主要な人権の内容を理解する。
- 統治機構の概要を理解する。

成績評価方法

期末定期試験（筆記試験）、小テストおよび授業態度・参加度について、下記の評価割合に従って評点を付ける

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					65
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○	○	○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 憲法と国家＜国家の三要素＞ 【予習】国家の3要素とその内容について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
2) 立憲主義の意義 ＜憲法とは何か＞ 【予習】憲法という語を手掛かりにして憲法の意味を考える（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
3) 立憲主義の意義 ＜人権の種類と内容＞ 【予習】人権の種類とその内容について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
4) 人権の享有主体 【予習】テキストTheme1、2および14を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
5) 幸福追求権 【予習】テキストTheme3および4を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
6) 法の下での平等 【予習】テキストTheme5を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
7) 法の下での平等 【予習】テキストTheme6を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
8) 精神的自由権 【予習】テキストTheme7を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
9) 精神的自由権 【予習】テキストTheme8および9を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
10) 経済的自由と社会権 【予習】テキストTheme10および11を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
11) 人身の自由 【予習】テキストTheme13を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
12) 裁判制度 【予習】テキストTheme19を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
13) 裁判制度 【予習】テキストTheme19（裁判員裁判）を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
14) 参政権と国会・内閣 【予習】テキストTheme16、17および18を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
15) 憲法保障＜違憲審査制＞ 【予習】テキストTheme20を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
授業外学習		
授業ではテキストを使用します。また、事前に配布する資料を読んで、予習および復習をしてください。図書館を活用して、予習および復習をするとともに、自分のノートを作成してください。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
テキスト：初宿正典、高橋正俊、米沢広一、棟居快行『いちばんやさしい憲法入門〔第6版〕』（有斐閣、2020年）。その他参考となる文献は、適宜授業中に紹介します。	法学	

課題に対するフィードバック
小テストの解答は、実施当日または次回の授業において解説します。
備考

科目名	法学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	藪本 知二	関連する資格		

授業概要

本授業は対面で実施する。
 社会・経済生活や相談援助活動における法の役割・機能を念頭に、憲法・民法・刑法・行政法などについての基礎知識を修得する。
 また、法の全体像を認識するために、法の主要領域（憲法・民法・刑法・行政法など）の実例から、法の基本的な原理・原則および構造を理解するとともに、各法領域の学習の主要な部分を占める法解釈学に必要な基礎技術・技法および基礎知識を身につける。

到達目標

B1104

- 法の主要な領域の基礎知識を理解し、説明することができる。
- 法の基本的な原理・原則および構造ならびに法解釈学に必要な基礎技術・技法および基礎知識を理解し、説明することができる。

成績評価方法

期末定期試験（筆記試験）、小テストおよび授業態度・参加度について、下記の評価割合に従って評点を付ける。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					67
小テスト、授業内レポート	○	○					28
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○	○	○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	法とは何か、社会と法、六法の使い方・読み方。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	『ポケット六法』の凡例を読んで、六法を実際に試してみる。
2)	契約の成立、六法の使い方・読み方 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
3)	契約の有効要件、六法の使い方・読み方 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
4)	契約の取消し・無効、六法の使い方・読み方 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
5)	契約の主体（自然人と法人） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
6)	契約の主体（代理） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
7)	契約の効力発生時期、期間の計算 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
8)	時効と除斥期間 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
9)	損害賠償 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
10)	犯罪の成立 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
11)	犯罪者の処遇（刑罰制度） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
12)	刑事裁判（裁判員裁判） 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
13)	憲法と人権 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
14)	制定法の種類と効力 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
15)	制定法の解釈方法 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
授業外学習		
授業ではテキストを使用しません。事前に配布する資料を読んで、予習および復習をしてください。図書館を活用して、予習および復習をするとともに、自分のノートを作成してください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
『ポケット六法令和7年版』（有斐閣、2024年）。 テキストは用いないが、六法は学習に必要。受講にあたっては、『ポケット六法令和7年版』（有斐閣、2024年）を持参すること。第1回目の授業から使用します。		憲法・人権論

課題に対するフィードバック
小テストについて実施当日または次回の授業で解説する。
備考

科目名	地域文化論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	内田 鉄平	関連する資格	学芸員 高等学校教諭（地理歴史） 専修免許状	

授業概要

総論では「文化とは何か」について述べた上で、比較文化論的な視点から日本文化の大づかみな特徴を述べる。
各論では、山口県及び宇部市の文化をはじめとする日本の文化のさまざまな側面を取りあげて、文化との関連で日本社会の構造的な特性を理解してもらうようにする。（実務経験について）専修大学において助手として勤務し、日本史・世界史双方の視点から文化史を説明することができる。複数の資料館勤務のなかで展示業務を経験し、地域文化について実例を交えて説明することができる。宇部市における文化振興・文化創造に係る委員を歴任し、宇部市の地域文化について説明することができる。

到達目標

B1502
日本独自の文化について世界史的な視野及び地域独特な風習や伝統を踏まえ理解する。特に宇部市の地域文化について市の歴史や産業を参考に理解する。

成績評価方法

期末試験と講義の参加意欲で評価する

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○						70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	香川昌子と女子教育 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
2)	食文化 - 和食の誕生 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
3)	出帆文化の隆盛 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
4)	道具と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
5)	居住空間-竪穴住居から文化住宅まで 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
6)	文化を伝える-山口県の方言 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
7)	祭礼と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
8)	北浦の捕鯨と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
9)	芸能文化と山口県 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
10)	山口・宇部の食文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
11)	宇部市の発展と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
12)	彫刻のまち宇部の誕生 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
13)	宇部市の文化財 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
14)	宇部村から宇部市へ-石炭産業と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
15)	総論（講義全体を通して学生の理解度を考慮して適宜に補足説明を行う） 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	講義全体の総括として質問を受ける。
授業外学習		
講義で適宜に参考文献を紹介しますので、余暇の時間に余裕があれば読んでもらう。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
毎回プリントを配布します。		

課題に対するフィードバック
希望者がいれば、期末試験の成績を開示します。
備考

科目名	生物学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	山本 芳実	関連する資格		

授業概要

生物学は急速な進展を続けており、その成果として遺伝子組換え作物や新薬の創出、遺伝子診断、着床前診断にみられるように、従来に増して格段に我々の生活に大きな影響を与えるようになってきている。本講義では、一般教養レベルの生物学の基礎的理解のために、生体の持つ機能や遺伝の仕組み、生命を維持する機構、生物の多様性、進化等について習得する。生物学が他の自然科学と異なる点の一つが、学ぶ私たち自身が生物の一員であるという点であろう。授業の中で、多様な生物の一員としてのヒトを理解する。

到達目標

B1211

- 1、生物学における基礎的な知識を列挙できる。
- 2、様々な生命科学に関係する事象を生物学の視点から考える事ができる。

成績評価方法

期末定期試験を行う。授業への意欲・態度も考慮する。試験には授業で渡した講義資料や参考書等の持参を勧める。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○					5
宿題、授業外レポート	○	○	○		○		5
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 細胞 「予習」細胞に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください。小レポート作成（60分）		授業内レポート課題
2) 代謝とエネルギー代謝 「予習」代謝とエネルギー代謝に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）		
3) 細胞分裂と多細胞生物 「予習」細胞分裂と多細胞生物に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）		
4) 減数分裂と遺伝 「予習」減数分裂と遺伝に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）		
5) 遺伝と遺伝子 「予習」遺伝と遺伝子に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）		グループワーク
6) 染色体と二重らせん 「予習」染色体と二重らせんに関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）		
7) タンパク質と遺伝 「予習」タンパク質と遺伝に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）		
8) 遺伝子のはたらき 「予習」遺伝子のはたらきに関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）		
9) 組換えDNA技術とバイオテクノロジー 「予習」組換えDNA技術とバイオテクノロジーに関して予習する（30分） 「復習」小レポート作成（60分）		授業外レポート課題
10) ゲノム科学とゲノムプロジェクト 「予習」ゲノム科学とゲノムプロジェクトに関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）		
11) 受精と発生 「予習」受精と発生に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）		
12) 発生のしくみ 「予習」発生のしくみに関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）		
13) 系統分類学 「予習」系統分類学に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）		
14) 進化生物学 「予習」進化生物学に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）		
15) ヒトの進化 「予習」ヒトの進化に関して予習する（30分） 「復習」講義資料を復習してください（60分）		
授業外学習		
授業前に、講義ファイルのコピーを渡しますので、参考書等を参照にしながら復習してください。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
テキストは使用しません。参考書「生物学」系統看護学講座、基礎分野、高畑、増田、北田共著、医学書院等。高校時代の生物学の教科書も参考書として使用して下さい。		

課題に対するフィードバック
小レポートは翌週にコメントします。
備考

科目名	化学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	山城 安啓	関連する資格		

授業概要

生化学を学ぶ上での基礎となる有機化学、無機化学について学びを深めるとともに、さらにその知識を基盤とし未来の医療・福祉を担う人間として自然科学の立場から自ら考える力をつけさせる。

到達目標

B1212

化学の基礎的知識を説明できる

- 無機化合物の特性を説明できる
- 有機化合物の特性を説明できる
- ヒトの構成成分と反応系、疾病状態を化学的に理解し、臨床に応用する能力を身につける

成績評価方法

十分な出席回数を基に、期末試験並びに講義各回における口頭試問で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート	○	○					10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	化学の単位と元素の周期表（量と単位、元素の周期表） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
2)	物質の三態（物質の三態、状態の変化、分子間力と融点・沸点、圧力と大気圧、状態図） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
3)	気体の性質（気体の状態方程式、混合気体と分圧の法則、気体の液体への溶解、実在気体の状態方程式） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
4)	液体・溶液の性質（溶液の濃度、溶液の性質、表面張力と界面活性剤、コロイド） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
5)	化学反応（化学反応の基本法則と種類、熱化学反応、光化学反応、酸化還元反応） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
6)	反応速度（反応速度のあらわし方、反応次数、活性化エネルギーと触媒、反応機構） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
7)	化学平衡（化学平衡と平衡定数、酸と塩基、中和反応と塩の生成、電離平衡と電離定数、塩の水への溶解、中和滴定と滴定曲線、難溶性塩の溶解平衡） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
8)	原子の構造と化学結合（原子の構造、化学結合、原子・分子の結合と分子の形、吸収スペクトル） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
9)	無機化学（無機物質、非金属元素、典型金属元素、遷移元素、放射性元素） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
10)	有機化学（有機化合物の原理、脂肪族炭化水素） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
11)	有機化学（芳香族炭化水素、官能基と有機化合物） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
12)	高分子化学（糖質） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
13)	高分子化学（脂質） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
14)	高分子化学（タンパク質） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
15)	高分子化学（核酸） 予習：対象範囲を読む（30分程度）、復習：ゼミナールを解く（30分程度）	授業内課題 ゼミナール問題
授業外学習		
授業計画に沿って、講義を進めて行きます。毎回、講義の前に前回講義分の小テストを行います。配布する資料の他に参考書や高校の教科書等を利用し、予習（30分程度）と復習（30分程度）をして下さい。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
PowerPointで作成した講義資料 参考書 系統看護学講座 基礎分野 化学 医学書院 (2022年度版 あるいは最新版)		栄養学（生化学を含む）、生理学、薬理学、薬剤学など

課題に対するフィードバック
小テストは講義内容を理解するために行いますので成績には関係しません。試験終了後に解説を行いますので、分からない場合は積極的に質問してください。また、本試験はこの小テストの中から出題しますので、理解して解ける様にしておいてください。
備考
インターネットで、NHK高校講座の「化学基礎」を視聴できます。解説動画等ありますので、高校の復習に利用してはいかがでしょうか？

科目名	物理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	松本 治彦		関連する資格	

授業概要

授業は対面で実施します。なお、私のホームページを使って資料の配布を行います。
この科目はディプロマポリシーのうち、「人への関心と学問の理解」を達成するために「諸科学への興味関心と理解」を深める授業。

物理学ではオートクレープのメカニズム、点滴・輸血時の液体の比重など看護の現場で必要となる様々な事例を取り上げて物理学の理解を深め、科学的なものの考え方を身につける。

また、看護師の国家試験に出題されている物理系の問題について紹介。授業では、「物体の運動」、「運動量と仕事」、「熱と気体の運動」など物理学の基本を復習しながら「患者の移動」、「比熱の計算」、「血圧」などについて学ぶ。グループ討議を設定している。自分の意見を主張して積極的に参加する。

到達目標

B1213

看護の現場で物理的なメカニズムを的確につかんで行動する。看護師国家試験の物理系の問題を解く。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				60
小テスト、授業内レポート			○				20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○				10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	物理学の概要 予習；物理学資料の全般を概観する（30分）。復習；今後受講する内容の確認をする（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2)	2011.3.11福島原発事故特別バージョン・放射線 予習；放射線について基本的な事項を調べておく（30分）。復習；福島事故の要点を整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3)	物体の運動、患者の移動、トルク、作用反作用・摩擦・運動量・仕事・衝撃力・骨折・牽引 予習；トルクのことについて事前に調べておく（30分）。復習；運動の三法則について整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4)	要点整理（グループ討議） 予習、復習はグループ討議の結果、生じた疑問点の解決に使ってください（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5)	熱と気体の運動、比熱計算、氷枕、熱移動 予習；熱の移動について事前に学習しておいてください（30分）。復習；熱量の計算式を理解しておくこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6)	圧力、表面張力、密度、比重 予習；圧力の全般を学習しておくこと（30分）。復習；様々な圧力の問題について理解すること（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7)	血圧、吸引装置、酸素ボンベ、連結ピン 予習；血圧と酸素ボンベについて事前に学習しておくこと（30分）。復習；酸素ボンベに関する計算を理解しておくこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8)	要点整理（グループ討議とレポート1提出準備） 予習、復習はグループ討議で生じた疑問点の解決とレポート作成に使ってください。（1時間）	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9)	比重計、オートクレープ、水銀体温計、濃度の表し方と物質の溶け方 予習；濃度計算について事前学習しておくこと（30分）。復習；オートクレープの役割と濃度計算をマスターしておくこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10)	熱力学、音波、浸透圧、人工透析、心拍数、サイレン 予習；救急車のサイレンと位置関係を事前に調べておくこと（30分）。復習；浸透圧について理解を深めること（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11)	ファイバースコープ、サーモグラフィ、電気 予習；ファイバースコープについて事前に調べておくこと（30分）。復習；電気メスのメカニズムについて理解しておくこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12)	要点整理（グループ討議） 予習、復習はグループ討議で生じた疑問点の解決のために有効に使う（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13)	看護師国家試験の物理系問題の出題例 予習；過去の国家試験の問題を概観しておくこと（30分）。復習；計算問題のパターンをつかむこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14)	要点整理（グループ討議） 予習、復習はグループ討議で生じたい疑問点の解決に有効に使う（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15)	まとめ	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習		
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してきてください。 講義資料を復習して下さい。看護実習の時に、物理学で学んだことを活かしてください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。		物理学の基礎

課題に対するフィードバック
毎回の課題提出で質問があった場合、次回の授業の最初にコメントする。
備考

科目名	地球の環境			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	松本 治彦	関連する資格		

授業概要

授業は対面で実施します。なお、私のホームページを使って資料の配布を行います。

この科目はディプロマポリシーのうち、「人への関心と学問の理解」を達成するために「諸科学への興味関心と理解」を深める授業。この授業は、受講者が地球の現在・過去・未来について考える際に、知っておくべき自然科学系の話（社会科学系も含んでおり、文系・理系の枠を超えた視点にチャレンジする）。この授業の最も重要なことは「事実と意見」の区別と「時間と空間のスケール」を意識すること。この授業の受講後、新聞で毎日のように取り上げられている自然科学系（地球の環境も含めて）の記事の内容がある程度、理解できるようになる。

到達目標

B1214

自然科学系に関する新聞記事の内容を読んで自分の意見と対比して評価する。
グループ協議を通じてコミュニケーション能力を発揮する。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	「地球の歴史、何がわかっているの？未来は」 予習；資料の全体を概観する（30分）。復習；概要の部分をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2)	「宇宙の始まり」「地球誕生・生物誕生」 予習；宇宙の始まりの部分について概観する（30分）。復習；宇宙、地球の誕生について、もう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3)	「人間社会の形成」 予習；人間社会の形成について概観する（30分）。復習；生物の誕生から人間社会の形成までをもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4)	「熱収支と四季」 予習；熱収支について概観する（30分）。復習；熱収支と四季の起こる原因についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5)	「水と大気の大循環」 予習；水と大気の大循環の部分を概観する（30分）。復習；水と大気の循環の要点をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6)	「森林消失と生物種絶滅」 予習；森林消滅と生物種絶滅の関係について概観する（30分）。復習；森林の現況と生物種の関係についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7)	「オゾン層破壊・PM2.5」 予習；オゾン層破壊とPM2.5について概観する（30分）。復習；オゾン層破壊、PM2.5の現況についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8)	「温暖化モデルとIPCC」 予習；温暖化、原因物質、IPCCについて概観する（30分）。復習；IPCCの作業原則と温暖化モデルの精度の現状について、もう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9)	「周期的変動」 予習；海、大気の周期変動について概観する（30分）。復習；偏西風の動き、海洋の様々な周期変動についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10)	「化石燃料から再生可能エネルギーへ」 予習；化石燃料と新エネルギーの現況について概観する（30分）。復習；化石燃料と再生可能エネルギーのバランスについてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11)	「炭素社会から水素社会に」 予習；水素利用の現状について概観する（30分）。復習；水素社会の到来の時期についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12)	要点整理（グループ討議とレポート提出準備） 予習；11回までの内容についてもう一度、読み込む（30分）。復習；グループ討議で疑問に思ったことを解決して、レポートを作成する（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13)	「未来予測」 予習；未来の予測について概観する（30分）。復習；未来のイメージについてもう一度、考えてみる（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14)	「天気予報と災害への備え」 予習；最近の異常気象について概観する（30分）。復習；様々な自然災害に対処する手順を整理する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15)	「まとめ」 予習；資料全体をもう一度、概観する（30分）。復習；テストに備えて重要なところをもう一度、読み込む（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習		
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してくる。 講義資料を復習する。新聞を読む習慣をつける。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。		

課題に対するフィードバック
毎回の授業課題提出での質問については、次回の授業の始めに説明する。
備考

科目名	データの科学的な見方			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	松本 治彦		関連する資格	

授業概要

授業は対面で実施します。なお、私のホームページを使って資料をダウンロードしたりClassroomを使って資料の配布を行います。この科目はディプロマポリシーのうち、「柔軟な思考と表現力」を身に付けるために、また「看護師・保健師としての基礎的思考方法」を学ぶ。

受講者はまず最近、重要度が増している「統計学とAI」「統計学と生成AI」の関係について学ぶ。次に統計学の歴史について深く学ぶ。その上で、統計学の様々な用語を理解して統計学を将来の仕事の道具として使いこなせるようにする。

統計学は現状把握と予測のためと見られているが、じつは限られたデータを使って全体の因果関係を探る学問。統計学を通じて得た情報から「ピンとくる」カンを働かせるのに役立たせる。

看護研究や保健研究では、データ処理に統計の知識が必要。導き出した統計値の科学的な意味を理解する。そのために、まず基本的な統計値の意味をしっかりと理解し、統計図、統計表の見方を学習。次いで区間推定や検定を通じてデータの科学的な見方を身につけていく。

到達目標

B2202

統計学の基本的な言葉の意味、統計値の科学的意味を的確につかむ。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	統計学とAI、統計学と生成AI 予習；統計学とAIの関係について概観する（30分）。復習；統計学とAIの部分についてもう一度、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2)	人工知能とは 予習；人工知能の部分について深く思考する（30分）。復習；人工知能の部分を整 理しておくこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3)	統計学の歴史 予習；統計学の歴史につて概観する（30分）。復習；統計学の歴史について再確認 しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4)	統計学の考え方 予習；統計学の考え方、データの科学的見方の部分について概観する（30分）。復 習；統計学の考え方、データの科学的見方のチェックをしておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5)	把握・予測・洞察の統計学 予習；予測・洞察の統計学を概観する（30分）。復習；予測・洞察の統計学につ いて整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6)	ジョン・スノウと疫学 予習；疫学の歴史について概観す30分）。復習；疫学の歴史について確認しておく （30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7)	データの科学的な見方 予習；データの科学的な見方について調べておく（30分）。復習；データの科学的 な見方を確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8)	具体例で統計学を学ぶ「度数分布・分割・図」 予習；度数分布・分割・図の部分概観する（30分）。復習；度数分布・分割・図 の部分を確認しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9)	具体例で統計学を学ぶ「平均値・標準偏差・偏差値」 予習；平均値・標準偏差・偏差値について概観する（30分）。復習；平均値・標準 偏差・偏差値について再度、整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10)	具体例で統計学を学ぶ「範囲・その他の数値」 予習；範囲・その他の数値について概観する（30分）。復習；範囲・その他の数値 について、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11)	正規分布 予習；正規分布について概観する（30分）。復習；正規分布について、確認する（ 30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12)	推定と検定 予習；推定と検定について概観する（30分）。復習；推定と検定について、整理し ておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13)	詳しい検定 予習；詳しい検定について調べておく（30分）。復習；詳しい検定について整理して おく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14)	分散分析・多変量解析 予習；分散分析・多変量解析について概観する（30分）。復習；分散分析・多変量 解析についてもう一度、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15)	まとめ	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習		
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読する。 講義資料を復習。保健師国家試験の過去問のうち、統計学の基礎問題が確実に解けるように自宅でも計算問題、基礎的な言葉 の意味を再確認する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは使わない。資料は私のホームページ上にアップする。 Classroom上にアップする。		数学の基礎 保健統計学

課題に対するフィードバック
毎回の課題提出で質問があった場合、次回の授業の最初にコメントする。
備考

科目名	哲学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	村田 貴信		関連する資格	

授業概要

（本授業は対面実施する。）

歴史や自然、社会や世界、そしてなによりもまず自分自身について、立ち止まって見つめなおしてみる機縁になるように、以下二点を支軸にして講義を展開する。

(1) 自己と世界とにともに関わる人知の精髓を哲学史の展開のなかに探る。

(2) ものごとを広く（多面的に）深く（根源的に）考えることの意味と意義とを理解する。

到達目標

B1215

(1) 哲学の根本問題について考えてみる。

(2) 哲学の対象と方法とに関する基礎的な理解を得る。

成績評価方法

期末定期試験で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○			100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 導入： 講義内容ならびに講義の進め方の一般的説明 【予習】テキスト（pp. 16-21）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
2) 序論(1)： 哲学とは何か 【予習】テキスト（pp. 22-26）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
3) 序論(2)： 哲学と哲学史 【予習】テキスト（pp. 26-32）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
4) 神話と論理(1)： 始原への問い 【予習】テキスト（pp. 32-36）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
5) 神話と論理(2)： 全体への問い 【予習】テキスト（pp. 36-40）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
6) 知識と知恵(1)： 無知の知 【予習】テキスト（pp. 40-45）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
7) 知識と知恵(2)： 真の知 【予習】テキスト（pp. 45-52）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
8) 科学と哲学(1)： 知の構造とその諸相(1) 【予習】テキスト（pp. 52-58）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
9) 科学と哲学(2)： 知の構造とその諸相(2) 【予習】テキスト（pp. 58-67）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
10) 自然と人間(1)： 自然概念の変遷 【予習】テキスト（pp. 67-70）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
11) 自然と人間(2)： 生命と非生命 【予習】テキスト（pp. 71-76）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
12) 存在と意識(1)： 存在論と認識論 【予習】テキスト（pp. 77-82）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
13) 存在と意識(2)： 言語・思考・世界 【予習】テキスト（pp. 83-86）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
14) 超越と構想(1)： 超越と内在 【予習】テキスト（pp. 87-97）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
15) 超越と構想(2)： 問いの可能性 / 講義全体のまとめ 【予習】テキスト（pp. 97-106）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
授業外学習		
週単位ごとの授業計画に示した項目・概要に沿ってテキストを精読（予習）・再読（復習）する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト： プラトン『ソクラテスの弁明』（光文社古典新訳文庫）、光文社、2012年		人権論、いのちの科学、人間看護学、人間関係論

課題に対するフィードバック
テキスト読解深度を音読・質疑応答で確認する。
備考
期末定期試験時に辞書を使用したい場合は紙の辞書を用意すること。

科目名	日本語の実践			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	有元 光彦	関連する資格		

授業概要

本授業は，対面で実施する。

本授業は，社会で通用する日本語コミュニケーション能力をはじめ，文章作成能力を育成することを目的とする。敬語や俗語，文のねじれなどの表現の技術に加えて，手紙や報告書，ビジネス文書，論文といったさまざまな文体を実践的に習得する。授業では，悪文の例や敬語の添削問題など，表現に関する練習問題も数多く取り入れ，同時に論理的な文章の書き方も繰り返し訓練する。

到達目標

B1208

1. 句読点などの，基本的な表記法を習得する。
2. 慣用表現など，基本的な定型表現を習得する。
3. 待遇表現（敬語）など，文体に関わる表現法を習得する。
4. 様々な現代日本語表現における，文章の書き方の基本を習得する。

成績評価方法

授業態度・参加度の評価，授業時間内の小レポート（作業シート）の成績の総和による。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			60
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○		○		○		40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	導入：シラバスの説明，日本語表現法とは？ 【予習】日本語表現法という学問領域について考えておく（1時間） 【復習】日本語表現法という学問領域について確認する（2時間）	
2)	知識(1)：表記，語 【予習】表記や語の種類について考えておく（1時間） 【復習】豊富な表記法などを振り返る（2時間）	
3)	知識(2)：定型表現，文 【予習】慣用表現などについて考えておく（1時間） 【復習】文の構造などを振り返る（2時間）	
4)	知識(3)：文体，敬語 【予習】文体などについて考えておく（1時間） 【復習】文章・文体について振り返る（2時間）	
5)	知識(4)：文体，敬語 【予習】文体などについて考えておく（1時間） 【復習】文章・文体について振り返る（2時間）	
6)	演習(1)：要約 【予習】要約について見ておく（1時間） 【復習】要約について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
7)	演習(2)：メール 【予習】自分のメールを見ておく（1時間） 【復習】メールの表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
8)	演習(3)：マニュアル 【予習】マニュアルを見ておく（1時間） 【復習】マニュアルの表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
9)	演習(4)：自己アピール 【予習】自己アピールについて考えておく（1時間） 【復習】自己アピールの表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
10)	演習(5)：アンケート 【予習】アンケートについて確認しておく（1時間） 【復習】アンケートの表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
11)	演習(6)：レポート・論文 【予習】論理的な文章について考えておく（1時間） 【復習】レポート・論文の構成について振り返る（2時間）	
12)	演習(7)：レポート・論文 【予習】レポートや論文について考えておく（1時間） 【復習】レポート・論文の書き方について振り返る（2時間）	
13)	発展(1)：“やさしい日本語” 【予習】“やさしい日本語”について見ておく（1時間） 【復習】“やさしい日本語”の表現について振り返る（2時間）	小レポート（作業シート）
14)	発展(2)：病院の言葉 【予習】病院のことばについて見ておく（1時間） 【復習】病院のことばについて振り返る（2時間）	
15)	総括：授業のまとめと振り返り 【予習】半年間の授業資料を整理・まとめておく（1時間） 【復習】授業内容を総合的に振り返る（2時間）	リフレクションシート
授業外学習		
予習においては，授業で扱う予定のトピックにおいて，何が問題となりそうか考えておいてほしい。 復習においては，授業中に行った課題及び説明について振り返るとともに，それらのことが，文章表現をする際にどのように役に立つかを確認してほしい。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：なし。代わりに，プリントを配付する。 参考書等：授業の際に適宜挙げる。		

課題に対するフィードバック
小レポート（作業シート）で提示された質問や感想などに関して，小レポート（作業シート）上で個別に回答したり，次の授業で取り上げ，受講者全員に共有したりすることで，フィードバックを行う。
備考

科目名	心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	木元 卓也、榑本 俊哉、大石 英史 、三島 瑞穂、小野 洋平、脇 貴典	関連する資格		

授業概要

看護・保健領域の専門職として働くにあたり、臨床現場で役立つであろう知識とエッセンスを中心に、心理学の基礎的知識について学ぶ。) スクールカウンセラーとして、教育現場の心理相談業務に従事した経験をもとに、昨今の教育的課題(いじめ問題、不登校等)への対応を指導する。

到達目標

(B1217)

- 1．看護・保健領域で、心理学の知見を活かし、専門的関わりの質を高める工夫をすることができる。
- 2．心理学的知見を活かした援助を行う方法を理解できる。

成績評価方法

小レポート、受講態度で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			30
宿題、授業外レポート		○		○			30
授業態度・授業参加度			○		○		40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	心理学とは何か？～こころの仕組みを知ろう～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
2)	子ども虐待を通して考えるこころの発達 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
3)	学校と集団心理 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
4)	恋愛と結婚～人はパートナーに何を求める？～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
5)	デートDVとドメスティックバイオレンス 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
6)	家族の心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
7)	メンタルヘルスとリーダーシップ～働く人のこころの健康～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
8)	人はなぜ不安やパニックになるのか？～こころの疾患と精神障がい～ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
9)	孤独と文化 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
10)	多様性と性についての心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
11)	なぜ人間には感情があるのか？ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
12)	同調圧力と自己判断 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
13)	あおり運転から考える交通心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
14)	犯罪加害者への支援と心理学 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	感想
15)	まとめ 【予習】授業テーマの予習（60分） 【復習】授業内容の復習（60分）	小レポート
授業外学習		
毎回、配布する資料を読み返し復習すること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
*テキスト 適宜プリントを配布する。		コミュニケーション論、生涯発達心理学

課題に対するフィードバック
質問・意見に対して全体にフィードバックする。必要に応じてコメントをつけて返す。
備考

科目名	健康と音楽			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	村上 玲子	関連する資格		

授業概要

本授業は対面で実施する。人間は、声を出して歌う、リズムカルに動く、身体のような部所を使って音を出すことや表現することが可能で、非常に音楽的な存在である。音楽は人の心や身体と密接に結びつき、特に音楽を聴く、演奏する、楽しむ活動では、病める心を癒し、身体や精神機能の健康を維持・回復するといった力がある。人がなぜ歌ったり奏でたりするのか、音や音楽が人間にもたらす影響について理解する。また、日常生活の中で音楽を上手く使うことによって、健康を取り戻したり、維持する方法を実際に音楽活動を実践しながら修得する。現役音楽療法士が、臨床現場における音楽療法の実践に向けて解説及び演習を行う。

到達目標

B1218

人間と音楽のかかわりについて説明できる。
音や音楽の特性や役割について列挙することができる。
生活の中で健康増進や維持を目的とした音楽の活用法を工夫し実践できる。

成績評価方法

授業時の小レポートと課題レポート
授業への意欲・態度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					30
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○		○		10
演習				○	○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	人間の健康と音楽の関わり 【予習】生活の中で、音楽とどのように関わっているかについて調べておく（30分） 【復習】人間の生活に音楽が深くかかわっている事例をまとめる（20分）	授業内レポート
2)	心の健康と音楽の役割及び特性、音楽がもたらす不思議な効果とは、音楽が心身を癒すメカニズム 【予習】身の回りで使われている音楽の事例を調べておく（30分） 【復習】音楽の特性をまとめておく（20分）	授業内レポート
3)	ストレスと音楽 —クラシック音楽とヒーリングミュージック— 【予習】ストレスについて調べる（30分） 【復習】音楽を使ったストレス解消法の事例をまとめておく（20分）	授業内レポート
4)	音楽療法とは —音楽療法の歴史・目的・適応範囲・実践— 【予習】音楽療法について調べる（30分） 【復習】配布プリントを復習する（20分）	授業内レポート
5)	宮沢賢治作「セロ弾きのゴーシュ」と音楽療法 —音楽療法の視点から作品分析— 【予習】音楽療法について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】小レポート作成（60分）	授業外レポート
6)	音楽療法とオーラルフレイル（口腔機能の低下）について 【予習】オーラルフレイルについて調べる（30分） 【復習】例曲を使って歌唱活動を実践してみる（30分）	授業内レポート
7)	ジブリがいっぱい —宮崎アニメと共に歩んだ久石譲の音楽の世界— 【予習】宮崎駿、久石譲について調べる（30分） 【復習】鑑賞曲の感想レポート作成（20分）	授業内レポート
8)	クラシック音楽がつくる快適な人生—生活に密着した音楽、動物たちが奏でるクラシック音楽— 【予習】ズーラシアン音楽について調べる（30分） 【復習】鑑賞曲の感想レポート作成（20分）	授業内レポート
9)	世界を魅了する魂のピアニスト —フジコ・ヘミングの時間— 【予習】ピアニスト「フジコ・ヘミング」について調べる（30分） 【復習】感想レポート作成（60分）	授業外レポート
10)	ミュージカル鑑賞 —ミュージカル鑑賞から音楽の効力を探る— 【予習】音楽療法、音楽の特性について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】感想レポートの作成（20分）	授業内レポート
11)	ミュージカル鑑賞 —ミュージカル鑑賞から音楽の効力を探る— 【予習】音楽療法、音楽の特性について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】小レポート作成（60分）	授業外レポート
12)	音楽と人間の生活 —クリスマスと音楽「クリスマス音楽に触れて」— 【予習】人間の生活と音楽の関わりについて配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】小レポート（20分）	授業内レポート
13)	盲目のピアニスト辻井伸行と音楽 —辻井伸行の世界と音楽表現— 【予習】ピアニスト辻井伸行について調べる（30分） 【復習】小レポート作成（60分）	授業外レポート
14)	オペラ鑑賞 人間の表現と音楽 —音楽の力について— 【予習】音楽療法、音楽の特性について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】感想レポート作成（20分）	授業内レポート
15)	オペラ鑑賞 人間の表現と音楽 —音楽の力について— 【予習】音楽療法、音楽の特性について配布プリントを読んでおく（30分） 【復習】小レポート作成（60分）	授業外レポート
授業外学習		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは利用しない。講義資料を配布する。 参考書＊渡辺 茂夫著、音楽健康法、1995年、誠文堂新光社＊ 苧坂良二編著、新訂環境音楽、1992年、大日本図書＊村井靖児著、 こころに効く音楽、1997年、保健同人社＊谷口高士著、音は心の中で音楽になる、2000年、北大路書房		

課題に対するフィードバック
授業内及び授業外で出した小レポート課題については、翌週にコメントを付けて返却する。
備考

科目名	健康スポーツ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実技	選択	2	1年	後期
担当者名	和田 康夫	関連する資格	養護教諭	

授業概要

小学校教育の経験を活かし、子どもの心身の発達に応じた運動遊びやゲーム、スポーツ等の実践を通して、その楽しみ方やルール・マナーについて理解を深める。グループでの関係性を深め、コーチングやコミュニケーション能力について指導し、社会生活の様々な場面で適用できる心身の健康づくりの運動方法や知識・技能を養えるようにする。

到達目標

B1219y

・ A C P（アクティブ・チャイルド・プログラム）の理論と実技に基づき、食育の視点からも幼児期からの運動習慣の必要性を理解し、創造的に運動遊びやスポーツを積極的に行おうとする関心や態度をもてるようにする。

・ 仲間とともにスポーツをする楽しさを味わい、運動遊びのアレンジについて理解する。

・ 多様な動きのある運動遊びの実践を通して学び、仲間と一緒にアレンジしていくことで、スポーツの楽しさを味わう。

成績評価方法

- ・ 授業内レポート
- ・ 授業外レポート
- ・ 運動遊びのプレゼンテーション
- ・ 授業への参加態度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○			10
演習	○	○	○	○			30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション（受講上の留意点・授業計画・評価方法など） 復習：授業の流れや目標について理解する。（30分） 予習：人間関係づくりのプログラムについて調べる（30分）		ACPの理論について学ぶ
2) 運動遊びの実践（アイスブレーキング） 復習：ACP・PAの理論と実践について、ふりかえりシートに記入（15分）		人間関係づくりプログラムづくりとの出会いとなるアイスブレーキングについて実技を通して理解する。
3) 運動遊びの理論と実践（ACPの手法によるアクティビティ） 復習：ふりかえりシートの記入（15分）		オニ遊びの実技とそのアレンジについて話し合う。
4) 運動遊びの理論と実践（ACPの手法によるアクティビティ） 復習：ふりかえりシートの記入（15分）		新聞紙を使った遊びについて、実技をしながら、グループでアレンジできるようにする。
5) 運動遊びの理論と実践（ACPの手法によるアクティビティ） 復習：ふりかえりシートの記入（15分）		フープやリングを使った遊びについて、実技をしながら、グループでアレンジできるようにする。
6) 運動遊びの理論と実践（ACPの手法によるアクティビティ） 復習：ふりかえりシートの記入（15分）		縄を使った遊びについて、実技をしながら、グループでアレンジできるようにする。
7) 運動遊びの理論と実践（ACPの手法によるアクティビティ） 復習：ふりかえりシートの記入（15分）		紙を使ったアクティビティについて、実技を通してアレンジできるようにする。
8) 運動遊びの理論と実践（ACPの手法によるアクティビティ） 復習：ふりかえりシートの記入（15分）		レジ袋などを使った室内遊びの実技を通して、アレンジできるようにする。
9) 運動遊びの実践（ACPの手法によるアクティビティ） 復習：ふりかえりシートの記入（15分） 予習：パラスポーツについて調べる。		ジャンケンなどによるコミュニケーションを中心とした運動遊びの実技とアレンジについて
10) 運動遊びの理論と実践（パラスポーツの意義や歴史） 復習：ふりかえりシートの記入（15分） 予習：ACPのプログラミングについての計画を立てる。		パラスポーツについての理解を深め、ボッチャやモルックなどの体験をする。
11) 運動遊びの指導案づくりに役立つ実践 復習：ふりかえりシートの記入（15分） 予習：ACP教室プログラム作成（30分）		グループワーク「運動遊びの模擬授業指導案作成」
12) 運動遊び模擬指導：幼児対象のACPを企画し、模擬指導を発表する。 予習：運動遊び模擬授業のシナリオを予習しておく。（15分） 復習：指導についての気づきなどを記入する。（30分）		グループワーク「運動遊びの模擬授業指導案作成」
13) 運動遊び模擬指導：幼児対象のACPを企画し、模擬指導を発表する。 予習：運動遊び模擬授業のシナリオを予習しておく。（15分） 復習：指導についての気づきなどを記入する（30分）		グループワーク「運動遊びの模擬授業指導案作成」
14) 運動遊び模擬指導：幼児対象のACPを企画し、模擬指導を発表する。 予習：運動遊び模擬授業のシナリオを予習しておく。（15分） 復習：指導についての気づきなどを記入する（30分）		グループワーク「運動遊びの模擬授業指導案作成」
15) ACPの理論と実践のまとめ 復習：授業の取組についてふりかえる。（30分）		グループワーク「運動遊びの模擬授業のふりかえり」をグループで行い、発表する。
授業外学習		
遊びのアレンジを実践しておきましょう。 模擬指導に関する指導案や説明シナリオを作成しましょう。 ACP普及講習会（12月）やACP教室に参加してみましょう。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
ACPガイドブック（JSPO編） 健康スポーツに関する文献などの紹介		健康スポーツに

課題に対するフィードバック
個人のワークシートに、次時に関する課題や授業後のふりかえりを記載することで、課題の自己解決を促す。 ワークシートに、評価とアドバイスを記載し、授業への取組意欲の向上を図る。
備考

科目名	倫理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	田中 智輝		関連する資格	

授業概要

倫理学は、道徳的行為や性格の「正しさ」や「善さ」の根拠を、できるだけ合理的かつ哲学的に問う学問である。本授業では著名な哲学者・宗教家の思想を取り上げ、倫理学の基本的な考え方を紹介すると同時に、現代の応用倫理学も考察する。

到達目標

B1105

1. 倫理学理論を用いて推論することができる
2. 現代社会が抱えている倫理的課題について関心を持ち、課題に向き合うことができる
3. 倫理的な方法論を用いて課題を分析することができる

成績評価方法

- ・ 知識：50%
- ・ 態度：10%
- ・ 技能：40%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート			○		○		40
宿題、授業外レポート	○	○		○			60
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	本講義の概要：倫理とはなにか？ 【予習】倫理とは何かについて疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
2)	倫理学とはどのような学問か？ 【予習】倫理学の概要について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
3)	義務論と功利主義 【予習】義務論と功利主義について疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
4)	義務論の考え方を学習する。 【予習】義務論について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
5)	功利主義の考え方を学習する。 【予習】功利主義について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
6)	義務論と功利主義の考え方を事例を通じて検討する。 【予習】事前に配布する資料をもとに、論点を整理する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
7)	正義論の考え方を学習する 【予習】正義論について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
8)	ケアの倫理学の考え方を学習する 【予習】ケアの倫理学について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
9)	現代社会における倫理的課題：誕生をめぐる倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
10)	現代社会における倫理的課題：誕生をめぐる倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
11)	現代社会における倫理的課題：死をめぐる倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
12)	現代社会における倫理的課題：科学技術による生への介入 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
13)	現代社会における倫理的課題：未来倫理学 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
14)	現代社会における倫理的課題：AI技術と倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
15)	総括：本講義のまとめ 【予習】倫理学を学ぶことの今日的意義について考え、要点を整理する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）	グループワーク、ディスカッションを行う。
授業外学習		
講義内で示した課題について事前に準備する。講義の内容を踏まえたレポート等の作成を行なう。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
講義内で適宜紹介する。		

課題に対するフィードバック
課題、レポートについてのフィードバックは基本的に講義内で行う。
備考

科目名	文化人類学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	安溪 遊地	関連する資格		

授業概要

本授業は基本的に遠隔で実施します。自由な時間に動画を視聴できるオンデマンド方式ですが、オンラインでの質疑応答の時間も設けます。毎回日本や世界のさまざまなフィールドで異文化との出会いを紹介しします。具体例としては、日本最南端の島々・アフリカ・スペイン・山口でのフィールドワーク（実務経験）に基づいて、世界に生きる同時代の人たちの暮らしを紹介しします。これまでの自分にとっての「当たり前」がまったく「変なもの」扱いされるといふ、文化人類学の長期フィールドワークの追体験です。動画をきちんと視聴して、それを踏まえて自分の独自の主張や提案を付け加える小レポート（本文300字程度）を提出することが毎回の課題です。近未来にあなたがケアの現場で遭遇するだろう「異文化を生きる人たち」との様々な出会いの模擬体験もします。それらを通して、自分とちがう文化だからといって排除しない「文化相対論」を体感していただきます。さまざまな具体例を通して、異文化に接するモラルと、世界を「ヘイト（憎しみ）」から解放しうる「実践的寛容」をしっかりと身につけてください。それは、ますますボーダーレスとなっていく医療や福祉のケアの現場で働くであろうあなたの問題解決能力を高めるでしょう。それだけでなく、日本を在留外国人などの少数者が安心して暮らせる場所にするためにもきっと役立つでしょう。

到達目標

B1220

1．世界の人々の暮らしや考え方は、日頃流されている情報よりもずっと多彩であることを知り、その中で異文化こそが自分を映す鏡であるという、文化人類学の基本的なものの見方を身に付けて、自らを世界に向けて開く準備ができている。
2．これからのケアの現場で必要となる、自文化へのこだわりを離れ「みんな違っていい」ことを基礎としたより高い視点に立つ心構えをもつ。
3．自分と異なるものの存在を認めない不寛容に対して、どのように対処すべきかという問いに、日常生活の中で具体的に答えられる力を身に付ける。

成績評価方法

毎回の小レポートの提出を通して、授業にかかわる質問や意見の表明等、授業への参加の程度を平常点とし、最終レポートの内容の評価と合算して、成績を評価する。具体的には、到達目標に対応して、1) 授業前と授業後で、異文化についての固定観念がどの程度変化したかの質的な変化を「気づき点」として評価する。2) 異文化を生活している少数者も平等に扱われるべきという建前にもかかわらず、現実には大きな格差や差別があるという世界の現状に対して、自分がどのように向きあうのかという課題を、どのくらい根拠をもって理解し、取り組む姿勢ができているかを「学び点」として評価する。3) 身の回りでおこっている「自文化こそが最高だ」という思い込みからの発言や行動に対して、いかに有効な働きかけをすることができるかを「表現点」として評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○	○		60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			30
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	ヒトの心・サル的心ー文化人類学と自然人類学 予習「ヒトと他の生物の違いは何でしょう？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
2)	フィールドワークの泣き笑いー文化人類学の方法 予習「身に覚えのないことで地元の人に非難されたら？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
3)	調査されるという迷惑ー宮本常一先生と調査地被害 予習「周防大島出身の宮本常一先生を知っていますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
4)	すべてのものにカミが宿っているーアニミズムの世界 予習「人間以外の生き物に声をかけることがありますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
5)	日本が単一民族国家ではない証拠ーアイヌ民族との出会い 予習「1990年の北海道庁のアンケートの結果アイヌ民族は何人？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
6)	「自分と違う人たちは」は苦手？ーDNAの旅とフリーハグ 予習「人間とチンパンジーのDNAは何パーセントくらい共通？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
7)	はじめての海外旅行ーコンゴ民主共和国の森の村で 予習「アフリカで村長から『養子になれ』と言われたら？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
8)	生物の多様性と文化の多様性を生かすーコンゴの民衆の智慧 予習「塩と砂糖だけを買う森の村で作れる料理の数は何種類？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
9)	お金が通用しない暮らしー贈り物・物々交換・地域通貨・仮想通貨 予習「突然お札が通用しなくなったら暮らしはどうなる？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
10)	女性として生きるのがつらい国ーコンゴ民主での性暴力など 予習「スマホに不可欠のタンタル鉱石とコンゴ内戦のつながりは？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
11)	今を生きる指針としての神話ーコンゴの森の人びとの語りから 予習「子どものころから聞いた神話の中で印象に残るものは？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
12)	民衆の記憶力ー昔むかしの漂流民の伝承を与那国島で聞く 予習「言い伝えは、何年前ぐらいまでさかのぼれるものでしょう？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
13)	生ハムとワインの国ーおいしい食べ物が異文化攻撃の武器にもなる 予習「サビエルと山口とのかかわりを知っていますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
14)	武器をもって闘ったお坊さんたちー幕末長州の真宗僧の活躍 予習「幕府軍が長州を包囲した四境戦争はいつ起こったか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
15)	みんなちがってみんな「？」ーたくさんの思いこみからの解放 予習「あなたなら上記の『？』にどんな言葉をいれますか？」 復習「最終レポートのテーマを考えよう」	授業の課題（2問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
授業外学習		
復習は、課題2問程度に回答することです（60分）。予習は、次回講義の用語をgooglescholarなどで検索し、関連のある文章に目を通してみましょう（30分）。最終回の予習は、「最終レポートのテーマを考えよう」です。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト、宮本常一・安溪遊地、2024『調査されるという迷惑——フィールドに出る前に読んでおく本（改訂増補版）』（みずのわ出版） 担当教員のブログ https://ankei.jp		

課題に対するフィードバック
毎回の質問には、次の回までにできるだけ答えるようにしていきます。また、すぐれた意見については、ご本人の同意の上でクラス全体でシェアします。
備考

科目名	人体の構造と機能			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	長坂 祐二	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

この授業では、正常な人体の構造と機能に関する基本的知識を学ぶ。私たちの身体の中にはさまざまな臓器があり、生命を維持するためのそれぞれ大切な機能を果たしている。それらの機能は、全体として体内の恒常性（ホメオスタシス）を保つためにお互いに協力し合って機能している。その調節が破綻し、恒常性が失われた状態が病気である。患者の病態をアセスメントし、適切な看護を実践するためには、正常な人体の構造と機能に関する知識が不可欠である。

前期は、細胞、組織、消化器、呼吸器、血液、循環器、泌尿器、内分泌、骨、筋について学ぶ。

医師としての実務経験をもとに、人体の構造と機能について授業を行う。

授業は対面で実施する。

到達目標

B1226y

1. 細胞の構造と機能を説明できる。
2. 組織の構造と機能を説明できる。
3. 主要な臓器の構造と機能を説明できる。

成績評価方法

2時限続きの授業を1回とし、前期は15回の授業を行う。

15回の授業のうち、3分の2以上（10回以上）出席しなければ期末試験の得点に関わらず不合格とする。

成績は出席状況、毎回実施する小テストの成績、期末試験の成績により総合評価を行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					25
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	1. 細胞 細胞小器官、核、細胞膜 【予習】教科書の該当部分を読んでもらうこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト1
2)	2. 組織 上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織 【予習】教科書の該当部分を読んでもらうこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト2
3)	3. 消化器（1）口腔、咽頭、食道、胃 【予習】教科書の該当部分を読んでもらうこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト3
4)	4. 消化器（2）小腸、大腸、腹膜、腸間膜、膵臓 【予習】教科書の該当部分を読んでもらうこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト4
5)	5. 消化器（3）肝臓・胆嚢 【予習】教科書の該当部分を読んでもらうこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト5
6)	6. 呼吸器 構造、呼吸運動、ガス交換 【予習】教科書の該当部分を読んでもらうこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト6
7)	7. 血液 赤血球、白血球、血小板、血漿 【予習】教科書の該当部分を読んでもらうこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト7
8)	8. 循環器（1）心臓の構造、心臓の拍出機能 【予習】教科書の該当部分を読んでもらうこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト8
9)	9. 循環器（2）血管、微小循環、リンパ、血圧 【予習】教科書の該当部分を読んでもらうこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト9
10)	10. 泌尿器（1）腎臓、尿管、膀胱 【予習】教科書の該当部分を読んでもらうこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト10
11)	11. 泌尿器（2）水・電解質の調節、酸塩基平衡の調節 【予習】教科書の該当部分を読んでもらうこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト11
12)	12. 内分泌（1）視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺 【予習】教科書の該当部分を読んでもらうこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト12
13)	13. 内分泌（2）副腎、性腺、膵臓、消化管ホルモン 【予習】教科書の該当部分を読んでもらうこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト13
14)	14. 骨と筋（1）骨と筋の構造 【予習】教科書の該当部分を読んでもらうこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト14
15)	15. 骨と筋（2）関節、主な骨格と筋 【予習】教科書の該当部分を読んでもらうこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト15
16)		
17)		
18)		
19)		
20)		

21)	
22)	
23)	
24)	
25)	
26)	
27)	
28)	
29)	
30)	

授業外学習

予習では、教科書の該当部分を読んで、授業で学習する内容を把握しておくこと
復習では、確認問題と発展問題の選択肢の○×の理由を自分の言葉で説明できるようにすること

テキスト、参考書、教材	関連する科目
教科書は、系統看護学講座「人体の構造と機能（１）解剖生理学」（医学書院）を指定する。 参考資料として、授業ノート、小テストの解答をグーグルクラスルームから配信する。クラスコード「6aki6hz」	微生物・免疫学、病理学、生化学・栄養学、疾病論

課題に対するフィードバック

小テストについて正解と解答のポイントを解説する。
前回の授業後の質問について、次回の授業の初めにフィードバックする。

備考

科目名	人体の構造と機能			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	1年	後期
担当者名	長坂 祐二	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

この授業では、正常な人体の構造と機能に関する基本的知識を学ぶ。私たちの身体の中にはさまざまな臓器があり、生命を維持するためのそれぞれ大切な機能を果たしている。それらの機能は、全体として体内の恒常性（ホメオスタシス）を保つためにお互いに協力し合って機能している。その調節が破綻し、恒常性が失われた状態が病気である。患者の病態をアセスメントし、適切な看護を実践するためには、正常な人体の構造と機能に関する知識が不可欠である。

後期は、神経系、感覚器、皮膚、生体防御機構、体温調節、男性生殖器、女性生殖器、成長と老化について学ぶ。

医師としての実務経験をもとに、人体の構造と機能について授業を行う。

授業は対面で行う。

到達目標

B1227y

1. 主要な臓器の構造と機能を説明できる。
2. 生体防御機構について説明できる。
3. 成長と老化について説明できる。

成績評価方法

15回の授業のうち、3分の2以上（10回以上）出席しなければ小テスト・期末試験の得点に関わらず不合格とする。

15回の授業のうち、3分の2以上（10回以上）出席しなければ期末試験の得点に関わらず不合格とする。

成績は出席状況、毎回実施する小テストの成績、期末試験の成績により総合評価を行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					25
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	16．神経系（１）ニューロン 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト1
2)	17．神経系（２）中枢神経系 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト2
3)	18．神経系（３）末梢神経系 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト3
4)	19．神経系（４）脳の高次機能 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト4
5)	20．感覚器（１）視覚器 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト5
6)	21．感覚器（２）その他の感覚器 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト6
7)	22．皮膚 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト7
8)	23．生体防御機構（１）自然免疫、獲得免疫 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト8
9)	24．生体防御機構（２）免疫応答、アレルギー 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト9
10)	25．体温調節 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト10
11)	26．男性生殖器 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト11
12)	27．女性生殖器（１）構造、性周期 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト12
13)	28．女性生殖器（２）減数分裂、受精、発生、胎盤 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト13
14)	29．小児期の成長 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト14
15)	30．老化 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト15
授業外学習		
予習では、教科書の該当部分を読んで、授業で学習する内容を把握しておくこと 復習では、小テストの選択肢の○×の理由を自分の言葉で説明できるようにすること		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
教科書は、系統看護学講座「人体の構造と機能（１）解剖生理学」（医学書院）を指定する。 参考資料として、授業ノート、小テストの解答をグーグルクラスルームから配信する。クラスコード「6aki6hz」		微生物・免疫学、病理学、生化学・栄養学、疾病論 ・

課題に対するフィードバック
小テストについて正解と解答のポイントを解説する。 前回の授業後の質問について、次回の授業の初めにフィードバックする。
備考

科目名	生涯発達心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	1年	後期
担当者名	三島 瑞穂	関連する資格	看護師、保健師、養護教諭	

授業概要

生涯発達心理学は、人の誕生から死までの発達過程を心理学的観点から捉えることを目的とした学問である。乳児期～高齢期までの各発達段階の心理的な特徴を学び、看護師としての人間理解に役立てる。将来、看護師として様々な年代の方と出会うことに先立ち、人を理解するための知識と技術として学んでもらいたい。

到達目標

ナンバリング(B1228)

- 1) 発達段階の違いを人間の多様性の一つと捉え、各段階の心理学的な特徴と発達課題を理解する。
- 2) 各発達段階において、どのような心理的なサポートが必要なのか、また発達を促進するのかを理解する。

成績評価方法

各回の授業の課題提出(50%)および最終レポート試験(50%)で評価する。各回の授業の課題は授業内で取り組む場合と宿題の場合がある。これらから総合的に評価し、科目評価が60点以上の場合に単位取得を認める。出欠は、課題提出をもって講義の参加とする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○	○		50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		25
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	生命の芽生えから新生児期まで【予習】20分：生まれてからこれまでの自分の成長をふり返る。予習キーワード：五感、胎児、親子のコミュニケーション【復習】20分：講義資料の振り返り	ミニレポート
2)	乳児期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：愛着、社会性の発達、言語発達【復習】20分：講義資料の振り返り	ミニレポート
3)	幼児期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：認知機能（知的能力）の発達、コミュニケーション能力の発達【復習】20分：講義資料の振り返り	ミニレポート
4)	児童期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：道徳性の発達、知的能力の発達【復習】20分：講義資料の振り返り	ミニレポート
5)	思春期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：思春期、自立【復習】20分：講義資料の振り返り	ミニレポート
6)	青年期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：アイデンティティ【復習】20分：講義資料の振り返り	ミニレポート
7)	成人期・中年期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：心理社会的危機【復習】20分：講義資料の振り返り	ミニレポート
8)	高齢期の発達【予習】20分：前回までの資料の復習。予習キーワード：認知機能の低下、人生の振り返り【復習】20分：講義資料の振り返り	ミニレポート
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
人間を理解する他の授業や実習においても、「今、学んでいる（関わっている）対象者の心理的側面や発達の側面はどうか」と関心をもつ。また、自分自身の成長のプロセスをふり返り、今後の予測を立てるなど、自分を通して発達について考える。身近な知人や家族の様子を観察し、その発達段階について考察する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：渡辺弥生(2021)「完全カラー図解 よくわかる発達心理学」ナツメ社		母性看護学、小児看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学、在宅看護論

課題に対するフィードバック
提出されたレポートは、コメントを付けて返却する。
備考

科目名	コミュニケーション論（カウンセリングを含む）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	柿並 洋子、小山 典子、榎本 俊哉	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格	

授業概要

保健・医療・福祉および学校保健の現場で言語・非言語コミュニケーション活動を展開するにあたって、コミュニケーション論を基本にして、他者との人間関係における自己表現方法を学ぶ。また、援助に必要なカウンセリング概念と基礎的な技術と理論的な背景についてロールプレイと講義を組み合わせる学習する。

到達目標

（B1209h）

- 1．保健・医療・福祉におけるコミュニケーションの重要性と必要性について説明できる。
- 2．学校現場におけるコミュニケーションの重要性と必要性について説明できる。
- 3．他者との人間関係を良好に保つための技術としての自己表現方法がわかる。
- 4．専門職としてかかわる中で必要なコミュニケーション技術とカウンセリングの基本がわかる。

成績評価方法

授業内レポート、グループワーク、最終レポート等で総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				40
宿題、授業外レポート	○	○	○				50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○		○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	コミュニケーションとは（柿並） 【予習】シラバスを確認する（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容の理解を深める（60分）	
2)	コミュニケーションの種類と機能（柿並） 【予習】前回の資料を読み直す（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容の理解を深める（60分）	グループワーク
3)	ディスコミュニケーションとは—かかわり合いから生じる誤解を解く（小山） 【予習】コミュニケーションのすれ違いはどこからくるのか考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	グループワーク レポート
4)	アサーション（小山） 【予習】アサーションについて調べる（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	グループワーク レポート
5)	アサーション（小山） 【予習】さまざまな感情と表出の仕方について考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	グループワーク レポート
6)	自己理解・対象理解（プロセスレコード）（柿並） 【予習】前回の資料を読み直す（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容の理解を深める（60分）	
7)	自己理解・対象理解（プロセスレコード）（柿並） 【予習】前回の資料を読み直す（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容の理解を深める（60分）	グループワーク
8)	カウンセリングの基本技法（柿並） 【予習】「傾聴」「受容」「共感」について考える（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容の理解を深める（60分）	グループワーク
9)	カウンセリングマインド（柿並） 【予習】前回の資料を読み直す（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容の理解を深める（60分）	グループワーク
10)	親子のコミュニケーション（児童期）（榎本） 【予習】学校や家庭（児童期）において求められるコミュニケーションについて考える（30分）【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	グループワーク レポート
11)	親子のコミュニケーション（思春期）（榎本） 【予習】学校や家庭（思春期）において求められるコミュニケーションについて考える（30分）【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
12)	ハラスメント - 加害者と被害者の心理 - （榎本） 【予習】ハラスメントの加害者と被害者の心理について考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	レポート
13)	ハラスメント - 加害者と被害者の心理 - （榎本） 【予習】ハラスメントの加害者と被害者への支援・関わり方について考える（30分） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）	グループワーク レポート
14)	看護とカウンセリング（小山） 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分） 【予習】児童・思春期の心身症にはどのようなものがあるか調べる（30分）	グループワーク レポート
15)	コミュニケーションにおける信頼関係、まとめ（柿並） 【予習】これまでの内容をふり返し、今後どのように生かすことができるか考える（30分）【復習】資料を読み直し、授業内容の理解を深める（60分）	
授業外学習		
地域社会の情報から特に医療・看護における心理学的なアプローチが必要と思われる事例について関心をもつ。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：必要に応じて資料を配布する。 参考書：看護臨床における話す・聴く—ケアを実らせるポイントとその実際，上野轟，医学書院、新装版 コミュニケーション，アーネスティン・ウィーデンバック／キャロライン・E・フォールズ 著 池田明子 訳，日本看護協会出版会，2007		身体コミュニケーション論 心理学

課題に対するフィードバック
レポートについては、質問・意見に対して全体にフィードバックする。必要に応じてコメントをつけて返却する。
備考

科目名	微生物・免疫学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	尾家 重治	関連する資格	薬剤師、医学博士、インフェクション コントロール ドクター	

授業概要

本授業は対面で実施する。
 感染症は迅速で的確な処置が求められる重要な疾患である。講義では、種々の感染症を起こす病原微生物について学び、それらの生物学的特性と感染症を起こす仕組みについて理解する。
 また、生体の感染防御機構である免疫の仕組みを学び、理解する。
 さらに、感染制御の理論と実践についての知識を習得する。

39年間にわたり、山口大学病院において感染対策委員やインフェクション コントロール ドクター（ICD）として院内感染防止活動の実務経験がある。また、医療安全委員会、褥瘡委員会および栄養サポートチームなどでの活動を通して感染対策の重要性を認識した。これらで得られた知識をもとに病原微生物や感染防止対策についての授業を行う。

到達目標

B1229y

1. 感染症をおこす病原微生物を知り、病原微生物と感染症との関係について記述できる。
2. 感染防御の仕組みを理解し、説明できる。
3. 感染予防の考え方と方法を学び、看護師として感染予防を実践するうえで留意すべきことを具体的に述べることができる。

成績評価方法

知識：定期テストにて知識の有無を問う試験（多肢選択、穴埋め、記述式など）を行う。

態度：レポートにて、感染症をおこす病原微生物や感染防御の仕組みについて関心を持ち、自ら課題を設定して調べる積極性 看護上留意すべき感染予防の考え方と方法について自ら課題を設定して意見を述べる主体性 などを評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				70
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	感染症の伝播経路：感染症の伝播経路、標準予防策、感染経路別予防策【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
2)	感染と感染症：感染の成立、免疫、ワクチン【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
3)	消毒と滅菌：消毒法、滅菌法、消毒薬の選び方【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	授業内レポート
4)	化学療法：抗菌スペクトル、抗菌薬、抗ウイルス薬、抗真菌薬【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
5)	食中毒：細菌性食中毒とその防止法【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
6)	細菌（3 - 1）グラム陽性菌：至適温度や至適pH、芽胞、コロニー、黄色ブドウ球菌、レンサ球菌属【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
7)	細菌（3 - 2）グラム陰性菌：腸管出血性大腸菌、赤痢菌、ペスト菌、コレラ菌、緑膿菌、レジオネラ菌など【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
8)	細菌（3 - 3）抗酸菌、スピロヘータ：結核菌、らい菌、梅毒トレポネーマ【予習】なし【復習】重要事項の自己学習（30分）	授業内レポート
9)	ウイルス（3 - 1）：痘そうウイルス、単純ヘルペスウイルス、水痘・帯状疱疹ウイルス、アデノウイルス、インフルエンザウイルスなど【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
10)	ウイルス（3 - 2）：麻疹ウイルス、ムンプスウイルス、ポリオウイルス、風疹ウイルス、ノロウイルスなど【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
11)	ウイルス（3 - 3）、プリオン：出血熱ウイルス、ヒト免疫不全ウイルス、肝炎ウイルス、プリオン【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	授業内レポート
12)	職業感染とその防止：新型コロナウイルス感染症、結核、B型肝炎、C型肝炎、HIV感染症【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
13)	真菌・原虫：アスペルギルス、白癬菌、カンジダ、クリプトコックス、トキソプラズマ原虫、マラリア原虫など【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
14)	免疫：自然免疫、獲得免疫、細胞性免疫、液性免疫、能動免疫、受動免疫、ワクチン【予習】なし【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	授業内レポート
15)	これまでの授業内容の振り返り：確認テストを行い、解説しながら重要点を振り返る【予習】なし【復習】確認テストをくり返し確認し、定期テストに備える（30分）	
授業外学習		
・授業中に板書する要点や配布する資料は重要事項ですので、授業後には必ず整理し、十分に自己学習を行ってください。レポート、定期試験で理解度や学習意欲を評価します。 ・授業で学んだ該当単元の詳細は、テキストを読んで確認するようにしてください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 「微生物学」第12版、医学書院 資料プリントの配布		医療安全管理学 公衆衛生看護学 災害看護学

課題に対するフィードバック
レポートは翌週にコメントをつけて返す
備考

科目名	病理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	崔 丹	関連する資格		

授業概要

生体の恒常性が乱れ、その結果生じてくる病理学的変化を理解する。循環器系、呼吸器系、消化器系、神経・運動器系など各臓器の病理、また、代謝、炎症、腫瘍などの病理、さらに老年期疾患の特徴と老化のメカニズム、放射線障害とその防御等について学ぶ。疾患の診断、治療方針の決定などに大きく関わる臨床病理学について説明できる。

到達目標

B1230

全身諸臓器の正常構造および働きを理解する。
病理学総論および循環器系、呼吸器系、消化器系、神経・運動器系などの各臓器の代表的疾患を理解し、説明できる。病理および臨床検査の基礎知識や意義を理解する。

成績評価方法

筆記試験により評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○		○		100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 病理学で学ぶこと、先天異常と遺伝子異常、病理診断の実際 病理学が医学や医療のなかでどのような役割を担っているかを理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)		宿題 授業外レポート
2) 細胞・組織の障害と修復 細胞傷害の原因と機序、組織の修復過程について学ぶ。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)		宿題 授業外レポート
3) 循環障害（１） 浮腫・充血・うっ血・出血・血栓症・梗塞などの局所循環障害を理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)		小テスト 授業内レポート
4) 循環障害（２）、代謝障害 全身性循環障害及び代謝障害について学習する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)		小テスト 授業内レポート
5) 炎症と免疫、移植と再生医療（１） 炎症と免疫について学び、アレルギーについて理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)		宿題 授業外レポート
6) 炎症と免疫、移植と再生医療（２）、感染症 移植と再生医療を学習する。感染症の一般的な特徴について理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)		宿題 授業外レポート
7) 腫瘍（１）：腫瘍とはなにか、悪性腫瘍と良性腫瘍の違いなにかおよびがん転移の過程とその経路について理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)		宿題 授業外レポート
8) 腫瘍（２）、老化と死：がんの発生原因や診断・治療についての最新情報を学ぶ。加齢に伴う身体の変化や死にまつわる様々な問題について正しく理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)		小テスト 授業内レポート
9) 循環器系の疾患 血管疾患と心疾患について、その定義と病態を理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)		宿題 授業外レポート
10) 血液・造血器系の疾患 リンパ節の代表的疾患や造血系疾患について学ぶ。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)		宿題 授業外レポート
11) 呼吸器系疾患 気管・気管支・肺の疾患の発症機序、診断について理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)		小テスト 授業内レポート
12) 消化器系疾患（１） 口腔・食道・胃の疾患について、その定義と病態を理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)		宿題 授業外レポート
13) 消化器系疾患（２）、内分泌系の疾患 肝・膵の疾患を学ぶ。内分泌系疾患の全身への影響の仕組みを理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)		宿題 授業外レポート
14) 腎・泌尿器系、生殖系及び乳腺の疾患、目・耳・皮膚の疾患 腎・泌尿器系、生殖系及び乳腺および目・耳・皮膚の疾患について学ぶ。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)		宿題 授業外レポート
15) 脳・神経・筋肉系の疾患、骨・関節系の疾患 脳・神経・筋肉系および骨・関節系のおもな疾患について理解する。 【予習】テキスト読んでおく(30分)【復習】授業内容をノートにまとめる(60分)		小テスト 授業内レポート
授業外学習		
毎授業後にはレポート提出すること		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
系統看護学講 専門基礎分野 病理学 疾病のなりたちと回復の促進 医学書院		

課題に対するフィードバック
小テスト，授業内レポートについては，翌週ポイントを解説する。
備考

科目名	薬理・薬剤学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	尾家 重治	関連する資格	薬剤師、医学博士、 インфекション コントロール クター	

授業概要

本授業は対面で実施する。
薬物が生体に及ぼす影響と薬理作用について学び、臨床で用いられる医薬品の効果と有害事象・副作用、その薬物の適用と投与方法について理解する。
個々の薬物の基礎知識、薬物の安全性と認可方法についても学ぶ。
各種疾患に対して用いられる薬物の適用方法（目的、作用・副作用、効果判定）、化学療法、輸血療法の具体例について学び、薬物療法と患者の生活の質について理解し、薬物療法における看護職の役割を理解する。

39年間にわたり、山口大学病院薬剤部において患者への服薬指導などの実務経験がある。また、感染対策、医療安全、栄養サポート、褥瘡対策、および抗がん薬レジメンなどの委員会での長年にわたる活動を通して薬物の使用上の留意点などを学んだ。これらで得られた知識をもとに薬物の適正使用について授業を行う。

到達目標

B1231y

1. 薬の効果発現までの過程を知り、個々の薬物の基礎知識を記述できる。
2. 薬の作用・副作用について理解し、医薬品の効果と有害作用・副作用、医薬品の適用と投与方法について説明できる。
3. 薬物療法における看護職の役割を理解し、看護上留意すべきことを具体的に述べるができる。

成績評価方法

知識：定期テスト、小テストにて知識の有無を問う試験（多肢選択、穴埋め、記述式など）を行う。

態度：小レポートにて、薬の作用・副作用、薬理効果について関心を持ち、自ら課題を設定して調べる積極性 看護上留意すべき薬理効果・副作用について自ら課題を設定して意見を述べる主体性 などを評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート		○	○				5
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	からだの中のくすりの動き 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
2)	薬の効果に影響する因子 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
3)	くすりのリスク 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
4)	抗感染症薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
5)	抗がん薬・免疫治療薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
6)	抗アレルギー薬・抗炎症薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	小テスト
7)	末梢神経に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
8)	中枢神経系に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
9)	心臓・血管系に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
10)	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
11)	代謝に作用する薬物 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
12)	皮膚科用薬・眼科用薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	小テスト
13)	消毒薬・救急用薬 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	
14)	クスリが出来るまで物質 【予習】テキストの該当単元を読んでくる（30分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（30分）	小レポート
15)	総括 【予習】今までの授業ノートを見直してくる（30分） 【復習】理解が不十分な所を中心に自己学習し、試験に備える（30分）	
授業外学習		
・授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してきてください。 ・授業中に板書する要点や配布する資料は重要事項ですので、授業後には必ず整理し、十分に自己学習を行ってください。小テスト、小レポート、定期試験で理解度や学習意欲を評価します。 ・授業で学んだ該当単元の詳細は、テキストを読んで確認するようにしてください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 「薬理学」 医学書院 2,310円 資料プリントの配布		微生物・免疫学 医療安全管理学

課題に対するフィードバック
・小テスト、小レポートは翌週にコメントをつけて返す ・小テストの解説を翌週に行う
備考

科目名	生化学・栄養学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	長坂 祐二	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

外界から食物が様々な栄養素として消化吸収される過程において、それがどのように変化し、どのように体内に取り込まれるのか、また、取り込まれた成分は、どのように体組成に組み込まれ、人の生命の維持に使われていくのかを理解する。また、疾病を持つ人への栄養管理についての基礎を学ぶ。

医師としての実務経験をもとに、生化学、栄養学について授業を行う。

授業は対面で行う。

到達目標

B2203y

- 1．食品に含まれる栄養素の種類と機能について説明できる。
- 2．栄養素の消化、吸収、代謝について説明できる。
- 3．栄養ケアマネジメントの実践方法について説明できる。
- 4．主な疾患の栄養療法の原則を説明できる。

成績評価方法

15回の授業のうち、3分の2以上（10回以上）出席しなければ期末試験の得点に関わらず不合格とする。
成績は出席状況、毎回実施する小テストの成績、期末試験の成績により総合評価を行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					25
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 1. 糖質の種類と機能 【予習】授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）		小テスト1
2) 2. 脂質の種類と機能 【予習】授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）		小テスト2
3) 3. 糖質と脂質の代謝 【予習】授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）		小テスト3
4) 4. アミノ酸・タンパク質の種類と機能 【予習】授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）		小テスト4
5) 5. アミノ酸・タンパク質の代謝 【予習】授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）		小テスト5
6) 6. エネルギー代謝 【予習】授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）		小テスト6
7) 7. ビタミン・ミネラルの種類と機能 【予習】授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）		小テスト7
8) 8. 核酸の代謝と遺伝子 【予習】授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）		小テスト8
9) 9. 栄養素の消化と吸収 【予習】授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）		小テスト9
10) 10. 食品群と栄養素、ライフステージと栄養、食事摂取基準 【予習】授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）		小テスト10
11) 11. 栄養ケアマネジメントと栄養アセスメント 【予習】授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）		小テスト11
12) 12. 栄養補給法 【予習】授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）		小テスト12
13) 13. 食事療法（1）肥満・メタボリックシンドローム 【予習】授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）		小テスト13
14) 14. 食事療法（2）糖尿病、脂質異常症、高血圧、高尿酸血症 【予習】授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）		小テスト14
15) 15. 食事療法（3）腎不全、肝硬変症 【予習】授業ノートの該当部分を読んでおくこと（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由を復習すること（30分）		小テスト15
授業外学習		
予習では、教科書の該当部分を読んで、授業で学習する内容を把握しておくこと 復習では、小テストの選択肢の○×の理由を自分の言葉で説明できるようにすること		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
授業ノート、小テストの解答をグーグルクラスルームから配信する。クラスコード「qkgadvb」	人体の構造と機能 ・ 、疾病論 ・	

課題に対するフィードバック
小テストについて正解と解答のポイントを解説する。 前回の授業後の質問について、次回の授業の初めにフィードバックする。
備考

科目名	疾病論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	長坂 祐二	関連する資格		

授業概要

疾病論では、主要な疾患の病態、症状、検査、診断、治療法の基本的知識を学ぶ。症状は、疾病を起こしている原因によって起こるものと、原因を排除し回復するための生体反応として起こるものがある。正常な人体の構造と機能の知識を基に、正常な状態から病態へ移行するしくみと回復過程について学ぶことは、患者の状態を正確に把握するための必須の知識である。また、医療の現場において検査が行われ、検査結果に基づいて診断し、診断に基づいて治療計画を立てるプロセスを理解しておくことは、適切な看護計画を立てる上で不可欠な知識である。

疾病論 では「臨床検査」「消化器疾患」「循環器疾患」「内分泌疾患」「代謝疾患」「腎・泌尿器疾患」「アレルギー疾患」「膠原病」「感染症」「運動器疾患」を取り扱う。

医師としての実務経験をもとに、疾病論について授業を行う。

授業は対面で行う。

到達目標

B2204

1. 主要な疾患の病態について説明できる。
2. 主要な疾患の症状について説明できる。
3. 主要な疾患の検査と診断について説明できる。
4. 主要な疾患の治療法について説明できる。

成績評価方法

2時限続きの授業を1回とし、15回の授業を行う。15回の授業のうち、3分の2以上（10回以上）出席しなければ期末試験の得点に関わらず不合格とする。

成績は出席状況、毎回実施する小テストの成績、期末試験の成績により総合評価を行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					25
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 1. 臨床検査の考え方 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト1
2) 2. 消化器疾患（1） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト2
3) 3. 消化器疾患（2） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト3
4) 4. 消化器疾患（3） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト4
5) 5. 循環器疾患（1） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト5
6) 6. 循環器疾患（2） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト6
7) 7. 循環器疾患（3） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト7
8) 8. 循環器疾患（4） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト8
9) 9. 内分泌疾患 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト9
10) 10. 代謝疾患 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト10
11) 11. 腎・泌尿器疾患（1） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト11
12) 12. 腎・泌尿器疾患（2） 【予習】教科書の該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト12
13) 13. アレルギー、膠原病 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト13
14) 14. 感染症 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト14
15) 15. 運動器疾患 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト15
16)	
17)	
18)	
19)	
20)	

21)	
22)	
23)	
24)	
25)	
26)	
27)	
28)	
29)	
30)	

授業外学習

予習では、教科書、授業ノートの該当部分を読んで、授業で学習する内容を把握しておくこと
復習では、確認問題と発展問題の選択肢の○×の理由を自分の言葉で説明できるようにすること

テキスト、参考書、教材	関連する科目
教科書は、医学書院系統看護学講座「消化器」「循環器」「内分泌・代謝」「腎・泌尿器」「アレルギー膠原病感染症」を指定する。 参考資料として、授業ノート、小テストの解答をグーグルクラスルームから配信する。クラスコード「5fs7mez」	人体の構造と機能、病理学、微生物・免疫学、疾病論、成人看護学、

課題に対するフィードバック

小テストについて正解と解答のポイントを解説する。
前回の授業後の質問について、次回の授業の初めにフィードバックする。

備考

科目名	疾病論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	長坂 祐二	関連する資格		

授業概要

疾病論では、主要な疾患の病態、症状、検査、診断、治療法の基本的知識を学ぶ。症状は、疾病を起こしている原因によって起こるものと、原因を排除し回復するための生体反応として起こるものがある。正常な人体の構造と機能の知識を基に、正常な状態から病態へ移行するしくみと回復過程について学ぶことは、患者の状態を正確に把握するための必須の知識である。また、医療の現場において検査が行われ、検査結果に基づいて診断し、診断に基づいて治療計画を立てるプロセスを理解しておくことは、適切な看護計画を立てる上で不可欠な知識である。

疾病論 では「呼吸疾患」「血液・造血器疾患」「脳・神経疾患」「外科総論」「女性生殖器疾患」「皮膚疾患」「眼疾患」「耳鼻咽喉疾患」「歯・口腔疾患」を取り扱う。

医師としての実務経験をもとに、疾病論について授業を行う。

授業は対面で行う。

到達目標

B2205

1. 主要な疾患の病態について説明できる。
2. 主要な疾患の症状について説明できる。
3. 主要な疾患の検査と診断について説明できる。
4. 主要な疾患の治療法について説明できる。

成績評価方法

2時限続きの授業を1回とし、15回の授業を行う。15回の授業のうち、3分の2以上（10回以上）出席しなければ期末試験の得点に関わらず不合格とする。

成績は出席状況、毎回実施する小テストの成績、期末試験の成績により総合評価を行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					25
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 16. 呼吸器疾患（1） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト1
2) 17. 呼吸器疾患（2） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト2
3) 18. 血液・造血器疾患（1） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト3
4) 19. 血液・造血器疾患（2） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト4
5) 20. 脳・神経疾患（1） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト5
6) 21. 脳・神経疾患（2） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト6
7) 22. 脳・神経疾患（3） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト7
8) 23. 外科総論（1） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト8
9) 24. 外科総論（2） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト9
10) 25. 外科総論（3） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト10
11) 26. 外科総論（4） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト11
12) 27. 外科総論（5） 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト12
13) 28. 女性生殖器疾患 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト13
14) 29. 皮膚疾患、眼疾患 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト14
15) 30. 耳鼻咽喉疾患、歯・口腔疾患 【予習】教科書・授業ノートの該当部分を読んでくること（30分） 【復習】小テストの選択肢の○×の理由について復習すること（30分）	小テスト15
16)	
17)	
18)	
19)	
20)	

21)	
22)	
23)	
24)	
25)	
26)	
27)	
28)	
29)	
30)	

授業外学習

予習では、教科書、授業ノートの該当部分を読んで、授業で学習する内容を把握しておくこと
復習では、確認問題と発展問題の選択肢の○×の理由を自分の言葉で説明できるようにすること

テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座「呼吸器」「血液・造血器」「脳・神経」「外科総論」「女性生殖器」(医学書院)を指定する。 参考資料として、授業ノート、小テストの解答をグーグルクラスルームから配信する。クラスコード「5fs7mez」	人体の構造と機能、病理学、微生物・免疫学、薬理・薬剤学、成人看護学、

課題に対するフィードバック

小テストについて正解と解答のポイントを解説する。
前回の授業後の質問について、次回の授業の初めにフィードバックする。

備考

科目名	公衆衛生学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	立川 美香、山本 博美、新開 奏恵、 金川 真理、柿並 洋子	関連する資格	保健師免許状 養護教諭一種免許状	

授業概要

公衆衛生とは集団の疾病予防や健康の維持・増進を目的とする科学・技術である。
 本授業により、公衆衛生の概念と基本的な内容を理解する。人々の健康が自然・社会・文化的環境と強くかかわっていることを認識し、さらに人々の生涯にわたる健康に関する諸制度の整備と保健活動を組織的に推進するものであることを習得する。
 （立川・山本・新開・金川・柿並は、保健師の資格を有し実務経験をもとに、公衆衛生における看護職の役割について授業を行う）

到達目標

- （B2206hy）
1. 人口変動や疾病構造の変化とその要因を説明できる。
 2. 我々の健康生活を支える様々な保健体制の現状を説明できる。
 3. 保健・医療・福祉の連携の現状と今後の課題について述べることができる。

成績評価方法

定期試験、宿題レポート提出、態度により評価する。

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				10
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 公衆衛生のエッセンス（立川美香） 看護学生が公衆衛生を学ぶ意味を理解する [予習]序章の公衆衛生を学ぶにあたってを読んでおく（60分）		
2) 公衆衛生の活動対象（立川美香） 公衆衛生の活動対象を理解する [予習]公衆衛生の活動対象を読んでおく（30分）[復習]復習と課題を行う（60分）		個人ワーク：1～3章までのゼミナール宿題
3) 公衆衛生のしくみ（立川美香） 公衆衛生における法律と政策・事業・計画を理解する [予習]政策・事業・計画を読んでおく（30分）[復習]復習と課題を行う（60分）		個人ワーク：1～3章までのゼミナール宿題
4) 集団の健康をとらえるための手法（立川美香） 集団の健康状態に影響を与える要因を見つける方法(疫学)を知る [予習]第4章を読んでおく（30分）[復習]復習と課題を行う（60分）		個人ワーク：4章のゼミナール宿題
5) 環境と健康（その1）（立川美香） 環境と健康、生活のつながりを知る [予習]第5章を読んでおく（30分）[復習]復習と課題を行う（60分）		個人ワーク：5章のゼミナール宿題
6) 環境と健康（その2）（立川美香） 環境保全の大切さを理解する [予習]第5章を読んでおく（30分）[復習]復習と課題を行う（60分）		個人ワーク：5章のゼミナール宿題
7) 感染症とその予防対策（山本博美） 感染症対策分野の対象となる人々、しくみ、活動を知る [予習]第6章を読んでおく（30分）[復習]復習と課題を行う（60分）		個人ワーク：6章のゼミナール宿題
8) 国際保健（金川真理） 国際保健活動の現場と国際保健の使命を知る [予習]第7章を読んでおく（30分）[復習]復習と課題を行う（60分）		個人ワーク：7章のゼミナール宿題
9) 地域保健 B母子保健（金川真理） 母子保健分野の対象となる人々、しくみ、活動を知る [予習]第8章の母子保健を読んでおく（30分）[復習]復習と課題を行う（60分）		個人ワーク：8章のゼミナール宿題
10) 地域保健 C成人保健（山本博美） 成人保健分野の対象となる人々、しくみ、活動を知る。 [予習]第8章の成人保健を読んでおく（30分）[復習]復習と課題を行う（60分）		個人ワーク：8章のゼミナール宿題
11) 地域保健 D高齢者保健 E精神保健（柿並洋子） 高齢者保健、精神保健分野の対象となる人々、しくみ、活動を知る [予習]第8章の高齢・精神を読んでおく（30分）[復習]復習と課題を行う（60分）		個人ワーク：8章のゼミナール宿題
12) 地域保健 F歯科保健 G.障害者保健・難病保健（立川美香） 歯科保健、難病支援、障害者支援分野の対象となる人々・しくみ・活動を知る [予習]第8章の障害・難病を読んでおく（30分）[復習]復習と課題を行う（60分）		個人ワーク：8章のゼミナール宿題
13) 学校と健康（新開奏恵） 学校保健の目的としくみを知る [予習]第9章を読んでおく（30分）[復習]復習と課題を行う（60分）		個人ワーク：9章のゼミナール宿題
14) 職場と健康（立川美香） 産業保健の目的としくみを知る [予習]第10章を読んでおく（30分）[復習]復習と課題を行う（60分）		個人ワーク：10章のゼミナール宿題
15) 健康危機管理・災害保健（山本博美） 日本の災害対策体制と災害時の支援を理解する [予習]第11章を読んでおく（30分）[復習]復習と課題を行う（60分）		
授業外学習		
授業後に、学習した章のゼミナールを行うこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
系統看護学講座-公衆衛生（医学書院）、 要点をまとめた資料は毎回配布する。		保健統計、疫学

課題に対するフィードバック
授業内でフィードバックを行う。
備考

科目名	疫学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	立川 美香、山本 博美、柿並 洋子	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格	

授業概要

疫学は、人間集団における健康状態とそれに関連する要因の分析を明らかにする学問である。
疫学の歴史、概念、役割、及び保健医療活動に必要な疫学指標、疫学研究のデザインと手法、疫学的データの解析の基礎的知識を修得する。また、保健統計調査のデータ、主な疾患の疫学についての知識を習得する。
(立川・山本・柿並は、保健師の実務経験をもとに、人間集団における健康状態や主な疾患の疫学についての授業を行う)

到達目標

- (B22027h)
1. 疫学の定義、歴史的事例を説明することができる。
 2. 有病率、罹患率等の保健統計指標の意義を理解する。
 3. 疫学研究の方法を習得する。
 4. 保健統計調査のデータを理解する。
 5. 主な疾患(感染症、生活習慣病、悪性新生物、精神疾患、難病)の疫学を説明することができる。

成績評価方法

定期試験、授業内課題、授業外レポート、態度で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート	○	○	○				10
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	疫学概念と歴史（立川美香） [予習]疫学概念と歴史を読んでおく(30分) [復習]疫学概念と歴史の理解を深める(30分)	
2)	疫学研究1（疫学研究の種類、標本抽出、記述研究）（外部講師） [予習]学研究の種類、標本抽出、記述研究を読んでおく(30分) [復習]学研究の種類、標本抽出、記述研究の理解を深める(30分)	グループワーク
3)	疫学研究2（横断研究、症例対照研究、コホート研究）（外部講師） [予習]断研究、症例対照研究、コホート研究(60分) [復習]断研究、症例対照研究、コホート研究の理解を深める(60分)	グループワーク
4)	疫学研究3（分析研究、相対危険と寄与危険、オッズ比）（外部講師） [予習]分析研究、相対危険と寄与危険、オッズ比を読んでおく(30分) [復習]分析研究、相対危険と寄与危険、オッズ比の理解を深める(60分)	グループワーク
5)	疫学研修4（介入研究、因果関係、バイアスと交絡因子）（外部講師） [予習]介入研究、因果関係、バイアスと交絡因子を読んでおく(30分) [復習]介入研究、因果関係、バイアスと交絡因子の理解を深める(30分)	グループワーク
6)	疫学頻度の指標（外部講師） [予習]疫学頻度の指標を読んでおく(30分) [復習]疫学頻度の指標の理解を深める(30分)	グループワーク
7)	スクリーニング（外部講師） [予習]スクリーニングを読んでおく(30分) [復習]スクリーニングの理解を深める(60分)	グループワーク
8)	保健統計調査1（人口動態・動態統計、年齢調整死亡率、死因統計）（立川美香） [予習]国民衛生の動向を読んでおく(30分) [復習]保健統計調査結果の理解を深める(60分)	グループワーク 小テスト
9)	保健統計調査2（婚姻と離婚、平均寿命、国民生活基礎調査、患者調査）（立川） [予習]国民衛生の動向を読んでおく(30分) [復習]保健統計調査結果の理解を深める(60分)	グループワーク 小テスト
10)	主な疾患の疫学1（感染症）（山本博美） [予習]感染症を読んでおく(30分) [復習]感染症の疫学の理解を深める(60分)	授業内課題
11)	主な病疾患の疫学2（悪性新生物）（山本博美） [予習]悪性新生物を読んでおく(30分) [復習]悪性新生物の疫学の理解を深める(60分)	授業内課題
12)	主な病疾患の疫学3（生活習慣病）（山本博美） [予習]生活習慣病を読んでおく(30分) [復習]生活習慣病の疫学の理解を深める(60分)	授業内課題
13)	主な病疾患の疫学4（精神疾患）（柿並洋子） [予習]精神疾患を読んでおく(30分) [復習]精神疾患の疫学の理解を深める(60分)	授業内課題
14)	主な病疾患の疫学5（難病）（立川美香） [予習]難病を読んでおく(30分) [復習]難病の疫学の理解を深める(60分)	授業内課題
15)	疫学と公衆衛生看護（立川美香） [予習]疫学と公衆衛生看護について理解を深める(30分) [復習]疫学と公衆衛生看護について考察する(30分)	
授業外学習		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
看護学生のための疫学・保健統計		公衆衛生学、保健統計

課題に対するフィードバック
グループワークの疫学演習については、翌週解答する。
備考

科目名	保健統計			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	三島 瑞穂	関連する資格	保健師、養護教諭	

授業概要

保健統計は集団の健康状態を把握するための手段である。保健師・看護師として保健医療福祉活動を実践する際に、様々な保健統計資料からの情報を収集する能力や調査・研究する能力が求められる。授業では健康指標ならびに人口に関する指標、データの特徴を記述する記述統計、調査データから母集団の性質を求める推測統計(推定, 検定)について学習する。授業では、Excelソフトを用いてデータをまとめる方法、分析する方法を実践的に学ぶ。授業はコンピュータ演習室を中心に、対面で行う。

到達目標

ナンバリング (B3201hy)

1. 保健医療分野で使用される統計の意義を理解する。
2. 保険統計の種類と定義・内容を述べることができる。
3. 母集団と標本、平均と標準偏差、相関など、推定と検定に関して述べるができる。
4. 統計ソフトを活用して統計量の算出、表・グラフの作成、検定を行うことができる。

成績評価方法

各回の授業内で取り組む課題70%、小課題30%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		
演習	○	○	○	○	○		
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	Excelソフトの機能に慣れる 予習：疫学の授業の復習（30分） 復習：授業の内容のおさらい（30分）	Excelを使ったワーク
2)	疫学指標 予習：疫学の授業の復習（30分） 復習：授業の内容のおさらい（30分）	小課題
3)	疫学研究における研究法 予習：高校で習った統計をおさらいする（30分） 復習：授業の内容のおさらい（20分）	小課題
4)	統計学の基本：変数、尺度、代表値、母集団と標本、母集団の推定 予習：疫学の授業で触れた検定を見直しておく（30分） 復習：疫学の内容との関連を考える（30分）	小課題
5)	統計学の基本：様々な検定の考え方 予習：疫学で使用されるデータの特徴を見直しておく（30分） 復習：検定の活用について検討する（15分）	小課題
6)	アンケート調査の基本 予習：疫学で実施されてきたアンケート調査を探しておく（30分） 復習：自分ならどのようなアンケート調査をするか考える（15分）	小課題
7)	統計学の基本：様々な検定の考え方 予習：疫学で使用されるデータの特徴を見直しておく（30分） 復習：検定の活用について検討する（15分）	Excelを使ったワーク
8)	Excel基本操作：数式の利用、関数の利用、ピボットテーブル 予習：疫学に関する授業で習った数式を確認する（30分） 復習：授業の内容のおさらい（30分）Excel	Excelを使ったワーク
9)	Excel基本操作：基本統計量の求め方、集計表の作り方、グラフの作成 予習：Excelの使い方の基本（20分） 復習：授業の内容のおさらい（30分）	Excelソフトの分析ツールに慣れる
10)	統計学の基本：確率分布、度数分布、ヒストグラム 予習：Excelの使い方の基本（10分） 復習：授業の内容のおさらい（30分）	Excelを使ったワーク
11)	適合度の検定、独立性の検定 予習：Excelの使い方の基本（10分） 復習：授業の内容のおさらい（30分）	Excelソフトの分析ツールで分析を行う
12)	相関分析 予習：Excelの使い方の基本（10分） 復習：授業の内容のおさらい（30分）	Excelソフトの分析ツールで分析を行う
13)	回帰分析 予習：統計用語の確認（20分） 復習：授業の内容のおさらい（30分）	Excelソフトの分析ツールで分析を行う
14)	平均値の差の検定（t検定） 予習：高校の統計学の基本（10分） 復習：授業の内容のおさらい（30分）	Excelソフトの分析ツールで分析を行う
15)	一元配置分散分析 予習：Excelの使い方の基本（10分） 復習：授業のおさらい（30分）	Excelソフトの分析ツールで分析を行う
授業外学習		
PCのExcelの操作に不慣れな場合は、練習をしておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
石村 友二郎（著）、今福 恵子（著）「Excelで学ぶ医療・看護のための統計入門」東京図書 浅野嘉延（著）「看護学生のための疫学・保健統計」南山堂		疫学、公衆衛生学、公衆衛生看護学

課題に対するフィードバック
授業内でPC操作や課題に対するフィードバックを行う。
備考

科目名	社会保障論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	2年	後期
担当者名	三輪 直之	関連する資格	保健師国家試験受験資格	

授業概要

社会保障とは、人が長い人生を生きていくうえで、個人の自助努力だけでは通常の生活を送ることができなくなるような社会的要因が生じたときに、安心した生活を保障するために創設された社会的制度である。本授業では、社会保障の概念を学び、これを基盤に、日本の代表的な社会保障の具体的制度について学習する。

到達目標

(B2208h)

社会保障の意味を理解する

社会保障の理念を理解する

日本の具体的な社会保障制度の概要を理解する

成績評価方法

定期試験および小レポートの内容で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	社会保障の概念と政策上の位置づけ、構成 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
2)	現代社会の特質と社会保障の動向 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
3)	医療保障(1)医療保障制度の構造と体系 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
4)	医療保障(2)国民医療費の動向 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
5)	医療保障(3)保険診療のしくみ、公費負担医療 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
6)	所得保障(1)所得保障の体系、社会手当 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
7)	所得保障(2)年金保険 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
8)	所得保障(3)労働保険（雇用保険、労働者災害補償保険） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分）	
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
○予習は、テキストの該当ページを読んでおくこと。はじめて見る語句については調べておくことが望ましい。別途、予習の内容を指示することがある。復習は、授業内容に関連する課題を提示するので翌週の授業までに小レポートを提出すること。小レポートはA4で1枚（12ポイント40行程度）にまとめること。小レポートの体裁については第1回の授業内で指示する。 ○学んだ内容が、国家試験にどのような形式で出題されるのか過去問題集などで確認すること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：系統看護学講座 専門基礎分野『健康支援と社会保障制度[3] 社会保障・社会福祉』 医学書院		社会福祉論

課題に対するフィードバック
提出された小レポートには、担当教員がコメントをつけて返却する。
備考

科目名	社会福祉論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	三輪 直之	関連する資格	保健師国家試験受験資格 看護師国家試験受験資格	

授業概要

現代社会の変動に伴い、社会問題や生活問題、福祉ニーズが多様化、複雑化、高度化し、これに対応して、社会福祉制度や実践の範囲が拡大した。このような状況のなかで、利用者の課題を解決していくうえで、社会福祉と他分野の社会サービスとの連携が必要となっている。特に、社会福祉と医療・看護との連携は、利用者の自立支援を進めていくうえで、重要な意義があると考えられる。本授業では、上記の社会福祉関連の実態を踏まえ、医療・看護分野における社会問題や生活問題を捉えながら、社会福祉の基本的知識を習得することを目的としている。

本授業は担当教員の社会福祉士としての社会福祉援助活動の実務経験に基づき、社会福祉諸制度を、制度概説のみならず活用実態の観点から講義する。

到達目標

(B2209h)
 社会福祉の必要性、実施体制、職種が説明できる。
 社会福祉に関する現状と課題について、法律、施策内容が説明できる。
 社会保障制度の内容について説明できる。
 多職種連携やチームケアについて説明できる。

成績評価方法

定期試験および小レポートの内容で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	社会福祉の概念と政策上の位置づけ 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
2)	現代社会の特質と社会福祉の動向 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
3)	社会福祉の歴史(1)イギリス救貧体制から福祉国家を経て新自由主義体制への移行 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
4)	社会福祉の歴史(2)日本の社会福祉の歴史的移行 明治期から終戦まで 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
5)	社会福祉の歴史(2)日本の社会福祉の歴史的移行 戦後の社会福祉施策 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（30分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
6)	社会福祉の分野とサービス(1)高齢者福祉 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
7)	社会福祉の分野とサービス(2)障害者福祉 障害者の状況と施策 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
8)	社会福祉の分野とサービス(2)障害者福祉 障害者福祉の理念 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
9)	社会福祉の分野とサービス(3)児童家庭福祉 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
10)	公的扶助 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
11)	介護福祉と介護保険(1)介護保障の制度移行 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
12)	介護福祉と介護保険(2)介護保険の概要と課題 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
13)	所得保障 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
14)	社会福祉実践の特質 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
15)	社会福祉実践と医療・看護との連携 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分）	
授業外学習		
○予習は、テキストの該当ページを読んでおくこと。はじめて見る語句については調べておくことが望ましい。別途、予習の内容を指示することがある。復習は、授業内容に関連する課題を提示するので翌週の授業までに小レポートを提出すること。小レポートはA4で1枚（12ポイント40行程度）にまとめること。小レポートの体裁については第1回の授業内で指示する。 ○学んだ内容が、看護師・保健師の国家試験にどのような形式で出題されるのか過去問題集などで確認すること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：系統看護学講座 専門基礎分野『健康支援と社会保障制度[3] 社会保障・社会福祉』 医学書院		社会保障論

課題に対するフィードバック
提出された小レポートには、担当教員がコメントをつけて返却する。
備考

科目名	看護学概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	佐藤 美幸、福岡 泰子	関連する資格	看護師国家試験受験資格 看護教諭一種免許状	

授業概要

看護の基本概念を踏まえて看護学の知識体系の思考過程と専門職としての看護の機能と役割について学修する。看護活動の対象である人間を、健康から死、成長・発達、ライフサイクル、生活主体としての側面から考察し、ニーズの充足と自立、適応に焦点を当てた看護活動について学ぶ。看護の基本は患者、クライアントと生活者である人の苦痛を軽減し、安全・安楽・自立を確保し、環境を整え安寧を保障することである。生命倫理（尊厳死、脳死、臓器移植、生殖医療など）・人間の尊厳や基本的人権を基盤に看護活動を展開することである。看護学の創造のため大学では看護学の歴史、患者の権利をめぐる歴史の変遷など温故知新を学修する。さらに、看護師のジレンマ、インフォームド・コンセントと意思決定、個人情報とプライバシーの保護、緩和医療、看護師の法的責任や倫理的行動規範など看護行為を支える看護倫理について概要を学び、次世代の看護システムを考察する基礎を創る。

（佐藤、福岡は看護師としての実務経験を基に看護の活動、生命倫理、看護師としての法的責任や倫理的行動規範などについて授業を行う）

到達目標

- （B1106y）
- 1．看護の主要概念である人間、健康、環境、看護について説明できる。
 - 2．看護とは何かを自らの言葉で説明できる
 - 3．保健医療提供システムにおける看護の役割と機能について説明できる。
 - 4．看護に関連する法と制度、看護実践の基準の概要を記述できる。
 - 5．看護学の歴史を学び、過去、現在、未来の方法論について考察できる。
 - 6．看護における倫理的問題について議論し、自らの考えをまとめることができる。
 - 7．看護提供の仕組みについて説明できる。
 - 8．国際看護活動、災害時における看護の役割を述べるができる。

成績評価方法

定期試験、レポートにより評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（%）
定期試験（中間・期末）	○	○	○	○	○		70
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			20
授業態度・授業参加度			○		○		
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 看護とは（１）看護師とは何をする職業か、看護の定義（佐藤）教科書p2-39 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（30分）		振り返りシート
2) 看護とは（２）看護の役割と機能、看護の継続性と連携（佐藤）教科書 p 39 - 74 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）		振り返りシート
3) 看護の対象の理解（佐藤）教科書 p 78 - 129 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）		振り返りシート
4) 看護の対象の理解（佐藤）教科書 p 78 - 129 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）		振り返りシート
5) 国民の健康状態と生活（佐藤）教科書 p 108 - 129 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）		振り返りシート
6) 看護の提供者 職業としての看護 看護職の資格・養成制度・就労状況（佐藤） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） p 138-162 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）		振り返りシート
7) 看護の提供者 継続教育とキャリア開発、養成制度の課題（佐藤）p 162-184 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）		振り返りシート
8) 看護における倫理 現代社会と倫理、患者の権利とIC、倫理規定（佐藤） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） p186-193 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）	【	振り返りシート
9) 看護における倫理 現代医療におけるさまざまな倫理的問題（佐藤） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） p193-198 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）		事前課題レポート グループワーク 振り返りシート
10) 看護における倫理 看護実践における倫理問題への取り組み（佐藤） p198-218 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）		振り返りシート
11) 看護提供の仕組み サービスとしての看護 看護サービス提供の場（福岡） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） p220-246 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）		振り返りシート
12) 看護提供の仕組み 看護をめぐる制度と政策（福岡） p247-271 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）		振り返りシート
13) 看護提供の仕組み 看護サービスの管理（福岡） p271-291 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）		振り返りシート
14) 看護提供の仕組み 看護提供の仕組み医療安全と医療の質保証（福岡） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） p292-304 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）		振り返りシート
15) 広がる看護の活動領域 国際化と看護、災害時における看護（金川、佐藤） 【予習】教科書の該当ページを読んでくる（30分） p306-351 【復習】教科書の該当ページを再度読み、整理する（60分）		レポート 振り返りシート
授業外学習		
教科書の指定されたページは必ず目を通しておく 課題が出された場合には、期限内に提出する		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
1. 茂野香おる他編：看護学概論 医学書院 2. ナイチンゲール：看護覚え書き 本当の看護とそうでない看護 日本看護協会出版会 3. ヴァージニア・ヘンダーソン著/湯楨ます他訳：看護の基本となるもの 日本看護協会出版会		基礎看護方法論 ・ 、基礎看護方法演習 ・ 、基礎看護学 実習 ・ 、臨床看護総論、看護理論、看護管理学、災害看護 論、国際看護論

課題に対するフィードバック
授業内GWとして、シェアするとともに全体でコメントする。
備考

科目名	看護理論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	1年	後期
担当者名	佐藤 美幸	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

看護学の基盤としての看護理論を学ぶことにより、「看護とは何か」を学問的・科学的に捉え、看護理論を実践や研究に結び付けていくことの意義を認識する。
看護理論家の理論を知る上で必要な概念や理論の構造について学習したうえで看護の諸理論を学び、その理論の特徴を的確に捉え、さらに看護実践や研究の中でどのように活用されているかを学ぶ。

到達目標

(B1301)

看護理論とはどのようなものかを説明できる
理論の範囲とその適用について述べることができる
看護の主要概念について述べるができる
主な看護理論の概要と特徴を説明できる
看護理論と看護実践、看護過程、看護研究の関係を述べるができる
看護理論の看護過程への応用を説明できる
看護とは何かについての自分の考えを言える

成績評価方法

レポート提出 2回
最終試験

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○						60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			40
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	理論とは何か、看護理論とは何か、なぜ看護理論が必要か 【予習】 シラバスを読んでくる（10分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
2)	看護理論開発の歴史、看護モデルと医学モデル 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
3)	理論の機能と構成要素、基本的な特徴、看護理論の範囲 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
4)	看護理論の共通要素（4大概念） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	グループワーク
5)	看護理論の評価、看護理論の有効性と限界 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
6)	看護の諸理論1（ナイチンゲール、ヘンダーソン） 【予習】 事前課題に取り組む（80分） 【復習】 グループワークを振り返る（10分）	グループワーク 事前課題
7)	看護の諸理論2（ナイチンゲール、ヘンダーソン） 【予習】 事前課題に取り組む（80分） 【復習】 グループワークを振り返る（10分）	グループワーク 事前課題
8)	看護の諸理論3（オランダ、アブデラ、ウィーデンバック、ワトソン） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
9)	看護の諸理論4（ロイ、オレム） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
10)	看護の諸理論5（ペプロウ、トラバース） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
11)	看護の諸理論6（ロジャーズ、キング、ベナ） 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
12)	看護理論と看護研究、看護実践、看護過程の関係と応用1 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
13)	看護理論と看護研究、看護実践、看護過程の関係と応用2 【予習】 資料の該当ページを読む（30分） 【復習】 資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）	
14)	看護とは何か1（看護の力） 【予習】 事前課題に取り組む（90分） 【復習】 グループワークを振り返る（10分）	グループワーク 事前課題
15)	看護とは何か2（看護の力） 【予習】 事前課題に取り組む（90分） 【復習】 グループワークを振り返る（10分）	グループワーク 事前課題
授業外学習		
事前配布のプリントはすべて目を通して授業に臨むこと		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
プリント配布 看護の力：川嶋みどり著、岩波新書		看護学概論

課題に対するフィードバック
課題についてのグループワークを行い、学生間で意見交換・シェアをする。 授業内でコメントすることでフィードバックを行う。
備考

科目名	基礎看護援助論（共通看護技術）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	1年	前期
担当者名	磯村 由美、福岡 泰子、金子 真弓	関連する資格	看護師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状	

授業概要

< 授業の目標 >

看護援助に共通するコミュニケーション技術、生活環境調整技術、感染防止の基礎技術、活動・休息援助技術、苦痛の緩和・安楽確保の技術、ヘルスアセスメントの技術について学ぶ。看護技術の科学的思考と安全・安楽・自立の視点を踏まえ、基本的な看護技術の修得を図る。

< 授業形態 >

講義・演習

磯村由美は、看護師としての実務経験をもとに、共通看護援助技術の基礎知識について講義で説明し、演習では科学的思考に基づいた正確な共通看護援助技術習得のための実技指導を行う。

福岡泰子・金子真弓は、看護師としての実務経験をもとに、演習で科学的思考に基づいた正確な共通看護援助技術習得のための実技指導を行う。

到達目標

（B1401y）

1. 看護における看護技術の重要性を述べることができる。
2. 看護技術を適切に実践する必要性について述べるができる。
3. 看護技術を安全・安楽・自立の視点から考える力を身につけることができる。
4. 看護の観察およびコミュニケーションの意義と目的を述べるができる。
5. 感染防止対策の基礎知識に基づき標準予防策を正確に実施できる。
6. 環境調整の基礎知識について述べることができる。
7. 活動・休息援助技術の基礎知識について述べるができる。
8. 苦痛の緩和・安楽確保の技術の基礎知識について述べることができる。
9. ボディメカニクスの原理と基礎知識に基づきベッドメイキング、体位変換・ポジショニングの援助が実施できる。
10. バイタルサイン測定の意義と測定方法について述べるができる。
11. バイタルサイン測定および意識の観察が正確に実施できる。
12. 計測の意義と目的を理解し、正確な身体計測が実施できる。

成績評価方法

定期（筆記）試験、小テスト、技術試験、課題レポートにより総合的に評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（%）
定期試験（中間・期末）	○						60
小テスト、授業内レポート	○	○					5
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			5
授業態度・授業参加度		○	○	○	○		
プレゼンテーション		○	○	○	○		
グループワーク		○	○	○	○		
演習	○	○	○	○	○		30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 基礎看護技術の基盤、コミュニケーション（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】コミュニケーションの意義・構成要素と過程（30分） 担当：磯村由美		
2) 環境調整技術、感染防止の技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】病室・病床環境の整備、感染標準予防策（30分） 担当：磯村由美		
3) 活動・休息援助技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】体位、体位変換とボディメカニクスの活用（30分） 担当：磯村由美		
4) 苦痛の緩和・安楽確保の技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】体位保持（ポジショニング）、電法（30分） 担当：磯村由美		
5) 環境調整技術（演習） 【予習】事前レポート（病室・病床の環境アセスメント、環境整備）（15分） 【復習】事後レポート（15分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓		グループワーク
6) 標準予防策（演習） 【予習】事前レポート（手指衛生、個人防護用具）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓		グループワーク
7) 環境調整技術（演習） 【予習】事前レポート（ベッドメイキング、リネン交換）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓		グループワーク
8) 7) に同じ		グループワーク
9) 活動・休息援助技術（演習） 【予習】事前レポート（体位変換、ボディメカニクス）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓		グループワーク
10) 苦痛の緩和・安楽確保の技術（演習） 【予習】事前レポート（体位保持：ポジショニング）（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓		グループワーク
11) ヘルスアセスメント バイタルサイン測定（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】バイタルサイン測定の基礎知識と測定方法（30分） 担当：磯村由美		
12) ヘルスアセスメント 計測（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】計測の実際（身長・体重・皮下脂肪・腹囲）（30分） 担当：磯村由美		小テスト
13) ヘルスアセスメント バイタルサイン測定（演習） 【予習】事前レポート（体温、脈拍、呼吸、血圧、意識観察）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓		グループワーク
14) 13) に同じ		グループワーク
15) ヘルスアセスメント 身体計測（演習） 【予習】事前レポート（身長・体重・皮下脂肪・腹囲）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓		グループワーク
授業外学習		
看護技術を身につけることは看護者の責務であるが、授業時間内に経験しただけで自分の技にすることは困難であるため、クラスメイトと協力しあい、個々の能力を高める努力をすること。 演習前の課題レポートでは、講義や動画視聴により知識をまとめ、各看護技術が実践できるようにイメージ化する。 演習後の課題レポートでは、看護技術の実施内容・評価を記載し、自己の課題を明らかにすることで、技術修得につなげる。 演習では専門職としての自覚を持ち、身だしなみを整えて臨むこと。 演習後に国家試験問題を解き、学修への意欲をもつようにする。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
1. 茂野香おる：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 基礎看護学2 医学書院 2. 任 和子：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 基礎看護学3 医学書院 3. 竹尾恵子監修：看護技術プラクティス第4版 学研メディカル秀潤社	看護学概論 基礎看護援助論 ・ ・ 臨床看護総論 基礎看護学実習 基礎看護学実習	

課題に対するフィードバック
事前・事後課題レポートはコメントを入れて返却する。
備考
中間試験として、バイタルサイン測定の実技試験を行う。

科目名	基礎看護援助論（生活援助技術）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	磯村 由美、福岡 泰子、金子 真弓	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

< 授業の目標 >

人の日常生活上の基本的欲求である食事、排泄、活動・休息、清潔への援助技術について、講義および演習をとおして学ぶ。演習では、患者役、看護師役を体験するなかで、相手の立場に立ち、相手を思いやる態度を養う。看護技術の科学的思考と安全・安楽・自立の視点を踏まえて、看護技術の修得を図る。

< 授業形態 >

講義・演習

磯村由美は、看護師としての実務経験をもとに、生活援助技術の基礎知識について講義で説明し、演習では科学的思考に基づいた正確な生活援助技術習得のための実技指導を行う。

福岡泰子・金子真弓は、看護師としての実務経験をもとに、演習で科学的思考に基づいた正確な生活援助技術習得のための実技指導を行う。

到達目標

（B1402）

1. 看護における日常生活援助の意義について述べることができる。
2. 基礎的な生活援助技術が科学的根拠に基づき、安全・安楽、自立を目指して、かつ効率的に実施できる。
3. 活動と休息に関する基礎知識について述べることができる。
4. 移動・移乗・移送の援助技術を修得できる。
5. 食事と栄養に関する基礎知識について述べることができる。
6. 食事摂取の援助方法、口腔ケアの基本技術を修得できる。
7. 排泄援助の基礎知識について述べることができる。
8. 排泄行動をとれない人への援助技術を修得できる。
9. 清潔援助の基礎知識について述べることができる。
10. 清潔を維持するための援助技術を修得できる。
11. 活動・休息、食事、排泄、清潔援助技術の実施前、実施中、実施後のアセスメントができる。
12. 看護技術を支える態度を養うことができる。
13. 学修の成果について、グループで意見交換することができる。

成績評価方法

技術試験、定期（筆記）試験、課題レポート、小テスト、演習での姿勢や態度（身だしなみ、言葉遣い）で総合的に評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（%）
定期試験（中間・期末）	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					5
宿題、授業外レポート	○	○					5
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		
演習	○	○	○	○	○		35
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 日常生活援助技術とは、活動・休息援助技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】車イス/ストレッチャーでの移動・移乗・移送（30分） 担当：礪村由美	
2) 食事援助技術（講義） 【予習】基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】食事援助の基礎知識、食事介助、口腔ケア（30分） 担当：礪村由美	
3) 活動・休息援助技術（演習） 【予習】事前レポート（車イス/ストレッチャーでの移動）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
4) 3) に同じ	グループワーク
5) 食事援助技術（演習） 【予習】事前レポート（食事介助、口腔ケア）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
6) 5) に同じ	グループワーク
7) 清潔・衣生活の援助技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】清潔援助の基礎知識、入浴、シャワー浴（30分） 担当：礪村由美	
8) 清潔・衣生活の援助技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】全身清拭、寝衣交換（30分） 担当：礪村由美	
9) 清潔・衣生活の援助技術（演習） 【予習】事前レポート（全身清拭、寝衣交換）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
10) 9) に同じ	グループワーク
11) 排泄援助技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】自然排尿/排便の基礎知識、排泄援助、陰部洗浄（30分） 担当：礪村由美	
12) 排泄援助技術（演習） 【予習】事前レポート（排泄援助：尿器/便器、おむつ交換）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
13) 12) に同じ	グループワーク
14) 排泄・清潔援助技術（演習） 【予習】事前レポート（陰部洗浄）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
15) 14) に同じ	グループワーク
16) 排泄・清潔援助技術（演習） 【予習】事前レポート（全身清拭・寝衣交換、陰部洗浄）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
17) 清潔・衣生活の援助技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】洗髪、手浴、足浴（30分） 担当：礪村由美	
18) 清潔・衣生活の援助技術（講義） 【予習】教科書 基礎看護技術 該当頁を読んでおく（30分） 【復習】整容、洗面、生活援助技術のまとめ（30分） 担当：礪村由美	小テスト
19) 清潔・衣生活の援助技術（演習） 【予習】事前レポート（洗髪、整容）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：礪村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
20) 19) に同じ	グループワーク

21) 清潔・衣生活の援助技術（演習） 【予習】事前レポート（手浴、足浴）、動画視聴（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
22) 21)と同じ	グループワーク
23) 日常生活援助技術のまとめ（演習） 【予習】事前レポート（30分） 【復習】事後レポート（30分） 担当：磯村由美、福岡泰子、金子真弓	グループワーク
24)	
25)	
26)	
27)	
28)	
29)	
30)	

授業外学習

看護技術を身につけることは看護者の責務であり、クラスメイトと協力しあい、個々の能力を高める努力をすること。
 事前・事後の課題レポートは、人体の構造と機能などの学修と並行する。専門用語などが分からない時は調べる。
 演習前の課題レポートでは、講義や動画視聴による知識をまとめ、各看護技術が実践できるようにイメージ化する。
 演習後の課題レポートでは、看護技術の実施内容・評価を記載し、自己の課題を明らかにすることで、技術修得につなげる。
 演習では専門職としての自覚を持ち、身だしなみを整えて臨むこと。
 演習後に国家試験問題を解き、学修への意欲をもつようにする。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
1. 任 和子他：系統看護学講座 基礎看護技術 基礎看護学 3 医学書院 2. 茂野香る他：系統看護学講座 基礎看護技術 基礎看護学 2 医学書院 3. 竹尾恵子監修：看護技術プラクティス第4版 学研メディカル秀潤社	看護学概論 基礎看護援助論 ・ ・ 臨床看護総論 基礎看護学実習 基礎看護学実習

課題に対するフィードバック

事前・事後課題レポートはコメントを入れて返却する。

備考

中間試験として、清拭・寝衣交換、陰部洗浄の実技試験を行う。

科目名	基礎看護援助論（診療補助技術）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	2年	前期
担当者名	金子 真弓、福岡 泰子、磯村 由美	関連する資格	看護師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状	

授業概要

診療の補助技術として、安全確保の技術、感染防止の技術、創傷管理の技術、栄養摂取の援助技術、診察・検査・処置の介助、症状・生体機能管理技術について学ぶ。対象の身体に侵襲を伴う看護技術について、科学的思考に基づいた安全で安楽な技術修得を図る。

金子真弓は、看護師としての実務経験をもとに安全で正確な診療補助技術を行うための知識を講義し、さらに演習における技術指導を行う。

福岡泰子・磯村由美は、本科目の演習において、看護師としての実務経験をもとに安全で正確な診療補助技術を行うための技術指導を行う。

到達目標

- （B2401y）
1. 感染防止の基本技術について説明できる。
 2. 起こりやすい医療事故と安全確保のための方法を説明できる。
 3. 創傷管理の基礎知識を学び、創傷管理および褥瘡予防の援助を説明できる。
 4. 無菌操作の基礎知識を学び正しく実施できる。
 5. 非経口的栄養摂取の援助の実際を学ぶ。
 6. 診察・検査・処置時の看護者の役割と援助方法を説明できる。
 7. 生体情報のモニタリングの方法と援助の実際について説明できる。
 8. 診療の補助技術における対象者の安全確保、安楽への配慮、対象者を尊重する倫理的行動がとれる。

成績評価方法

中間試験、期末定期試験、小テスト、授業への意欲・態度より総合的に評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○	○		55
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		30
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○		
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	授業ガイダンス、感染防止の技術 講義（感染管理・針刺し防止策、無菌操作）【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分） 【復習】事後レポート（感染経路別予防策、無菌操作）（30分）担当：金子真弓	
2)	安全確保の技術 講義（誤薬・チューブ類の事故・誤認・転倒転落防止、薬剤・放射線曝露防止）【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分） 【復習】事後レポート（チューブ類の事故防止）（30分）担当：金子真弓	
3)	創傷管理技術 講義（創傷管理の基礎知識、創傷処置、褥瘡予防） 【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分） 【復習】事後レポート（創傷治癒過程と看護）（30分）担当：金子真弓	
4)	感染防止技術の実際 演習（滅菌手袋着脱、ガウンテクニック、包帯法） 【予習】動画視聴・事前レポート（滅菌手袋着脱、ガウンテクニック）（30分） 【復習】演習事後レポート（30分）（金子真弓、福岡泰子、磯村由美）	グループワーク
5)	4) に同じ	グループワーク
6)	診察・検査・処置における技術（1） 講義（診察・検査・処置の介助、画像検査、心電図検査）【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分） 【復習】事後レポート（心電図検査）（30分）担当：金子真弓	小テスト
7)	感染防止技術の実際 演習（無菌操作、創傷処置） 【予習】動画視聴・事前レポート（無菌操作、創傷処置）（30分） 【復習】演習事後レポート（30分）（金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員	グループワーク
8)	7) に同じ	グループワーク
9)	診察・検査・処置における技術（2） 講義（肺機能検査、核医学検査、穿刺） 【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分） 【復習】事後レポート（胸腔穿刺・腰椎穿刺・骨髄穿刺）（30分）担当：金子真弓	
10)	症状・生体機能管理技術 講義（検体検査、生体情報のモニタリング） 【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分） 【復習】事後レポート（検査と評価）（30分）担当：金子真弓	小テスト
11)	食事援助技術 講義（非経口的栄養摂取の援助：経管栄養法、中心静脈栄養法） 【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分） 【復習】事後レポート（中心静脈栄養法）（30分）担当：金子真弓	
12)	検査・処置、症状・生体機能管理技術の実際 演習（穿刺、心電図、フィジカルアセスメント）【予習】動画視聴・事前レポート（心電図）（30分）【復習】事後レポート（30分）（金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員1名）	グループワーク
13)	12) に同じ	グループワーク
14)	食事援助技術の実際 演習（経管栄養法） 【予習】動画視聴・事前レポート（経管栄養法）（30分） 【復習】事後レポート（30分）（金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員1名）	グループワーク
15)	14) に同じ	グループワーク
授業外学習		
授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してきて下さい。 演習では、事前課題レポートと事後課題レポートがあります。演習前後の学習を丁寧に行うことで演習の達成度が上がります。 事後レポートは、出来た事、出来なかった事、その理由と改善点を記述してください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
茂野香おる：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学（2） 基礎看護技術 第18版 医学書院 任 和子：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学（3） 基礎看護技術 第18版 医学書院 竹尾恵子：看護技術プラクティス第4版 学研		看護学概論、基礎看護援助論 ・ 、人体の構造と機能、薬理・薬剤学、基礎看護学実習（看護導入実習）他

課題に対するフィードバック
事前・事後レポートへのコメントを入れて返却する。
備考
中間試験として、滅菌手袋着脱の実技試験を行う。 本科目の単位修得が基礎看護学実習（看護展開実習）の履修要件となる。

科目名	基礎看護援助論（診療補助技術）						
授業形態	履修形態		単位数		年次	開講期	
演習	必修		1		2年	前期	
担当者名	金子 真弓、福岡 泰子、磯村 由美			関連する資格	看護師国家試験受験資格		
授業概要 身体に侵襲を伴う診療補助技術について、講義および演習をとおして学ぶ。患者・看護師の安全を確保するために必要な知識、確認行動や観察の仕方、実施の技術を学習する。また、演習での患者役の体験やグループワークをとおして、検査・治療を受ける患者の心理面や生活への影響を考え、看護師の役割を学ぶ。主に、無菌操作を要する導尿・静脈血採血・注射法の技術を繰り返し練習し、技術修得を図る。 金子真弓は、看護師としての実務経験をもとに安全で正確な診療補助技術を行うための知識を講義し、さらに演習における技術指導を行う。 福岡泰子・磯村由美は、本科目の演習において、看護師としての実務経験をもとに安全で正確な診療補助技術を行うための技術指導を行う。							
到達目標 （B2402） 1.身体侵襲を伴う診療補助技術の方法・留意点・観察内容について、人体の構造と機能をふまえて説明できる。 2.身体侵襲を伴う診療補助技術を行ううえでの事故防止の方法を説明できる。 3.身体侵襲を伴う看護技術を行う際の患者の心理面・生活への影響と援助を説明できる。 4.モデルを用いて、導尿・浣腸・酸素療法・吸引・静脈血採血・注射法の実施ができる。 5.看護における学習支援の方法を説明できる。					成績評価方法 実技試験、筆記試験、事前・事後レポート、小テスト、授業参加度より総合的に評価します。		
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○	○		55
小テスト、授業内レポート	○	○	○		○		10
宿題、授業外レポート	○	○	○		○		30
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) ガイダンス、排泄の援助技術 講義（導尿・浣腸・摘便） 【予習】泌尿器系の構造と機能の復習・基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分） 【復習】事後レポート（排泄援助）（30分）担当：金子真弓	
2) 呼吸を整える技術 講義（酸素療法、吸入、排痰ケア、吸引） 【予習】呼吸器系の構造と機能復習、基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分） 【復習】酸素療法中の生活と管理、酸素ボンベの残量計算(30分)担当：金子真弓	
3) 症状・生体機能管理技術 与薬の技術 講義（採血、与薬の基礎知識、経口与薬、外用薬） 【予習】血液の成分と機能の復習、基礎看護技術 該当箇所の熟読(30分) 【復習】採血・与薬における事故防止策（30分） 担当：金子真弓	
4) 与薬の技術 講義、（注射の基礎知識、皮内注射、皮下注射、筋肉内注射） 【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分） 【復習】皮内・皮下・筋肉内注射における事故防止（30分） 担当：金子真弓	小テスト
5) 排泄の援助技術 演習（一時的導尿） 【予習】動画視聴・事前レポート（一時的導尿の方法と観察）（30分）【復習】演習事後レポート（30分） 担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員2名	グループワーク
6) 5)に同じ	グループワーク
7) 排泄の援助技術 演習（浣腸） 【予習】動画視聴・事前レポート（グリセリン浣腸）（30分） 【復習】演習事後レポート（30分）担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美	グループワーク
8) 排泄の援助技術 演習（持続的導尿） 【予習】動画視聴・事前レポート（持続的導尿）（30分）【復習】演習事後レポート（30分）担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員1名	グループワーク
9) 8)に同じ	グループワーク
10) 与薬の技術 講義（静脈内注射、点滴静脈内注射、側管注射） 【予習】点滴静脈内注射部位の構造、基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分） 【復習】点滴静脈内注射における生活への影響と看護（30分） 担当：金子真弓	
11) 呼吸を整える技術 演習（酸素療法、吸入、吸引）【予習】動画視聴・事前レポート（酸素療法・吸入・吸引の方法と観察）（30分）【復習】演習事後レポート（30分）担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員1名	グループワーク
12) 12)に同じ	グループワーク
13) 与薬の技術 講義（輸血管理） 【予習】血液の成分と機能、基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分） 【復習】輸血用血液製剤の管理と副作用（30分） 担当：金子真弓	
14) 救命救急処置技術・死の看取りの援助 講義 【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分） 【復習】看取りの援助レポート（30分） 担当：金子真弓	
15) 看護における学習支援 講義 【予習】基礎看護技術 該当箇所の熟読（30分） 【復習】事例を用いた学習支援レポート（30分） 担当：金子真弓	小テスト
16) 症状・生体機能管理技術 演習（静脈血採血演習）【予習】動画視聴・事前レポート（静脈血採血の方法と観察）（30分）【復習】演習事後レポート（30分） 担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員2名	グループワーク
17) 16)に同じ	グループワーク
18) 与薬の技術 演習（皮下注射・筋肉内注射）【予習】動画視聴・事前レポート（皮下・筋肉内注射の方法と観察）（30分）【復習】演習事後レポート（30分） 担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員2名	グループワーク
19) 18)に同じ	グループワーク
20) 与薬の技術 演習（点滴静脈内注射）【予習】動画視聴・事前レポート（点滴静脈内注射の方法と観察）（30分）【復習】演習事後レポート（30分） 担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員2名	グループワーク

21) 20) に同じ	グループワーク
22) 与薬の技術演習（静脈内注射・側管注射）【予習】事前レポート（静脈内注射の方法と観察）（30分）【復習】事後レポート（30分） 担当：金子真弓、福岡泰子、磯村由美、学内教員2名	グループワーク
23) 22) に同じ	グループワーク
24)	
25)	
26)	
27)	
28)	
29)	
30)	

授業外学習

各演習項目について、事前課題、演習事後レポートがある。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
任和子：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学（3）基礎看護技術 第18版,医学書院 茂野香おる：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学（2）基礎看護技術 第18版,医学書院 竹尾恵子：看護技術プラクティス第4版，学研	看護学概論、基礎看護援助論・・・、基礎看護学実習（看護導入実習）、人体の構造と機能、薬理・薬剤学、疾病論・・・、臨床看護総論、他

課題に対するフィードバック

事前・事後レポートへのコメントを入れて返却する。

備考

中間試験として、一時的導尿の実技試験を行う。
 本科目の単位修得が、基礎看護学実習（看護展開実習）の履修要件となる。

科目名	看護過程論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	2年	後期
担当者名	金子 真弓、福岡 泰子、磯村 由美	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

看護を計画的・系統的に実践するための思考過程を学修する。看護の対象である個人を生活者として総合的に理解するためのアセスメント・看護問題の明確化（看護診断）、問題解決のための計画立案・実施・評価の方法を学ぶ。その際、人間・健康・環境・看護の概念、看護理論や看護技術等の看護学の知識と、疾病・治療に関する医学的な知識を統合することが必要となる。

また、紙上事例における看護過程の展開をグループで検討し、論理的な思考力を養うとともに、課題の遂行に必要な協調性を養う。科目の履修をとおして、対象の健康問題とそれに伴う反応や生活について、相互影響的なものの見方を身につけ、自分自身の看護観および人間観の構築につなげていく。

金子真弓は、看護師としての実務経験をもとに看護過程展開のための知識を講義し、さらに事例を用いた看護過程演習の指導を行う。

福岡泰子・磯村由美は、看護師としての実務経験をもとに事例を用いた看護過程演習の指導を行う。

到達目標

（B2210）

1. 看護過程とは何か、および看護過程の意義を説明できる
2. 看護過程の構成要素とその内容を説明できる。
3. 看護に必要な情報と情報収集の方法を説明できる。
4. 看護に必要な情報の分析と統合の方法を説明できる。
5. 看護診断の方法と表記の仕方を説明できる。
6. アセスメント・看護診断に基づく看護計画立案の方法を説明できる。
7. 看護過程における評価の方法を説明できる。
8. 看護記録の目的・構成・記載と管理上の留意点を説明できる。
9. 紙上事例におけるアセスメント・診断・計画立案ができる。
10. 紙上事例における情報収集と援助の実際を学ぶ。

成績評価方法

定期試験、小テスト、課題、グループワーク、授業参加状況によって、総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○		○		40
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート	○	○	○		○		35
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		5
プレゼンテーション			○	○	○		5
グループワーク			○	○	○		5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	ガイダンス、看護過程の概要 担当：金子真弓 【予習】テキストの該当箇所の熟読（30分） 【復習】テキストや授業資料のまとめ（30分）	
2)	アセスメント（情報収集、情報の分析） 担当：金子真弓 【予習】テキストの該当箇所の熟読（30分） 【復習】テキストや授業資料のまとめ（30分）、事例の疾患学習（30分）	授業外レポート
3)	アセスメント（関連図と統合） 担当：金子真弓 【予習】テキストの該当箇所の熟読（30分） 【復習】テキストや授業資料のまとめ（30分）	
4)	看護診断 担当：金子真弓 【予習】テキストの該当箇所の熟読（30分） 【復習】NANDA-I「看護診断の活用」の章を熟読する（30分）	
5)	看護診断と共同問題 担当：金子真弓 【予習】テキストの該当箇所の熟読（30分） 【復習】テキストや授業資料のまとめ（30分）	
6)	計画立案 担当：金子真弓 【予習】テキストの該当箇所の熟読（30分） 【復習】テキストや授業資料のまとめ（30分）	
7)	計画立案の実際、看護過程演習ガイダンス 担当：金子真弓 【予習】テキストの該当箇所の熟読（30分） 【復習】演習事例の病態・治療・看護の学習（60分）	授業外レポート
8)	実施・評価（看護介入の実施と記録、看護要約）、看護記録 担当：金子真弓 【予習】テキストの該当箇所の熟読（30分） 【復習】演習事例のアセスメント（30分）	
9)	事例演習（事例のアセスメント） 担当：金子真弓・福岡泰子・磯村由美 【予習】演習事例のアセスメント（60分） 【復習】演習事例の関連図（30分）	授業外レポート グループワーク
10)	事例演習（事例の全体像の理解） 担当：金子真弓・福岡泰子・磯村由美 【予習】演習事例の関連図（60分） 【復習】演習事例のア関連図の修正（30分）	授業外レポート グループワーク
11)	事例演習（看護診断） 担当：金子真弓・福岡泰子・磯村由美 【予習】演習事例の看護診断（30分） 【復習】演習事例のアセスメント・診断過程の修正（30分）	授業外レポート グループワーク
12)	事例演習の発表（看護診断までの過程） 担当：金子真弓・福岡泰子・磯村由美 【予習】演習事例のアセスメント・診断過程発表準備（60分） 【復習】演習事例の看護計画（30分）	グループワーク
13)	事例演習（計画立案） 担当：金子真弓・福岡泰子・磯村由美 【予習】演習事例の看護計画（30分） 【復習】演習事例の看護計画修正（30分）	授業外レポート グループワーク
14)	事例演習（情報収集の実際） 担当：金子真弓・福岡泰子・磯村由美 【予習】演習事例に必要な観察・測定・コミュニケーション技術の復習（30分） 【復習】得られた情報の分析（30分）	授業外レポート グループワーク
15)	事例演習（援助の実際）、まとめ 担当：金子真弓・福岡泰子・磯村由美 【予習】演習事例の援助計画と援助技術の復習（30分） 【復習】援助後の実施記録と評価（30分）	授業外レポート グループワーク
授業外学習		
事例を用いながら、看護過程を展開する基礎的な力を養っていきます。そのため、事例の疾患について、病態生理・症状・治療・看護の学習が欠かせません。さらに、看護過程の全ての段階で、考え、表現する力が必要です。個人での課題に取り組んだうえで、グループワークを行います。活発なグループワークを行うためにも、事前の個人ワークを充実させてください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
系統看護学講座専門 基礎看護技術 第17版、医学書院 NANDA-I看護診断定義と分類2024-2026、医学書院		看護学概論、基礎看護援助論 ・ ・ ・ 、臨床看護総論、看護理論、ヘルスアセスメント、人体の構造と機能 ・ 、疾病論 ・ 、薬理・薬剤学、基礎看護学実習 ・ 等

課題に対するフィードバック
提出された課題は、教員が確認しコメントを入れて返却します。また、グループワークで検討しながら理解を深め、グループ発表を行います。
備考
授業は受け身でなく、自らが質問をするなど積極的に学ぶ姿勢で臨んでください。 課題や討議を通して、看護過程展開の基礎を学んでいきます。 本科目の単位修得が基礎看護学実習（看護展開実習）の要件となります。

科目名	家族論・家族関係論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	2年	前期
担当者名	安成 智子	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格	

授業概要

家族の定義、機能について学び、現代の家族が抱える問題について考察する。さらに、家族を看護の対象とすることの意義・役割を考え、家族看護の実践方法について理解を深める。
助産師として出産場面での看護を行った実務経験をもとに、家族形成期等における対象の捉え方や、必要とされる看護について講義する。

到達目標

(B2301h)

1. 家族とは何か、家族の機能とは何かについて理解する。
2. 現代の家族が抱える問題について、その背景や要因を理解する。
3. 家族を看護の対象として捉える必要性を理解し、得られた情報から問題点を指摘する。

成績評価方法

定期試験(70点)、授業内レポート(ワークシート)(30点)を総合して評価する。科目評価が60点以上の場合に単位取得を認める。再試験・追加レポートは実施しない。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 「家族とは」「家族看護とは」「家族の形態(国民生活基礎調査から読み取る世帯構造別の特徴と年次推移)」(安成) 【予習】シラバスを見ておくこと(10分) 【復習】講義内容の復習(20分)		
2) 「民法における家族」(安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】講義内容の復習(20分)		小テスト
3) 「家族周期」「ジェノグラム、エコマップ」(安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】ワークシート記載(30分)		ワークシート(人物のジェノグラムとエコマップを描く)
4) 家族看護過程の理解(安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】講義内容の復習(30分)		
5) 家族アセスメントモデルを用いた事例の分析 (安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】講義内容の復習(30分)		
6) 家族アセスメントモデルを用いた事例の分析 (安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】ワークシート記載(30分)		ワークシート(モデルに基づき、事例の分析を行う)
7) 家族に関する看護過程の展開(安成) 【予習】配布資料を読む(20分) 【復習】講義内容の復習(30分)		
8) 家族看護の対象となる人々の理解(DVD視聴)(安成) 【予習】指定記事の視聴(30分) 【復習】講義内容の復習(20分)		
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
授業前後に、関連する白書や統計資料を提示することがあります。予習・復習に活用してください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
適宜配布します。 1) 鈴木和子・渡辺裕子著、家族看護学 理論と実践、日本看護協会出版会 2) 山崎あけみ・原礼子編、家族看護学 改訂第3版 臨床場面と事例から考える 南江堂		

課題に対するフィードバック
ワークシートは、採点后返却します。
備考

科目名	臨床看護総論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	2年	前期
担当者名	福岡 泰子、金子 真弓、磯村 由美	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

健康障害を持つ対象を理解し、状態に応じた看護について学ぶ。看護の基本として、多様な健康上のニーズを持つあらゆる発達段階・健康段階にある人を生活者、家族の視点から捉え、基本的な看護学の知識や技術を統合し、実践で活用するためのプロセスを学ぶ。

福岡泰子、磯村由美、金子真弓は、看護師としての実務経験をもとに、看護が提供されるそれぞれの場や対象となる人に実践を行う看護についての特徴、根拠や基盤について授業を行う。

到達目標

(B2211)

1. 臨床看護の場や看護の対象となる人々の特徴を説明することが出来る。
2. 健康障害のレベルと経過に応じた看護について説明することが出来る。
3. 主要な症状と看護について説明することが出来る。
4. 主要な治療と看護について説明することが出来る。
5. 臨床看護に臨む上での心得、看護の役割について説明することが出来る。
6. 主要な症状を示す対象者を考慮した日常生活援助技術を実施できる。

成績評価方法

期末定期試験60%
 小テスト15%
 授業内レポート5%
 授業外レポート10%
 グループ学習への参加度10%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○			60
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		10
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	臨床看護総論ガイダンス 健康上のニーズを持つ対象者と家族への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
2)	家族の機能からとらえた対象者と家族の健康上のニーズ 生活と療養の場からとらえた対象者と家族の健康上のニーズ【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
3)	健康状態の経過に基づく看護 *健康の維持・増進を目指す看護 *急性期における看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
4)	*慢性期における看護 *リハビリテーション期における看護 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】レポート作成（60分）（担当：福岡泰子）	
5)	*終末期における看護 *コーピングに関連する症状を示す対象者への看護 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：磯村由美）	授業内レポート
6)	主要な症状を示す対象者への看護 *呼吸に関連する症状および循環に関連する症状を示す対象者への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	小テスト（個人・家族・場・健康状態に基づく看護）
7)	*栄養や代謝に関連する症状を示す対象者への看護 *排泄に関連する症状を示す対象者への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：金子真弓）	
8)	*活動や休息に関連する症状を示す対象者への看護 *認知や知覚に関連する症状を示す対象者への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
9)	*安全や生体防御機能に関連する症状を示す対象者への看護 *安楽に関連する症状を示す対象者への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
10)	主要な症状を示す対象者への日常生活援助技術【予習】教科書に該当する箇所を読む・グループワークの事前課題（60分）【復習】グループ課題の復習（60分）（担当：福岡泰子）	小テスト（症状を示す対象者への看護）、宿題、グループワーク
11)	主要な症状を示す対象者への日常生活援助技術【予習】教科書に該当する箇所を読む・グループワークの事前課題（60分）【復習】レポート作成（60分）（担当：福岡泰子）	グループワーク、授業外レポート
12)	治療・処置を受ける対象者への看護 *輸液療法および化学療法を受ける対象者への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
13)	*放射線療法を受ける対象者への看護 *手術療法を受ける対象者への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
14)	*集中治療を受ける対象者への看護 *創傷処置/創傷ケアを受ける対象者への看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	
15)	身体侵襲を伴う検査・治療を受ける対象者への看護 測定用・治療用医療機器の原理と実際と使用時の看護【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）（担当：福岡泰子）	小テスト（検査・治療を受ける対象者への看護）
授業外学習		
授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してきてください(30分程度の予習時間)。授業計画に沿って、レポート・小テストを行います。小テストは返却しませんので、終了後必ず自分でテスト内容について調べてください。毎回の授業内容は、講義資料、テキストを復習して下さい(60分程度の復習時間)。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
香春知永他編集：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔4〕 臨床看護総論 医学書院 2025		基礎看護学、小児看護学、成人看護学、老年看護学、母性看護学、在宅看護学、精神看護学、他 看護学全般

課題に対するフィードバック

出席カードのコメント欄に授業の感想や質問など記入してください。またレポートや試験についても解説が必要なものも同様に学生が共有できるよう、授業の冒頭で紹介します。

備考

本科目の修得により、臨地実習に必要な知識の土台を習得することが出来ます。

科目名	看護情報学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	2年	後期
担当者名	福岡 泰子	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

看護活動に必要な看護情報に焦点を当て、看護情報とは何か、看護と情報科学の関連や医療情報システムおよび看護情報システムの概要、看護過程や看護記録との関連について学ぶ。また看護記録などからの看護情報の検索・蓄積・伝達について基本的な事柄を学び、医療情報システムのあり方を知る。

(福岡泰子は、看護師経験や遠隔看護の実践経験に基づいて看護に必要な情報学の理解、医療情報システムなどの活用のための基礎的な知識、技術の理解について授業を行う)

到達目標

(B2101)

1. 看護情報学の概念を説明できる
2. 看護情報における倫理と法、情報リテラシーの意義を説明できる
3. 医療情報システムについて活用方法を説明できる
4. 医療・看護用語の標準化の意義を説明できる
5. 医療・看護においての情報技術の革新について考察できる

成績評価方法

定期試験と中間試験（小テスト）、レポートやグループワーク、授業における積極的な態度を基に総合的に評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				70
小テスト、授業内レポート	○	○			○		10
宿題、授業外レポート	○	○			○		10
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		5
プレゼンテーション	○			○	○		5
グループワーク	○			○	○		
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 看護情報学の概要と看護におけるデータ・情報の特徴 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）		
2) コンピュータリテラシーと情報リテラシー 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）		
3) 情報倫理と法 情報倫理、プライバシーと守秘義務 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）		
4) 情報倫理と法 個人情報保護、患者情報の取り扱い 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）		
5) 医療情報システム 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）		小テスト
6) 医療・看護用語の標準化 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義内容の復習（60分）		
7) 看護における情報システム：遠隔看護 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】次回のGWを円滑に行うためにテーマについて調べる（60分）		レポート
8) 看護における情報システムの活用と実践（GW） 【予習】GWを円滑に行うためにテーマについて調べる（30分）【復習】他のグループのテーマについて分らなかったことを調べる（60分）		グループワーク
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してきてください(30分程度の予習時間)。 毎回の授業内容は、講義資料、テキストを復習して下さい(60分程度の復習時間)。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
太田勝正、前田樹海：エッセンシャル看護情報学2025年度版、 医歯薬出版株式会社	情報処理演習、倫理学、看護学概論、医療安全管理学、看護過程論、その他各実習に含む	

課題に対するフィードバック
出席カードのコメント欄に授業の感想や質問など記入してください。レポートやテストについても解説が必要なものも、コメントと同様に学生が共有できるよう、授業の冒頭で紹介します。 授業計画に沿って、レポート・小テストを行います。小テストは返却しませんので、終了後必ず自分でテスト内容について調べてください。
備考

科目名	医療安全管理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	2年	後期
担当者名	福岡 泰子、岡光 基子	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

医療安全(リスクマネジメント)および感染制御(インフェクションコントロール)は、医療関連施設での最重要事項であり、チーム医療が必須である。本講座では、医療安全および感染制御に対する基本的知識・技術を身につける。福岡は看護師の実務経験をもとに、岡光は、小児看護領域での経験を活かして、医療安全対策の法律や概略、事故のメカニズムと発生防止の考え方、様々な対象者における安全対策について授業を行う。

到達目標

(B2102)

1. 医療安全の原理・原則を述べることができる。
2. KYT(危険予知トレーニング)から危険ストーリーを考えられる。
3. 医療事故事例の分析の演習を通して、事故の背景要因や対策をグループで討論することができる。

成績評価方法

1. 定期試験(60%)
2. 小テスト(20%)
3. 授業外レポート(10%)
4. 授業中の発言やグループワークでの積極性、授業態度(10%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○			60
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		20
宿題、授業外レポート	○	○	○		○		10
授業態度・授業参加度		○	○	○	○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション、医療安全を学ぶことの大切さ・医療事故の考え方（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジメと合わせて、教科書を読む（30分）	
2)	診療の補助業務における医療事故（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジメと合わせて、教科書を読む（30分）	
3)	療養上の世話における医療事故（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジメと合わせて、教科書を読む（30分）	
4)	医療安全とコミュニケーション、看護学生のインシデント（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジメと合わせて、教科書を読む30分）	小テスト
5)	危険予知トレーニング（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジメと合わせて、教科書を読む（30分）	グループワーク・レポート
6)	労働安全上の事故防止、組織的な安全管理体制（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジメと合わせて、教科書を読む30分）	
7)	小児領域における医療事故（○○） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジメと合わせて、教科書を読む（30分）	
8)	インシデント事例を用いた事故分析：RCA（福岡） 【予習】教科書に該当する箇所を読む（30分）【復習】講義後にレジメと合わせて、教科書を読む（30分）	グループワーク・レポート
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
授業資料のファイルを毎回持ってきてください。 第1回目は教材の序章を読んできて下さい。その後は毎回授業計画に沿って教科書の該当する部分を読んでから授業に臨んでください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
系統看護学講座 看護の統合と実践〔2〕医療安全、川村治子著 医学書院 2025.		看護学概論、人間関係論、微生物学、コミュニケーション論、看護情報学をはじめとした看護学全般

課題に対するフィードバック
出席カードのコメント欄に授業の感想や質問など記入してください。またレポートや試験についても解説が必要なものも同様に学生が共有できるよう、可能な限り授業の冒頭で紹介します。
備考
授業の出欠席は出席確認カードでチェックします。試験の受験資格に伴う欠席回数について教員からお知らせや注意はしますので、各自で管理してください。 小テストは返却しませんので、試験終了後各自で振り返って学習してください。

科目名	基礎看護学実習（看護導入実習）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	1	1年	後期
担当者名	礒村 由美、金子 真弓	関連する資格	看護師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状	

授業概要

< 実習目的 >

患者の生活や治療の場である病院とその機能を理解するとともに、対象の日常生活の理解を深め、看護の機能と役割について学ぶ。また、対象とコミュニケーションを図る能力を養うとともに、看護者としての基礎的能力を養う。病院にて1週間の実習を行う。

礒村由美・金子真弓は、看護師としての実務経験をもとに、病院の機能や看護の役割、対象者の療養生活の理解やコミュニケーションを図る能力、看護者としての基礎的能力を養うための指導を行う。

到達目標

（B1403ay）

1. 看護実践の場である病院・病棟・病室の概要について述べるができる。
2. 臨床の場における看護師の業務や役割について述べるができる。
3. 患者の療養生活について知ることができる。
4. 臨床の場における患者との円滑なコミュニケーション方法について述べるができる。
5. 看護師に必要な態度を身につけることができる。
6. 実習体験をとおして、看護学生としての学びを深めることができる。
7. カンファレンスをとおして、学びを振り返り、グループメンバーと共有できる。

成績評価方法

・基礎看護学実習 評価表（別紙）に基づき、実習内容・実習記録内容などを総合的に評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		15
授業態度・授業参加度		○	○	○	○		
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		
グループワーク	○	○	○	○	○		
演習	○	○	○	○	○		
実習	○	○	○	○	○		85

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
1. 実習内容 1) 学内事前オリエンテーションにより、実習の目的・目標を明確化する。 2) 病院・病棟オリエンテーションにより、病院・病棟の構造と機能について学ぶ。 また、臨床の場における看護師の業務や役割について学ぶ。 3) 病院実習をとおして入院患者の療養生活について知る。 4) 患者との円滑なコミュニケーション方法を学ぶ。 5) 看護師に必要な態度を身につける。 6) まとめの会をとおして、学びを振り返り、グループメンバーで学びを共有する。 2. 実習方法 前半・後半のクラスに分かれて履修する。 1) 学内オリエンテーション ・実習目的・方法の説明、実習心得、身だしなみ、記録物、事前課題の説明。 ・感染予防対策・コミュニケーション技法の復習。 2) 病院・病棟オリエンテーション ・実習病院の機能や看護の概要について説明をうける。 ・病院・病棟の構造、物品場所、入院患者の特徴、看護体制、週間予定、日課などについて説明を受ける。 3) 看護活動の見学 方法...看護師に同行しながら看護活動の見学を行う。 内容...実施されている日常生活援助及び診療の補助に関する援助を見学する。 事前学習をして臨み、実際の援助場面の見学をとおして、実施されている看護援助の意義について理解を深める。 留意点 ・学びたい視点を明確にし、根拠を考えながら見学する。 ・疑問等は調べる・確認する・聞くなどの積極的な行動をとる。 ・プライバシーの保護・倫理的配慮を遵守する。 4) 患者とのコミュニケーション ・入院患者と看護師とのコミュニケーション場面の見学をとおして、円滑なコミュニケーションの方法について学ぶ。 ・学習したコミュニケーション技術を基に、実際に入院患者とコミュニケーションを図る。 ・入院患者の療養生活の状況、生活上の支障やそれらに伴う思いについて知る。 5) 実習最終日にまとめの会を行い、他学生と学びを共有する。	・看護実践の場に立つことの責任を自覚し、事前学習（知識・技術習得）を十分に行って実習に臨むこと。 ・大学で学んだことを活用しながら、現象を多面的に捉える能力・思考する能力・伝える能力を養うようにグループワークや実習に臨むこと。
授業外学習	
実習は前半・後半のクラスに分けて行う。自分が該当しない週は、自己学修時間として有効に活用すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
・実習ガイドブック、その他関連配布資料 ・教科書（基礎看護技術・看護技術プラクティス） ・看護学概論、基礎看護援助論の配布資料、参考書	看護学概論、基礎看護援助論

課題に対するフィードバック
事前課題、実習記録、実習後レポートはコメントをつけて返却する。修正が必要な場合は再提出を求める。
備考
実習前に指示された抗体価検査を実施し、必要に応じてワクチンの接種を受けること。

科目名	基礎看護学実習（看護展開実習）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	2年	後期
担当者名	金子 真弓、磯村 由美	関連する資格	看護師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状	

授業概要

援助的人間関係をととして、対象の健康問題を総合的に把握し、問題解決できる基礎的能力を養う。また、看護実践を通して自己を見つめ、看護観を深める。病院において2週間の実習を行う。

<実習目的>

患者とのコミュニケーションや観察、診療記録等からの情報収集の実際を学び、患者理解を図る。患者の問題解決にむけた計画立案・実践を行いながら看護のプロセスを学ぶ。

金子真弓・磯村由美は、看護師としての実務経験をもとに、本実習での学生と患者の関係形成を支援するとともに、患者理解・計画立案・援助の実施と評価にわたる看護展開の指導を行う。

到達目標

（B2403ay）

1. 患者との関係を築くコミュニケーションを図ることができる。
2. 患者の健康維持・回復を促すために必要な情報収集ができる。
3. 得た情報を解釈し、原因・誘因や推論を含めた分析ができる。
4. 解決すべき看護問題を明確にすることができる。
5. アセスメント・診断の過程を活かした看護計画を立案できる。
6. 立案した看護計画をもとに患者に応じた援助を実施し、評価できる。
7. 看護学生として誠実な態度がとれる。
8. 看護実践をもとに、看護について考えることができる。

成績評価方法

臨地実習における実践状況、実習記録、レポート、実習態度を総合して評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○		○		10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○		90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
- 患者との関係を築くコミュニケーションを図ることができる。 - 患者の病状や心理面を考慮しながら患者・家族と関わる。 - 表情、声の大きさ・トーン、頷き、態度など、コミュニケーション技術を活用する。 - 自己の言語的・非言語的コミュニケーションを考察する。 - 患者の健康維持・回復を促すために必要な情報収集ができる。 - 診療記録、患者・家族とのコミュニケーション、観察、測定、医療チームからの情報収集を行う。 - 主観的情報と客観的情報の双方を含めて情報を得る。 - 患者の意思や希望、サポートや強みも含めて情報を得る。 - 得た情報を分類・整理して報告する。 - 得た情報を解釈し、原因・誘因や推論を含めて分析ができる。 - 基準値や理論、安寧や個人の習慣や希望の観点を含めて情報を解釈する。情報をその原因や誘因の観点を含めて分析する。今後起こり得る状況を推測する。 - 病態・治療・生活行動・心理社会面・問題を含めて患者の全体像の理解を図る。 - 解決すべき看護問題を明確にすることができる。 - 看護上の問題と優先順位を決定する。 - アセスメント・診断の過程を活かした看護計画を立案できる。 - 問題の解決にむけ、具体的で達成可能な目標を検討する。 - 問題の解決、目標達成のための観察計画・治療計画・教育計画を検討する。 - 援助の具体的な計画を記載する。 - 立案した看護計画をもとに患者に応じた援助を実施し、評価できる。 - 計画通りに実施して良いか事前の観察を行い、説明と同意を得て行う。 - プライバシーの保護、患者の安全に留意して援助を行う。 - コミュニケーションや観察をしながら援助を行う。 - 看護学生として誠実な態度がとれる。 - 健康管理を徹底し、感染防止対策を遵守する。 - 意思表示をはっきり行い、曖昧なまま行動せず確認する。 - 学生同士や指導者との情報共有を行う。 - 実習中に知り得た個人情報、実習中・後も漏洩しない。 - 看護実践をもとに、看護について考えることができる。 - 患者の理解や看護の実践について、自らの体験を踏まえてテーマを決めて考察する。 - 文献を用いながら自分の考えを意味づけする。	実習前のグループ演習 実習中のグループカンファレンス 実習後のグループカンファレンス
授業外学習	
実習前に、看護過程論の授業の復習を再度行う。また、実際の実習場所における代表的な健康障害と看護について理解する。バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント技術、日常生活援助技術の復習を行い、対象を想定した技術練習を行う。実習期間中は、患者の情報の分析・診断、計画の立案を具体的に行い、また実施した援助の考察をとおして看護実践の基礎的能力を養う。実習後は、看護の実践過程や看護の役割について考察しレポートとしてまとめる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
T・ヘザー・ハードマン，上鶴重美編，日本看護診断学会監訳：NANDA-I看護診断定義と分類2024-2026,医学書院． 茂野香おる，系統看護学講座専門分野 基礎看護学[2]基礎看護技術，医学書院．	看護学概論、基礎看護学援助論・・・、看護理論、臨床看護総論、看護過程論、ヘルスアセスメント、医療安全管理学、基礎看護学実習（看護導入実習）、人体の構造と機能、疾病論・・・、薬理・薬剤学 他

課題に対するフィードバック
実習前の課題、実習中の記録物、実習後レポートについてはコメントをつけて返却する。追加修正が必要な場合は、再提出を求め、実習到達目標の達成を図る。
備考

科目名	公衆衛生看護学概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	立川 美香、山本 博美、新開 奏恵 、岡光 基子	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格	

授業概要

- ・公衆衛生看護活動を理解するため、公衆衛生看護およびヘルスプロモーションの概念に基づいた活動原則と方法を学ぶ。
- ・公衆衛生看護の対象となるすべてのライフステージにおける個人・家族・集団・地域社会の視点からの看護活動の意義、目的、役割を探究する。
- ・授業内容により、学生相互でディスカッションやグループ学習を通して、公衆衛生看護活動の理解を深める。

（立川美香・山本博美・滝川洋子（外部講師）は保健師実務経験をもとに、公衆衛生看護活動全般の授業を行う。新開奏恵は養護教諭実務経験をもとに、学校保健の授業を行う。）

到達目標

（B2501h）

1．公衆衛生看護の基本的な考え方（エビデンス含む）と活動の場、役割・活動方法を理解し説明できる。

成績評価方法

授業態度・授業参加度
レポート内容
定期試験結果
上記を基準として総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	保健師と公衆衛生看護活動 立川美香 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
2)	公衆衛生看護の理念 立川美香 「予習」テキスト第1章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
3)	公衆衛生看護学の歴史 立川美香 「予習」テキスト第10章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
4)	社会の変化と健康課題 立川美香 「予習」テキスト第4章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング 授業内レポート
5)	公衆衛生看護活動の展開の基盤 立川美香 「予習」テキスト第5章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
6)	公衆衛生看護活動の展開方法 立川美香 「予習」テキスト第6章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
7)	公衆衛生看護の対象と場 山本博美 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
8)	行政（保健センター）における公衆衛生看護活動 山本博美 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
9)	行政（保健所）における公衆衛生看護活動 山本博美 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
10)	学校（学校保健）における公衆衛生看護活動 新開奏恵 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
11)	職域（産業保健）における公衆衛生看護活動 立川美香 「予習」テキスト第3章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング 授業内レポート
12)	健康危機管理 外部講師 「予習」テキスト第9章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
13)	保健施策の計画・実施・施策化 滝川 洋子 「予習」テキスト第7章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
14)	公衆衛生看護管理 滝川 洋子 「予習」テキスト第8章を読んでおくこと（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	アクティブラーニング
15)	公衆衛生看護活動の実際 まとめ 滝川 洋子 「予習」今までのテキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分） 「復習」レポート作成(60分)	アクティブラーニング
授業外学習		
・ 授業計画に沿って、テキストの該当単元を予習し、授業終了後復習しておくこと。 ・ レポートは提示された形式に沿ってまとめ、提出日時は守ること。 ・ 地域のボランティア活動に積極的に参加すること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
公衆衛生看護学概論 医学書院		コミュニケーション論、公衆衛生学、疫学、保健統計、社会保障論、社会福祉論、家族論・家族関係論、在宅看護総論、在宅看護援助論、ターミナルケア論、総合ゼミナール、災害看護論、チーム医療論、保健医療福祉行政論

課題に対するフィードバック
授業内でフィードバックを行う。
備考
授業の出欠は出席カード等で確認します。欠席した場合は資料は後日研究室に取りに来てください。 出席日数は各自で管理してください。欠席日数等の問い合わせには応じることはできません。 授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席とします。 授業中の携帯電話等の使用は、教員の指示がない限り使用禁止とします。

科目名	在宅看護総論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	清水 佑子	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

在宅看護論の総論として、在宅看護援助論および在宅看護論実習の基礎となる理念や問題を学習する。ここでは、在宅看護を支える法律やシステム・理論を理解し、それらを使用して看護師として在宅で暮らす療養者とその家族を支援していく方法を理解する。疾病や障害、虚弱のために看護ニーズをもつ在宅療養者とその家族の特徴について理解し、療養者や家族を支える方法を学習するとともに、社会情勢の変化に即した在宅看護のあり方について学習する。
清水佑子は、介護老人保健施設の実務経験をもとに、在宅ケアを支える法制度と社会資源：介護保険、他職種との連携とケアマネジメントについて授業を行う。

到達目標

(B2502hy)

1. 在宅看護の歴史、背景、目的、対象について述べることができる。
2. 在宅看護における活動の場の特徴について述べるができる。
3. 在宅療養を支える他職種や他機関の連携、ケアマネジメントの必要性について述べるができる。
4. 在宅療養を支える制度、ケアシステム、社会資源および保健・医療・福祉専門職の役割について述べるができる。
5. 在宅看護の課題と展望について自己の意見を述べ、グループで協力して発表できる。

成績評価方法

期末定期試験
小テスト
授業内レポート
授業態度・授業参加度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート	○	○					15
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 在宅看護の概念（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
2) 在宅看護の倫理と基本理念（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
3) 在宅療養者と家族の支援（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	小テスト 出席カード
4) 訪問看護の特徴、役割と機能（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
5) 在宅ケアを支える訪問看護ステーション（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
6) 訪問看護の実際（学外講師）【復習】講義の内容を振り返り、整理する。30分	出席カード
7) 在宅ケアを支える法制度と社会資源：介護保険（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
8) 地域包括ケアシステムと在宅ケア（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
9) 他職種との連携とケアマネジメント（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
10) 在宅ケアシステムの実例（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
11) 病院と家庭をつなぐ退院支援（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
12) 高齢者を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
13) 要介護高齢者に対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
14) 障害者の在宅療養を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
15) 障害者に対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
16) 在宅難病療養者を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
17) 難病療養者に対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
18) 子どもの在宅療養を支える制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
19) 子どもに対する在宅看護（清水）【予習】前回の講義の振り返り。教科書の該当ページを読んでもくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
20) 在宅看護の対象者の理解（学外講師）【予習】これまでの療養者に対する制度と看護を振り返っておく。30分【復習】講義の内容を振り返り、整理する。30分	出席カード

21) 在宅療養者の権利を擁護する制度と社会資源（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
22) 認知症に対する在宅看護と高齢者虐待（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
23) 在宅療養における住宅改修・福祉機器の活用（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
24) 在宅ターミナルケア（清水）【予習】教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
25) 在宅看護の課題と展望について（清水）【予習】在宅看護の課題と展望について調べてくる。30分【復習】テーマに沿って内容を調べる。30分	小テスト 授業内レポート課題
26) 在宅看護の課題と展望について（清水）【予習】在宅看護の課題と展望について調べてくる。30分【復習】テーマに沿って内容を調べる。30分	グループワーク
27) 在宅看護の課題と展望について（清水）【予習】テーマに沿って内容を調べてくる。30分	グループワーク
28) 在宅看護の課題と展望について（清水）【予習】テーマに沿って内容を調べてくる。30分	グループワーク
29) 在宅看護の課題と展望について（清水） 【予習】プレゼンテーションの準備を各グループで行う。30分	プレゼンテーション
30) 在宅看護の課題と展望について（清水） 【予習】プレゼンテーションの準備を各グループで行う。30分 講義のまとめ（清水）	プレゼンテーション

授業外学習

授業計画に沿って、教科書を熟読してきてください。
奇数回の授業開始時、小テスト（前回講義内容）があります。講義資料、教科書を復習してください。
在宅看護の展望と課題について個人で調べ、考えおよび意見をグループワークで発言できるようにしておいてください。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
<テキスト> ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論 地域療養を支えるケア 株式会社メディカ出版 <参考書> ナーシンググラフィカ 在宅看護論 地域療養を支える技術，メディカ出版．	公衆衛生看護学概論，社会保障論，社会福祉論，看護学概論，看護理論，家族論・家族関係論，成人看護総論，小児看護総論，老年看護総論，精神看護総論

課題に対するフィードバック

小テストは採点後返却します。
プレゼンテーション後は、内容について講義中にコメントします。
出席カードに記載されていた質問についてや書かれていた内容に対しては、翌週の講義の際にコメントします。

備考

科目名	在宅看護援助論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	清水 佑子	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

在宅療養者とその家族に対する看護実践のために必要な生活ケアと医療的ケアについて，知識・技術を理解する。
在宅看護論実習の基盤となる科目として，技術内容とその根拠を理解する。また在宅療養者を援助する方法をイメージできるように，事例を通して療養者と家族の問題をアセスメントし，問題を抽出し，問題解決のために必要と考えられる方法，社会資源を考える。
清水佑子は，介護老人保健施設の実務経験をもとに，在宅における生活ケア，医療的ケアについて授業を行う。

到達目標

- (B3501h)
- 療養者や家族と信頼関係を形成するための方法について述べるができる。
 - 在宅における生活ケアについて具体的に述べるができる。
 - 在宅における医療的ケアについて具体的に述べるができる。
 - 在宅におけるリスクマネジメントの必要性について理解できる。
 - 在宅看護過程を展開し、事例に応じた対象の問題や課題を明確にできる。

成績評価方法

小テスト
授業内レポート
授業・グループワークへの意欲・態度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート	○	○					10
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション	○	○					5
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	在宅におけるコミュニケーション（清水）【予習】基礎・老年看護学で学んだコミュニケーションに関する資料を見る。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。ロールプレイングの準備。30分	出席カード
2)	初回訪問時の面接技術（清水）【復習】ロールプレイングの内容を想起し、在宅へ訪問する際の留意点をまとめる。30分	ロールプレイング 出席カード
3)	在宅における生活ケアと医療的ケア／在宅における援助技術 食と栄養のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・老年看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。30分	出席カード
4)	在宅における援助技術 排泄のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・老年看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。	小テスト 出席カード
5)	在宅における援助技術 清潔 移動のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・老年看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
6)	在宅における援助技術 呼吸のアセスメントと援助（清水）【予習】基礎・成人看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
7)	在宅における援助技術 服薬管理 感染予防の援助（清水）【予習】基礎・成人看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
8)	在宅における援助技術 良肢位の保持と褥瘡予防（清水）【予習】基礎・成人看護学の学習の振り返り。教科書の該当ページを読んでくる。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
9)	在宅看護過程の考え方（清水）【予習】基礎看護学で学んだ看護過程の方法の振り返り。30分【復習】資料、教科書をもとに復習する。返却された小テストの振り返り。40分	小テスト 出席カード
10)	看護過程の展開（１）（清水）【予習】事例をもとに看護過程を展開する。30分【復習】資料を基に自分の看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 個人ワーク
11)	看護過程の展開（２）（清水）【予習】事例をもとに看護過程を展開する。30分【復習】資料を基に自分の看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 個人ワーク
12)	看護過程の展開（３）（清水）【予習】事例をもとに看護過程を展開する。30分【復習】資料を基に自分の看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 個人ワーク
13)	看護過程の展開（４）（清水）【予習】グループワークで発言できるよう準備する。30分【復習】グループワークで行った看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 グループワーク
14)	看護過程の展開（５）（清水）【予習】グループワークで発言できるよう準備する。30分【復習】グループワークで行った看護過程の展開を振り返る。30分	授業内レポート課題 グループワーク
15)	看護過程の展開（６）まとめ（清水）【予習】グループでプレゼンテーションの準備をする。30分【復習】プレゼンテーションをふまえて事例の療養の課題を明確にし、全授業の振り返りをする。30分	プレゼンテーション
授業外学習		
授業計画に沿って、テキストを熟読してきてください。 小テストがあります。講義資料、教科書を復習してください。 13)までにレポートを作成し、考えおよび意見をグループワークで発言できるようにしておいてください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
<テキスト> ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論 地域療養を支えるケア 株式会社メディカ出版 <参考書> ナーシンググラフィカ 在宅看護論 地域療養を支える技術，メディカ出版・正野逸子他編；在宅看護過程第2版，メヂカルフレンド社．		在宅看護総論，家族論・家族関係論・看護過程論，基礎看護援助論，成人看護学総論・援助論・老年看護総論・援助論

課題に対するフィードバック
小テストは、採点后返却します。 出席カードの内容については、翌週の講義の際にコメントします。 授業内レポート課題については、コメントを記載して返却します。
備考

科目名	成人看護総論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	原田 博子	関連する資格	看護師・保健師	

授業概要

対面授業：臨床看護の実践に必要な理論を概観し、成人期（青年期・壮年期・向老期）の特徴、ライフスタイルと健康問題を学ぶ。成人保健の歴史と動向、成人期にみられる主要な健康障害とその要因、健康レベルに応じた看護活動の特徴など成人看護学の総論を学ぶ。原田博子は、看護師として外科外来・手術室・外科病棟を経験し、看護管理者として脳神経外科病棟・手術室・集中治療室・循環器病棟を経験した。さらに、看護部長として新設急性期公立病院の設立・運営に携わってきた経験を生かして成人看護学総論の内容をイメージできさらに専門的な科目の習得や実践につながるよう授業を行う。

到達目標

B2404

- 1．成人看護学の対象である大人の定義・考え方を生活の視点から説明できる。
- 2．成人期にある人の生活と健康、健康問題の特徴、健康をはぐくむ保健・医療・福祉システムを説明できる。
- 3．成人への看護アプローチの基本について説明できる。
- 4．成人の健康レベルや状態に対応した看護の概要・特徴・役割を言語化し、記述できる。

成績評価方法

- ・出欠票・課題を必ず提出してください。
- ・授業出席時間が全授業時間の3分の2以上あることが評価の対象です。
- ・課題、プレゼンテーションの内容を評価します。
- ・中間・定期試験を実施します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			70
小テスト、授業内レポート	○		○				10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○	課題含む	10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		5
グループワーク	○	○	○	○	○		5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	1部 第1章 成人と生活 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し、まとめる（30分）	成人の生活について話し合い大人の定義についてミニレポートに記述し提出する
2)	第2章 成人の生活と健康A 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料を見直し授業内容をノートにまとめる（30分）	図2-12を参照して、健康寿命と平均寿命の差を縮めるための取り組みを話し合いまとめる。
3)	第2章 成人の生活と健康B 【予習】【復習】これまでと同じ	図2-24を参照して、今後求められる看護師の役割について話し合う。小テスト
4)	第2部 3章成人への看護アプローチの基本 A～E 【予習】【復習】これまでと同じ	症状マネジメントのために必要な知識や技術について話し合う
5)	第2部 3章成人への看護アプローチの基本 F～I 【予習】【復習】これまでと同じ	意思決定支援における患者・家族に対する看護師の役割について話し合い発表する。
6)	第3部成人の健康レベルや状態に対応した看護 第4章 ヘルスプロモーションと看護 【予習】【復習】これまでと同じ	健康増進の取り組み内容と自分の生活を比較して今後の課題を話し合う。自分の食生活について振り返る
7)	第5章 健康を脅かす要因と看護 【予習】【復習】これまでと同じ	テキスト内容以外にある生活環境の問題には他にどのようなことがあるか話し合う
8)	第6章 健康生活の急激な破綻とその回復を支援する看護 A B 【予習】【復習】これまでと同じ	急性期の人を受ける医療を自分のこととしてとらえ、どのようなことが課題になるか話し合う
9)	第6章 健康生活の急激な破綻とその回復を支援する看護 急性期の治療過程にある患者の看護 B 【予習】【復習】これまでと同じ	早期離床の必要性について話し合い、構造化する。レポート課題次回提出
10)	第7章 慢性病とともに生きる人を支える看護 A 【予習】【復習】これまでと同じ	慢性病にはどのような疾患があるか調べて一つの疾患を選び成人への生活への影響を話し合う
11)	第7章 慢性病とともに生きる人を支える看護 B 【予習】【復習】これまでと同じ	慢性病の人への教育的アプローチの内容から看護師として留意することを話し合う
12)	第8章 障害がある人の生活とリハビリテーション 第9章 人生の最期の時を支える看護A 【予習】【復習】これまでと同じ	人生の最期の人の事例から考えたことを話し合う
13)	第9章 人生の最期の時を支える看護 B 【予習】【復習】これまでと同じ	人生の最期のひとを支えるためのチームアプローチをグループで考え話し合いまとめる。
14)	第10章 様々な健康レベルにある人の継続的な移行支援 【予習】【復習】これまでと同じ	継続的な移行を支えるために必要な看護について話し合う
15)	第11章 新たな治療法、先端医療と看護 【予習】【復習】これまでと同じ	先端医療を受ける患者・家族の気持ちについて話し合った内容について発表する
授業外学習		
・本科目は内容が幅広く深いため、予習をすることが授業内容の理解につながります。毎回60分程度予習をしてください。予習は、テキストを事前に読んで重要だと考えた部分にラインを引いてきてください。図や表については、内容を把握してきてください。次回アクティブラーニングの内容を参考に準備してきてください。 復習時は授業中に説明したことを踏まえてノートの整理をしてください。30分以上は復習時間を取ってください。 ・課題提出、個人/グループでの発表があります。授業外で資料の作成をしてください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：小松浩子他.成人看護学総論16版 医学書院 2023 参考文献：・高齢者と成人の周手術期看護 1～5		成人看護学、成人看護学、成人看護学、成人看護学実習、成人看護学実習、成人看護学実習

課題に対するフィードバック

- ・ 課題・プレゼンテーション、ノートの内容に適時コメントします。
- ・ 出欠票や報告書に記載された質問などには、授業中に説明回答します。

備考

- ・ 初回授業で科目のガイダンスを行います。必ず出席してください。
- ・ 授業の出欠席は、出席票・レポートで確認します。もし、欠席した場合でも資料は、受け取ることができます。また、課題やレポートも自己学習にて遅れても提出すれば受け取ります。
- ・ 授業開始後の遅刻・早退・途中退室は時間を確認します。
- ・ 試験の受験資格は、全授業時間数の3分の2以上の出席です。出欠席管理は、各自、責任をもって行ってください。

- ・ 本科目は可能な限り事例とともに授業をします。授業中に重要な内容・箇所を伝えます。授業をよく聴き、内容の理解に努めてください。
- ・ 授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

科目名	ヘルスアセスメント			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	2年	後期
担当者名	加藤 かすみ、梁元 陽子、吉富 和子	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格	

授業概要

成人期にある対象の健康状態をアセスメントし看護を実践するために、身体機能の正常・異常を診るためのヘルスアセスメントの知識と技術を修得する。

授業ではヘルスアセスメントを行うために必要な視点とヘルスアセスメントに必要なフィジカルイグザミネーションの技術を学ぶ。

加藤かすみ、梁元陽子、吉富和子は、臨床現場での看護師としての看護実践経験をもとに、解剖生理や病態と関連づけながら対象のヘルスアセスメントの視点、およびヘルスアセスメントの実施方法について具体的に教授する。

到達目標

(B2405)

1. 看護におけるヘルスアセスメントの意義について説明できる。
2. ヘルスアセスメントに必要な視点を述べることができる。
3. ヘルスアセスメントに必要なフィジカルイグザミネーションの技術を修得することができる。

成績評価方法

小テスト、演習、定期試験により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート	○	○					16
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○		4
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	講義概要の説明 ヘルスアセスメントの意義 情報を得る手段 （加藤） 【予習】テキストの序章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
2)	頭部・顔面・頸部のアセスメント （加藤） 【予習】テキストの第2章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
3)	眼・耳・鼻・口腔、皮膚のアセスメント （加藤） 【予習】テキストの第3章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
4)	胸部・呼吸器系のアセスメント （加藤） 【予習】テキストの第4章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
5)	心臓・循環器系のアセスメント （梁元） 【予習】テキストの第5章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
6)	心臓・循環器系のアセスメント （梁元） 【予習】テキストの第5章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
7)	腹部・消化器系のアセスメント （吉富） 【予習】テキストの第6章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
8)	筋・骨格系のアセスメント （吉富） 【予習】テキストの第7章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
9)	脳・神経系のアセスメント （加藤） 【予習】テキストの第8章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
10)	脳・神経系のアセスメント （加藤） 【予習】テキストの第8章を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
11)	心理社会的なアセスメント（梁元） 【予習】心理社会的なアセスメントについて考えてくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
12)	フィジカルイグザミネーションの実際 技術演習（加藤・梁元・吉富） 【予習】テキストの該当箇所・講義資料を再確認してくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	演習
13)	フィジカルイグザミネーションの実際 技術演習（加藤・梁元・吉富） 【予習】テキストの該当箇所・講義資料を再確認してくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	演習
14)	フィジカルイグザミネーションの実際 技術演習（加藤・梁元・吉富） 【予習】テキストの該当箇所・講義資料を再確認してくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	演習
15)	フィジカルイグザミネーションの実際 技術演習（加藤・梁元・吉富） 【予習】テキストの該当箇所・講義資料を再確認してくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	演習
授業外学習		
授業前は予習としてテキストの指定範囲を読み、授業後は復習として講義のまとめのノート作成を必ず実施して、講義に出席する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：はじめてのフィジカルアセスメント第2版 メヂカルフレンド社		成人看護総論、成人看護援助論、成人看護援助論 成人看護学実習、成人看護学実習、成人看護学実習

課題に対するフィードバック
小テストの正答はフィードバックする。 リアクションペーパーに記載された内容について、必要時、フィードバックする。
備考

科目名	成人看護援助論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	梁元 陽子、加藤 かすみ、吉富 和子	関連する資格	看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格	

授業概要

成人期における疾病の治療総論と疾病を機能形態別にとらえ、その病態を踏まえたアセスメントと患者・家族への看護について教授する。がん、感染症、周手術期、リハビリテーション、集中治療、救急看護等を学ぶ。
梁元陽子、加藤かすみ、吉富和子は、看護師としての実務経験をもとに実践例を交え、理論と実践を結びつけた講義を行う。

到達目標

(B3401y)

1. 急性期にある患者と家族の看護について説明できる。
2. 周手術期にある患者と家族の看護について述べることができる。
3. 集中治療を受ける患者と家族の看護について述べるができる。
4. リハビリテーションの特徴と看護について述べるができる。
5. 救急看護について述べるができる。
6. 感染症を持つ患者と家族の看護について述べるができる。
7. がん患者と家族の看護について述べるができる。
8. 手術直後に必要な看護技術が修得できる。
9. 心肺蘇生法が修得できる。
10. 機能障害のある患者の看護について述べるができる。

成績評価方法

小テスト、演習、定期試験により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート	○	○					18
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○		2
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	周手術期にある患者と家族の看護1 周術期看護に必要な知識（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
2)	周手術期にある患者と家族の看護2 周術期看護に必要な知識（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
3)	周手術期にある患者と家族の看護3 術前の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
4)	周手術期にある患者と家族の看護4 術中の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
5)	周手術期にある患者と家族の看護5 術後の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
6)	周手術期にある患者と家族の看護6 術後の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
7)	集中治療を受ける患者と家族の看護1 集中治療室の概要/呼吸系の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
8)	集中治療を受ける患者と家族の看護2 循環器系の看護/回復に向けた看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
9)	救急看護の基礎1 救急看護の基本/緊急度と重症度のアセスメント（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
10)	救急看護の基礎2 救急看護の実際（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
11)	がん患者と家族の看護2 がん患者の苦痛/治療に対する看護（加藤） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
12)	がん患者と家族の看護3 治療に対する看護/社会参加の支援/家族の特徴（加藤） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
13)	感染症を持つ患者と家族の看護1 感染症定義/感染の成立/感染予防対策（加藤） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
14)	感染症を持つ患者と家族の看護2 抗菌剤投与中、多剤耐性菌感染症、易感染患者の看護（加藤）【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
15)	感染症を持つ患者と家族の看護（加藤） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
16)	消化・吸収機能障害、栄養代謝障害のある患者の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
17)	消化・吸収機能障害、栄養代謝障害のある患者の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
18)	消化・吸収機能障害、栄養代謝障害のある患者の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
19)	消化・吸収機能障害、栄養代謝障害のある患者の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
20)	消化・吸収機能障害、栄養代謝障害のある患者の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト

21) 消化・吸収機能障害、栄養代謝障害のある患者の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
22) 循環機能障害のある患者の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
23) 循環機能障害のある患者の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
24) 循環機能障害のある患者の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
25) 循環機能障害のある患者の看護（梁元） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
26) 運動機能障害のある患者の看護（吉富） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
27) 運動機能障害のある患者の看護（吉富） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
28) 運動機能障害のある患者の看護（吉富） 【予習】テキストの該当箇所を読んでくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト
29) 手術直後の看護、心肺蘇生法の実際 技術演習（吉富・梁元・加藤・） 【予習】テキストの該当箇所・講義資料を再確認してくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	演習
30) 手術直後の看護、心肺蘇生法の実際 技術演習（吉富・梁元・加藤・） 【予習】テキストの該当箇所・講義資料を再確認してくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	演習

授業外学習

授業前は予習としてテキストの指定範囲を読み、授業後は復習として講義のまとめのノート作成を必ず実施して、講義に出席する。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 成人看護学 [1]成人看護学総論 [3]循環器 [5]消化器 [10]運動器 [11]アレルギー・膠原病 感染症, 系統看護学講座 別巻 医学書院 臨床外科看護総論 臨床外科看護各論 医学書院 ナーシンググラフィカ 成人看護学(4)周術期看護 メディカ出版	成人看護総論、ヘルスアセスメント、成人看護援助論 成人看護学実習、成人看護学実習、成人看護学実習

課題に対するフィードバック

小テストの正答はフィードバックする。
リアクションペーパーに記載された内容について、必要時、フィードバックする。

備考

科目名	成人看護援助論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	加藤 かすみ、梁元 陽子、吉富 和子	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格	

授業概要

成人期にある疾病をもつ患者・家族への看護を実践するために、疾病を機能障害別にとらえ、その病態を踏まえたアセスメントの視点を理解する。さらに、機能別に発症から急性期、回復期、慢性期あるいは終末期までの健康レベルに応じた看護を修得する。

加藤かすみ、梁元陽子、吉富和子は、臨床現場での看護師としての看護実践経験をもとに、成人期にある患者の病態の理解、看護を実践するためのアセスメント、患者および家族に対する看護実践の方法を具体的に教授する。

到達目標

(B3402)

1. 成人期における各機能障害の原因と障害の程度のアセスメントについて説明できる。
2. 成人期における各機能障害の検査・処置を受ける患者の看護について、述べることができる。
3. 成人期における各機能障害の治療を受ける患者・家族の看護について、述べることができる。
4. 疾病の病期や各機能障害に応じた患者・家族への看護について述べるができる。
5. 患者のセルフケア・自己管理への支援について説明できる。
6. 自己血糖測定 of 技術を修得できる。

成績評価方法

小テスト、グループワーク、プレゼンテーション、演習、定期試験により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート	○	○					15
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		2
グループワーク	○	○	○	○	○		1
演習	○	○	○	○	○		2
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	講義概要の説明 呼吸機能障害のある患者の看護 症候と看護（加藤） 【予習】テキストの該当箇所を読んでおく（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	授業内課題
2)	呼吸機能障害のある患者の看護 （加藤） 検査・処置・治療を受ける患者の看護（内視鏡検査、酸素療法、人工呼吸器他） 【予習】テキスト一読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	授業内課題
3)	呼吸機能障害のある患者の看護 （加藤） 検査・処置・治療を受ける患者の看護（気管切開、胸腔ドレナージ、手術） 【予習】テキスト一読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
4)	呼吸機能障害のある患者の看護 病期や機能に応じた看護（加藤） 肺炎、結核、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患のある患者の看護 【予習】テキスト一読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	授業内課題
5)	呼吸機能障害のある患者の看護 病期や機能に応じた看護（加藤） 肺血栓塞栓症、睡眠時無呼吸症候群、肺がん、自然気胸のある患者の看護 【予習】テキスト一読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
6)	内分泌機能障害のある患者の看護 （加藤） 内分泌機能とその障害のアセスメント 検査を受ける患者の看護 【予習】テキスト一読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	授業内課題
7)	内分泌機能障害のある患者の看護 病期や機能に応じた看護（加藤） 甲状腺機能亢進症・低下症、甲状腺腫瘍、副甲状腺・副腎疾患のある患者の看護 【予習】テキスト一読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
8)	内分泌機能障害のある患者の看護 病期や機能に応じた看護（吉富） 糖尿病患者の看護 【予習】テキスト一読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	授業内課題
9)	内分泌機能障害のある患者の看護 病期や機能に応じた看護（吉富） 糖尿病患者の看護、脂質異常症、肥満、尿酸代謝異常の代謝疾患患者の看護 【予習】テキスト一読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
10)	内部環境調節機能障害のある患者の看護 （梁元） 腎臓機能とその障害のアセスメント、検査（腎生検）を受ける患者の看護 【予習】テキスト一読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
11)	身体防衛機能障害のある患者の看護 （加藤） 生体防御、アレルギーに関する検査の看護、アレルギー疾患患者の看護 【予習】テキスト一読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	授業内課題
12)	内部環境調節機能障害のある患者の看護 （梁元） 急性腎不全・慢性腎不全・慢性腎臓病で治療を受ける患者の看護 【予習】テキスト一読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
13)	身体防衛機能障害のある患者の看護 （加藤） 自己免疫疾患の症状に対する看護、薬物療法時の看護、自己免疫疾患患者の看護 【予習】テキスト一読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
14)	内部環境調節機能障害のある患者の看護 （梁元） 腎不全・腎癌で治療（腎移植）を受ける患者の看護 【予習】テキスト一読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
15)	身体防衛機能障害のある患者の看護 （加藤） 血液・造血器疾患における症状のある患者の看護、造血幹細胞移植患者の看護 【予習】テキスト一読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
16)	性・生殖・乳腺機能障害のある患者の看護 （梁元） 乳癌で検査・処置・治療を受ける患者の看護 性・生殖器系の検査・治療の看護 【予習】テキスト一読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
17)	身体防御機能障害のある患者の看護 （加藤） 血液・造血器疾患における検査を受ける患者の看護（骨髄穿刺、骨髄生検他） 【予習】テキスト一読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	中間テスト
18)	身体防御機能障害のある患者の看護 病期や機能に応じた看護（加藤） 白血病患者の看護、悪性リンパ腫患者の看護 【予習】テキスト一読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
19)	脳・神経機能障害のある患者の看護 （加藤） 症状のある患者の看護（意識障害、言語障害、運動麻痺、運動失調他） 【予習】テキスト一読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	授業内課題
20)	脳・神経機能障害のある患者の看護 （加藤） 症状のある患者の看護（痙攣、頭蓋内圧亢進症状他）、検査を受ける患者の看護 【予習】テキスト一読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	授業内課題

21) 脳・神経機能障害のある患者の看護（加藤） 治療・処置を受ける患者の看護（開頭術、脳室ドレナージ、血管内治療他） 【予習】テキストー読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
22) 脳・神経機能障害のある患者の看護 病期や機能に応じた看護（加藤） クモ膜下出血患者の看護、脳血管障害患者の看護 【予習】テキストー読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	授業内課題
23) 脳・神経機能障害のある患者の看護 病期や機能に応じた看護（加藤） 脳腫瘍患者の看護、頭部外傷患者の看護、ALS患者の看護、髄膜炎患者の看護 【予習】テキストー読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
24) 排尿機能障害のある患者の看護（吉富） 頻尿・尿失禁のある患者の看護、検査を受ける患者の看護、膀胱がん患者の看護 他【予習】テキストー読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
25) 感覚機能障害のある患者の看護（加藤） 症状のある患者の看護、検査・治療・処置を受ける患者の看護 【予習】テキストー読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	授業内課題
26) 感覚機能障害のある患者の看護（加藤） 白内障患者の看護、緑内障患者の看護、喉頭がん患者の看護他 【予習】テキストー読（45分）【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	小テスト 授業内課題
27) 患者のセルフケア・自己管理への支援（加藤・梁元・吉富） 【予習】患者のセルフケア・自己管理への支援について考えてくる（45分） 【復習】グループワークでの意見をまとめる（45分）	ディスカッション
28) 患者のセルフケア・自己管理への支援（加藤・梁元・吉富） 【予習】グループワークに向けて自分の考えをまとめる（45分） 【復習】グループワークでの意見をまとめる（45分）	ディスカッション
29) 患者のセルフケア・自己管理への支援（加藤・梁元・吉富） 【予習】プレゼンテーションに向けて準備する（45分） 【復習】プレゼンテーションでの学びをノートに整理する（45分）	プレゼンテーション
30) 自己血糖測定の実際 技術演習（吉富・加藤・梁元） 【予習】テキストの該当箇所・資料を再確認してくる（45分） 【復習】講義のまとめのノート作成（45分）	演習

授業外学習

授業前は予習としてテキストの指定範囲を読み、授業後は復習として講義のまとめのノート作成を必ず実施して講義に出席する。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト：系統看護学講座 成人看護学 医学書院 [2]呼吸器 [4]血液・造血器 [6]内分泌・代謝 [7]脳・神経 [8]腎・泌尿器 [9]女性生殖器 [11]アレルギー・膠原病 感染症	成人看護総論、ヘルスアセスメント、成人看護援助論 成人看護学実習、成人看護学実習、成人看護学実習

課題に対するフィードバック

小テストの正答はフィードバックする。
リアクションペーパーに記載された内容について、必要時、フィードバックする。

備考

科目名	ターミナルケア論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	4年	前期
担当者名	和氣 さち、岡光 基子	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格	

授業概要

死の意味は個々の生きてきた過程やその中で培われた人生観、死生観によって異なる。人生の大切な最期の短い時期を患者はどのように過ごし、家族はどのように支えるのか、多職種の関わりとして、患者・家族に心身の援助をどのように実践していくのか、その中での看護師としての役割を学ぶ。また、尊厳ある人間的生命を援助するために必要な看護を学ぶ。

到達目標

(B4401a)

1. 終末期にある人々を理解するための基礎となる考え方と具体的な援助の方法を説明できる。
2. 終末期医療現場での対象を人間の尊厳をふまえ倫理的課題を述べる事が出来る。
3. 終末期にある患者の身体的・精神的・社会的特徴を理解し、対象のニーズおよび健康レベルの低下に伴い生じる問題を述べる事が出来る。
4. 看取りをする家族の気持ちを理解し、その援助方法について説明できる。
5. 終末期にある人に対してその人らしさを保ち、質の高い生活が送れるような援助を計画することができる。

成績評価方法

グループワークの参加度、プレゼンテーション、小テスト、レポートを総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			40
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○			30
グループワーク	○	○	○	○	○		20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) ターミナルケア・終末期とは（和氣） [予習]事前配布の資料を読んでくる（30分） [復習]資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）		グループワーク・発表
2) 終末期における様々な問題（身体的・心理的・社会的問題）（和氣） [予習]事前配布の資料を読んでくる（30分） [復習]資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）		グループワーク・発表
3) ターミナルケアにおける倫理的問題と課題、意思決定支援（和氣） [予習]事前配布の資料を読んでくる（30分） [復習]資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）		グループワーク・発表
4) ターミナルケアにおける看護の実際（和氣） [予習]事前配布の資料を読んでくる（30分） [復習]資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）		グループワーク・発表
5) 終末期における患者の家族ケア（グリーフケア）（和氣） [予習]事前配布の資料を読んでくる（30分） [復習]資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）		グループワーク・発表 小テスト
6) 小児におけるターミナルケア（岡光） [予習]事前配布の資料を読んでくる（30分） [復習]資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）		グループワーク・発表
7) 小児におけるターミナルケアの実際（岡光） [予習]事前配布の資料を読んでくる（30分） [復習]資料を読み返し、講義内容をまとめる（60分）		グループワーク・発表
8) 「ターミナル期におけるその人らしさ、質のよい看護とは何か」（和氣） [予習]発表準備、質問対応（30分） [復習]発表内容をふまえレポートを作成する（60分）		小テスト プレゼンテーション レポート
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
授業計画に沿って学習目標を提示します。配布資料をもとに学習目標の習得に取り組んで下さい。 小テストを行いますので、復習を兼ねて自己学習をして下さい。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
資料配布 参考書：平山正実 他 新体系看護学全書 別巻 生と死の看護論 第2版 メヂカルフレンド社	基礎看護学、成人看護学、小児看護学、精神看護学、老年看護学総論、老年看護学援助論、成人看護学実習、小児看護学実習、老年看護学実習、総合看護実習	

課題に対するフィードバック
レポートは、確認後返却し、各自にコメントします。
備考

科目名	緩和ケア論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	3年	前期
担当者名	江口 恵里	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対するケアを学ぶ。疾患により、痛みやその他の身体的・心理的・社会的苦痛に対して、全人的ケアの観点から、苦痛の予防と緩和をする方法、患者のQOLの向上に寄与する方法を学ぶ。

（江口は看護師としての臨床経験を活かし、現場での具体的な事例や実践例を取り入れる。また、現場を意識して学べるよう、症状マネジメントや家族ケアの方法を臨床的な視点で分かりやすく解説する。さらに、看護師としてのセルフケアの重要性についても、具体的な方法を提示し、学生が自身のケアの意識を高められるよう授業をする。）

到達目標

（B3403）

1. 緩和ケアの定義、歴史、政策、そして国際的な枠組みを理解できる。
2. 症状マネジメント、意思決定支援、家族ケア、多職種連携の基本的アプローチを説明できる。
3. 身体的、精神的、社会的、スピリチュアルペインに対するケアを具体的に提案できる。
4. 臨死期ケアの実践と家族への支援方法を理解し、現場で活用できる。
5. 実際の事例をもとに、患者・家族の多様なニーズに対応する方法を考察できる。

成績評価方法

記述試験と授業内で配付した記入用紙（授業ノート）を確認し、評価基準に基づき評価をする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				60
小テスト、授業内レポート	○	○	○				40
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 緩和ケアの基本理念（江口） 事前学習（60分）教科書の第 章1-7を読んで疑問を整理する 事後学習（60分）まとめ		シンク・ペア・シェア
2) 緩和ケアの基盤となる考え方（江口） 事前学習（60分）教科書の第 章1-4を読んで疑問を整理する 事後学習（60分）まとめ		シンク・ペア・シェア
3) 緩和ケアの基盤となる考え方（江口） 事前学習（60分）教科書の第 章5-9を読んで疑問を整理する 事後学習（60分）まとめ		シンク・ペア・シェア
4) 全人的苦痛に対する緩和ケアの実際（江口） 事前学習（60分）教科書の第 章1-4を読んで疑問を整理する 事後学習（60分）まとめ		シンク・ペア・シェア
5) さまざまな対象への緩和ケア（江口） 事前学習（60分）教科書の第 章1-5を読んで疑問を整理する 事後学習（60分）まとめ		シンク・ペア・シェア
6) 臨死期のケア（江口） 事前学習（60分）教科書の第 章1-4を読んで疑問を整理する 事後学習（60分）まとめ		シンク・ペア・シェア
7) 事例で学ぶ緩和ケア（江口） 事前学習（60分）教科書の第 章1-5を読んで疑問を整理する 事後学習（60分）まとめ		シンク・ペア・シェア
8) 事例で学ぶ緩和ケア（江口） 事前学習（60分）教科書の第 章6-9を読んで疑問を整理する 事後学習（60分）まとめ		シンク・ペア・シェア
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
【テキスト】 緩和ケア 改訂第3版 南江堂		既習科目すべて

課題に対するフィードバック
質問や疑問に関しては全員に回答する
備考
1) 2コマ続きの授業 2) 授業日程 (6/27.7/4.11.18)

科目名	リハビリテーション看護論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	3年	前期
担当者名	清水 佑子	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

リハビリテーションを必要としているのは疾病や外傷、加齢などにより、身体の構造や生理的機能・生活機能に障害を持っている人たちである。そうした疾病や傷害をかかえていても生活行動拡大・社会参加を行い、生き生きと生活を送ることを目指すのがリハビリテーションである。発症当初から将来を見通した医療において、医師を中心とするリハビリテーションチームの中で看護職の果たす役割を学習する。
清水佑子は、急性期病院の救急、整形外科病棟、内科病棟の看護師の実務経験をもとに、各障害と障害におけるリハビリテーション看護についての授業を行う。

到達目標

(B3404)

1. リハビリテーションの理念を述べることができる。
2. 機能回復について何が必要であるかを学ぶことで、健康障害を持つ人のADLやQOLの向上について述べるができる。
3. リハビリテーションチームにおける看護職の果たす役割や多職種連携について説明できる。
4. 代表的な機能障害の特徴的な課題とそれに対する援助方法を説明できる。

成績評価方法

講義ごとに行う小テスト、定期試験で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	リハビリテーション概論（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り（40分）	
2)	多職種連携のあり方（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り（40分）	小テスト
3)	運動器系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り。小テストの振り返り。（40分）	小テスト
4)	脳血管系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り。小テストの振り返り。（40分）	小テスト
5)	脊髄損傷とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り。小テストの振り返り。（40分）	小テスト
6)	呼吸器系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り。小テストの振り返り。（40分）	小テスト
7)	循環器系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り。小テストの振り返り。（40分）	小テスト
8)	感覚器系の障害とリハビリテーション看護（清水） 【予習】教科書の該当する箇所を読んでくる。（30分） 【復習】授業内資料・教科書等での振り返り。小テストの振り返り。（40分）	小テスト
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
・ 授業日は変更となる可能性がありますので、掲示板、Google Classroomで確認してください。 ・ 予習として、教科書の該当する箇所を読んでおいてください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト・系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院 参考図書・医学書院 専門分野 運動器 ・医学書院 専門分野 脳・神経 ・医学書院 専門分野 呼吸器 ・医学書院 専門分野 循環器		人体の構造と機能、疾病論 ・ 保健医療福祉行政論 成人看護総論、成人看護援助論 ・ 老年看護総論、老年看護援助論

課題に対するフィードバック
・小テストは採点をしたのち返却します。
備考
・人体の構造と機能と疾病論（病態・診断・治療）の授業内容を理解していることを前提に授業を行います。当該授業の看護に必要な人体の構造と機能、疾病論の資料内容を確認しておいてください。

科目名	小児看護総論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	岡光 基子、金川 真理	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

- ・子どもの成長発達、子どもとその家族の生活、子どもに関する統計や法律・政策について学ぶ。また、現在の子どもと家族が抱える健康問題を知り、小児看護の役割を考える。
- ・岡光基子は、看護師として小児およびその家族の看護を行った経験をもとに、小児の健康及び健康問題に関する知識を学生に理解させ、技術を修得させる。金川真理は、看護師・助産師として小児およびその家族の看護を行った経験をもとに、小児の健康及び健康問題に関する知識を学生に理解させ、技術を修得させる。

到達目標

B2406y

- 1) 子どもの成長発達を理解する。
- 2) 子どもの成長発達に応じた生活とその家族を理解する。
- 3) 子どもに関する統計および現在の子どもと家族の抱える健康問題、子どもの健康や擁護に関する法律・政策を知り、小児看護の役割を考える。
- 4) 病気・障害をもつ子どもと家族を理解し、必要な看護を考える。
- 5) 症状を示す子どもや検査処置を受ける子どもに対する必要な看護技術を習得する。

成績評価方法

課題(5点)、小テスト(10点)・プレゼンテーション(5点)・中間試験(20点)・期末試験(60点)を総合的に評価し、科目評価が60点以上の場合に単位取得を認める。再試験は1回に限り行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			5
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		5
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション、1.小児看護学で用いられる概念と理論 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】岡光	
2)	1.小児看護学で用いられる概念と理論 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】岡光	
3)	1.小児看護学で用いられる概念と理論 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】岡光	プレゼンテーション
4)	2.子どもの成長・発達と看護 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】岡光	小テスト
5)	2.子どもの成長・発達と看護 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】岡光	
6)	2.子どもの成長・発達と看護 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】岡光	課題ノート
7)	3.健康障害をもつ子ども・家族への看護 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】岡光	
8)	3.健康障害をもつ子ども・家族への看護 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】岡光	中間テスト
9)	3.健康障害をもつ子ども・家族への看護 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】岡光	事前課題
10)	3.健康障害をもつ子ども・家族への看護 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】岡光	
11)	4.健康障害をもつ子ども・家族への看護過程の展開 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】岡光	
12)	演習 健康障害をもつ子ども・家族への看護 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】金川	事後課題
13)	4.健康障害をもつ子ども・家族への看護過程の展開 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】岡光	課題ノート
14)	4.健康障害をもつ子ども・家族への看護過程の展開 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】岡光	小テスト
15)	4.健康障害をもつ子ども・家族への看護過程の展開 【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分） 【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】岡光	
授業外学習		
・授業計画に記載されている教科書の該当単元の予習をした上で講義に臨んで下さい。 ・小テストは講義済みの内容から出題するため、復習を欠かさず行って下さい。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
1) 編者 中野綾美：ナーシング・グラフィカ 小児看護学 小児の発達と看護、株式会社メディカ出版 2) 編者 中野綾美：ナーシング・グラフィカ 小児看護学 小児看護技術、株式会社メディカ出版		母性看護総論、公衆衛生学、学校保健

課題に対するフィードバック
・ 課題内容に適時コメントします。 ・ 小テスト、中間試験は採点して返却する。全体に向けた講評の中で理解が不十分な点や間違いやすい点等は、授業中にフィードバックします。
備考
・ 授業の出欠席は、出席カード・課題等で確認します。 ・ 試験の受験資格は、全授業回数の3分の2以上とします。欠席回数を教員から言うことはありません。各自で確認して下さい。 ・ 授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

科目名	小児看護援助論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	岡光 基子、金川 真理	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

- ・一人一人の子どもの権利を擁護し、子どもに安全で安楽なケアを提供するために、科学的根拠に基づいた看護実践能力を習得する。小児に多い疾患および小児期特有の疾患の病態、診断、治療、予後、看護について系統別に学習し、臨床実習に応用できるようにする。
- ・岡光基子は、看護師として小児およびその家族の看護を行った経験をもとに、小児に多い疾患および小児期特有の疾患および看護に関する知識を学生に理解させ、小児看護技術を修得させる。また、事例の展開を通して系統的な小児およびその家族の理解と看護ケアの選択を促す。金川真理は、看護師・助産師として小児およびその家族の看護を行った経験をもとに、小児に多い疾患および小児期特有の疾患および看護に関する知識を学生に理解させ、小児看護技術を修得させる。また、事例の展開を通して系統的な小児およびその家族の理解と看護ケアの選択を促す。

到達目標

B3405y

- 1) あらゆる年齢、健康レベルにある子どもが主体となって、治療、検査、処置に取り組むための看護援助ができる。
- 2) 子どもの最善の利益を目指した看護を実践することができる。
- 3) 子どもの権利条約と倫理的配慮に基づいた看護実践ができる。
- 4) 子どもの成長発達を理解し発達段階に応じた看護実践ができる。
- 5) 子どもを育む家族とパートナーシップを形成し、子どもにとって最善のケアを提供することができる
- 6) 生体機能に影響をおよぼす要因を理解し、異常や障害が起こるメカニズムについて理解する。
- 7) 主要疾患の要因、病態、検査、治療、看護が理解できる。
- 8) 患児の自覚症状や身体所見と関連した病態生理学的知識を理解する。
- 9) 子どもに安全で安楽な治療、検査、処置、ケアを提供するために必要な看護技術を習得する。

成績評価方法

- ・課題(10点)、小テスト(10点)・プレゼンテーション(10点)・中間テスト(20点)・期末試験(50点)を総合的に評価し、科目評価が60点以上の場合に単位取得を認める。再試験は1回に限り行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) オリエンテーション、第1章染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護、第2章新生児の看護【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】岡光	
2) オリエンテーション、第1章染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護、第2章新生児の看護【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】岡光	
3) 第1章染色体異常・胎内環境により発症する先天異常、第2章 新生児疾患、第7章呼吸器疾患、第8章循環器疾患【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】砂川	
4) 第1章染色体異常・胎内環境により発症する先天異常、第2章新生児疾患、第7章 呼吸器疾患、第8章循環器疾患【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】砂川	
5) 第7章 呼吸器疾患を持った子どもの看護、第8章 循環器疾患と看護【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】岡光	
6) 第7章 呼吸器疾患を持った子どもの看護、第8章 循環器疾患と看護【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】岡光	
7) 第3章代謝性疾患を持った子どもの看護、第4章 内分泌疾患と看護【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】岡光	小テスト
8) 第3章代謝性疾患を持った子どもの看護、第4章 内分泌疾患と看護【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】岡光	
9) 第5章 免疫疾患・アレルギー疾患と看護、第6章感染症と看護【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】金川	
10) 第5章 免疫疾患・アレルギー疾患と看護、第6章感染症と看護【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】金川	事前課題
11) 第9章 消化器疾患を持った子どもの看護、【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】金川	課題ノート
12) 第9章 消化器疾患を持った子どもの看護、【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】金川	
13) 第10章 血液・造血器疾患と看護、第11章 悪性新生物と看護、【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】岡光	
14) 第10章 血液・造血器疾患と看護、第11章 悪性新生物と看護、【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】岡光	
15) 第12章 腎・泌尿器および生殖器疾患と看護【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】岡光	中間テスト
16) 第12章 腎・泌尿器および生殖器疾患と看護【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】岡光	
17) 第13章 神経疾患と看護、第14章 運動器疾患と看護【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】金川	
18) 第13章 神経疾患と看護、第14章 運動器疾患と看護【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】金川	事前課題
19) 第15章 皮膚疾患と看護、第16章 眼疾患と看護、第17章 耳鼻咽喉疾患と看護【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】岡光	
20) 第15章 皮膚疾患と看護、第16章 眼疾患と看護、第17章 耳鼻咽喉疾患と看護【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートにまとめる（60分）【担当】岡光	

21)	演習 日常生活援助技術（食事・オムツ交換・清潔・衣生活・移動）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】金川	
22)	演習 日常生活援助技術（食事・オムツ交換・清潔・衣生活・移動）【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】金川	事後課題
23)	演習 付章 事例による看護過程の展開1【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し（60分）【担当】金川	グループワーク
24)	演習 付章 事例による看護過程の展開1【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し（60分）【担当】金川	プレゼンテーション 事後課題 事前課題
25)	演習 付章 事例による看護過程の展開2【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し（60分）【担当】金川	グループワーク
26)	演習 付章 事例による看護過程の展開2【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し（60分）【担当】金川	プレゼンテーション 事後課題 事前課題
27)	第18章 精神疾患を持った子どもの看護、第19章 事故・外傷と看護【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】岡光	小テスト 課題ノート
28)	第18章 精神疾患を持った子どもの看護、第19章 事故・外傷と看護【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】岡光	
29)	演習 診療・処置・検査時の看護技術【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】金川	
30)	演習 診療・処置・検査時の看護技術【予習】教科書の該当ページを読んでくること（60分）【復習】教科書と配布資料の見直し、ノートまとめ（60分）【担当】金川	事後課題

授業外学習

- ・授業計画に記載されている教科書の該当単元の予習をした上で講義に臨んで下さい。
- ・小テスト、中間テストは講義済みの内容から出題するため、復習を欠かさず行って下さい。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
1) 奈良間美保、他：系統看護学講座 専門分野 小児臨床看護各論 小児看護学2、医学書院 2) 奈良間美保、他：系統看護学講座 専門分野 小児看護学概論・小児臨床看護総論 小児看護学1、医学書院	小児看護総論、母性看護援助論、小児看護学実習

課題に対するフィードバック

- ・課題内容に適時コメントします。
- ・小テスト、中間テストは採点して返却する。全体に向けた講評の中で理解が不十分な点や間違いやすい点等は、授業中にフィードバックします。

備考

- ・授業の出欠席は、出席カード・課題で確認します。
- ・試験の受験資格は、全授業回数の3分の2以上とします。欠席回数を教員から言うことはありません。各自で確認して下さい。
- ・授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにしてバッグにしまってください。

科目名	母性看護総論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	安成 智子、金川 真理	関連する資格	看護師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状	

授業概要

母性意識の意義と発達、母子関係の成り立ちを理解し、母性を対象とした援助に必要な知識の基礎を学ぶ。
また、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点から女性の生涯を通じての健康を考え、理解を深める。
助産師として不妊症患者や妊産婦の看護に携わってきた経験をもとに、女性の健康管理に関する問題や看護について講義を行う。

到達目標

(B2407y)
1. 女性および母子の心身における健康について、性と生殖を通して理解し、説明することができる。
2. 女性および母子の健康増進に関与する社会の在り方を理解し、関係づけることができる。
3. 女性のライフサイクル各期の特徴的な健康問題と看護を理解し、問題点を判断することができる。

成績評価方法

Google class roomに投稿する小テスト(15点)・口頭試問(5点)・授業外レポート(10点)・筆記試験(70点)により総合的に評価し、科目評価が60点以上の場合に単位取得を認める。
科目得点が60未満の場合は1回のみ再試験(筆記試験)を行い、再試験の素点が60点以上の場合に単位取得を認める。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○			○		20
宿題、授業外レポート	○	○			○		10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 母性看護の概念の理解：母性の定義・愛着・母子相互作用・母性の発達/成熟/継承(安成) 【予習】シラバスを確認する(10分) 【復習】講義内容の復習(30分)		授業オリエンテーション
2) 母性看護の概念の理解：母性の発達・成熟・継承(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)		反転学習（母性保護規定に関連する法律）
3) 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状：歴史・母子保健統計(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)		反転学習（母性保護規定に関連する法律）
4) 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状：母性保護規程(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】配布資料の空欄を完成させる(30分)		配布資料の空欄を完成させる。
5) リプロダクティブヘルスケア：セクシュアリティ・家族計画・性感染症(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)		小テスト
6) リプロダクティブヘルスケア：人工妊娠中絶・喫煙・性暴力・児童虐待(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)		
7) 母性看護における対象理解：女性生殖器の形態/機能・月経周期(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】月経周期のホルモン動態等を説明できるように学習する(60分)		ワークシート（女性の月経周期）
8) 女性のライフステージ各期における看護：思春期・成熟期(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)		小テスト
9) 女性のライフステージ各期における看護：更年期・老年期(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)		
10) 母性看護に必要な看護技術：ヘルスプロモーション・事故予防・女性の意思決定(安成) 【予習】概論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)		小テスト
11) 口頭試問(安成) 【予習】概論テキスト該当部分より試験勉強をする(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)		口頭試問
12) 出生前からのリプロダクティブヘルスケア：出生前診断・不妊症の人の看護・母性看護における倫理(安成) 【予習】各論テキスト該当部分を読む(30分)【復習】講義内容の復習(30分)		
13) 妊娠期における看護：妊娠期の身体的特性・心理社会的特性(安成) 【予習】各論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)		ワークシート「妊娠中の変化」
14) 妊娠期における看護：妊婦と胎児のアセスメント(安成) 【予習】各論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)		
15) 妊娠期における看護：妊婦と胎児のアセスメント(安成) 【予習】各論テキスト該当部分を読む(30分) 【復習】講義内容の復習(30分)		小テスト
授業外学習		
社会における女性・母子・家族を取り巻く問題に普段から関心を持ち、ニュースにも目を通しておきましょう。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論 母性看護学 1、医学書院 母性看護学各論 母性看護学 2、医学書院 ＊第1～11回の講義では「概論」、第12～15回の講義では「各論」のテキストを使用します。		人体の構造と機能 ・ 看護過程論 母性看護援助論 母性看護学実習

課題に対するフィードバック
・ Google class roomの課題や小テストに対して採点・コメントをします。
備考
・ 質問等はGoogle class roomよりメールでお願いします。
・ 講義順を変更することがあります。
・ 対面授業の際、座席を指定しますが、板書が見えない学生は移動可能ですので申し出てください。

科目名	母性看護援助論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	安成 智子、金川 真理	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

母性看護の対象となる人々の健康状態を系統的にアセスメントし、科学的な根拠に基づいて援助する方法を学ぶ。
 特に、母性としての営みの顕著な妊娠・分娩・産褥期にある母親および胎児・新生児について理解し、母性機能の健全な発達や母子の成長・発達を促す看護について、事例の展開や技術演習などを通して学ぶ。
 安成智子は、助産師として分娩に関わった実務経験をもとに、妊産褥婦・胎児及び新生児の健康に関する知識を学生に理解させ、技術を修得させる。また、事例の展開を通して系統的な対象者の理解と看護ケアの選択を促す。
 金川真理は、助産師として分娩に関わった実務経験をもとに、妊産褥婦・胎児及び新生児の健康に関する知識を学生に理解させ、技術を修得させる。また、事例の展開を通して系統的な対象者の理解と看護ケアの選択を促す。

到達目標

- (B3406)
1. 妊娠・分娩・産褥期の母親および胎児・新生児に生じる変化を理解する。
 2. 対象者のヘルスアセスメントに必要な知識と技術および、母児の成長・発達を促す援助技術を修得する。
 3. 周産期のウェルネス型看護過程を理解し、事例を用いた看護過程の展開を行う。
 4. 周産期に予測される正常からの逸脱と、その際の看護援助を理解する。

成績評価方法

Google class roomに投稿する小テスト及び演習時の授業内課題(30点)・筆記試験(70点)を総合的に評価し、科目評価が60点以上の場合に単位取得を認める。
 科目得点が60未満の場合は1回のみ再試験(筆記試験)を行い、再試験の素点が60点以上の場合に単位取得を認める。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○			○			
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 講義オリエンテーション 妊娠期の看護（母性看護総論の復習含む）（安成） 【予習】シラバスを読んでおくこと（10分） 【復習】講義内容の復習（20分）	妊婦体験演習（希望者のみ）
2) 妊娠期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	妊婦体験演習（希望者のみ）
3) 妊娠期の看護・異常（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
4) 妊娠期の看護・異常（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
5) 演習：妊婦健康診査で用いる技術・アセスメント（金川） 【予習】該当部分の技術の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
6) 演習：妊婦健康診査で用いる技術・アセスメント（金川） 【予習】該当部分の技術の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
7) 正常分娩の経過（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	小テスト（妊娠期）
8) 正常分娩の経過（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
9) 分娩期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
10) 分娩期の看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	小テスト
11) 分娩期の看護・異常・分娩準備教育（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
12) 分娩期の看護・異常・分娩準備教育（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
13) 演習：分娩期の看護（金川） 【予習】該当部分の技術の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
14) 演習：分娩期の看護（金川） 【予習】該当部分の技術の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
15) 産褥期の看護（退行性変化）（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	小テスト（分娩期）
16) 産褥期の看護（退行性変化）（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
17) 産褥期の看護（進行性変化）（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
18) 産褥期の看護（進行性変化）（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	小テスト
19) 産褥期の看護・産褥期の異常（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
20) 産褥期の看護・産褥期の異常（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	

21) 演習：産褥期の看護・アセスメント（金川） 【予習】該当部分の技術の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
22) 演習：産褥期の看護・アセスメント（金川） 【予習】該当部分の技術の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
23) 新生児の生理（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	小テスト(産褥期)
24) 新生児の生理（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
25) 新生児の観察・看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
26) 新生児の観察・看護（安成） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	
27) 演習：分娩準備教育（金川） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
28) 演習：分娩準備教育（金川） 【予習】該当部分の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
29) 演習：新生児期の看護で用いる技術（金川） 【予習】該当部分の技術の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート
30) 演習：新生児期の看護で用いる技術（金川） 【予習】該当部分の技術の予習（20分） 【復習】講義内容の復習（20分）	ワークシート

授業外学習

- 1．授業計画に記載されているテキストの該当単元の予習をして下さい。
- 2．小テストは講義済みの内容から出題するため、復習を欠かさず行って下さい。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門分野 母性看護学各論 母性看護学2 医学書院	人体の構造と機能 ・ 看護過程論 家族論・家族関係論 小児看護総論・小児看護援助論 母性看護総論・母性看護学実習

課題に対するフィードバック

ワークシートは採点して返却する。
 Googl class roomに投稿する小テストでは正解を提示する。
 授業内資料として用いる国家試験問題集では授業内あるいは授業後に正解を提示する。
 理解が不十分な点や間違いやすい点への追加説明を行う。

備考

科目名	老年看護総論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	江口 恵里、和氣 さち	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

高齢者の生きてきた時代背景とともに身体的・精神的・社会的特徴をふまえ全人的に理解し、老いて生活していくことを支えるために必要な理論、看護活動などについて学ぶ。また、高齢社会の統計的輪郭、保険・医療・福祉の動向など人口の高齢化が地域社会へ及ぼす影響について考察し、保健医療福祉チームとしての看護職の役割について学ぶ。

(江口・和氣は、臨床での看護師としての実務経験を活かし、臨床現場での具体的な事例を交えながら教育を行う。また、学生が高齢者の生活や価値観を尊重しつつケアを提供できるよう、グループディスカッションや事例検討を通じて多角的な視点を育むことができるように授業をする。)

到達目標

(B2408)

- ・老年看護の基本的考え方と社会制度との関連性を理解し、説明できる。
- ・高齢者の身体的・心理的・社会的特徴や生活史を踏まえ、その人らしさを尊重する態度を身につける。
- ・加齢や社会的変化が生活に与える影響を理解し、健康レベルに応じた看護援助を提案できる。
- ・多職種連携の重要性を理解し、老年看護におけるチームアプローチの意義を説明できる。
- ・高齢者の尊厳を尊重する看護師としての倫理的態度を形成する。

成績評価方法

記述試験、宿題の提出状況、グループで相互評価したものを確認し、評価基準に基づき評価をする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 老年期の理解（江口） 高齢者の理解（高齢者の特徴、社会的位置づけ、高齢者にとっての健康やQOLの意義）	ラウンド・ロビン
2) 同上 事前学習（60分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する（p 22-95） 事後学習（60分）高齢者のインタビューに向けての準備をする（p 352-357）	
3) 認知症について（江口） 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」、看護の基本姿勢、高齢者と家族の支援	ラウンド・ロビン
4) 同上 事前学習（60分）地域の認知症対策について調べる 事後学習（60分）認知症への理解・啓発にむけて地域の現状を考える	
5) 老年期の理解（江口） 高齢者のサポート体制（法律、制度、社会資源）	ラウンド・ロビン
6) 同上 事前学習（60分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する（p 95-122） 事後学習（60分）高齢者ケアにおけるテクノロジー活用の実際を調べる	
7) 高齢者看護・介護とテクノロジー（江口） 看護・介護技術やロボットが、人間のケアに置き換わることで起きる倫理的課題	ラウンド・ロビン
8) 同上 事前学習（60分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する（p 122-129） 事後学習（60分）技術導入と倫理的課題について、自分の意見をまとめる	
9) 老年期の理解（江口） 地域包括ケアシステム（切れ目のない医療ケアサービス、多様な生活の場における高齢者看護）	ラウンド・ロビン
10) 同上 事前学習（60分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する（p 148-196） 事後学習（60分）宿題（事例 最善の生活の場を考える）	
11) 高齢看護の基本（江口） 高齢看護の特性（理論、アセスメント、疾患）	ラウンド・ロビン
12) 同上 事前学習（60分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する（p 198-265） 事後学習（60分）まとめ	
13) 高齢看護の基本（江口） 高齢看護の特性（倫理）	ラウンド・ロビン
14) 同上 事前学習（60分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する（p 130-146） 事後学習（60分）宿題（事例）	
15) 老年看護の課題（江口） 今までの学びの中で老年看護の課題を多角的に捉え具体的な解決策を発表する・現状の理解、問題点の整理、解決策の検討、実行の課題	ラウンド・ロビン
16) 同上 事前学習（60分）発表準備 事後学習（60分）他のグループの発表からの学びをまとめる	
17) ヘルスプロモーション（江口） 高齢者の健康づくり（生活習慣予防、健康寿命をのばす）	ラウンド・ロビン
18) 同上 事前学習（60分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する（p 284-305） 事後学習（60分）まとめ	
19) 基本生活の支援（江口） セクシュアリティ、社会参加	ラウンド・ロビン
20) 同上 事前学習（60分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する（p 320-327） 事後学習（60分）宿題（文献のまとめ）	

21) 高齢者の住まいについて（和氣） 生活場所と安全を考えた環境づくりについて	グループワーク
22) 同上 事前学習（60分）教科書の当該部分を読んで疑問を整理する（p 328-345） 事後学習（60分）宿題（文献のまとめ）	
23) 災害時の高齢者看護（江口） 災害時の高齢者と備えの実態、避難所、福祉避難所、仮設住宅における高齢者の生活、復興後を見据えた支援の方向性	ラウンド・ロビン
24) 同上 事前学習（60分）災害時の高齢者支援ガイドを読んで質問に答える 事後学習（60分）能登半島地震で高齢者のおかれた状況について調べる	
25) 保存食の体験（江口・和氣） 高齢者支援の視点から食事提供の工夫や課題を考える	グループワーク
26) 同上 事前学習（60分）災害時の食事について調べる 事後学習（60分）能登半島地震で高齢者のおかれた状況について調べる	
27) 演習（Aチーム：高齢者体験、Bチーム：介助技術）（江口・和氣） 事前学習（30分）80歳になった私を考える、グループ同士で援助技術を教え合うことができるようにしておく 事後学習（30分）演習後の学び、感想	グループワーク 発表
28) 演習（Aチーム：介助技術、Bチーム：高齢者体験）（江口・和氣） 事前学習（60分）80歳になった私を考える、グループ同士で援助技術を教え合うことができるようにしておく 事後学習（60分）演習後の学び、感想	
29) 演習のまとめ（江口） 事前課題（60分）演習後の宿題 事後課題（60分）レポート（倫理的側面の考察）	ラウンド・ロビン
30) レクリエーションについて（江口） DVDを視聴して高齢者とレクリエーションについて考える	

授業外学習

高齢者施設（グループホーム）、認知症カフェなどで高齢者と触れ合う場を設ける

テキスト、参考書、教材	関連する科目
【テキスト】 1) 堀内ふき 他 ナーシング・グラフィカ老年看護 高齢者の健康と障害 メディカ出版 2) 山田律子 他 生活機能からみた老年看護過程＋病態・生活機能関連図 医学書院	地域体験実習 老年看護学実習 老年看護援助論

課題に対するフィードバック

質問や疑問に関しては全員に回答をする
提出物に関しては添削・コメント入れて返却する

備考

- 2コマ続きの授業
- 高齢者と触れ合う場を設けたり視聴覚教材を活用しイメージがしやすいように授業を展開していく。

科目名	老年看護援助論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	和氣 さち、江口 恵里	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

老年看護総論の学びをふまえ、高齢者特有の健康問題（症状・疾患）、生活機能障害について理解を深め、QOLの向上を主眼に高齢者の健康レベルに応じた看護のアプローチについて、事例を通して学ぶ。また、また、倫理的課題をふまえ、高齢者のおかれている状況を総合的にアセスメントし、高齢者及びその家族を対象とした看護活動を習得し、実践へつなげていく。

到達目標

（B3407）

1. 老年期におこりやすい疾患や症状の病態生理と生活機能の変化が説明できる。
 2. 健康障害や生活障害をもつ高齢者への看護に必要な知識を説明できる。
 3. 加齢と疾患の影響による生活の障害を、事例をもとにアセスメントし、看護の方向性を導くことができる。
- 高齢者の生理的老化と病的老化、老年期に特徴的な疾患の病態生理、それに伴う生活機能の変化をふまえて、健康障害・生活障害をもつ高齢者の病態とアセスメント、高齢患者のリスクマネジメント等を網羅的に学ぶ。

成績評価方法

グループワークの参加度、課題（提出物）、小テスト、定期試験を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（%）
定期試験（中間・期末）	○						50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート	○	○	○				10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○			10
グループワーク	○	○	○	○			10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 老年看護学 ガイダンスと老年看護学 の復習と看護の展開について（和氣） 予習：テキスト ～XIVまでを読んでおく（30分） 復習：テキスト・資料などを活用し講義内容をまとめる（60分）		グループワーク
2) 加齢にともなう変化（循環器系）（江口） 予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：テキスト・資料などを活用し講義内容をまとめる（60分）		グループワーク
3) 加齢にともなう変化（消化器系）（江口） 予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：テキスト・資料などを活用し講義内容をまとめる（60分）		グループワーク
4) 看護過程の展開（事例を用い関連図と看護の焦点のポイントを考える）（和氣） 予習：関連図を書く（30分） 復習：関連図と看護の焦点について講義内容をまとめる（60分）		グループワーク
5) 脳神経系疾患（パーキンソン病）（和氣） 予習：テキスト p 73～90までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・資料などを活用し講義内容をまとめる（60分）		グループワーク
6) 運動器疾患（大腿骨頸部骨折）（和氣） 予習：テキスト p 111～124までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・資料などを活用し講義内容をまとめる（60分）		グループワーク
7) 呼吸器疾患（誤嚥性肺炎）、循環器系疾患（心不全）（和氣） 予習：テキスト p 129～142、p164～179までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・資料などを活用し講義内容をまとめる（60分）		グループワーク
8) 皮膚疾患（老人性皮膚掻痒症）・眼疾患（白内障）（和氣） 予習：テキスト p 215～227、p 259～271までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・資料などを活用し講義内容をまとめる（60分）		グループワーク 小テスト
9) 看護過程の展開（事例を用い関連図と看護の焦点のポイントを考える）（和氣） 予習：関連図を書く（30分） 復習：関連図と看護の焦点について講義内容をまとめる（60分）		グループワーク
10) 看護過程の展開（事例を用い関連図と看護の焦点のポイントを考える）（和氣） 予習：関連図を書く（30分） 復習：関連図と看護の焦点について学習を深め、関連図を作成する（60分）		グループワーク 課題（関連図）
11) 高齢者と薬（和氣） 予習：「老年看護学」p321～326までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・資料などを活用し講義内容をまとめる（60分）		グループワーク
12) 人生の最終段階を見据えた高齢者のとらえ方と意思決定支援（和氣） 予習：テキスト p xi, 「老年看護学」p353～358を読んでおく（30分） 復習：テキスト・資料などを活用し講義内容をまとめる（60分）		グループワーク
13) 高齢者特有のリスクマネジメント（和氣） 予習：「老年看護学」p 388～406までを読んでおく（30分） 復習：テキスト・資料などを活用し講義内容をまとめる（60分）		グループワーク
14) 老年看護学の倫理的な課題（和氣） 予習：実習のときにあった倫理問題について考えてくる（30分） 復習：テキスト・資料などを活用し講義内容をまとめる（60分）		グループワーク 小テスト
15) 高齢者（認知症）の住みやすい環境（和氣） 予習：配布した授業資料より、高齢者の生活環境について考えてくる（30分） 復習：発表をもとに今までの授業内容をまとめる（60分）		グループワーク 発表
授業外学習		
授業計画に沿って学習目標を提示します。テキストの単元を熟読して学習目標の習得に取り組んで下さい。 小テストを2回行います。復習を兼ねて自己学習をして下さい。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
テキスト：「生活機能からみた老年看護過程」（医学書院第4版）、「高齢者の健康と障害」（メディカ出版） 参考書：最新老年看護学（日本看護協会出版会）、高齢者の健康と障害（メディカ出版）、高齢者の実践（メディカ出版）、終末期看護エンドオブライフケア（メヂカルフレンド社）、看護倫理（医学書院）老年看護学（医歯薬出版株式会社）	基礎看護学、成人看護学、疾病論、老年看護総論、地域体験実習、老年看護学実習、総合看護実習	

課題に対するフィードバック
レポートは、確認後返却し、各自にコメントもしくは次回の授業時にコメントします。
備考
課題の提出は指定日時を厳守して下さい。

科目名	精神看護総論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	佐藤 美幸、柿並 洋子	関連する資格	看護師国家試験受験資格 養護教諭一種免許状	

授業概要

精神看護の対象と目的、精神の健康概念について学ぶとともに、精神保健福祉の現状と課題について理解する。
また、精神症状および精神疾患と治療法およびその看護に対する知識を習得する。リエゾン精神看護についての概要と実践、他職種との連携について理解する。

（佐藤、柿並は精神科看護師としての実務経験をもとに精神障害者への援助方法、精神疾患とそれに伴う治療についての授業を行う。）

到達目標

（B2409y）

- ・精神看護の対象と目的が言える
- ・人のライフサイクルにおける発達課題とそこに生じる心の問題を述べる
ことができる
- ・精神医療保健福祉の歴史的背景が理解できる
- ・精神障害者を取り巻く法律の概要が説明できる
- ・精神症状、主な精神疾患と治療法について説明できる
- ・精神科の倫理的な問題と看護師の役割について説明できる
- ・精神科リハビリテーションと地域保健福祉活動について説明できる
- ・リエゾン精神看護の概要とリエゾナーズの活動について述べる
ことができる

成績評価方法

期末試験（60％）、授業内小テスト（20％）
レポート（20％）

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				60
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 精神看護学で学ぶこと（佐藤） p2-25 【予習】 教科書の序章を読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		
2) 「精神（心）」の捉え方（佐藤） p28-70 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		
3) 精神（心）の発達に関する主要な考え方（佐藤） p72-97 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		
4) 家族と精神（心）の健康（柿並） p100-120 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		
5) 暮らしの場と精神の健康（柿並） p122-147 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		
6) 精神（心）の危機状況と精神保健（柿並） p150-170 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		
7) 現代社会と精神（心）の健康（柿並） p172 - 224 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		
8) 現代社会と精神（心）の健康（柿並） p172 - 224 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		
9) 精神保健医療福祉の歴史（佐藤） p226-245 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		小テスト
10) 精神保健福祉法と患者の処遇（佐藤） p245-273 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		
11) 精神障害者の抱える症状の理解1（佐藤） p22-42 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		
12) 精神障害者の抱える症状の理解2（佐藤） p22-42 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		
13) 精神科的診察（佐藤） p42-58 【予習】 事前配布のワークを教科書をもとに行う（60分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		小テスト 事前課題
14) 主な精神疾患／障害と看護（佐藤） p62-146 【予習】 事前配布のワークを教科書をもとに行う（60分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		事前課題
15) 主な精神疾患／障害と看護（佐藤） p62-146 【予習】 事前配布のワークを教科書をもとに行う（60分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		事前課題
16) 主な精神疾患／障害と看護（佐藤） p62-146 【予習】 事前配布のワークを教科書をもとに行う（60分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		事前課題
17) 主な精神疾患／障害と看護（佐藤） p62-146 【予習】 事前配布のワークを教科書をもとに行う（60分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		事前課題
18) 主な精神疾患／障害と看護（佐藤） p62-146 【予習】 事前配布のワークを教科書をもとに行う（60分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		事前課題
19) 精神科における主な治療と看護（佐藤） p148-162 【予習】 事前配布のワークを教科書をもとに行う（60分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		事前課題
20) 精神科における主な治療と看護（佐藤） p163-187 【予習】 事前配布のワークを教科書をもとに行う（60分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）		小テスト 事前課題

21)	精神障害をもつ人との関わり方（柿並） p190-219 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	
22)	精神障害を持つ人とのコミュニケーション（柿並） p190-219 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	
23)	精神障害を持つ人の地域における生活への支援（柿並） p352-421 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	
24)	精神障害を持つ人の地域における生活への支援（柿並） p352-421 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	
25)	精神（心）を病むということ（柿並） p2-20 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 課題レポートを作成する（60分）	課題レポート（26回と共通）
26)	精神（心）を病むということ（柿並） p2-20 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 課題レポートを作成する（60分）	課題レポート（25回と共通）
27)	司法精神看護（佐藤） p440-458 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	小テスト
28)	災害看護（佐藤） p459-471 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 教科書、プリント、ノートを見直し、まとめる（30分）	
29)	リエゾン精神看護（早川昌子：非常勤） 424-438 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 課題レポートを作成する（60分）	課題レポート（30回と共通）
30)	リエゾン精神看護（早川昌子：非常期） 424-438 【予習】 教科書の該当ページを読んでくる（30分） 【復習】 課題レポートを作成する（60分）	課題レポート（29回と共通）

授業外学習

教科書の該当ページは必ず読んで来て下さい（予習）。
小テストを4回行います。小テストはテストの前の週のところまでが範囲です。復習を兼ねて自己学習して下さい。
事前課題のところは、事前に配布された資料（ワーク）をもとに教科書をよく読んでワークを行ってきてください。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
新体系看護学全書 精神看護学 精神看護学概論精神保健 精神看護学 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社	既習科目すべて 精神看護援助論 精神看護学実習

課題に対するフィードバック

小テストは終了後にまとめて全ての問題の振り返り、解説を行う。
レポートは、全体でコメントする。

備考

科目名	精神看護援助論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	3年	前期
担当者名	柿並 洋子、佐藤 美幸	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

精神看護総論で学習した知識をもとに精神に障害をもつ人に焦点をあて、対象者の全体像を身体的・精神的・社会的側面から包括的な視点で捉え、患者・看護師関係を活用しながら精神看護を実践していくための知識と技術を事例を通して学習する。

（柿並、佐藤は、精神科看護師としての実務経験をもとに、精神に障害をもつ人への看護援助についての授業を行う。）

到達目標

（B3408）

- ・精神に障害を抱える人への看護援助について説明できる
- ・精神疾患・障害をもつ人への看護の要点を述べるができる
- ・精神科における治療環境と安全管理、倫理的配慮について述べるができる
- ・他職種との連携について述べるができる

成績評価方法

期末試験（90％）
授業内小テスト（10％）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験（中間・期末）	○	○	○	○			90
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○				
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 精神症状と看護（柿並） 配布資料 【予習】精神症状（P22-42）について復習しておく（30分） 【復習】配布資料を見直し、授業内容をまとめる（60分）		
2) 精神症状と看護（柿並） 配布資料 【予習】精神症状（P22-42）について復習しておく（30分） 【復習】配布資料を見直し、授業内容をまとめる（60分）		グループワーク
3) 精神障害を持つ人へのセルフケアの援助（柿並） P247-255 【予習】教科書の該当ページを読む（30分） 【復習】教科書を見直し、授業内容をまとめる（60分）		
4) 事故防止・安全管理と倫理的配慮（柿並） P258-274 【予習】教科書の該当ページを読む（30分） 【復習】教科書を見直し、授業内容をまとめる（60分）		
5) 事故防止・安全管理と倫理的配慮（柿並） P258-274 【予習】教科書の該当ページを読む（30分） 【復習】教科書を見直し、授業内容をまとめる（60分）		グループワーク
6) 精神障害を持つ人へのセルフケアの援助（佐藤） P238-247 【予習】教科書の該当ページを読む（30分） 【復習】教科書を見直し、授業内容をまとめる（60分）		小テスト
7) 看護援助の基本構造（佐藤） P226-238 【予習】教科書の該当ページを読む（30分） 【復習】教科書を見直し、授業内容をまとめる（60分）		
8) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 双極性障害/うつ病（柿並） P294-304 【予習】教科書の該当ページを読む（30分） 【復習】教科書を見直し、授業内容をまとめる（60分）		
9) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 統合失調症（急性期）（佐藤） P274-283 【予習】教科書の該当ページを読む（30分） 【復習】教科書を見直し、授業内容をまとめる（60分）		
10) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 統合失調症（慢性期）（佐藤） P283-293 【予習】教科書の該当ページを読む（30分） 【復習】教科書を見直し、授業内容をまとめる（60分）		
11) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 自閉症スペクトラム障害、AD/HD（柿並） P316-327【予習】教科書の該当ページを読む（30分） 【復習】教科書を見直し、授業内容をまとめる（60分）		
12) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 アルコール依存症（外部講師、佐藤） P305-316【予習】教科書の該当ページを読む（30分） 【復習】教科書を見直し、授業内容をまとめる（60分）		
13) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 強迫性障害、パーソナリティ障害（柿並） P328-333【予習】教科書の該当ページを読む（30分） 【復習】教科書を見直し、授業内容をまとめる（60分）		
14) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 神経性やせ症摂食制限型（佐藤） P333-337【予習】教科書の該当ページを読む（30分） 【復習】教科書を見直し、授業内容をまとめる（60分）		
15) 精神疾患・障害を持つ患者への看護 身体合併症（がん・肺炎・骨折）（佐藤） P337-352【予習】教科書の該当ページを読む（30分） 【復習】教科書を見直し、授業内容をまとめる（60分）		
授業外学習		
精神看護総論の学習内容は必ず復習して授業に臨むこと。 予定表に示された教科書の該当ページ、配布されたプリント類は必ず熟読しておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
新体系看護学全書 精神看護学 精神看護学概論/精神保健 新体系看護学全書 精神看護学 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社		履修科目すべて 精神看護総論 精神看護学実習

課題に対するフィードバック
小テスト終了後、後日、講義内で小テストの解説を行う。
備考

科目名	在宅看護論実習						
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期		
実習	必修	2		4年	前期		
担当者名	清水 佑子		関連する資格		看護師国家試験受験資格		
授業概要							
何らかの支援を必要とする人に向けた在宅ケアシステムの概要を学ぶとともに、在宅で療養している対象者とその家族に対して、生活を尊重しながら生活の質(QOL)向上の視点から看護援助が実践できる基礎的能力を養う。 清水佑子は、総合病院や介護老人保健施設で行った看護や看護過程の展開をもとに、学生の実習前後の学びや記録に対して指導を行う。							
到達目標							
(B4501ah) 1. 在宅療養者とその家族について、生活状況をふまえた療養上の課題について説明できる。 2. 在宅療養者とその家族がもつ療養上の課題に対する訪問看護師の役割と、その活動について説明できる。 3. 保健・医療・福祉に携わる関連職種との連携・協働について理解できる。 4. 私生活の場に第三者が介入することの意味を考え、療養者および家族に配慮した行動がとれる。 5. 療養者が在宅で生活し続けるための在宅看護のあり方と在宅ケアシステムや社会資源について考察できる。				成績評価方法 提出物 実習記録 授業外レポート			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○		○			10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング	
2週間のうち訪問看護ステーション4日，地域連携室半日，居宅介護支援事業所半日，通所リハビリテーション・デイサービス1日の実習を行う。		知識確認テスト 関連図を基にした事例検討	

課題に対するフィードバック
記録物に対しては必要時その場で指導を行います。
備考

科目名	成人看護学実習（周手術期）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	梁元 陽子、吉富 和子	関連する資格	看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格	

授業概要

周手術期にある患者・家族を理解し、手術療法による侵襲から生活機能の回復、社会復帰に向けた看護実践に必要な知識、技術、態度を修得する。さらに患者・家族の健康問題解決に向けた社会資源の活用や看護の継続性ならびに多職種との連携について学ぶ。
梁元陽子、吉富和子は、看護師としての実務経験をもとに理論と実践を結びつけ、学生の技術の習得ならびに看護過程の展開を指導する。

到達目標

【B3409a】

1. 周手術期にある患者・家族の尊厳や価値観を尊重し、援助的人間関係を構築する。
2. 周手術期にある患者の対象特性・健康特性を説明できる。
3. 手術療法の必要性、術式、麻酔法、手術侵襲による身体への影響について説明できる。
4. 手術療法が術後回復に及ぼす影響について説明できる。
5. 手術療法を受けた患者の全身状態を把握し、回復の促進、術後合併症・二次障害の予防、苦痛緩和、生活適応に向けた看護を実践できる。
6. 周手術期における看護の継続性と多職種連携、早期回復や生活の適応に向けた社会資源の活用について説明できる。
7. カンファレンスを通じて、多角的・総合的な視点から看護を考察できる。
8. 看護学生として自らの課題を明らかにし、医療チームの一員であり且つ専門職者としてとるべき態度を考察できる。
9. 自己が実践した看護についてプレゼンテーションできる。

成績評価方法

事前学習、実習内容・態度・意欲・取り組み、実習記録・最終レポート、プレゼンテーションについて、「成人看護学実習（周手術期）評価表」に基づき評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
・オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック 領域共通」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . 」「看護学臨地実習 成人看護学実習 . . . 記録用紙及び評価表」に沿って実習を行う。 ・実習では、オリエンテーション、臨地実習、学内実習を実施する。 ・患者を受け持ち看護過程を展開する。 ・実習において経験した看護技術は、「基礎看護技術項目の履修領域と到達度」に記録し、経験できていない看護技術を明確にし、積極的に経験する。	実習 ディスカッション プレゼンテーション
授業外学習	
バイタルサイン測定や周手術期における基本となる看護技術は、実習前までに練習しておく。 提示された事前学習を実施する。 受け持ち患者の情報提供後、すぐに病態関連図を作成する。 受け持ち患者の全体像をとらえた後、アセスメント、看護計画立案を実施する。 指導者や患者に質問されたことは、必ず翌日までに調べる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門分野 成人看護学[1]～[15] 医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2][3] 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論・各論 医学書院 NANDA-I看護診断 定義と分類 2021～2023 原書12版 医学書院 参考書：看護診断ハンドブック 第12版 医学書院 基礎から学ぶ看護過程と看護診断 医学書院	成人看護総論、ヘルスアセスメント、成人看護援助論 成人看護援助論 、成人看護学実習 、成人看護学実習

課題に対するフィードバック
実習記録等に必要時コメントを記入し指導する。
備考
「看護学臨地実習ガイドブック 領域共通」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 ・・・」「看護学臨地実習 成人看護学実習 ・・・ 記録用紙及び評価表」をよく読んで内容を理解して実習に臨む。

科目名	成人看護学実習（慢性期）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	吉富 和子、梁元 陽子	関連する資格	看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格	

授業概要

慢性期にある患者・家族を理解し、生活機能の回復、健康の維持・増進、生活適応に向けた看護実践に必要な知識、技術、態度を修得する。さらに、患者・家族の健康問題解決に向けた社会資源の活用や看護の継続性ならびに多職種との連携について学ぶ。

吉富和子、梁元陽子は、看護師としての実務経験をもとに理論と実践を結びつけ、学生の技術の習得ならびに看護過程の展開を指導する。

到達目標

【B3410a】

- 1.慢性期にある患者・家族の尊厳や価値観を尊重し、援助的人間関係を構築する。
- 2.慢性期にある患者の対象特性・健康特性を説明できる。
- 3.治療を受けている患者の全身状態を把握し、生活機能の回復、二次障害の予防、苦痛緩和、健康の維持・増進、生活適応に向けた看護を実践できる。
- 4.慢性期にある患者・家族のセルフケア能力をアセスメントし、疾病および生活が自己管理できるような看護を実践できる。
- 5.慢性期における看護の継続性と多職種連携、早期回復や生活の適応に向けた社会資源の活用について説明できる。
- 6.カンファレンスを通じて、多角的・総合的な視点から看護を考察できる。
- 7.看護学生として自ら課題を明らかにし、医療チームの一員であり且つ専門職としてとるべき態度を考察できる。
- 8.自己が実践した看護についてプレゼンテーションできる。

成績評価方法

事前学習、実習内容・態度・意欲・取り組み、実習記録・最終レポートについて事前学習、実習内容・態度・意欲・取り組み、実習記録・最終レポート、プレゼンテーションについて、「成人看護学実習（慢性期）評価表」に基づき評価する。「成人看護学実習（慢性期）評価表」に基づき評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
・オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック 領域共通」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . 」「看護学臨地実習 成人看護学実習 . . . 記録用紙及び評価表」に沿って実習を行う。 ・実習では、オリエンテーション、臨地実習、学内実習を実施する。 ・患者を受け持ち看護過程を展開する。 ・実習において経験した看護技術は、「基礎看護技術項目の履修領域と到達度」に記録し、経験できていない看護技術を明確にし、積極的に経験する。	実習 ディスカッション プレゼンテーション
授業外学習	
バイタルサイン測定や基礎的な看護技術は実習前までに練習しておく。 提示された事前学習を実施する。 受け持ち患者の情報提供後、すぐに病態関連図を作成する。 受け持ち患者の全体像をとらえた後、アセスメント、看護計画立案を実施する。 指導者や患者に質問されたことは、必ず翌日までに調べる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門分野 成人看護学[1]～[15] 医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2][3] 医学書院 NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023 原書第12版 医学書院 ナーシンググラフィカ成人看護学(4)周術期看護 メディカ出版	成人看護総論、ヘルスアセスメント、成人看護援助論、 成人看護援助論、成人看護学実習、成人看護学実習

課題に対するフィードバック
実習記録等に必要時コメントを記入し指導する。
備考
「看護学臨地実習ガイドブック 領域共通」「看護学臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 ・ ・ ・ 」 「看護学臨地実習 成人看護学実習 ・ ・ ・ 記録用紙及び評価表」をよく読んで内容を理解して実習に臨む。

科目名	成人看護学実習（成人統合）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	梁元 陽子、吉富 和子	関連する資格	看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格	

授業概要

成人期における患者・家族の苦悩・体験を理解し、急性・慢性期にある患者・家族に対し、疾患・治療の特徴を踏まえた患者・家族の成長を促進し、病気を自己の人生の中で統合できるような関わりを通して全人的な看護を実践する能力を習得する。梁元陽子、吉富和子は、看護師としての実務経験をもとに理論と実践を結びつけ、学生の技術の習得ならびに看護過程の展開を指導する。

到達目標

【B3411a】

1.成人期における患者・家族の苦悩・体験を理解する。 2.成人期における患者・家族の尊厳や価値観を尊重し、援助的人間関係を構築する。 3.成人期にある患者の対象特性・健康特性を説明できる。 4.治療を受けている患者の全身状態を把握し、生活機能の回復、二次障害の予防、苦痛緩和、健康の維持・増進、生活適応に向けた看護を患者の視点に立って実践できる。 5.成人期における患者・家族のセルフケア能力をアセスメントし、患者・家族が疾病および生活が自己管理でき、その成長を促進するような看護を実践できる。 6.成人期における患者・家族の実存的側面を理解し、患者・家族が病気を自己の人生の中で統合できるような関わりができる。 7.看護の継続性と多職種連携、早期回復や生活の適応に向けた社会資源の活用について説明できる。 8.カンファレンスを通じて、多角的・総合的な視点から看護を考察できる。 9.看護学生として自ら課題を明らかにし、医療チームの一員であり且つ専門職者としてとるべき態度を考察できる。 10.患者・家族がどのように成長し、病気を自己の人生の中で統合できるような関わりができたかについて実践した看護のプレゼンテーションができる。

成績評価方法

事前学習、実習内容・態度・意欲・取り組み、実習記録・最終レポート、プレゼンテーションについて、「成人看護学実習（成人統合）評価表」に基づき評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
・オリエンテーション時に配布する「看護臨地実習ガイドブック 領域共通」「看護臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 ・・・」「看護臨地実習 成人看護学実習 ・・・」 ・記録用紙及び評価表」に沿って実習を行う。 ・実習では、臨地実習、学内実習を行う。 ・実習において経験した看護技術は、「基礎看護技術項目の履修領域と到達度」に記録し、経験できていない看護技術を明確にし、積極的に経験する。	実習 ディスカッション グループワーク プレゼンテーション
授業外学習	
提示された事前学習を実施する。 テーマに基づくディスカッションやプレゼンテーションの準備を行う。 指導者に質問されたことは、必ず翌日までに調べる。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
系統看護学講座 専門分野 成人看護学[1]～[15] 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論・各論 医学書院 はじめてのフィジカルアセスメント メヂカルフレンド社 NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023 原書第12版 医学書院 参考書：看護診断ハンドブック 第12版 医学書院 基礎から学ぶ看護過程と看護診断 医学書院	成人看護総論、ヘルスアセスメント、成人看護援助論、成人看護援助論、成人看護学実習、成人看護学実習

課題に対するフィードバック
実習記録、課題学習、課題レポート等については、必要時コメントを記入し指導する。
備考
「看護臨地実習ガイドブック 領域共通」「看護臨地実習ガイドブック 成人看護学実習 . . . 」「看護臨地実習 成人看護学実習 . . . 記録用紙及び評価表」をよく読んで内容を理解して実習に臨む。

科目名	小児看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	岡光 基子	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

- ・ 小児の成長発達過程とさまざまな健康レベルにある小児を理解するとともに、健康障害をきたした小児とその家族への看護実践方法について学ぶ。小児病棟、小児科外来、幼稚園にて2週間の実習を行う。
- ・ 岡光基子は、看護師として小児およびその家族の看護を行った経験をもとに、学生の技術の習得ならびに看護過程の展開を指導する。金川真理は、看護師・助産師として小児およびその家族の看護を行った経験をもとに、学生の技術の習得ならびに看護過程の展開を指導する。

到達目標

B3412a

- 1) 小児とその家族を理解し、良好な関係形成ができる。
- 2) 疾病や障害をもつ小児に対して、成長発達の促進、健康維持増進に向けた看護が実施できる。
- 3) 受け持ち患児の看護過程を展開し、適切な看護を理解するとともに、その一部が実施できる。
- 4) 小児看護に必要な基本的看護技術を習得する。
- 5) 実習を通して、小児看護の役割を考えることができる。
- 6) 外来を訪れる患児とその家族に対する支援と看護の役割を述べるができる。
- 7) 健康な幼児の成長発達の特徴が理解できる。
- 8) 基本的生活習慣の状況と自立を促すための関わり方が理解できる。
- 9) 年齢に応じた遊びの特徴が理解できる。
- 10) 子どもに多い事故を理解し、安全と健康の管理の方法が理解できる。

成績評価方法

事前課題、提出記録物、レポート等から総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○		90

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
・実習オリエンテーション時に配布する「2025年度看護学臨地実習ガイドブック 小児看護学実習」に沿って実習を行う。		実習前の事前課題、実習前・実習中・まとめの会（学内）のグループ演習やグループカンファレンス
授業外学習		
・事前学習課題を必ず行って臨むこと ・既習科目はすべて復習して臨むこと ・事後の振り返り・まとめ・助言・指導を受けての記録の修正ができること		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
1. 奈良間美保、他：医学書院 系統看護学講座専門分野 小児看護学概論・小児臨床看護総論 1 2. 奈良間美保、他：医学書院 系統看護学講座専門分野 小児臨床看護各論 小児看護学2		小児看護総論・小児看護援助論・母性看護総論・母性看護援助論・看護過程論

課題に対するフィードバック
・ 実習前の課題、実習中の記録物、実習後レポートについてはコメントをつけて返却する。追加修正が必要な場合は、再提出を求め、実習到達目標の達成を図る。
備考
・ 実習オリエンテーション時に配布する「2025年度看護学臨地実習ガイドブック 小児看護学実習」の内容をよく読んで理解し、遵守してください。

科目名	母性看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	3年	後期
担当者名	安成 智子、金川 真理	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

妊産褥婦および胎児/新生児とその家族の特徴を包括的に理解し、援助するための看護実践方法について学ぶ。
臨地実習と学内実習を組み合わせで行う。
安成智子は、助産師として妊産褥婦の看護を行った経験をもとに、学生の技術習得ならびに看護過程の展開を指導する。
金川真理は、助産師として妊産褥婦の看護を行った経験をもとに、学生の技術習得ならびに看護過程の展開を指導する。

到達目標

(B3413a)

1. 妊娠・分娩・産褥期の母児とその家族に関するアセスメントに必要な知識を習得する。
2. 正常な産褥経過を理解し、母児とその家族を対象とするウェルネス型の看護過程を展開する。
3. 新生児の生理的な特徴と、胎外生活への適応を促進するための援助を理解する。
4. 地域における妊婦・母子および家族の生活と、対象者に必要な看護について理解を深める。

成績評価方法

知識・技術を用いて対象を理解し、看護を展開しようとする能力を、意欲・態度を含め、本人の行動と記録から総合的に評価する。
実習記録60%・授業態度20%・プレゼンテーション(事例発表/検討)20%とする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			60
授業態度・授業参加度			○	○	○		20
プレゼンテーション	○	○		○			20
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○		

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
看護学臨地実習ガイドブック参照 担当教員が各担当施設での臨地実習を指導する。		学内演習では、DVD視聴、ロールプレイ、モデルを用いた技術練習等を通して模擬患者への看護実践を予習する。 臨地実習では、受持ち母児への看護過程の展開および妊婦に対するアセスメントを行う。 事例検討会ではグループディスカッションを行う。
授業外学習		
社会における女性・母子・家族を取り巻く問題に普段から関心を持ち、ニュースにも目を通しておきましょう。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
各自でテキスト「母性看護学各論」・授業配布資料を活用すること。その他、教員が参考書・DVD教材を準備する。	看護過程論 母性看護総論 母性看護援助論	

課題に対するフィードバック
臨地・学内実習のいずれにおいても、課題は指定された日に提出すること。教員は必要部分について指導ならびに再提出を指示し、口頭と記録用紙のコメントにてフィードバックを行う。
備考
実習の基盤となる知識として、テキスト「母性看護学各論」の内容は非常に重要である。事前学習を十分にしておくこと。

科目名	老年看護学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	4年	前期
担当者名	和氣 さち、江口 恵里	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

実際の療養場面を通して老年期にある人々を身体的、精神的、社会的側面から包括的(総合的)に理解し、健康の回復・維持・増進を目指した個別的・倫理的看護を実践するための基礎的能力を養う。

また、高齢者を中心とした保健・医療・福祉における多職種連携のあり方と、看護の役割を学ぶ。さらに、自分自身の高齢者観を深め、看護職としての基本的態度・姿勢を養う。

到達目標 (B4401a) 1. 疾患や健康障害を有している高齢者を生活者として援助することができる 2. 高齢者の健康上の課題に対応した個別的な看護実践ができる 3. 高齢者に対して、尊厳性に基づいた関わりができる。 4. 実習を通して、自分自身の高齢者観を深めることができる。	成績評価方法 臨地実習病院評価・学生自己評価・教員評価と実習態度、実習記録、レポート等を総合して評価する。
---	--

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：看護学臨地実習ガイドブック（老年看護学実習）参照	
授業外学習	
実習ガイドブックに明記しているように、実習に向け事前課題に取り組むこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
・テキスト：高齢者の健康と障害（メディカ出版） 生活機能からみた老年看護過程＋病態・生活機能 関連図（医学書院） ・参考書：老年看護 病態・疾病論（医学書院）， 老年看護学（医学書院）	基礎看護学、成人看護学、疾病論、老年看護総論、老年看護援助論、地域体験実習、総合看護実習

課題に対するフィードバック
提出した事前課題については、実習前に返却します。
備考

科目名		精神看護学実習						
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期			
実習	必修	2		4年	前期			
担当者名	柿並 洋子、佐藤 美幸		関連する資格		看護師国家試験受験資格			
授業概要								
精神の健康に障害をもつ対象を、身体的・精神的・社会的側面から理解するとともに、対象への日常生活または治療的側面の 方法や社会復帰に向けての働きかけについて、実践を通して修得する。 実習は、精神科病院および社会復帰施設で行う（2週間）。 （柿並、佐藤は精神科看護師としての実務経験を活かし、精神疾患患者への看護援助と精神科リハビリテーションの実践を通 して、基礎的な実践能力と精神看護の対象ならびにその家族がその人らしく生活を送るための支援について考える力を育む。 ）								
到達目標 （B4402a） ・精神医療・福祉の現状を理解し、精神医療・福祉の課題について意見を述べるができる。 ・院内、社会復帰施設で行われている様々な活動に参加し、患者ならびに利用者との関わりを通して、精神障害を体験的に理解できる。 ・病棟に入院中の患者や、病院・施設の利用者とのコミュニケーションを通じて、自己の対人関係を振り返る。 ・精神障害者が社会復帰する上で必要な援助と社会資源について意見を述べるができる。				成績評価方法 実習記録、レポート、実習態度等を総合判断する。 。（別途、護学臨地実習ガイドブック精神看護学実習2025年度に示す）				
評価項目		評価基準						
		知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)								
小テスト、授業内レポート								
宿題、授業外レポート		○	○	○	○			50
授業態度・授業参加度								
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習		○	○	○	○	○	○	50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
看護学臨地実習ガイドブック精神看護学実習2025年度参照		実習
授業外学習		
事前学習課題は必ず行って臨むこと。 既習科目はすべて復習して臨むこと。 記録は、日々行うこと。 学習時間は毎日180分程度を目安とする。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
新体系看護学全書精神看護学 精神看護学概論/精神保健 新体系看護学全書精神看護学 精神障害をもつ人の看護 メジカルフレンド社 実習要項（看護学臨地実習ガイドブック精神看護学実習2025年度、共通）		精神看護総論 精神看護援助論 看護学の科目全般

課題に対するフィードバック
実習を通じて適宜、指導します。一部の記録はコメントを入れて返却します。
備考
オリエンテーションはすべて出席すること。

科目名	総合ゼミナール			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	4年	後期
担当者名	立川 美香、山本 博美	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格	

授業概要

保健・医療・福祉の現場において看護活動を実践するにあたっては、他職種との連携・協働が求められる。
総合ゼミナールにおいては、チーム医療の観点から事例カンファレンスを行い、自らの立場を考察すると共に、多職種との連携を体験し、その必要性を学ぶ。
また、他職種間のコミュニケーション技術を身につけ、実践に強い看護職を目指す。

(立川、山本は、保健師としての実務経験をもとに、保健師と他職種と連携した支援やシステムづくりについて授業を行う)

到達目標

(B4101h)

1. 保健医療福祉システムについて説明できる
2. 保健医療福祉に関わる他職種の役割と機能について理解できる
3. 対象および対象集団の課題についてアセスメントできる
4. 他職種および他機関と連携・協働した支援を思案することができる
5. 他職種および他機関とのコミュニケーションの重要性を説明出来る

成績評価方法

レポート、自己学習、グループワーク

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート	○	○	○				30
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		20
グループワーク	○	○	○	○	○		30
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 保健医療福祉システムについて（立川） 【予習】保健医療福祉システムについての復習（30分） 【復習】資料の確認、講義の振り返り（60分）		
2) 保健医療福祉システムにおける保健師の役割について（山本） 【予習】保健医療福祉システムにおける保健師の役割についての復習（30分） 【復習】資料の確認、講義の振り返り（60分）		
3) 保健医療福祉に関わる他職種の役割と機能について（外部講師） 【予習】保健医療福祉に関わる他職種の役割と機能についての復習（30分） 【復習】資料の確認、講義の振り返り（60分）		
4) 事例に基づくカンファレンス（立川・山本） 【予習】事例についての事前学習（30分） 【復習】事例についての検討（60分）		グループワーク
5) 事例に基づくカンファレンス（立川・山本） 【予習】事例についての検討（30分） 【復習】事例についての検討（60分）		グループワーク
6) 事例に基づくカンファレンス（立川・山本） 【予習】事例についての検討（30分） 【復習】事例についての検討（60分）		グループワーク
7) 事例に基づくカンファレンス（発表準備）（立川・山本） 【予習】カンファレンスの準備（30分） 【復習】カンファレンスを資料作成（60分）		グループワーク
8) 保健医療福祉システムにおける保健師の役割と課題（立川・山本） 【予習】発表の準備（30分） 【復習】レポート作成（60分）		グループワーク
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
既習の科目の復習を行うこと。 グループワークに必要な情報、知識は自己学習で深め、十分理解した上で授業に臨むこと。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
既習科目のテキストおよび配付資料	既習科目全て	

課題に対するフィードバック
授業内でコメントすると共にグループワークを通じてシェアする。
備考
集中講義のため欠席はしないこと。

科目名	看護管理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	3年	後期
担当者名	加藤 かすみ、和氣 さち	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格	

授業概要

質の高い看護サービスを提供するために、看護管理においては、患者に対する看護師の1つひとつの「ケア」を組織的な看護サービスとしてマネジメントすることの必要性について理解する。

また、看護専門職としての責務の視点から、看護の組織に属するメンバー1人ひとりが看護管理の知識を持ち、あらゆる場でそれらの知識を活用し看護管理を実践することの必要性を学ぶ。

さらに、根拠をふまえた看護業務を行うために、看護を取り巻く諸制度、関連する組織や仕組みについて学ぶ。

加藤かすみ、和氣さちは、臨床現場での看護管理者としての実践経験をもとに、組織に対する考え方、看護専門職に必要な看護管理の知識とは何か、また、知識をどのように活用して看護管理を実践するのかを具体的に教授する。

到達目標

- (B3101)
1. 看護管理とは何か述べることができる。
 2. 看護ケアの提供者に必要な機能について述べることができる。
 3. 看護専門職に必要なセルフマネジメントについて説明できる。
 4. 看護サービスにおけるマネジメントの内容を説明できる。
 5. マネジメントに必要な知識、技術について述べることができる。
 6. 看護を取り巻く諸制度について説明できる。

成績評価方法

小テスト、グループワーク、プレゼンテーション、定期試験より総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					60
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		10
グループワーク	○	○	○	○	○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	講義概要の説明 第1章 看護におけるマネジメント（加藤） 【予習】第1章を読んでおく（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
2)	第2章 看護ケアのマネジメントA・B（和氣） 【予習】第2章A・Bを読んでおく（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
3)	第2章 看護ケアのマネジメントC（和氣） 【予習】第2章Cを読んでおく（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
4)	第2章 看護ケアのマネジメントD・E（加藤） 【予習】第2章D・Eを読んでおく（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
5)	第3章 看護職としてのセルフマネジメント（加藤） 【予習】第3章を読んでおく（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
6)	第4章 看護サービスのマネジメントA・B・C-（加藤） 【予習】第4章A・B・C-を読んでおく（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	小テスト
7)	第4章 看護サービスのマネジメントC-・D（加藤） 【予習】第4章C-・Dを読んでおく（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
8)	第4章 看護サービスのマネジメントE・F・G（加藤） 【予習】第4章E・F・Gを読んでおく（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
9)	第4章 看護サービスのマネジメントH・I・J（加藤） 【予習】第4章H・I・Jを読んでおく（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
10)	第4章 看護サービスのマネジメントK 第5章 マネジメントに必要な知識と技術A・B（加藤）【予習】第4章H・I・J、第5章A・Bを読んでおく（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
11)	第5章 マネジメントに必要な知識と技術C・D（加藤） 【予習】第5章C・Dを読んでおく（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
12)	第6章 看護を取り巻く制度A（加藤） 【予習】第6章Aを読んでおく（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	小テスト
13)	第6章 看護を取り巻く制度B・C（加藤） 【予習】第6章B・Cを読んでおく（30分） 【復習】講義のまとめのノート作成（60分）	ディスカッション
14)	「質のよい看護とは何か、そのために実践することは何か」意見交換（加藤） 【予習】意見交換に向けて自分の考えをまとめる（30分） 【復習】発表内容の確認・検討（60分）	グループワーク
15)	「質のよい看護とは何か、そのために実践することは何か」発表（加藤） 【予習】発表準備、質問対応（30分） 【復習】講義のまとめのノート最終確認（60分）	プレゼンテーション
授業外学習		
授業前は予習としてテキストの指定範囲を読み、授業後は復習として講義のまとめのノート作成を必ず実施して、講義に出席する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：系統看護学講座 専門分野 看護管理 看護の統合と実践1 医学書院 参考書：ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践 看護管理 MCメディカ出版		看護学概論、看護情報学、医療安全管理学 総合看護実習

課題に対するフィードバック	
小テスト	の解答は講義の中で説明する。
備考	

科目名	看護教育学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	4年	後期
担当者名	佐藤 美幸	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

看護教育制度と看護教育方法の現状と課題を理解し、看護学への関心を深め、質の高い看護のための学ぶ姿勢を身につける。

到達目標

(B4302)

看護学の歴史と教育制度の変遷を理解する
 看護教育制度の現状を理解し、課題について述べるができる
 看護専門職者としての継続教育と必要性が説明できる
 質の高い看護実践のために必要な看護教育について自らの考えを述べる
 ことができる

成績評価方法

授業内の課題 (50%)
 最終レポート (50%)

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○		○		50
宿題、授業外レポート	○	○	○				50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 看護教育とは 【予習】シラバスを確認する。学生ハンドブックを読んてくる（15分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）		
2) 看護教育の歴史と教育制度の変遷 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）		
3) 看護教育制度 1 看護基礎教育（看護師、保健師、助産師の教育システム） 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）		
4) 看護教育制度 2 看護基礎教育（大学における教育） 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）		
5) 看護教育制度 3 継続教育 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）		
6) 看護教育制度 4 卒後教育 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）		
7) 看護教育の実際 1 看護学科の教育課程を見てみよう 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）		事前課題・GW
8) 看護教育の実際 1 自分の希望する病院の卒後教育を見てみよう 【予習】配布された資料を読み、復習をする（30分） 【復習】資料を再度講読し、授業のまとめをする（60分）		事前課題・GW
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
事前に配布された資料は、授業前に必ず目を通しておく。その日の授業は必ず資料に目を通して、復習をする。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
資料配付	既習科目すべて	

課題に対するフィードバック
授業時間内でコメントする GWにおいては、GW内でシェアする
備考

科目名	身体コミュニケーション論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	2年	前期
担当者名	佐藤 美幸、和氣 さち、弘中 陽子	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

コミュニケーションの重要性をふまえて、様々な看護場面において対象に応じた方法を用いて対象者と接することができるよう、知識と技術を実践的に学ぶ。具体的には、コミュニケーションスキル、レクリエーション、アロマセラピー、タッチングなどの技術を通して、それらを実践に活用するための基礎的能力を養う。

到達目標

(B2410)

1. 医療現場におけるコミュニケーションの重要性について理解できる
2. 様々なコミュニケーション技法について知ることができる
3. 音楽療法、レクリエーション、アロマセラピーの看護への応用の方法が理解できる
4. 対象に応じたレクリエーションの企画・運営ができる
5. コミュニケーションの技術を用いて対象との良好な関係を持つことができる

成績評価方法

最終課題レポート、授業内レポート、グループワーク、演習等にて評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート	○	○	○				70
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション		○	○	○	○		5
グループワーク	○	○	○		○		5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	医療の現場におけるコミュニケーション1 コミュニケーションとは（佐藤） 【予習】シラバスを確認する（15分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	演習
2)	医療の現場におけるコミュニケーション2 コミュニケーションのズレ（佐藤） 【予習】前回の資料を読み直す（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	演習
3)	医療の現場におけるコミュニケーション3 多様性を理解する（佐藤） 【予習】前回の資料を読み直す（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	グループワーク
4)	アロマセラピーの看護への活用1（和氣） 【予習】アロマセラピーについて調べておく（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	アロマセラピーを体験する(演習)
5)	アロマセラピーの看護への活用2（和氣） 【予習】前回の資料を読み直す（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	ハンドマッサージを体験する（演習）
6)	身体を使ったコミュニケーションスキル（レクリエーション）（弘中） 【予習】レクリエーションについて調べておく（30分） 【復習】資料を読み直し、授業内容をまとめる（60分）	レクリエーションの体験をする（演習）
7)	レクリエーションを考えてみよう1 （佐藤） 【予習】グループワークのための材料を集める（60分） 【復習】グループで考えたレクリエーションが行えるよう準備する（30分）	グループワーク
8)	レクリエーションを考えてみよう2 （佐藤） 【予習】グループワークの発表のための準備を行う（60分） 【復習】実際に行ったレクリエーションについて、振り返る（30分）	グループワーク、レクリエーションを実施するとともに他のグループのレクに参加する
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
時間外での学習は主に復習を中心に行って下さい。 連続している授業は、授業前に前回の資料に目を通して復習しておいて下さい。、		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
資料配付		看護学概論 コミュニケーション論 精神看護総論、精神看護援助論

課題に対するフィードバック
授業内でコメントする。 グループワークでシェアを行う。
備考
演習・グループワークが多い科目です。自ら学ぶ姿勢で臨んで下さい。 コミュニケーション演習では、学生にペアになって様々な話をしてもらいます。 演習で知り得たことは他者に話したりしないで下さい。

科目名	災害看護論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	4年	前期
担当者名	網木 政江	関連する資格	保健師国家試験受験資格 看護師国家試験受験資格	

授業概要

災害や災害看護の歴史、災害の種類・特徴、災害サイクル、災害に関連する理論など、災害看護に必要な基礎的知識を学び、災害が人々の生命や健康、生活に影響を及ぼすことについて理解を深める。また、災害発生時の社会の対応やしぐみについて学習し、社会における看護の役割を果たすために必要な災害各期における看護・保健活動の実際について学習する。担当教員は、令和6年能登半島地震、令和元年東日本台風、平成28年熊本地震、東日本大震災等、県内外での災害支援活動の経験をもつ。平時は、地域の防災・減災活動、まちの減災ナースの育成等も行っている。これらの経験をもとに、災害各期の看護活動の実際や看護の役割について教授する。

到達目標

B4502h

1. 災害および災害看護に関する基礎的知識を理解し説明できる。
2. 災害が人々の生命や生活に及ぼす影響について理解し説明できる。
3. 災害に対する個人の備えや災害発生時の社会の対応について理解し説明できる。
4. 災害時の看護師・保健師が果たす役割と災害各期における各々の活動を理解し説明できる。

成績評価方法

- ・授業態度・授業参加度
レポート内容
定期試験結果
等を総合して評価する。
- ・2/3以上の出席がないと、定期試験受験資格が与えられない。
- ・遅刻3回で1回欠席とし、欠席は2点減点とする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	災害に関する基本的知識 災害発生時の社会の対応やしきみ [予習]テキストp1～102を読んでおく（60分） [復習]テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	
2)	災害時に必要な看護技術 体系的対応の基本原則とトリアージ 応急処置・搬送 [予習]テキストp151～172を読んでおくこと（30分） [復習] テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	
3)	医療機関における災害看護 医療機関における災害への備え、初動体制・災害訓練 [予習]テキストp173～190を読んでおくこと（30分） [復習]課題レポートの作成（30分）	
4)	災害各期における看護活動～災害後中長期的な健康問題への対応～災害と感染看護 [予習]テキストp314～330、p126～130を読んでおくこと（30分） [復習]テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	
5)	災害時の備え・個人及び地域の備え 宇部市の防災危機管理体制 [予習]テキストp68～102を読んでおくこと（30分） [復習]テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	
6)	災害各期における看護活動～災害急性期から亜急性期への対応～ [予習]テキストp103～123を読んでおくこと（30分） [復習]テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	
7)	在宅療養、避難所、仮設・復興住宅における看護 課題提示しレポート作成 [予習]テキストp131～150を読んでおくこと（30分） [復習]テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をすること（30分）	
8)	公衆衛生看護と災害 災害に対する保健師の役割 [予習]テキストp214～227を読んでおくこと（30分） [復習]課題レポートの作成（30分）	
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
授業計画に沿って、テキストの該当ページを予習し、授業終了後復習しておくこと。 レポートは提示された形式に沿ってまとめ、提出日時は守ること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
災害看護論 南江堂		既習の看護学科目、公衆衛生看護学、疫学・保健統計、公衆衛生学、保健医療福祉行政論、身体コミュニケーション論、社会保障論、社会福祉論等

課題に対するフィードバック
課題については必要に応じ説明する。 課題レポートは授業最終日にコメントをつけて返却する。
備考
授業中の携帯電話等の使用は、教員の指示がない限り使用禁止とする。
担当講師の都合により、授業計画の順番が変更することがあるが、その際は前もって知らせる。

科目名	国際看護論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	3年	前期
担当者名	金川 真理、梁元 陽子	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

授業概要

- ・看護の対象は「人間」であり、看護という概念には、国境も人種も、文化も超えた国際看護という考え方が備わっている。本講義では、すべての看護職者に必要な国際看護に関する知識の基礎を学ぶ。
- ・金川真理は、看護師・助産師として、国際看護を行った経験および在住外国人に関する研究経験をもとに、国際看護知識を学生に修得させる。梁元陽子は、看護師として、海外での経験および外国人看護師に関する研究経験をもとに、国際看護に関する知識を学生に修得させる。

到達目標

B3502

1. 国際的視野を広げることができる。
2. 異文化・多文化を理解することができる。
3. 世界や在日外国人の現状・課題・支援について理解できる。

成績評価方法

成績評価方法

科目の評価は、定期試験（レポート試験50点）、中間テスト（20点）、小テスト（3点）、授業内レポート（6点）、授業外課題レポート（4点）、プレゼンテーション（17点）の合計で行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○			70
小テスト、授業内レポート	○	○	○				9
宿題、授業外レポート	○	○	○				4
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○			17
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	国際看護のすすめ、日本の国際協力、「人間の安全保障」と国際機関 【予習】看護師国家試験過去問題（60分） 【復習】講義内容の復習（30分）（担当：金川）	授業内課題レポート
2)	異文化の理解、異文化コミュニケーション 【予習】看護師国家試験過去問題（60分） 【復習】講義内容の復習、課題レポートの作成（60分）（担当：梁元）	授業外課題レポート、小テスト
3)	健康格差と世界の貧困、プライマリヘルスケア 【予習】看護師国家試験過去問題（60分） 【復習】講義内容の復習、プレゼンテーションの準備（60分）（担当：金川）	授業内課題レポート、グループワーク
4)	国際移動する看護師、性の多様性 【予習】看護師国家試験過去問題（60分） 【復習】講義内容の復習（60分）（担当：梁元）	授業外課題レポート
5)	災害と看護 【予習】看護師国家試験過去問題（60分） 【復習】講義内容の復習、プレゼンテーションの準備（60分）（担当：金川）	授業内課題レポート、グループワーク
6)	感染症とスティグマ、紛争と難民 【予習】看護師国家試験過去問題（60分） 【復習】講義内容の復習、プレゼンテーションの準備（60分）（担当：金川）	中間テスト、グループワーク
7)	国際協力への理解を深める 【予習】プレゼンテーションの準備（60分） 【復習】講義内容の復習、レポート試験の準備（60分）（担当：金川）	プレゼンテーション、レポート試験課題提示
8)	国際協力への理解を深める 【予習】今までの講義の復習（60分） 【復習】講義内容の復習、レポート試験の準備（60分）（担当：橋本）	
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
1. 小テストおよび中間テストは講義済の内容から出題します。復習を欠かさずに行ってください。 2. 授業内課題レポートおよび授業外課題レポートは講義内容に即したテーマです。 3. 予習は、看護師国家試験過去問題の関連分野を行ってください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト なし 参考図書 講義内で提示します。		看護学概論、公衆衛生看護学、災害看護論

課題に対するフィードバック
・ 課題内容に適時コメントします。 ・ 中間テストは採点して返却する。全体に向けた好評の中で理解が不十分な点や間違いやすい点等は、授業中にフィードバックします。
備考
・ 試験の受験資格は全講義の3分の2以上の出席で付与されます。出席・欠席の管理は各自で行ってください。教員より欠席回数の通知はありません。

科目名	チーム医療論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	1	4年	後期
担当者名	佐藤 美幸、清水 佑子、和氣 さち	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格	

授業概要

高度化する医療現場においては、多職種チームでの連携が不可欠である。本授業では、様々な職種を理解し、チーム医療とは何か、チーム医療における看護職の役割とは何かを学ぶ。多職種との協働を促進する要素や阻害する要素について考え、多職種間のコミュニケーションを取りながら、意思決定をするための技術を身に付ける。

（佐藤、清水、和氣は、看護師としての実務経験をもとに、看護職と他職種との連携と看護職の役割について授業を行う）

到達目標

（B4102h）

1. チーム医療に関わる多職種チームのメンバーとその役割を説明できる
2. チーム医療における看護職の役割を説明できる
3. 医療現場におけるチーム医療の重要性を説明できる
4. 多職種との協働を促進する要素と阻害する要素を述べることができる
5. 多職種チームの中でコミュニケーションを取る方法を述べるができる
6. 多職種チームの中で看護職としての立場を踏まえて自らの意見を述べるができる

成績評価方法

最終レポートおよび授業内外でのレポート、グループワークを総合的に評価する

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート	○	○	○				50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション				○	○		10
グループワーク	○	○	○	◦	○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	チーム医療とは（佐藤） 【予習】既習科目の中でチーム医療にかかわることを復習してくる（60分） 【復習】チーム医療とはなにかについて考える	
2)	チーム医療に関わる専門職の役割と機能 1（外部講師） 【予習】コメディカルスタッフの役割について学習する（30分） 【復習】コメディカルスタッフの役割を再確認する（30分）	
3)	チーム医療に関わる専門職の役割と機能 2（外部講師） 【予習】コメディカルスタッフの役割について学習する（30分） 【復習】コメディカルスタッフの役割を再確認する（30分）	
4)	チーム医療に関わる専門職の役割と機能 3（外部講師） 【予習】コメディカルスタッフの役割について学習する（30分） 【復習】コメディカルスタッフの役割を再確認する（30分）	
5)	チーム医療における看護職の役割（清水） 【予習】4回目までの復習をしてくる（30分） 【復習】チーム医療における看護職の役割をまとめておく（60分）	
6)	チーム医療における多職種間コミュニケーション 【予習】5回目までの復習をしてくる（30分） 【復習】他職種間のコミュニケーションについてまとめておく（60分）	
7)	事例に基づくチーム医療のあり方（GW）（佐藤/清水/和氣） 【予習】配付資料を読み、わからないことを調べておく（60分） 【復習】GWの中でわからなかったこと、課題について調べる（60分）	グループワーク
8)	事例に基づくチーム医療のあり方（GW）（佐藤/清水/和氣） 【予習】GWの中でわからなかったこと、課題について再確認する（30分） 【復習】チーム医療について考える（60分）	グループワーク
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
必要に応じて課題を課す		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
授業内で配布する		既習科目のすべて

課題に対するフィードバック
授業内でフィードバックをおこなう
備考
集中講義のため、欠席を認めない（欠席の場合には、別途補習を行う） 事前課題は必ず行ってくる カンファレンスでは積極的に参加すること 私語、携帯電話の使用等、講義の妨げになることをしないこと

科目名	総合看護演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	4年	後期
担当者名	金川 真理、清水 佑子、金子 真弓、江口 恵里	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

- ・全領域で学修してきた知識・技術・態度を基にグループワーク、シミュレーション学習を通して、対象のニーズに応じた看護実践能力を育成するための、専門知識・技術を強化する。
- ・金川真理は、看護師・助産師としての実務経験に基づき、子どもや妊産褥婦の看護に関する専門的な知識を統合し、対象のニーズや状況に応じた判断・技術を修得させる。清水佑子は、急性期病院での整形外科病棟、救急処置室での実務経験、及び介護老人保健施設での実務経験に基づき、対象のニーズや状況に応じた判断・技術を修得させる。金子真弓は、看護師としての実務経験に基づき、健康障害を持つ対象者の看護に関する基礎的な知識を統合し、対象のニーズや状況に応じた判断・技術を修得させる。江口恵里は、看護師としての実務経験に基づき、高齢者の看護に関する専門的な知識を統合し、対象のニーズや状況に応じた判断・技術を修得させる。

到達目標

B4404

- 1) グループワークを通して、1年次から4年次前期までに学習した看護学に関連する知識を統合し、看護実践に必要な判断力を養う。
- 2) シミュレーション学習を通して、1年次から4年次前期までに学習した看護学およびそれに関連する分野の科目に関する技能を統合し、看護実践に必要な基礎的能力を高めることができる。

成績評価方法

事前テスト・確認テスト・小テスト（15点）、事前課題（5点）、プレゼンテーション（5点）、グループワーク（5点）、演習（10点）、定期試験（60点）を総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○			60
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			15
宿題、授業外レポート	○		○				5
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○			5
グループワーク	○	○	○	○			5
演習	○	○	○	○			10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 人体の構造と機能 ・ ・ ・ 疾病論 ・ （担当：長坂）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		事前課題
2) 人体の構造と機能 ・ ・ ・ 疾病論 ・ （担当：長坂）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		
3) 人体の構造と機能 ・ ・ ・ 疾病論 ・ （担当：長坂）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		
4) 人体の構造と機能 ・ ・ ・ 疾病論 ・ （担当：長坂）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		
5) 人体の構造と機能 ・ ・ ・ 疾病論 ・ （担当：長坂）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		
6) 人体の構造と機能 ・ ・ ・ 疾病論 ・ （担当：長坂）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		
7) 呼吸器疾患看護：COPD （担当：金子）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		事前課題 事前テスト グループワーク
8) 呼吸器疾患看護：COPD （担当：金子）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		プレゼンテーション、演習
9) 呼吸器疾患看護：COPD （担当：金子）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		確認テスト グループワーク
10) 循環器疾患看護：冠動脈疾患・心不全 （担当：金子）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		事前課題 事前テスト グループワーク
11) 循環器疾患看護：冠動脈疾患・心不全 （担当：金子）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		確認テスト グループワーク
12) 消化器疾患看護：大腸がん （担当：江口）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		事前課題 事前テスト グループワーク
13) 消化器疾患看護：大腸がん （担当：江口）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		確認テスト シミュレーション学習
14) 消化器疾患看護：肝がん・肝硬変 （担当：金子）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		事前課題 事前テスト グループワーク
15) 消化器疾患看護：肝がん・肝硬変 （担当：金子）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		確認テスト グループワーク
16) 内分泌・代謝疾患看護：糖尿病・小児含む （担当：金川）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		事前課題 事前テスト グループワーク
17) 内分泌・代謝疾患看護：糖尿病・小児含む （担当：金川）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		確認テスト 演習
18) 脳・神経疾患看護：脳梗塞・老年含む （担当：江口）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		事前課題 事前テスト グループワーク
19) 脳・神経疾患看護：脳梗塞・老年含む （担当：江口）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		確認テスト シミュレーション学習
20) 腎・泌尿器疾患看護：ネフローゼ症候群・腎不全・透析 （担当：金川）【予習】60分：看護師国家試験過去問題 【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える		事前課題 事前テスト グループワーク

21) 腎・泌尿器疾患看護：ネフローゼ症候群・腎不全・透析（担当：金川）【予習】60分：看護師国家試験過去問題【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	確認テスト 演習
22) 運動器疾患看護：大腿骨骨折（担当：清水）【予習】60分：看護師国家試験過去問題【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	事前課題 事前テスト グループワーク
23) 運動器疾患看護：大腿骨骨折（担当：清水）【予習】60分：看護師国家試験過去問題【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	確認テスト グループワーク
24) 在宅看護：ALS 在宅含む（担当：清水）【予習】60分：看護師国家試験過去問題【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	事前課題 事前テスト グループワーク
25) 在宅看護：ALS 在宅含む（担当：清水）【予習】60分：看護師国家試験過去問題【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	演習
26) 在宅看護：ALS 在宅含む（担当：清水）【予習】60分：看護師国家試験過去問題【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	確認テスト グループワーク
27) 小児看護・母性看護（担当：金川）【予習】60分：看護師国家試験過去問題【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	事前課題、事前テスト、グループワーク、確認テスト、演習
28) 精神看護学（担当：佐藤または柿並）【予習】60分：看護師国家試験過去問題【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	事前課題
29) 精神看護学（担当：佐藤または柿並）【予習】60分：看護師国家試験過去問題【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	
30) 公衆衛生学（担当：立川）【予習】60分：看護師国家試験過去問題【復習】60分：講義資料から看護のポイントを考える	事前課題

授業外学習

- ・授業計画に記載されている1年次から4年次まで学習した教科書の予習をした上で講義・演習に臨んで下さい。
- また、指示された事前学習については、教科書等を写すだけでなく、考え、理解して講義に臨んでください。
- 講義終了後は復習を欠かさず行って下さい。
- ・各講義の教員が出題した課題を行う。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
・看護師国家試験過去問題集、参考書 ・看護学科1～4年生までに購入済のテキスト	基礎看護学、成人看護学、小児看護学、母性看護学、老年看護学、精神看護学、在宅看護論、公衆衛生学、人体の構造と機能・、疾病論・

課題に対するフィードバック

- ・課題は確認して返却する。全体に向けた講評の中で理解が不十分な点や間違えやすい点等は、授業中にフィードバックします。

備考

- ・授業の出欠席は、出席カード・事前テスト・確認テスト・課題で確認します。
- ・試験の受験資格は、全授業回数の3分の2以上とします。欠席回数を教員から言うことはありません。各自で確認して下さい。
- ・授業中の携帯電話等の使用や私語は禁止です。授業中は携帯電話等の電子機器は電源を切るか、マナーモードにして鞆にしまってください。

・ 定期試験は11月末予定

科目名	地域体験実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	2年	後期
担当者名	江口 恵里、立川 美香、山本 博美、和氣 さち	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格	

授業概要

地域で生活している様々な発達段階にある人々との直接的な関わりを通して、看護の対象者としての人々の日常生活の営みやそれを取り巻く環境を理解する。また人の発達段階における身体的・心理的・社会的特徴を捉え、発達段階に応じた関わり方を学ぶ。

(立川・山本は保健師として、江口・和氣は看護師としての実務経験に基づき、公衆衛生看護学概論、老年看護総論での授業をとおりて事前に地域住民の生活課題や観察ポイントを具体的に指導している。実習中は巡回を通じて、経験した内容についての質問対応やアドバイスを提供する。実習後、施設で学んだ内容を共有する「まとめの会」を実施し地域ケアの課題を考える力を養うよう促す。)

到達目標

(B2503ah)

1. 地域で生活しているさまざまな発達段階にある人々と関りがもてる
2. 地域で生活している母と子供の生活状況を把握し、母親の抱える不安やニーズを見出す
3. 地域で生活している小児に関り、その児の発達状況を知る
4. 地域で生活している高齢者の生活状況と健康状態を知り、それらに対する高齢者の不安やニーズを見出す
5. 地域で生活している高齢者が日常過ごす場としての通所サービスの役割と機能を知る
6. 通所サービスに通う高齢者の生活状況と介護や支援の状態を把握する
7. 1～6を通して、地域で生活している人々の課題を思案することができる

成績評価方法

実習成果物(実習記録、プレゼン資料)、「まとめの会」での発表や意見交換の様子、実習場のスタッフからのフィードバックをもとに学びや成長を総合的に評価基準に基づき評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○		○		20
演習							
実習	○	○	○	○			70

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
別冊：看護学臨地実習ガイドブック「地域体験実習」参照 公衆衛生領域（担当：立川・山本） 学童クラブ、ご近所ふれあいサロン で実習を行う 老年領域（担当：江口・和気） 通所サービス（デイケア・デイサービス）で実習を行う		
授業外学習		
1) ガイドブックに提示している事前学習をする 2) 実習目標は前日に記入しておく 3) 実習後の記録は帰宅して記入する		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
1) 公衆衛生看護学概論 医学書院 2) ナーシング・グラフィカ老年看護 高齢者の健康と障害 メディカ出版		成人看護学実習、老年看護学実習、母性看護学実習、小児看護学実習、公衆衛生看護基礎実習、公衆衛生看護学実習

課題に対するフィードバック
備考

科目名	総合看護実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	2	4年	前期
担当者名	福岡 泰子、柿並 洋子、和氣 さち 、江口 恵里、吉富 和子	関連する資格	看護師国家試験受験資格	

授業概要

これまでの病院や施設又は行政での実習を通して見出した自らの課題を明確にした上で、自分に合った看護領域を選択し、主体的に実習をすすめる。

看護の対象（患者）を多角的・総合的に把握し、対象の健康上・看護上のニーズを充足させるための援助を展開する。1年次から学んだ看護の集大成として、看護技術や知識を再確認し、実践に応用できる能力を養うとともに自らの看護観をまとめる。また、看護管理とは何かを実習を通じて学習する。

福岡、柿並、和氣、江口、梁元は、看護師経験を基に、患者のニーズとその看護を科学的に考えることやチームの一員としての看護実践について臨地で指導を行う。

到達目標

（B4405a）

- 過去の看護実習を通して見出した自らの課題を明確にし、記述することができる。
- チームメンバーあるいは指導者に報告・相談をしつつ、対象のニーズを充足するための看護援助を提供し、評価することができる。
- 看護援助を提供するうえで必要な管理やチームの一員としての役割を理解することができる。
- 実習を通しての自らの課題の達成度を評価し、現時点での看護観を明確にすることができる。

成績評価方法

筆記試験25%
臨地実習75%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				25
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○		75

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
看護学臨地実習ガイドブック参照 臨地実習においては、担当の病棟に関連する解剖生理と受け持ち患者の疾患や治療について予習してくること。		臨地実習では、受け持ちの患者に対する看護過程の展開のほか、病棟スタッフの一員同様に実習を行う。 また実習での学びを深化させるため、臨地実習、学内実習ともカンファレンスによるディスカッションを行う。
授業外学習		
今まで履修した看護学について、日頃より復習を行っておく。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
これまで使用した教科書や参考書		既習済みのすべての科目を統合する科目です。

課題に対するフィードバック
実習での知識・技術・態度において、臨地実習指導者と担当の教員から指導を受ける。 実習記録については、適宜提出し、教員からのコメントには青字で修正し再提出を行うこと。
備考

科目名	看護研究方法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	3年	後期
担当者名	佐藤 美幸、安成 智子、磯村 由美	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格	

授業概要

看護における研究の意義、研究の倫理、ならびに研究方法論を習得する。これまでの学習を通して芽生えた問題意識を研究テーマへと発展させる。また課題の究明に求められる研究的な学習の進め方、研究に重要な科学的かつ論理的な思考方法を学ぶ。

到達目標

(B3301h)

- 1) 看護における研究の意義、必要性を説明できる。
- 2) 研究を通して、科学的・論理的思考を習得する。
- 3) 研究の展開方法について説明できる。
- 4) 各研究方法論の概要について説明できる。
- 5) 研究論文のクリティークを行うことができる。
- 6) 研究計画書の書き方を習得する。
- 7) 研究における倫理的配慮の重要性について説明できる。

成績評価方法

試験およびレポート、グループワークなどを総合的に評価する

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク			○		○		
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 全体オリエンテーション/研究とは（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		
2) 看護研究のはじめ方 - リサーチクエストをたてる（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		
3) 文献レビューとその方法（礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		課題（文献レビュー）
4) 研究における倫理的配慮（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		
5) 研究デザインとデータの収集 1 研究デザインの選択、整理（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		
6) 研究デザインとデータの収集 2 質的研究（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		
7) 研究デザインとデータの収集 3 質的研究（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		
8) 研究デザインとデータの収集 4 量的研究（礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		
9) 研究デザインとデータの収集 5 量的研究（礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		
10) データ分析（礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		
11) 研究を伝える - 学会発表・論文作成（安成） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		
12) 研究計画書の作成（佐藤） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		
13) 文献検討（佐藤、安成、礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		グループワーク 事前課題
14) 文献検討（佐藤、安成、礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（30分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（60分）		グループワーク 事前課題
15) まとめ（佐藤、安成、礒村） 【予習】 教科書の該当ページに目を通して来ること（60分） 【復習】 教科書、資料、ノートをもとに授業を振り返る（30分）		
授業外学習		
教科書の該当ページには必ず目を通してから授業に臨んで下さい。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
坂下玲子ほか 系統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院		既習科目すべて 看護研究

課題に対するフィードバック
授業内でコメントするとともに、グループワークを通じて他の学生と学習内容のシェアをおこなう。
備考

科目名		看護研究					
授業形態	履修形態	単位数			年次	開講期	
演習	必修	2			4年	通年(前期)	
担当者名	佐藤 美幸、安成 智子、福岡 泰子 、金川 真理、清水 佑子、磯村 由美 、金子 真弓、立川 美香、柿並 洋子 、和氣 さち、江口 恵里、山本 博美			関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格		
授業概要							
研究計画書の作成を通して、各自の課題に対しての問題解決を図る方法を身につけるとともに、科学的思考や論理的表現方法を習得する。その過程を通じて、倫理的配慮の必要性、研究フィールドを得るための方法など、研究に必要な知識を習得する。							
教員別に分かれて個別指導を受ける。指導方法は担当の教員による。							
（担当者はすべて看護師もしくは保健師、助産師の実務経験および大学教員としての経験をもとに研究の具体的な方法、研究計画書の書き方について授業を行う。）							
到達目標 （B4301h） 研究計画書を作成することができる。 研究課題を明確にすることができる。 研究目的を設定することができる。 文献検索を行い、研究の背景を明確にすることができる。 研究の意義を明らかにすることができる。 研究方法を記述することができる。 研究デザインを記述することができる。 論理的・科学的思考を習得できる。 看護上の問題解決能力を養うとともに、看護実践の根拠を考えることができる。 研究における倫理的配慮について説明できる。 看護における科学的根拠を示す方法としての研究の必要性および重要性を説明できる。				成績評価方法 研究計画書をもとに指導教員が評価する。評価には、指導の中での態度や経過を含む（100％）			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			100
授業態度・授業参加度					○		
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	看護研究オリエンテーション（佐藤） 【予習】研究 で配布された研究授業概要を読んてくる（30分） 【復習】研究 の授業を振り返る（60分）	
2)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
3)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
4)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
5)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
6)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
7)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
8)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
9)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
10)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
11)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
12)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
13)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
14)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
15)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
授業外学習		
指導教員の指導に従って、授業前に指示された課題を行ってから授業に臨んで下さい。 看護研究方法の内容はすべて復習しておいて下さい。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
系統看護学講座別巻 看護研究 医学書院（看護研究方法で 使用したもの） 研究授業概要（看護研究方法で配布されたもの）		既習科目のすべて

課題に対するフィードバック
研究計画書の作成を課題とする。計画書は、自ら振り返る（自己評価表）とともに各教員が個別にコメントをする。
備考

科目名		看護研究					
授業形態	履修形態	単位数			年次	開講期	
演習	必修	2			4年	通年(後期)	
担当者名	佐藤 美幸、安成 智子、福岡 泰子 、金川 真理、清水 佑子、磯村 由美 、金子 真弓、立川 美香、柿並 洋子 、和氣 さち、江口 恵里、山本 博美			関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格		
授業概要 看護研究前期と同じ							
到達目標 (B4301h) 看護研究方法、前期と同じ				成績評価方法 各教員による評価(研究計画書作成)			
評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			100
授業態度・授業参加度			○		○		
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
2)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
3)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
4)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
5)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
6)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
7)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
8)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
9)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
10)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
11)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
12)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
13)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
14)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
15)	研究授業概要に基づいて、担当教員が指導を行う 【予習・復習】指導に基づいて予習・復習を行う（予習・復習で90分）	担当教員による個別指導
授業外学習		
指導教員の指導に従って、授業前に指示された課題を行ってから授業に臨んで下さい。 看護研究方法の内容はすべて復習しておいて下さい。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
看護研究方法で用いたもの、各自で集めた資料 担当教員から提示された資料		全ての科目

課題に対するフィードバック
前期と同じ。各教員によるフィードバックを行う。
備考

科目名	公衆衛生看護支援論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	4	3年	前期
担当者名	立川 美香、山本 博美	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格	

授業概要

1. 人びとが自らの健康状態を認識し、健康の保持増進を図ること（セルフケア力の向上）を支援するための保健指導方法の基本的考え方と実践方法について演習等を通して学ぶ。
2. 集団における教育方法の基本的考え方と実践方法についてグループワーク等を通して学ぶ。
3. 地域の人びとや医療、福祉などの他職種、機関との協働のあり方とその実践方法を学ぶ。

（立川美香・山本博美・滝川洋子は、保健師としての実務経験をもとに公衆衛生看護の保健指導や健康教育などの実践方法について授業を行う。また、地域における他職種・他機関との協働について実践方法を教授する）

到達目標

（B3503h）

1. 地域住民に対する個別的指導方法を理解し、説明できる。
2. 対象別に必要な集団保健指導方法を理解し、説明できる。
3. 対象が必要とする健康教育を実践するためのプロセスを理解し、演習としてグループワークを経てプレゼンテーションができる。
4. 地域の人びと、関係者・機関との協働について理解し、説明できる。

成績評価方法

授業態度・授業参加度（10％）
グループワーク・プレゼン（20％）
小テスト・レポート内容（10％）
定期試験結果（60％）
上記を基準として総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験（中間・期末）	○	○					60
小テスト、授業内レポート	○	○					5
宿題、授業外レポート	○	○	○				5
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		10
グループワーク	○	○	○	○	○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 地域で展開される公衆衛生看護活動の実際（立川美香） 【予習】公衆衛生看護学概論を予習する（30分） 【復習】公衆衛生看護活動の実際を理解する（30分）	レポート
2) 健康の概念とプライマリヘルス・ヘルスプロモーション（立川美香） 【予習】プライマリヘルス・ヘルスプロモーションを読む（30分） 【復習】プライマリヘルス・ヘルスプロモーションを理解する（30分）	
3) 保健指導（目的・対象・技術）（立川美香） 【予習】保健指導のテキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
4) 健康相談の場面と面接技術・実践・評価・フォローアップ（立川美香） 【予習】健康相談の場面と面接技術（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
5) 健康相談の場面と面接技術・実践・評価・フォローアップ（立川美香） 【予習】健康相談の場面と面接技術を読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
6) 健康診査の目的・対象・技術・進め方（立川美香） 【予習】健康診査のテキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
7) 家庭訪問の目的・対象・技術・進め方（山本博美） 【予習】家庭訪問のテキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
8) 家庭訪問における家族の捉え方とエコマップ（山本博美） 【予習】エコマップの書き方を予習する（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	レポート
9) 家庭訪問 演習（立川美香・山本博美） 【予習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
10) 家庭訪問 演習（立川美香・山本博美） 【予習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
11) 家庭訪問 演習（立川美香・山本博美） 【予習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
12) 家庭訪問 演習（立川美香・山本博美） 【予習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
13) 家庭訪問 演習（立川美香・山本博美） 【予習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
14) 家庭訪問 家庭訪問プレゼンテーション：エコマップ（立川美香・山本博美） 【予習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
15) 家庭訪問 家庭訪問プレゼンテーション：場面（立川美香・山本博美） 【予習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク プレゼンテーション
16) 家庭訪問 家庭訪問プレゼンテーション：場面（立川美香・山本博美） 【予習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク プレゼンテーション
17) 健康教育の目的・対象・技術・進め方（立川美香） 【予習】健康教育のテキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
18) 健康教育の理論と実践（立川美香） 【予習】健康教育の理論と実践のテキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
19) 健康教育 演習（立川美香・山本博美） 【予習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
20) 健康教育 演習（立川美香・山本博美） 【予習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク

21)	健康教育 演習（立川美香・山本博美） 【予習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
22)	健康教育 演習（立川美香・山本博美） 【予習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
23)	健康教育 演習（中間）（立川美香・山本博美） 【予習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク プレゼンテーション
24)	健康教育 演習（立川美香・山本博美） 【予習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
25)	健康教育 演習（立川美香・山本博美） 【予習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
26)	健康教育 演習（立川美香・山本博美） 【予習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク
27)	健康教育 プレゼンテーション（立川美香・山本博美） 【予習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク プレゼンテーション
28)	健康教育 プレゼンテーション（立川美香・山本博美） 【予習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分） 【復習】演習の内容を振り返り課題を明確にする（30分）	グループワーク プレゼンテーション
29)	地域組織活動の展開（滝川洋子） 【予習】地域組織活動の展開を読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	
30)	セルフヘルプグループ活動とその支援（滝川洋子） 【予習】セルフヘルプグループ活動のテキストを読む（30分） 【復習】テキストと配布した資料を見直し授業内容を振り返る（30分）	

授業外学習

- ・保健師選択科目で使用するテキスト以外でも、必要に応じ他の科目のテキストを読むこと。
- ・図書館の本や雑誌、新聞、視聴覚教材など、テキスト以外のものを活用し予習・復習をすること。
- ・復習する際には、授業の内容に該当する保健師国家試験問題を解き、不明な所は授業中必ず質問をすること。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
・「最新公衆衛生看護学総論」第3版日本看護出版会 ・「最新公衆衛生看護学各論1」第3版日本看護出版会 ・「最新公衆衛生看護学各論2」第3版日本看護出版会 ・「公衆衛生看護学概論」第6版医学書院 ・厚生労働統計協会編集「国民衛生の動向」2024/2025	コミュニケーション論、公衆衛生学、疫学、保健統計、社会保障論、社会福祉論、家族論・家族関係論、公衆衛生看護学概論、在宅看護総論、在宅看護援助論、総合ゼミナール、災害看護論、チーム医療論、保健医療福祉行政論

課題に対するフィードバック

課題については必要に応じコメントを記入したり授業の中で説明します。課題は前期終了までに返却しますので、公衆衛生看護基礎実習に活用できるように整理をしておいてください。

備考

- 保健師ノートについて
- ・自己学習した内容を保健師ノートにファイルしてください。
 - ・このノートは4年生まで活用します。

授業の心得

- ・ 授業中や演習では積極的に発言・参加すること。
- ・ 授業中や演習では他者を尊重し協力し合うこと。

- ・ 授業の出席日数は各自で管理してください。
- ・ 授業開始後、15分以上の遅刻・早退・中抜けは欠席扱いとします。
- ・ 授業中の携帯電話等の使用は、教員の指示がない限り使用禁止とします。

科目名	公衆衛生看護活動論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	4	3年	前期
担当者名	山本 博美、立川 美香、新開 奏恵、柿並 洋子	関連する資格	保健師国家試験受験資格	

授業概要

- ・ ライフサイクル（母子・成人・高齢者）に応じた保健活動や健康問題（精神・感染症・結核・難病・障害児者等）に対する保健活動、社会集団（学校・産業）を対象とした保健活動等の法的根拠や政策をもとに、それぞれの対象への保健指導の基本や実践について講義、グループ学習・プレゼンなどをおして理解する。
- ・ 保健師の地域の人々や医療・福祉等の多職種との協働やマネジメントについて、講義やグループ学習をおして理解する。

到達目標

『B3504h』

1. 対象別保健の動向・施策や制度を理解し説明できる。
2. 対象別の健康課題と保健指導の内容を理解し説明できる。
3. 産業保健の職域の特徴と対象者の健康課題を理解し説明できる。
4. 産業保健における保健師の職務と役割を理解し説明できる。
5. 学校保健の対象と健康課題を理解し説明できる。
6. 学校保健における養護教諭の職務と役割を理解し説明できる。
7. 保健師の役割及び住民や他職種との連携・協働を理解し説明できる。

成績評価方法

- ・ 授業態度・授業参加度
プレゼンテーション
グループワーク
演習、
定期試験結果
上記等を総合して評価する。
- ・ 2/3以上の出席がないと、定期試験受験資格が与えられない。
- ・ 遅刻3回で1回欠席とする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				5
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		10
グループワーク	○	○	○	○	○		5
演習	○	○	○	○	○		5
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 母子保健活動；母子保健指導の動向（山本） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
2) 母子保健活動；母性各期の健康課題と保健指導（山本） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
3) 母子保健活動；乳幼児期の成長発達と保健指導（山本） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
4) 母子保健活動；ハイリスクの母子への保健指導（山本） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	レポート
5) 成人保健活動；成人保健の動向（山本） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	事前課題
6) 成人保健活動；成人期の保健活動・保健指導（山本） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	レポート
7) 高齢者保健活動；高齢者保健の動向（山本） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
8) 高齢者保健活動；高齢者の生活と保健指導（山本） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
9) 高齢者保健活動；在宅要介護高齢者と家族への保健指導（山本） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	レポート
10) 精神保健活動；精神保健の動向（柿並） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
11) 精神保健活動；精神障害者の生活上の障害と保健指導（柿並） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
12) 精神保健活動；社会病理を背景とする主な疾患（柿並） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
13) 障害者（児）保健活動；障害者保健の動向（立川） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
14) 障害者（児）保健活動；障害者保健施策と保健活動（立川） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
15) 難病保健活動；難病対策の動向（山崎） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
16) 難病保健活動；難難病患者の生活と保健指導（山崎） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
17) 感染症保健活動；感染症保健の動向（山崎） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
18) 感染症保健活動；感染症保健施策と保健活動（山崎） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
19) 感染症保健活動；疾病管理（山崎） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
20) 感染症保健活動；感染症集団発生（山崎） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	

21)	歯科保健活動；歯科保健の動向と保健活動の実際（山本） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
22)	産業保健活動；産業保健の動向（立川） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
23)	産業保健活動；産業保健の制度とシステム（立川） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
24)	産業保健活動；産業保健における健康課題（立川） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
25)	産業保健活動；産業保健の展開（立川） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
26)	学校保健活動；学校保健の動向（新開） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
27)	学校保健活動；学校保健の制度とシステム（新開） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
28)	学校保健活動；学校保健・看護の現状と健康課題（新開） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
29)	学校保健活動；養護教諭の職務と保健室の機能（新開） 「予習」テキストを読む（30分） 「復習」テキスト及び資料で学習した授業の内容確認をする（30分）	
30)	まとめ（山本）	レポート

授業外学習

・事業計画に沿って、テキストの該当単元を予習し、授業終了後復習しておくこと。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
「保健師業務要覧」第4版日本看護出版会 「最新公衆衛生看護学総論」第3版 日本看護出版会 「最新公衆衛生看護学各論1」第3版 日本看護出版会 「公衆衛生看護学概論」第6版 医学書院 「国民衛生の動向」2025/2026 厚生労働統計協会	公衆衛生学、疫学、保健統計、保健医療福祉行政論、社会保障論、社会福祉論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学支援論、公衆衛生看護学管理論、家族・家族関係論、在宅看護総論、在宅看護援助論

課題に対するフィードバック

課題については必要に応じ説明する。

備考

授業中の携帯電話等の使用は教員の指示がない限り使用禁止する。

担当講師の都合により、授業計画の順番が変更することがあるが、その際は前もって知らせる。

科目名	公衆衛生看護管理論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	4	3年	後期
担当者名	山本 博美、立川 美香	関連する資格	保健師国家試験受験資格	

授業概要

- ・地域に顕在あるいは潜在している健康課題の把握方法、疫学データ及び保健統計等を用いた地域診断および地域診断に基づく活動計画と評価を行い、社会資源の管理／開発・システム化・施策化につながる過程について講義や演習等をおして理解する。
- ・さまざまな健康危機(予防体制、発生時の対応・回復期の対応)を理解する。
- ・グループワークや学生間での意見交換を通して地域の健康課題の理解を深める。

到達目標

B3505h

1. 地域診断の方法を理解し、地域の健康課題をアセスメントできる。
2. 公衆衛生看護活動の計画・実践・評価について理解し説明できる。
3. 事業計画の策定、進行管理、評価の方法を理解し説明できる。
4. 公衆衛生看護管理の目的およびその機能を理解し説明できる。
5. 健康危機管理・リスクマネジメントについて理解し説明できる。

成績評価方法

- ・授業態度・授業参加度
グループワーク・プレゼンテーション
レポート、定期試験
上記を基準として総合的に評価する。
- ・2/3以上の出席がないと、定期試験受験資格が与えられない。
- ・遅刻3回で1回欠席とする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		15
グループワーク	○	○	○	○	○		15
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 公衆衛生看護活動とは（山本） 「予習」テキストを読んでおく（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認する（30分）	
2) 公衆衛生看護活動における看護過程（山本） 「予習」テキストを読んでおく（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認する（30分）	
3) 地区活動の基本と対象のとりえ方（山本） 「予習」テキストを読んでおく（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認する（30分）	
4) 公衆衛生看護活動における地域診断（山本） 「予習」テキストを読んでおく（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認する（30分）	事後課題
5) 地区活動の展開（山本） 「予習」テキストを読んでおく（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認する（30分）	
6) 地区診断の実際（山本） 「予習」テキストを読んでおく（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認する（30分）	
7) 地域診断 演習の進め方（山本） 「予習」テキストを読んでおく（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認する（30分）	
8) 地域診断 演習/母子保健（立川・山本） 「予習」与えられた資料を読み込む（30分） 「復習」グループワークの内容を確認する（30分）	グループワーク
9) 地域診断 演習/母子保健（立川・山本） 「予習」与えられた資料を読み込む（30分） 「復習」グループワークの内容を確認する（30分）	グループワーク
10) 地域診断 演習/母子保健（立川・山本） 「予習」与えられた資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること（30分）	グループワーク 事後課題
11) 地域診断 演習/母子保健（立川・山本） 「予習」与えられた資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること（30分）	グループワーク 意見交換会
12) 地域診断 演習/成人保健（立川・山本） 「予習」与えられた資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること（30分）	グループワーク
13) 地域診断 演習/成人保健（立川・山本） 「予習」与えられた資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること（30分）	グループワーク
14) ヘルスケアシステムの概要（滝川） 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること（30分）	
15) 保健計画と実践（福祉施策を含む）（滝川） 「予習」テキストの該当単元を熟読すること（30分） 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること（30分）	
16) 地域診断 演習/成人保健（立川・山本） 「予習」配布資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること（30分）	グループワーク 事後課題
17) 地域診断 演習/成人保健（立川・山本） 「予習」配布資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること（30分）	グループワーク意見交換会
18) 地域診断 演習/高齢者保健（立川・山本） 「予習」配布資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること（30分）	グループワーク
19) 地域診断 演習/高齢者保健（立川・山本） 「予習」配布資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること（30分）	グループワーク 事後課題
20) 地域診断 演習/高齢者保健（立川・山本） 「予習」配布資料を読み込んでくること（30分） 「復習」グループワークの内容を確認すること（30分）	グループワーク 意見交換会

21)	地域診断 演習/感染症(立川・山本) 「予習」配布資料を読み込んでくること(30分) 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
22)	地域診断 演習/感染症(立川・山本) 「予習」配布資料を読み込んでくること(30分) 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク 事後課題
23)	地区視診 演習 地区視診 (立川・山本) 「予習」配布資料を読み込んでくること(30分) 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク 事後課題
24)	地区視診 演習 地区視診 (立川・山本) 「予習」配布資料を読み込んでくること(30分) 「復習」グループワークの内容を確認すること(30分)	グループワーク
25)	地域看護診断・地区視診のまとめ (山本) 「予習」地域看護診断・地区視診の演習の振り返り(30分) 「復習」地域看護診断・地区視診について内容確認(60分)	レポート
26)	公衆衛生看護管理の概念・目的・機能 (滝川) 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
27)	公衆衛生看護管理 業務管理と情報管理 (滝川) 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
28)	公衆衛生看護管理 予算管理・人材管理・人材育成 (滝川) 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
29)	公衆衛生看護管理 健康危機管理 (山崎) 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
30)	公衆衛生看護管理 健康危機管理 (山崎) 「予習」テキストの該当単元を熟読すること(30分) 「復習」学習した授業の内容をテキスト及び資料で確認すること(30分)	
授業外学習		
・授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読すること。また、授業後はテキスト該当単元を復習すること。 ・グループワークおよびプレゼンテーションに必要な知識の強化を図ること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「保健師業務要覧」第4版日本看護出版会 「最新公衆衛生看護学総論」第3版 日本看護出版会 「最新公衆衛生看護学各論1」第3版 日本看護出版会 「公衆衛生看護学概論」第6版 医学書院 「国民衛生の動向」2025/2026 厚生労働統計協会 「行政看護学」金子仁子		公衆衛生学、疫学、保健統計、保健医療福祉行政論、社会保障論、社会福祉論、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学支援論、公衆衛生看護管理論、データの科学的な見方
課題に対するフィードバック		
課題については必要に応じコメントしたり、授業で説明する。		
備考		
授業の心得 授業中や演習では積極的に発言・参加すること。 授業中や演習では他者を尊重し協力し合うこと。 授業中の携帯電話の使用は、教員の指示がない限り使用しないこと。 授業日程や担当講師の都合により、授業計画の順番を変更することがあるが、その際は事前に知らせる。		

科目名	保健医療福祉行政論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	三輪 直之	関連する資格	保健師国家試験受験資格	

授業概要

近年のコロナ禍の影響等により、国民の疾病予防に対する関心や健康ニーズは一層高まっている。そのような状況の中で、保健師の主たる活動の場である保健所等の役割も、多様化・複雑化している。また、地域包括ケアシステムの導入等により、保健師が地域包括ケアシステムの一員として地域保健活動に携わることが期待されている。そのため、保健師が国民の健康課題を解決していくうえで、あらかじめ保健医療福祉行政とその役割、他機関との連携について理解しておくことは、意義があると考えられる。

本授業では、上記の実態を踏まえ、保健医療福祉行政の内容と背景、他機関との連携について修得することを目的としている。

到達目標

(B3506h)

保健医療福祉行政の意義、しくみが説明できる。
保健医療福祉行政に関する現状と課題について説明できる。
保健医療福祉行政の職務内容について説明できる。
多職種連携について説明できる。

成績評価方法

定期試験および小レポートの内容で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	保健医療福祉行政の根拠（「行政」「行政機関」についての理解） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
2)	保健医療福祉行政の根拠（保健医療福祉行政の活動根拠となる諸規程等） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
3)	保健医療福祉行政のしくみと役割（国、地方公共団体の役割） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
4)	保健医療福祉行政のしくみと役割（公衆衛生行政） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
5)	保健医療福祉財政のしくみ（国、地方公共団体の財政とその役割） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
6)	保健医療福祉財政のしくみ（財源、予算、決算、給付） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
7)	地域保健行政（都道府県、政令市の行政） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
8)	地域保健行政（市町村の行政） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
9)	保健医療福祉行政の制度の変遷（萌芽から1980年代まで） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
10)	保健医療福祉行政の制度の変遷（1990年代以降） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
11)	保健医療福祉の計画と評価（保健医療福祉計画の構造と内容） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
12)	保健医療福祉の計画と評価（地域保健計画の策定プロセス） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
13)	保健医療福祉の計画と評価（地域保健計画の推進と評価） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
14)	保健活動における関係機関との連携（地域、職域、学校等との連携） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分） 【復習】教員が示すテーマについて小レポートを作成する（60分）	小レポートの実施
15)	保健活動における関係機関との連携（多職種連携） 【予習】テキストの該当ページを読んでおく（20分）	
授業外学習		
○予習は、テキストの該当ページを読んでおくこと。はじめて見る語句については調べておくことが望ましい。別途、予習の内容を指示することがある。復習は、授業内容に関連する課題を提示するので翌週の授業までに小レポートを提出すること。小レポートはA4で1枚（12ポイント40行程度）にまとめること。小レポートの体裁については第1回の授業内で指示する。 ○学んだ内容が、保健師の国家試験にどのような形式で出題されるのか過去問題集などで確認すること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：標準保健師講座・別巻1『保健医療福祉行政論』 医学書院		公衆衛生看護支援論 公衆衛生看護活動論 公衆衛生看護管理論

課題に対するフィードバック
提出された小レポートには、担当教員がコメントをつけて返却する。
備考

科目名	公衆衛生看護基礎実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	3年	後期
担当者名	立川 美香、山本 博美	関連する資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格	

授業概要

- ・ 公衆衛生看護学基礎実習では、市町村保健センターを中心に実習を展開する。
- ・ 既習及び学習中の公衆衛生看護学の知識・技術・態度を統合し、地域における看護の実践を体験する。
- ・ 保健活動を通して行政における看護活動に方法を理解する。

(立川美香、山本博美は保健師としての実務経験のもとに、公衆衛生看護基礎実習の授業を行う。)

到達目標

(B3507ah)

1. 地域保健法に基づいた市町村の役割を理解する。
2. 対象者の健康と生活を多角的にアセスメントし、顕在的・潜在的健康課題を明らかにする。また健康課題解決の為に展開方法を思案する。
3. 対象者が自尊心、自己効力感、意欲を持ち、持てる力を発揮する支援を理解する。
4. 公衆衛生看護技術を通して、地域の社会的、文化的特性を踏まえて、地域の看護診断必要性や活用方法を理解する。
5. 要な社会資源の理解と利用、関係者・関係機関との連携のあり方を理解する。また、地域保健医療チームの一員としての看護職の役割と機能を理解する。
6. 実習に関わる多職種や地域で生活する人々の意見を聴き、そのことに対して専門職としての自分の考えを述べることができる。

成績評価方法

宿題、授業外レポート：事前学習への取り組み
小テスト、授業内レポート：実習後のレポート
授業態度・授業参加度：実習前後を含めての積極的な態度
プレゼンテーション：実習前後を含めて、自己を表現する態度
グループワーク：グループへの参加の態度
実習：実習前後を含めての積極的な態度

上記を基準として総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		10
宿題、授業外レポート	○		○	○	○		10
授業態度・授業参加度			○	○	○		50
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		10
グループワーク	○	○	○	○	○		20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
別冊：公衆衛生看護基礎実習ガイドブック参照		実習前後を含めて、グループ全体で協力し合って実習に臨む。その際には、グループでディスカッションをし、自身の課題とグループの課題を抽出し、修正点や不十分な点を明らかにする。課題に対する解決方法を計画し、積極的に実施する。実施した内容については、グループ間で評価しあう。
授業外学習		
・ 授業に必要な知識をテキスト等で予習してきてください。 ・ 実習先の市の概要について事前に調べてください。 ・ 授業後は実習で学んだ事をテキスト等で復習してください。 ・ グループワークに必要な知識の強化と資料収集をしてください。 ・ グループワークの時間内に円滑な学習経過が辿れない場合は、次回のグループワークまでに遅延を取り戻してください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
・ 「最新公衆衛生看護学総論」第3版日本看護出版会 ・ 「最新公衆衛生看護学各論1」第3版日本看護出版会 ・ 「最新公衆衛生看護学各論2」第3版日本看護出版会 ・ 「公衆衛生看護学概論」第6版医学書院 ・ 厚生労働統計協会編集「国民衛生の動向」2024/2025 ・ 実習ガイドブック		コミュニケーション論、公衆衛生学、疫学、保健統計、社会保障論、社会福祉論、家族論・家族関係論、公衆衛生看護学概論、在宅看護総論、在宅看護援助論、ターミナルケア論、総合ゼミナール、災害看護論、チーム医療論、保健医療福祉行政論

課題に対するフィードバック
実習中、実習後に課題に対してフィードバックを行う。
備考
実習オリエンテーション時に配布する、「看護学臨地実習ガイドブック」および「公衆衛生看護基礎実習ガイドブック」の内容をよく読み内容を理解し、遵守してください。

科目名	公衆衛生看護学実習（市町村）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	3	4年	前期
担当者名	山本 博美、立川 美香	関連する資格	保健師	

授業概要

- ・地域住民全体の健康の保持増進を目的とした、公衆衛生看護の基本理念と活動の特性を理解し、看護専門職として保健サービスを提供できる基礎的能力を育成する。
- ・市保健センターにおいて、地域の健康課題およびヘルスニーズ、活動の方法、地域ケアシステムの概要を学ぶ。
- ・地域の健康問題の社会的諸条件についての理解を深め、地域における健康に関連する問題を組織的に解決する公衆衛生看護の活動方法を習得する。
- ・常に意見交換を実施し、グループダイナミックスを最大限活用する。

『実務経験』立川美香・山本博美は保健師実務経験をもとに実習指導を行う。

到達目標

B4503ah

- 1．市における保健・医療・福祉のシステムを学び、保健師の役割と活動内容を理解し説明できる。
- 2．市における健康に関する情報を収集し、地域の健康問題を解決する方法やその過程を理解し説明できる。
- 3．直接的な支援（訪問指導、健康教育等）を学習し実践できる。
- 4．保健師としての態度を身につける。

成績評価方法

実習態度・実習参加度
 実習前学習への取組状況
 （地域診断・家庭訪問計画・健康教育実践準備等）グループワークへの参加態度
 実習記録等の記録物
 実習終了後の自己評価等で総合評価をする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		10
演習	○	○	○	○	○		10
実習	○	○	○	○	○		70

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
別冊：公衆衛生看護学実習 ガイドブック参照	ディスカッション グループワーク プレゼンテーション 健康教育の実践 家庭訪問に実践 健康相談の実践 健康診査の実践等
授業外学習	
・地域での健康教育実践のための事前準備はグループで協力して行う。 ・家庭訪問実習は前もって情報収集し訪問計画を立てる。 ・実習先の地域診断は実習前からグループで取り組み、実習終了するまでに完成させる。 ・実習予定の事業については前もって事業内容・法的根拠等について学習する。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
・「最新公衆衛生看護学総論」第3版日本看護出版会 ・「最新公衆衛生看護学各論1」第3版日本看護出版会 ・「最新公衆衛生看護学各論2」第3版日本看護出版会 ・「公衆衛生看護学概論」第6版医学書院 ・厚生労働統計協会編集「国民衛生の動向」2025/2026 ・実習要領（公衆衛生看護学実習 、共通）	コミュニケーション論、公衆衛生学、疫学、保健統計、社会保障論、社会福祉論、保健医療福祉行政論、家族論・家族関係論、総合ゼミナール、身体コミュニケーション論、公衆衛生看護学概論、在宅看護論、在宅看護論、緩和ケア論、災害看護論

課題に対するフィードバック
実習中、実習後に個別に課題に対するフィードバックを行う。
備考
実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック」及び「公衆衛生看護学実習 ガイドブック」の内容をよく読み理解し、遵守すること。

科目名	公衆衛生看護学実習（保健所）							
授業形態	履修形態	単位数		年次		開講期		
実習	選択	1		4年		前期		
担当者名	立川 美香、山本 博美			関連する資格		看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格		
授業概要								
・地域住民全体の健康の保持増進を目的とした、公衆衛生看護の基本理念と活動の特性を理解し、看護専門職として保健サービスを提供できる基礎的能力を育成する。 ・保健所の活動の方法、地域ケアシステムの概要を学ぶ。更に、健康問題の社会的諸条件についての理解を深め、地域における健康に関連する問題を組織的に解決する公衆衛生看護の活動方法を理解する。 ・保健所における健康危機管理の現状と保健師の活動と役割について学ぶ。 ・常に意見交換を実施し、グループダイナミックスを最大限活用する。 （立川美香・山本博美は保健師実務経験をもとに実習指導を行う。）								
到達目標 （B4504a） 1．保健所の機能及び役割を理解し説明できる。 2．保健所保健師の役割と、保健所で働く他職種の活動内容を理解し説明できる。 3．保健所管轄地域の健康に関する情報を収集し、地域の健康問題を解決する方法やその過程を理解し説明できる。 4．地域の健康問題に対して、保健所で実施している対人サービスを理解し説明できる。 5．保健師としての態度を身につける。				成績評価方法 実習態度・実習参加度 実習前学習への態取組状況（地域診断・家庭訪問計画等） 実習記録等記録物 実習終了後の自己評価 グループワークへの参加態度 等で総合評価をする。				
評価項目		評価基準						
		知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)								
小テスト、授業内レポート								
宿題、授業外レポート		○	○	○				15
授業態度・授業参加度								
プレゼンテーション								
グループワーク		○	○	○	○	○		15
演習								
実習		○	○	○	○	○		70

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
別冊：公衆衛生看護実習（保健所）ガイドブック参照		ディスカッション グループワーク 家庭訪問の実践 健康相談に実践 健康診査の実践等
授業外学習		
・実習先の地域診断は実習前からグループで取り組む。 ・実習予定の事業については前もって事業内容・法的根拠等について学習する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
・「最新公衆衛生看護学総論」第3版日本看護出版会 ・「最新公衆衛生看護学各論1」第3版日本看護出版会 ・「最新公衆衛生看護学各論2」第3版日本看護出版会 ・「公衆衛生看護学概論」第6版医学書院 ・厚生労働統計協会編集「国民衛生の動向」2024/2025 ・実習要領（公衆衛生看護学実習　・　、共通）		コミュニケーション論、公衆衛生学、疫学、保健統計、社会保障論、社会福祉論、保健医療福祉行政論、家族論・家族関係論、総合ゼミナール、身体コミュニケーション論、公衆衛生看護学概論、在宅看護論　、在宅看護論　、緩和ケア論、災害看護論

課題に対するフィードバック
実習中、実習後に課題してフィードバックを行う。
備考
実習オリエンテーション時に配布する「看護学臨地実習ガイドブック」及び「公衆衛生看護学実習 ガイドブック」の内容をよく読み理解し、遵守すること。

科目名	教育社会学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	後期
担当者名	白石 義孝	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

教育社会学の理論および方法、また具体的な研究成果の現状について、受講者によるテキスト概要に関連したトピックの報告と質疑応答により知識の定着をはかる。

様々な教育活動は社会全体の動きと無関係ではない。本講義では、教育社会学という学問領域の特徴を学ぶことにより、教育と社会の関わりについて考えることのできる素養を養う。受講者が各人の学校体験を無責任に「熱く」語るのではなく、報告の分担を通じて、冷静な事実認識ができるように、社会学的な「目」を培うことを目的とする。

到達目標

(D2201y)

1. 社会の状況を理解し、その変化が学校教育にもたらす影響とそこから生じる問題、並びにそれに対応するための教育政策の動向を理解できる。
2. 学校と地域の連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解できる。
3. 学校の管理下で起きる事件、事故及び災害の実情を踏まえて、学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取り組みを理解できる。

成績評価方法

定期試験（40％）、小テスト、授業内レポート（20％）、宿題、授業外レポート（20％）、プレゼンテーション（20％）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		20
グループワーク		○	○		○		
演習		○	○		○		
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方 予習：シラバスの内容を確認する（10分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
2) 変わる学校制度（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
3) 社会の動向とカリキュラム（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
4) 情報化の進展と学校教育（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
5) 学力問題の動向（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
6) 教師教育改革の動向（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
7) 社会の変化と幼児教育（我が国との違い）（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
8) 学校の危機管理と学校安全（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
9) 地域と学校の連携（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
10) 子どもの生活をふまえた学校と家庭の連携（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
11) 子どもの貧困と虐待（事前課題の解説：対面授業） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
12) 義務教育と不登校（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
13) マイノリティと学校教育（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
14) ジェンダーと教育（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
15) 共生のための教育・総括（授業全体の振り返り、レポート作成） 予習：テキストの指定したページを読む（30分） 復習：最終課題を作成する（180分）（小テスト）+遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
授業外学習		
グループワークの課題はGoogleClassroomに提示するので期限までにコメントの書き込みをすること 発表するテーマに関する資料収集を行い、レジュメとしてまとめること		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト ・現代社会と教育（酒井朗編著、ミネルヴァ書房） 参考書・参考資料等 ・最新の学習指導要領（小学校・中学校・高等学校） その他講義中において適宜紹介する。		教職概論、教育課程論、教育原理、教育相談・カウンセリング、教育方法・技術論、特別活動論（道徳及び総合的な学習を含む）、特別支援教育論、生徒指導論、学校体験活動、ボランティアと社会、情報処理演習

課題に対するフィードバック
プレゼンテーションや提出課題について毎回質疑応答を行い、フォローアップを行うとともに、課題に対する理解を深める。
備考

科目名	教育原理			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	1年	後期
担当者名	白石 義孝	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

教育の意義と目的を理解し、教育に携わるものとしての基本的な教育学の考え方や態度を身につけるとともに、現代の教育が抱える教育問題について考察し、主体的に問題解決に取り組めるよう深い見識を養う。そのため子どもを見る視点、学力やジェンダーなどの課題、学校の在り方などの多様なトピックを扱う。これらを通して、教育への関心を高め、将来の目指すべき教師像の形成の足掛かりとする。

到達目標

(D1101y)

1. 教育の基本的概念を身に付け、教育を成り立たせる諸要因との相互関係を理解できる。
2. 教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関りや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解できる。
3. 教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関りを理解できる。

成績評価方法

定期試験（40％）、小テスト、授業内レポート（20％）、宿題、授業外レポート（20％）、プレゼンテーション（20％）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○		○			20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		20
グループワーク		○	○		○		
演習		○	○		○		
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション・子どもの発達と教育の目的 予習：シラバスの内容を確認する（10分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
2) 教育とは何か（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
3) 学校の歴史（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
4) 古代ギリシアの教育思想（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
5) 近代の教育思想（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
6) 近代教育学の成立～新教育運動（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
7) 日本の教育史（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
8) 教育課程と授業の計画（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
9) 教育課程と授業の実践（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
10) 教育評価（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
11) 学校・学級の経営（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
12) 学び続ける教師となるために（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
13) 社会教育と生涯学習（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
14) 地域社会と学校（事前課題の解説） 予習：テキストの指定したページを読む（45分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
15) 総括（現代日本の教育課題、レポート作成） 予習：テキストの指定したページを読む（120分） 復習：最終課題を作成する（180分）（小テスト）+遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
授業外学習		
テキストの中に出てくる重要事項について事前に調べておく グループワークの課題はGoogleClassroomに提示するので期限までにコメントの書き込みをすること 発表するテーマに関する資料収集を行い、レジュメとしてまとめること		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト ・教育原理（木村元・汐見稔幸編著、ミネルヴァ書房） 参考書・参考資料等 ・問いからはじめる教育学（勝野正章・庄井良信著、有斐閣） ・最新の学習指導要領（小学校・中学校・高等学校） その他講義中において適宜紹介する。		教職概論、教育課程論、教育相談・カウンセリング、教育方法 ・技術論、特別活動論（道徳及び総合的な学習を含む）、特別支援教育論、生徒指導論、教育社会学、学校体験活動、ボランティアと社会

課題に対するフィードバック
プレゼンテーションや提出課題について毎回質疑応答を行い、フォローアップを行うとともに、課題に対する理解を深める。
備考

科目名	教職概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	1年	前期
担当者名	伊藤 一統	関連する資格		

授業概要

社会情勢の変化もあって、現代の学校教育においては教職の役割の多様性、重要性の高まりが著しい。そうした中での教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について概説し、それらの基本的な理解をすすめる。また、法令等で定められる「教育職員（教員）」の責務を踏まえ、教職に携わる者に相応しい資質や知識・技能の獲得を図り、教職に携わる者としてふさわしい教育観を有し、力量の形成を行うことができるようになる。そのうえで、教職という職業について、自分の適性、能力等について考え、進路選択について考える。

到達目標

D1201y

- 教育職に就くに際して必要な基本的内容を理解する。
- 今日の学校教育や教職の社会的意義を理解する。
- 教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力を理解し、適切な子ども観、教育観を持つ。
- 学校内外での連携・協働をすることで現代の学校を取り巻く状況に対応することの重要性を理解する。
- 教職に関して得た技能や知識を活用して、教育に関して考えることができる。

成績評価方法

提出物、受講態度、試験等を総合して評価する。
試験60%、提出物20%、ワーク20%を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○						60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○				20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション：受講に際しての留意事項 / 本講義の目指すところ		
2) 学校教育の位置づけ：公教育としての学校教育		適宜、対話形式ですすめる
3) 職業としての教員：仕事をするということ / 教員の職業的特性		適宜、対話形式ですすめる
4) 教員を取り巻く制度（１）：学校教育の法制度上の位置と教員		適宜、対話形式ですすめる
5) 教員を取り巻く制度（２）：教員に関する法制度		適宜、対話形式ですすめる
6) 教員の職務と服務（１）：教員としての職務の概要 / 服務上・身分上の義務及び身分保障		適宜、対話形式ですすめる
7) 教員の職務と服務（２）：児童・生徒の指導・支援 / 学校組織と職務 / 校務分掌		適宜、対話形式ですすめる
8) 教員としての職能向上：研修の位置づけ・重要性 / 職務階梯と職能		適宜、対話形式ですすめる
9) 子ども理解や教育相談における連携・協働：教員間SCやSSW等の専門家との連携		適宜、対話形式ですすめる
10) 児童生徒の健康・安全への対応：学校運営協議会（コミュニティスクール）やNPO、地域組織等との連携		適宜、対話形式ですすめる
11) （仮）学校現場における養護教諭の職務・役割：ラウンドテーブル 現職養護教諭に聞く		適宜、対話形式ですすめる
12) 教職観と教員の力量（１）：教師文化と倫理 / 使命感・責任感、教育的愛情 / 社会性や対人関係能力 / 生徒理解や学級経営		適宜、対話形式ですすめる
13) 教職観と教員の力量（２）：授業を創る力量 / 教科の理解 / 保健授業案		適宜、対話形式ですすめる
14) 学校教育の現状と教職：学校評価・教員評価の現状 / 教員研修 / 教育改革		適宜、対話形式ですすめる
15) まとめ～教職への道、教職としての道：求められる教員像 / 教員採用と教職としての人生		適宜、対話形式ですすめる
授業外学習		
【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。（20時間） ・教育職の在り方について考えたり、他者と論じたりする時間を持つこと（10時間） ・教職や学校をめぐる最新の法制度について、関係省庁のウェブサイト等で確認しておくこと（15時間） ・適宜、「学習指導要領」、「教育小六法」等の参考図書において、講義と関連する事項について確認すること（15時間）		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト 佐藤晴雄「教職概論 [第6次改訂版]」学陽書房 参考資料 講義中で配布する資料のほか、適宜紹介する。		教職科目 養護教諭専門科目 教職実践演習

課題に対するフィードバック
課題を出した場合、ピックアップして講義中にコメントする。
備考
外部講師による講義や現場観察等を行う場合もあります。

科目名	子どもの発達と学習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	前期
担当者名	三島 瑞穂	関連する資格	養護教諭	

授業概要

養護教諭，教師が児童期・思春期の子どもと関わる際に必要な知識の習得を目的とする。幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程と学習の過程を、学習心理学や教育心理学の知見を取り入れながら学ぶ。現場で学習の援助や発達の理解をその発達の背景や環境を踏まえて対処する力を身につける。発達障害、学習障害へ支援の工夫を考えることができるよう、その特徴と対処について学ぶ。

授業は原則、遠隔で行う。質問や相談にはメールと対面、両方で対応する。

到達目標

ナンバリング(C1407sr)

1. 幼児児童及び生徒の心身の発達に対する外的及び内的要因の相互作用、発達に関する代表的理論を踏まえ、発達の概念及び教育における発達理解の意義を理解している。
2. 乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について、その具体的な内容を理解している。
3. 様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解している。
4. 主体的学習を支える動機づけ・集団作り・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連づけて理解している。
5. 幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。
6. 加えて発達障害、学習障害の幼児、及び生徒の発達の特徴を理解し、学校における支援の在り方を考えることができる。

成績評価方法

毎回の授業の最後に提出するレポート（100％）

1回目は授業に対する意欲、2回目～15回目は授業内容の理解と自分なりの考察が求められる。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○	○		20
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		15
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		15
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		15
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		5
グループワーク	○	○	○	○	○		20
演習							10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 発達メカニズムの理解 予習：シラバスについて読んでおく（１５分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（３０分）		小レポートの作成
2) 知性と認知の発達、知能の発達 予習：知能とは何かについて考えておく（１５分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（３０分）		小レポートの作成
3) 社会性の発達 予習：「社会性とは何だろう？」というテーマについて考えておく（１５分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（３０分）		小レポートの作成
4) 児童期の発達 予習：小学生の心の特徴について考えておく（１５分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（３０分）		映像を用いた学習
5) 思春期・青年期の発達 予習：思春期の心の特徴について考えておく（１５分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（３０分）		小レポートの作成
6) 認知と学習 予習：学習に必要な人の能力について考えておく（１５分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（３０分）		小レポートの作成
7) 学習の理論 予習：行動の形成と変化について考えておく（１５分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（３０分）		小レポートの作成
8) 教育における学習理論の応用 予習：教育における学習活動の形成について考えておく（１５分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（３０分）		小レポートの作成
9) 動機づけ 予習：学校における動機づけについて考えておく（１５分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（３０分）		小レポートの作成
10) 教育評価 予習：教育における評価の在り方について考えておく（１５分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（３０分）		小レポートの作成
11) 学校現場で学習障害を背景とした学習の困難さの理解と教育支援 予習：学習の困難さについて考えておく（１５分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（３０分）		小レポートの作成
12) 学校現場で自閉症スペクトラムを背景とした学習の困難さの理解と教育支援 予習：学校におけるコミュニケーションの問題について考えておく（１５分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（３０分）		小レポートの作成
13) 学校現場で発達障害（ＡＤＨＤ）を背景とした学習に対する理解と教育支援 予習：学校における落ち着いた学ぶ条件について考えておく（１５分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（３０分）		小レポートの作成
14) 学校の集団生活が子どもの心的発達に与える影響 予習：集団で学ぶことの効果について考えておく（１５分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（３０分）		小レポートの作成
15) 教員との関わりが子どもの心的発達に与える影響 予習：教員との関係性について考えておく（１５分） 復習：概念に関して習熟するよう、関連する文献に当たる（３０分）		
授業外学習		
小児看護学、障害発達心理学等、他の科目との関連を検討しておく。子どもを対象にしたボランティア活動等、子どもと積極的に触れ、子どもと学習支援への関心を高めておく。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
参考書・参考資料の内容を元に、独自のテキストを作成する。 発達と学習（Next教科書シリーズ）内藤 佳津雄（編集）、北村世都（編集）、市川 優一郎（編集）弘文堂 発達と学習（教職教養講座）子安 増生（著）、明和 政子（著）、稲垣恭子（監修）、高見茂・田中耕治 協同出版	生涯発達心理学 小児看護学	

課題に対するフィードバック
小レポートは翌週、授業の中でコメントをする。授業外レポートについては、最後の授業で資料配布とコメントを行う。
備考

科目名	特別支援教育論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	後期
担当者名	脇 貴典	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業では、障害のある幼児、児童及び生徒について学び、幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。

実務経験

筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局
東京都教育委員会 公立学校スクールカウンセラー
埼玉県教育委員会 特別支援教育巡回相談員
所沢市教育委員会 就学支援相談員・教育相談員・専門家チーム委員

到達目標

(D2203y)
1．発達障害等をはじめとする特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解できる。
2．発達障害等をはじめとする特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を理解できる。
3．障害はないが特別な教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解できる。

成績評価方法

授業内レポート（60％）、授業態度・授業参加度（30％）、宿題・授業外レポート（10％）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							60
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション：特別支援教育の概要 【予習】「特別支援教育」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
2)	特別支援教育の制度や理念（関係法令やインクルーシブ教育システムを含む） 【予習】「特別支援教育の理念や仕組み」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
3)	特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒の心身の発達、心理的特性、学習過程 【予習】「特別な支援」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
4)	視覚障害の理解と指導・支援 【予習】「視覚障害」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
5)	聴覚障害の理解と指導・支援 【予習】「聴覚障害」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
6)	肢体不自由・病弱・身体虚弱・重複障害の理解と指導・支援 【予習】「肢体不自由等」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
7)	知的障害の理解と指導・支援 【予習】「知的障害」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
8)	ASDの理解と指導・支援 【予習】「ASD」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
9)	ADHDの理解と指導・支援 【予習】「ADHD」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
10)	DCDの理解と指導・支援 【予習】「DCD」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
11)	LDの理解と指導・支援 【予習】「LD」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
12)	「通級による指導」及び「自立活動」の内容 【予習】「通級による指導等」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
13)	特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒の保護者との連携 【予習】「保護者のニーズ」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
14)	個別の指導計画と教育支援計画作成の意義と方法 【予習】「個別の指導計画」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
15)	特別支援教育と障害理解教育 【予習】「障害理解教育」について参考資料等を調べる（45分） 【復習】全授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
授業外学習		
・配布する資料について、熟読しておく。 ・毎授業終了時に小レポートを提示し、それに関連した内容について各自まとめる。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト： 必要に応じて資料を配布する 参考書・参考資料等 柘植雅義 はじめての特別支援教育 有斐閣アルマ 2014年		

課題に対するフィードバック
提出されたレポートのコメントや質問への回答は、次回授業時に返答する。
備考
合理的配慮の申請を歓迎します

科目名	教育課程論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	1年	後期
担当者名	伊藤 一統	関連する資格		

授業概要

学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解する。また、各学校や地域の実情に合わせて教育課程の編成を含むカリキュラム・マネジメントを行うことの意義・方法について学習する。

到達目標

D1202y

- 学習指導要領を中心として、学校教育の動向を理解し、教育課程の位置づけ、役割、編成の意義について理解する。
- 教育課程の編成方針を理解し、現代の教育課題に対応した教育課程の編成の実際についての知見を得る。
- カリキュラム・マネジメントの重要性・意義を理解し、教育課程の設計・改善ができる。

成績評価方法

試験70%、提出課題等20%、授業内ワーク等10%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○						60
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート	○	○					10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク		○					20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション??授業の概要・受講に際する留意事項、教育課程を学ぶ意義		
2) 学習指導要領の性格と教育課程の位置づけ		適宜、対話形式ですすめる
3) 教育課程の意義と社会・生活		適宜、対話形式ですすめる
4) 教育課程の編成原理		適宜、対話形式ですすめる
5) 教育内容の選択と教育課程		適宜、対話形式ですすめる
6) 教育課程と教育環境		適宜、対話形式ですすめる
7) カリキュラム・マネジメント		適宜、対話形式ですすめる
8) 教育課程と評価		適宜、対話形式ですすめる
9) 各学校種の教育課程		適宜、対話形式ですすめる
10) 効果的な教育活動と教育課程		適宜、対話形式ですすめる
11) 地域や学校の特性と教育課程の実践		適宜、対話形式ですすめる
12) 教育課程の歴史		適宜、対話形式ですすめる
13) 学習指導要領の変遷		適宜、対話形式ですすめる
14) 教育課程改革の動向		適宜、対話形式ですすめる
15) まとめ これからの教育と教育課程		適宜、対話形式ですすめる
授業外学習		
【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。（20時間） 【その他】○最新の教育制度および施策について、関係省庁のウェブサイト等で確認しておくこと（10時間） ○学習指導要領及びその解説の類、「教育小六法」等の参考図書において、講義と関連する事項について確認すること（10時間） ○教育課程の編成について実際に試作したり、他者と論じたりする時間を持つこと（10時間）		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
<テキスト>「基礎からわかる教育課程論」大学図書出版 <参考書>文部科学省「幼稚園教育要領解説（最新版）」「小学校学習指導要領解説（最新版）」「中学校学習指導要領解説（最新版）」「高等学校学習指導要領解説（最新版）」 その他 適宜、講義中において紹介する。		教育方法の研究

課題に対するフィードバック
課題を出した場合、ピックアップして講義中にコメントする。
備考

科目名	特別活動論（道徳及び総合的な学習を含む）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	前期
担当者名	吉岡 一志	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

自身の過去の経験を踏まえながら、特別活動と総合的な学習の時間、また道徳教育の意義と内容及びこれらと教科等との関連を理論的に理解し、そのうえで実践に向けた方法的視点を深める。特別活動、総合的な学習の時間、道徳教育を教科との関連を踏まえながら、統合的に理解していくことを目指す。

到達目標

D2204y

特別活動と総合的な学習の時間の意義と内容及びこれらと教科等との関連を理論的に理解するとともに、実践化のための方法的視点や具体的手立てを深める。合わせて、道徳教育について概観し、現代の子どもをめぐる諸課題との関係性について理解する。

成績評価方法

授業態度、レポート、プレゼンテーション等の成績を総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○		○		40
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション		○	○	○			40
グループワーク		○	○		○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション：授業の進め方 ガイダンス、特活の概説 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)		グループワーク
2) 現代社会の今日的課題と特別活動（道徳及び総合的な学習を含む） 現代社会の課題から特活の意義を考える 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)		グループワーク
3) 特別活動の内容と方法 学習指導要領から特活の内容と方法を整理する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)		グループワーク
4) いじめから考える現代の子どもたち いじめを事例に子ども集団の課題について考える 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)		グループワーク
5) 小括（現代の子どもに求められる力、レポート作成） 授業内容を振り返り、小レポートの作成をする 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)		レポート作成
6) 道徳教育の歴史と現在 道徳教育の歴史を振り返り、道徳教育の意義を考える 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)		グループワーク
7) 総合的な学習の時間の意義と原理 学習指導要領から総合学習の意義と原理を整理する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)		グループワーク
8) 主体的な学習の意義とその実践 映画を見ながら、主体性に関する理論を整理する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)		グループワーク
9) 自己と他者の理解を通じた将来設計 個性形成の理論を踏まえたキャリア教育の方法を検討する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)		グループワーク
10) 小括（考えることの意味、レポート作成） 授業内容を振り返り、小レポートの作成をする 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)		レポート作成
11) 特別活動（道徳及び総合的な学習を含む）における子どもと教師の関係性 教師が登場する漫画を分析し、あるべき教師像を模索する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)		グループワーク
12) 子どもの心と学校生活 漫画題材として、子どもの心に向き合う教師像を模索する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)		グループワーク
13) 総合的な学習の時間の事例と学習指導計画の作成（ワーク） 学習指導要領から教育目標を定めて、指導案を作成する 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)		グループワーク
14) 学習指導計画の発表（プレゼンテーション） 学習の成果を発表し、評価する視点を養う 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)		グループワーク プレゼンテーション
15) 総括（授業全体の振り返り、レポート作成） 授業内容を振り返り、小レポートの作成をする 【予習】指導要領を読む(30分)【復習】授業の要点をまとめる(60分)		レポート作成
授業外学習		
特別活動に関する様々な理論を講義中に紹介する予定です。難解な理論も多いので、必ず復習すること。また、適宜参考文献を紹介するので、興味がある理論については文献を読んでみることに。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：小学校学習指導要領（最新版）、中学校学習指導要領（最新版） 参考書・参考資料等 ○小学校学習指導要領解説・特別活動編（最新版）、中学校学習指導要領解説・特別活動編（最新版） ○必要に応じて資料を配布予定		

科目名	教育方法・技術論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	前期
担当者名	白石 義孝	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

子どもや学校を取巻く環境の大きな変化にともない、学校教育の内容・方法も問われている。これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付けるために、学校教育における教える・学ぶ活動を中心に据え、そこで展開されるさまざまな形態や方法・技術・手法について事例紹介とワークを踏まえて学んでいく。さらに、今日における教育目的・内容と教育方法を考察し、アクティブラーニング、学習環境のデザイン、ICTの活用、教育の質的評価などといった小中学校から大学まで、今日の教育者に必要とされる最新の教育技術を理解する。

到達目標

(D2205y)
 1．これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解できる。
 2．教育の目的に適した指導技術を理解し、身に付けることができる。
 3．情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付けることができる。

成績評価方法

定期試験（40％）、小テスト、授業内レポート（20％）、宿題、授業外レポート（20％）、プレゼンテーション（20％）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		20
グループワーク		○	○		○		
演習		○	○		○		
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション：これからの子どもたちに育みたい資質・能力 予習：シラバスの内容を確認する（10分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
2) 教師に求められる授業力とは 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
3) 授業をつくるということ 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
4) 評価をデザインする 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
5) 学習環境のデザインとデジタル化 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
6) 授業を支える指導技術（教師編） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
7) 学びを引き出す指導技術（児童・生徒編） 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
8) 学習目標の設定 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
9) 深い学びを導く教材研究 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
10) 主体的・対話的な学習過程 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
11) 学びが見える評価方法 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
12) ICT・デジタル教材を活用した学習活動 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
13) 教科を横断した情報活用能力の育成 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
14) テクノロジーによる授業の拡張と校務の情報化 予習：テキストの指定したページを読む（15分） 復習：授業内で指示した課題を作成する（45分）遠隔授業		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
15) 総括（模擬授業・研究授業の実施と改善、レポート作成） 予習：テキストの指定したページを読む（30分） 復習：最終課題を作成する（180分）遠隔授業＋対面		グループワーク プレゼンテーション 個人ワーク
授業外学習		
グループワークの課題はGoogleClassroomに提示するので期限までにコメントの書き込みをすること 発表するテーマに関する資料収集を行い、レジュメとしてまとめること		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト： ・稲垣忠 編著『教育の方法と技術Ver.2』北大路書房、2022年 参考書・参考資料等 ・稲垣忠ほか著『授業設計マニュアルVer.2』北大路書房 ・最新の学習指導要領（小学校・中学校・高等学校） その他講義中において適宜紹介する。		教職概論、教育課程論、教育原理、教育相談・カウンセリング、特別活動論（道徳及び総合的な学習を含む）、特別支援教育論、生徒指導論、教育社会学、学校体験活動、ボランティアと社会

課題に対するフィードバック
プレゼンテーションや提出課題について毎回質疑応答を行い、フォローアップを行うとともに、課題に対する理解を深める。
備考

科目名	生徒指導論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	前期
担当者名	脇 貴典	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

学校では、いじめや不登校など多様な問題が起こっており、学校教育において生徒指導の果たす役割の重要性が増している。生徒指導は、一人一人の児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じて行われ、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。本授業では、生徒指導の意義、原理、方法についての理解を深め、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付けることを目的とする。

実務経験

東京都教育委員会 公立学校スクールカウンセラー
埼玉県教育委員会 特別支援教育巡回相談員
所沢市教育委員会 就学支援相談員・教育相談員・専門家チーム委員

到達目標

(D2206y)
○生徒指導の意義や原理を理解する。
○すべての児童生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解する。
○児童生徒の抱える主な生徒指導上の課題の形態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解する。

成績評価方法

小テスト、授業内レポート(60%)、授業態度・授業参加度(30%)、グループワーク(10%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							60
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							
グループワーク							10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション：授業の進め方・生徒指導とは 【予習】「生徒指導」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
2)	生徒指導の基本的な考え方とその意義 【予習】「生徒指導の意義」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
3)	生徒指導の方法・原理（法令） 【予習】「生徒指導の関連法令」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
4)	生徒指導における指導と相談の実際 【予習】「生徒指導の実践・相談」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
5)	児童生徒の問題行動の理解 【予習】「生徒指導と問題行動」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
6)	児童生徒の問題行動への対応 【予習】「校内の問題行動への対応」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
7)	「いじめ」問題の理解 【予習】「いじめ問題」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
8)	「いじめ」問題への取り組み 【予習】「いじめへの対応・実践」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
9)	「いじめ」への対応 【予習】「いじめへの対応方法」についての発表準備（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
10)	「不登校」問題の理解 【予習】「不登校問題」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
11)	「不登校」問題への取り組み 【予習】「不登校への対応・実践」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
12)	「不登校」への対応 【予習】「不登校への対応方法」についての発表準備（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
13)	生徒指導体制の確立と運営 【予習】学内外の連携について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
14)	生徒指導・教育相談の考え方と方法（スクールワイドPBSによる取り組み） 【予習】「スクールワイドPBS」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
15)	総括 「チームとしての学校」と生徒指導の深化 【復習】これまでの授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分） 【復習】全授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
授業外学習		
・配布する資料について、熟読しておく。 ・毎授業終了時に小レポートを提示し、それに関連した内容について各自まとめる。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト 必要に応じて資料を配布する 参考書・参考資料等 若林上総 他 学校全体で取り組むポジティブ行動支援スタートガイドブック ジアース教育新社（2023年） 文部科学省 生徒指導提要（改訂版）		教育相談・カウンセリング 特別支援教育論

課題に対するフィードバック
提出されたレポートのコメントや質問への回答は、次回授業時に返答する。
備考
合理的配慮の申請を歓迎します

科目名	教育相談・カウンセリング			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	1年	後期
担当者名	松田 敦子	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

教育相談は、幼児、児童及び生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。

幼児、児童及び生徒の発達状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む）を身に付ける。また、援助に必要なカウンセリング概念と基礎的な技術と理論的な背景についてロールプレイと講義を組み合わせで学習する。

公認心理師・臨床心理士として、山口県内でスクールカウンセラーとしての経験を有する教員が、業務経験に基づき講義を行う。

到達目標

D1203y

- ・学校における教育相談の意義と理論を理解する。
- ・教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的事柄を含む）を理解する。
- ・教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解する。
- ・専門職としてかかわる中で必要なコミュニケーション技術とカウンセリングの基本がわかる。

成績評価方法

小テスト、授業内レポート（60％）、宿題、授業外レポート（10％）、授業態度・授業参加度（30％）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							60
宿題、授業外レポート							10
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション：授業の進め方・教育相談とは 【予習】「教育相談」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
2)	教育相談の基本的な考え方とその意義 【予習】「教育相談の意義」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
3)	教育相談に関わる基礎的な理論 【予習】「教育相談の理論」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
4)	教育相談活動に必要なカウンセリングマインド 【予習】「カウンセリングマインド」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
5)	児童生徒への支援 見立てから対応 【予習】「見立て・アセスメント」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
6)	児童生徒への支援 心理教育プログラム 【予習】「心理教育」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
7)	スクールカウンセリングの基礎的な姿勢や技法 受容 【予習】「カウンセリングと受容」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
8)	スクールカウンセリングの基礎的な姿勢や技法 傾聴 【予習】「カウンセリングと傾聴」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
9)	スクールカウンセリングの基礎的な姿勢や技法 共感的理解 【予習】「共感的理解」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
10)	スクールカウンセリングの基礎的な姿勢や技法 問題解決 【予習】「相談における問題解決」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
11)	校内連携による教育相談的対応（コンサルテーション） 【予習】「学校コンサルテーション」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート グループワーク
12)	児童生徒の諸問題への対応（危機介入） 【予習】「学校での危機介入」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
13)	教育相談システムの構築と組織的取り組み 【予習】「教育相談システム」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
14)	地域における専門家との連携による相談体制と教師のメンタルヘルス 【予習】「教師のメンタルヘルス」について知りたいことをまとめる（45分） 【復習】授業内容をふりかえり、内容についてまとめる（45分）	授業内レポート
15)	統括（学校における教育相談活動の在り方） 【復習】授業内容についてふりかえり、まとめる（90分）	授業内レポート
授業外学習		
・配布する資料について、熟読しておく。 ・毎授業終了時にキーワードを提示し授業内容について各自まとめる。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト 大石幸二 監修 先生のための保護者相談ハンドブック 学苑社 2020年 参考書・参考資料等 岩壁 茂 編集 カウンセリングテクニック入門 金剛出版 2015年		

課題に対するフィードバック
授業内レポートはコメントをつけて返す。
備考
対面授業 合理的配慮の申請を歓迎します

科目名	健康相談活動			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	後期
担当者名	新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

子どもたちの現代的な健康課題や学校教育の現場で起こっている児童生徒の抱える心身の健康問題、不登校等の現状等について理解し、その対応について理論と事例検討を通して修得する。
学校現場における経験がある教員が、養護教諭の実務経験を生かして、現代的健康課題を抱える子どもたちへの支援について指導する。

到達目標

(D2401y)

1. 養護教諭が行う健康相談の意義について理解し、説明することができる。
2. 養護教諭の職務の特質と保健室の機能を生かした健康相談を考え、述べるすることができる。
3. 健康相談を進めていくための具体的な方法を説明することができる。

成績評価方法

定期試験(20%)
レポート(50%)
授業態度(10%)
グループワーク(20%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	5	15					20
小テスト、授業内レポート	10	20					30
宿題、授業外レポート	10	10					20
授業態度・授業参加度			5		5		10
プレゼンテーション							0
グループワーク			5	10	5		20
演習							0
実習							0

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 健康相談の目的と意義(新開奏恵) 【予習】配布した文献を読んでおく。(15分) 【復習】健康相談の目的についてまとめる。(10分)		グループワーク
2) 社会の変化と子どもの健康問題の変遷(新開奏恵) 【予習】子どものヘルスニーズについて文献を読んでおく。(15分) 【復習】子どもの健康課題について整理する。(10分)		グループワーク
3) 心身の健康問題における発達段階別の特徴(新開奏恵) 【予習】健康相談の実践事例を読んでおく。(15分) 【復習】実践記録を読み養護教諭の対応をまとめる。(60分)		グループワーク
4) 頭痛・腹痛に対する健康相談(佐伯里英子) 【予習】頭痛・腹痛のアセスメントについて確認しておく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)		グループワーク
5) 体調不良による頻回来室に対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)		グループワーク
6) 喘息に対する健康相談(佐伯里英子) 【予習】喘息の症状やアセスメントについて確認しておく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)		グループワーク
7) けがやスポーツ障害に対する健康相談(新開奏恵) 【予習】スポーツ障害について確認しておく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)		グループワーク
8) 友だち関係のトラブルやいじめに対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)		グループワーク
9) 保健室登校に対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読み養護教諭の対応をまとめておく。(60分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)		グループワーク
10) 障がいのある子どもに対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)		グループワーク
11) アレルギー疾患や慢性疾患に対する健康相談(新開奏恵) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)		グループワーク
12) 摂食障害や自傷行為に対する健康相談(佐伯里英子) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)		グループワーク
13) 虐待に対する健康相談(古川かおる) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)		グループワーク
14) 性の多様性に関する健康相談(今田真樹) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】養護教諭の役割について整理する。(15分)		レポート
15) 履修カルテへの記録・授業の振り返り(新開奏恵) 【予習】健康相談活動での配布資料を整理しておく。(15分) 【復習】健康相談における養護教諭の役割について整理する。(15分)		
授業外学習		
予習として授業で使用する資料を読み、内容を理解する。 復習として配布資料を整理し健康相談活動における養護教諭の役割について振り返りをする。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
参考書：「教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引き」文部科学省 新版「学校救急処置」農文協 新版「養護学概論」東山書房 教材：機関誌「保健室」本の泉社		学校保健、養護概論、精神保健、小児看護学、教職科目

課題に対するフィードバック
毎回の授業の気づきについては、一人一人にコメントをつけて次の授業時に返却する。 学生の気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。
備考

科目名	学校保健			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	2	2年	前期
担当者名	新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

学校教育における学校保健の目的、意義、実際の活動について学習し「学校保健安全法」等に定められる保健管理及び学校環境衛生の概略を理解する。児童生徒及び教職員の健康と安全の保持増進を図るため、また、児童生徒の健康に生きる力を育むための保健管理、保健教育における保健活動の進め方や実際について、主としてグループワークを通して修得する。学校現場における経験がある教員が、養護教諭の実務経験を生かして、保健管理、保健教育における学校保健活動の進め方の実際について指導する。

到達目標

(D2402y)

1. 学校教育における学校保健の概略を理解し、説明することができる。
2. 学校保健活動を実践していくうえで必要な各論的知識を身につける。

成績評価方法

定期試験(50%)
レポート(10%)
授業態度(10%)
プレゼンテーション(20%)
グループワーク(10%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	50						50
小テスト、授業内レポート		10					10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			10				10
プレゼンテーション	5	5		10			20
グループワーク		5			5		10
演習							0
実習							0

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 学校保健活動（事項・内容・方法等）（新開奏恵） 【予習】学校体験活動の資料を読んでおく。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）		グループワーク
2) わが国の学校保健制度（新開奏恵） 【予習】学校保健制度・学校看護婦制度について調べておく。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）		グループワーク
3) 「学校保健安全法」（新開奏恵） 【予習】学校保健安全法について調べておく。（30分） 【復習】学校保健安全法の確認問題を復習する。（15分）		グループワーク
4) 児童生徒に多い疾病異常、事故傷害、体力の実態（新開奏恵） 【予習】学校保健統計資料を読んでおく。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）		グループワーク プレゼンテーション
5) 児童生徒の心身の健康状態の把握と対応（新開奏恵） 【予習】学校保健統計資料を読んでおく。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）		グループワーク
6) 学校環境衛生活動の内容と方法（新開奏恵） 【予習】学校環境衛生に関する資料を読んでおく。（10分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）		グループワーク
7) 学校における安全管理（新開奏恵） 【予習】学校での事件や事故に関する記事を準備する。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）		グループワーク
8) 「学習指導要領」に基づく保健教育（学外講師） 【予習】小学校、中学校、高等学校の保健体育の教科書を読んでおく。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）		レポート
9) 養護教諭の専門性を生かした保健教育（新開奏恵） 【予習】「養護実習の学び2024」を読んでおく。（15分） 【復習】指導案を作成する。（30分）		グループワーク
10) 養護教諭の専門性を生かした保健教育（新開奏恵） 【予習】指導案の概要について発表できるようにしておく。（15分） 【復習】指導案を修正する。（30分）		グループワーク
11) 子どもの健康、発達の現状に対する学校保健における取組（新開奏恵） 【予習】実践記録資料を読んでおく。（15分） 【復習】グループワークの内容をまとめ、配布資料を整理する。（15分）		グループワーク
12) 模擬授業の実施と評価（新開奏恵） 【予習】指導案の概要について発表できるようにしておく。（15分） 【復習】指導案を修正する。（30分）		プレゼンテーション
13) 模擬授業の実施と評価（新開奏恵） 【予習】指導案の概要について発表できるようにしておく。（15分） 【復習】教材を検討する。（30分）		プレゼンテーション
14) 学校保健組織活動・多職種連携（新開奏恵） 【予習】ほけんだよりを準備しておく。（30分） 【復習】ほけんだよりを作成する。（30分）		グループワーク 小テスト
15) 履修カルテの記録・授業の振り返り（新開奏恵） 【予習】学校保健での配布資料を整理しておく。（15分） 【復習】学校保健に関する確認問題を行う。（20分）		ディスカッション
授業外学習		
授業外学習は、予習として学校保健に関する法令や学校保健活動についての資料を読みワークシートに整理する。復習では、配布資料を整理し学習の振り返りを行う。また、法令等は確認問題で定着させる。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：新版「養護学概論」東山書房 教材：「養護実習の学び2024」		小児看護学、養護概論、養護実習指導、教職実践演習

課題に対するフィードバック
確認問題については、授業で解答とポイントの解説をする。 毎回の授業の振り返りや気づきについては、一人一人にコメントをつけて次の授業時に返却する。 学生全員の振り返りや気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。
備考

科目名	養護概論							
授業形態	履修形態		単位数		年次		開講期	
講義	自由		2		2年		後期	
担当者名	新開 奏恵			関連する資格		養護教諭一種免許状		
授業概要 児童生徒の心身の健康を保持増進させるために求められる、養護教諭の専門性と役割及び保健室の機能について学ぶ。養護教諭の職務内容を学び、資質・能力を向上するために必要な知識や理論、実践内容について修得する。また、学校保健活動を推進するためには、学校内外の関係者や関係機関との連携が重要であるため、関係職員、関係機関の特性と役割について理解する。学校現場における経験がある教員が、養護教諭の実務経験を生かし、養護教諭の職務内容や養護教諭の専門性と役割及び保健室の機能について指導する。								
到達目標 (D2403y) 1. 養護教諭の職務の特質について法的根拠を踏まえて説明することができる。 2. 養護教諭の専門性を理解した上で、実際の養護活動場面を想定した指導計画を立案することができる。 3. 「養護とは何か」「養護教諭の役割」を考察し、表現することができる。					成績評価方法 定期試験 (20%) レポート (20%) 授業態度 (20%) プレゼンテーション (20%) グループワーク (20%)			
評価項目		評価基準						
		知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)		15	5					20
小テスト、授業内レポート		5	5					10
宿題、授業外レポート		5	5					10
授業態度・授業参加度				10		10		20
プレゼンテーション		10			10			20
グループワーク				10		10		20
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション 「養護教諭とは」(新開奏恵) 【予習】学校保健における養護教諭の職務についての資料を読んでおく。(15分) 【復習】「養護教諭観」をまとめる。(15分)	グループワーク
2)	オリエンテーション 「養護教諭観」「養護教諭の歴史」(新開奏恵) 【予習】「養護教諭観」の発表練習をしておく。(15分) 【復習】教員として求められる資質についてまとめる。(15分)	プレゼンテーション
3)	救急処置 (新開奏恵) 【予習】学校で起こる傷病の処置方法について調べておく。(15分) 【復習】救急処置方法について整理する。(15分)	グループワーク
4)	救急処置 (新開奏恵) 【予習】学校で起こる傷病の処置方法について調べておく。(15分) 【復習】救急処置方法について整理する。(15分)	グループワーク
5)	健康診断(新開奏恵) 【予習】法的根拠、目的、内容について調べておく。(15分) 【復習】健康診断計画をグループで完成する。(20分)	グループワーク
6)	保健室実践(学外講師) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】子どもの健康課題解決のための取組についてレポートを書く。(60分)	レポート
7)	健康診断(新開奏恵) 【予習】測定や検査方法について調べておく。(15分) 【復習】健康診断実施の際の留意点について確認する。(15分)	グループワーク 健康診断実施計画作成
8)	学校環境衛生活動(新開奏恵) 【予習】法的根拠、目的、内容、方法等を調べておく。(20分) 【復習】環境衛生活動における留意点について確認する。(15分)	グループワーク
9)	感染症の予防(新開奏恵) 【予習】児童生徒が罹患しやすい病気について調べておく。(20分) 【復習】感染症対策についてまとめる。(15分)	グループワーク
10)	保健教育(新開奏恵) 【予習】保健教育の題材を調べておく。(20分) 【復習】養護教諭の行う保健教育の意義をまとめる。(15分)	グループワーク 指導案作成
11)	保健教育(新開奏恵) 【予習】模擬授業の練習をしておく。(30分) 【復習】指導案を修正する。(15分)	プレゼンテーション 指導案説明
12)	保健教育(新開奏恵) 【予習】保健教育で行いたいテーマを決め、教材を準備しておく。(30分) 【復習】指導案を修正する。(15分)	グループワーク
13)	保健室実践(古川かおる) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】子どもの健康課題解決のための取組についてレポートを書く。(60分)	レポート
14)	保健教育(新開奏恵) 【予習】模擬授業の練習をしておく。(30分) 【復習】指導案を修正する。(15分)	プレゼンテーション
15)	保健室経営計画立案(新開奏恵) 【予習】実践記録を読んでおく。(15分) 【復習】保健室経営計画をグループで完成させる。(20分)	グループワーク 保健室経営計画作成
授業外学習		
予習として授業内容に関する法令や内容について、実務必携を参考に調べておく。(事前ワークシート) 復習として配布資料を整理し授業内容の振り返りを行う。法令等は確認問題で定着させる。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト:新版「養護学概論」東山書房 参考書:「養護教諭のスキルラダー」ふくろう出版 「養護実習の学び2024」		小児看護学 教職科目

課題に対するフィードバック
確認問題については、授業で解答とポイントの解説をする。 毎回の授業の振り返りや気づきについては、一人一人にコメントをつけて次の授業時に返却する。 学生全員の振り返りや気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。
備考

科目名	養護実習指導			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	自由	1	3年	前期
担当者名	新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

養護実習の目的、意義の理解を深めるとともに、実習に必要な知識、技術を修得する。
また、子どもの健康問題について考え、課題を明らかにし、課題解決に向けてどのように取り組むか、学校現場の取組から学びと共に、授業づくりの実践力を身につける。
学校現場における経験がある教員が、養護教諭の実務経験を生かして、保健室での救急処置や環境衛生活動、保健教育について指導する。

到達目標

(D3401y)

1. 養護実習の目的や意義を理解し、実習に必要な技術を実施することができる。
2. 実習目標、実習計画を立案することができる。
3. 演習や模擬授業を通して、相互に学び合うことができる。

成績評価方法

小テスト・レポート(30%)
授業態度(20%)
プレゼンテーション(30%)
演習(20%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート	20	10					30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			10		10		20
プレゼンテーション	10	10		10			30
グループワーク							
演習	5	5		10			20
実習							0

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 養護実習の目的・意義(新開奏恵) 【予習】実習生調査書の下書きをしておく。(60分) 【復習】実習のガイドブックを読む。(30分)		グループワーク
2) 保健室における養護教諭の執務（新開奏恵） 【予習】実習調査書の下書きをする。(30分) 【復習】実習のガイドブックを読み必要物品を準備する。(30分)		グループワーク
3) 保健室における養護教諭の執務（新開奏恵） 【予習】実習調査書の清書をする。(30分) 【復習】実習のガイドブックを読み実習における課題を明確にする。(30分)		グループワーク
4) 外科的な救急処置(佐伯里英子) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】問診・処置について自己練習を行う。(30分)		演習
5) 内科的な救急処置(新開奏恵) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】問診・処置について自己練習を行う。(30分)		演習
6) 緊急性の高い救急処置(新開奏恵) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】問診・処置について自己練習を行う。(30分)		演習
7) 健康診断(佐伯里英子) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】測定・検査について自己練習を行う。(30分)		演習
8) 保健教育(新開奏恵) 【予習】養護概論で作成した保健指導の修正をしておく。(30分) 【復習】指導の流れを覚える。(30分)		指導案作成
9) 環境衛生検査(佐伯里英子) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】測定・検査について自己練習を行う。(30分)		演習
10) 実習記録(新開奏恵) 【予習】養護概論での学習を復習しておく。(30分) 【復習】測定・検査について自己練習を行う。(30分)		グループワーク 小テスト
11) 保健教育（新開奏恵） 【予習】9月に配布するほけんだよりの資料を準備しておく。(30分) 【復習】ほけんだよりを完成する。(30分)		プレゼンテーション
12) 保健教育（佐伯里英子） 【予習】模擬授業の練習をしておく。(30分) 【復習】他者評価を参考に指導案や教材を改善する。(30分)		プレゼンテーション
13) 統計処理・ICTの活用(新開奏恵) 【予習】実習校との連絡調整についてガイドブックを読んでおく。(30分) 【復習】法令に関する小テストの学習をする。(30分)		演習
14) 保健室経営(新開奏恵) 【予習】法令に関する小テストの学習をしておく。(30分) 【復習】授業に関する疑問点を整理する。(30分)		グループワーク
15) 実習の振り返り(新開奏恵) 【予習】実習日誌や資料を整理しておく。(30分) 【復習】他の学生の発表を聞いて学んだ内容をまとめる。(30分)		プレゼンテーション
授業外学習		
予習として養護概論・健康相談活動で学んだ養護教諭の執務内容を確認する。 復習として演習を振り返り、養護実習で正確に実践できるように練習する。指導案や教材を作成する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト:「実習ガイドブック」本学作成 「養護実習の学び2024」報告集 参考書:新版「養護学概論」東山書房 新版「学校救急処置」農文協 「養護教諭の職務ハンドブック2022」山口県養護教諭会		養護実習、小児看護学 教職科目

課題に対するフィードバック
毎回の授業の自己評価については、一人一人コメントをつけて次の授業時に返却する。 学生の気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。
備考

科目名	養護実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	自由	4	3年	前期
担当者名	新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

小学校・中学校・高等学校のいずれかの学校において、養護教諭の指導のもとに、実際に学校での児童生徒の保健管理や保健教育を行い、養護教諭としての実践力を養うことを目的とする。具体的には、児童生徒の実態への理解を深めるとともに、保健室の実習を中心として、学級運営や学習指導の観察・参加、保健教育なども体験する。このことを通して、大学で学んだ知識や技術を実践と統合させ応用できる能力を養い、養護教諭としての自覚を高める。事前、事後指導も行う。学校現場における経験がある教員が、養護教諭の実務経験を生かして、教師としての心得や養護教諭の職務についての指導を行う。

到達目標

(D3402ay)

1. 児童生徒の学校生活の実態や心身の健康問題・発達課題を理解する。
2. 養護教諭として場面に応じた適切な判断・処置・指導を行うことができる。

成績評価方法

実習評価表(50%)

実習日誌・レポート(50%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	100

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
実習校で作成した「実習計画」にしたがって実施する。 予習として、指導案及び教材を作成する。 復習として、実習記録や資料の整理を行い、実習の振り返りを作成する。 実習報告としてPPTを作成する。		実習
授業外学習		
実習校で作成された実習計画を確認する。保健教育の指導案作成や教材づくりについて事前準備を行う。学校保健安全法に基づく養護教諭の職務内容について確認する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：「実習ガイドブック」本学作成 「養護実習の学び2024」 参考書：新版「養護学概論」東山書房 新版「学校救急処置」農文協 「養護教諭の職務ハンドブック2022」山口県養護教諭会		養護実習指導、学校保健、養護概論、健康相談活動、小児看護学、教職科目

課題に対するフィードバック
養護実習の学び報告集を作成し、報告会を開催して学びを共有する。報告会に実習校指導養護教諭、講師を招聘し、指導を受ける。報告会には2年次学生も参加させる。
備考

科目名	学校体験活動			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	自由	1	1年	通年(前期)
担当者名	白石 義孝、新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業には教室での事前・事後指導と学校教育現場での体験実習が含まれる。
 教職員の姿から教師としての姿勢や職務を学び、児童・生徒の理解を深める。学級運営や学習指導の観察・参加等を通して、大学で学んだ知識や技術を実践と統合させ、教員(養護教諭)としての自覚を高める。
 新開奏恵は、養護教諭の実務経験をもとに、学校体験活動について授業を行う。

到達目標 (D1401ay) 1.児童・生徒の学校生活の実態に即した、学校運営や教員の資質を理解する。 2.教員としての適切な判断・指導について理解を深める。 3.教員を目指す上での自分の課題を知る。	成績評価方法 レポート(20%) 授業態度(20%) プレゼンテーション(20%) グループワーク(10%) 学校体験活動(30%)
--	---

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート		10		10			20
宿題、授業外レポート							0
授業態度・授業参加度			10		10		20
プレゼンテーション		10		10			20
グループワーク			10				10
演習							0
実習		10	10	10			30

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
事前指導計画 1. 教員としての資質 2. 養護教諭の仕事 3. 社会人としてのマナー 4. 学校体験の目的		グループワーク
授業外学習		
「教職を目指す学生の学校体験制度」「山口県教育推進の手引き」を山口県教育委員会ホームページで確認する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
養護実習ガイドブック		学校保健、養護概論、健康相談活動、養護実習指導、養護実習、小児看護、教職科目

課題に対するフィードバック
コメントを付け返却する。
備考
学校での実習は5日間を基本とするが、4日間以上あれば認定する。 実習期間が4日間に満たない場合は、不足日数分ボランティア活動に参加するなどして代替する。

科目名	学校体験活動			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	自由	1	1年	通年(後期)
担当者名	白石 義孝、新開 奏恵	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

本授業には教室での事前・事後指導と学校教育現場での体験実習が含まれる。
教職員の姿から教師としての姿勢や職務を学び、児童・生徒の理解を深める。学級運営や学習指導の観察・参加等を通して、大学で学んだ知識や技術を実践と統合させ、応用できる能力を養い、教員(養護教諭)としての自覚を高める。
新開奏恵は、養護教諭の実務経験をもとに、学校体験活動について授業を行う。

到達目標

- (D1401ay)
1. 児童・生徒の学校生活の実態に即した、学校運営や教員の資質を理解する。
 2. 教員としての適切な判断・指導について理解を深める。
 3. 教員を目指す上での自分の課題を知る。

成績評価方法

- レポート(20%)
授業態度(20%)
プレゼンテーション(20%)
グループワーク(10%)
学校体験活動(30%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート		10		10			20
宿題、授業外レポート							0
授業態度・授業参加度			10		10		20
プレゼンテーション		10		10			20
グループワーク			10				10
演習							0
実習		10	10	10			30

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
事後指導計画 1. 学校体験活動の振り返り 学校体験活動報告 2. 教員（養護教諭）に求められる資質能力		グループワーク
授業外学習		
「教職を目指す学生の学校体験制度」報告書を作成する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
		学校保健、養護概論、健康相談活動、養護実習指導、養護実習、小児看護、教職科目

課題に対するフィードバック
コメントを付け返却する。
備考
学校での実習は5日間を基本とするが、4日間以上あれば認定する。 実習期間が4日間に満たない場合は、不足日数分ボランティア活動に参加するなどして代替する。

科目名	教職実践演習（養護教諭）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講・演	自由	2	4年	後期
担当者名	新開 奏恵、白石 義孝	関連する資格	養護教諭一種免許状	

授業概要

教育実習や学部における教職・教科専門科目についての学びを振り返り、自己の実践的課題を明らかにする。児童生徒の多様な健康課題や発達課題に対応するための養護教諭の役割について、実習での実践事例をもとに、グループ討論を通して理解を深める。また、自らの社会人としての自覚、人間関係能力等について熟考し、教職への適性を含め、卒業後のキャリアを考える契機とする。

学校現場における経験がある教員が、養護教諭の実務経験を生かして、多様な健康課題を抱える児童・生徒への支援における養護教諭の役割について指導する。

到達目標

(D4401y)

- 1.教職課程ならびに学部教育の学びを振り返り、養護教諭の様々な場面での活動について理解を深めることができる。
- 2.自らの学習活動を振り返り、今後の仕事や生き方にどう生かすか、展望をもつ。

成績評価方法

- レポート(60%)
授業態度(10%)
グループワーク(30%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート	10	10		10			30
宿題、授業外レポート	10	10		10			30
授業態度・授業参加度			5		5		10
プレゼンテーション							
グループワーク	10	10	10				30
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション・教職科目や養護実習の評価(新開奏恵) 【予習】履修カルテを確認する。(15分) 【復習】自己評価を行い課題点を明確にする。(15分)	グループワーク
2)	養護教諭のスキル（知識・技術）に関する振り返り(新開奏恵) 【予習】養護実習事例を読んでおく。(15分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	グループワーク
3)	救急処置（新開奏恵） 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	グループワーク
4)	救急処置（新開奏恵） 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	グループワーク
5)	健康診断(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	グループワーク
6)	疾病予防管理・環境管理(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	グループワーク
7)	安全管理(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	グループワーク
8)	保健教育(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	グループワーク
9)	ICTの活用(白石義孝) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	グループワーク
10)	健康相談(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	グループワーク
11)	生徒指導・特別支援教育・ケースマネジメント(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	グループワーク
12)	保健組織活動(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	プレゼンテーション グループワーク
13)	保健室経営(新開奏恵) 【予習】体験したこと・学び・課題を記録しておく。(20分) 【復習】他者の体験からの学びを整理する。(15分)	グループワーク
14)	自己研鑽(新開奏恵) 【予習】学習資料を整理しておく。(20分) 【復習】今後の自分の課題をまとめる。(15分)	
15)	「チーム学校」における養護教諭の専門性と役割(新開奏恵) 【予習】自分の課題に対して課題解決のための取組について考えておく。(20分) 【復習】履修カルテの自己評価を行う。(15分)	レポート
授業外学習		
予習として授業に関連する内容を「養護実習記録・養護実習の学び2024」から抽出し、整理する。 復習として他者の意見や配布資料を参考に、今後の仕事や生き方にどう生かすのかをまとめる。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
参考書；「養護教諭のスキルラダー」ふくろう出版 新版「養護学概論」東山書房 教材：「養護実習の学び2024」本学作成 養護実習記録		学校保健、養護概論、健康相談活動

課題に対するフィードバック
毎回の授業の振り返りや気づきについては、一人一人にコメントをつけて次の授業時に返却する。 学生全員の振り返りや気づきをまとめた「授業だより」を作成・配布し、前次の学びを深める。
備考

科目名	生物学の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	祐村 稔子	関連する資格		

授業概要

細胞から人体まで、その構造と機能に関する基礎的な知識を再確認し、確実に習得することを目指す。

到達目標

B1221

看護に関連する生物学の基礎学力を身につける。

成績評価方法

期末試験結果に加え、宿題、演習問題の学習状況を加点して総合評価を行います。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート	○	○		○			20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 人体のなりたち（細胞・組織） 【復習】演習問題（30分）		演習問題
2) 人体のしくみ（循環器官系・呼吸器官系） 【復習】演習問題（30分）		演習問題
3) 人体のしくみ（排出器官系） 【復習】演習問題（30分）		演習問題
4) 人体のしくみ（消化器官系と代謝） 【復習】演習問題（30分）		演習問題
5) 人体のしくみ（感覚器官と神経系） 【復習】演習問題（30分）		演習問題
6) 人体のしくみ（骨格・筋肉） 【復習】演習問題（30分）		演習問題
7) 人体のしくみ（内分泌、免疫） 【復習】演習問題（30分）		演習問題
8) 遺伝、生化学の基礎 復習】演習問題（30分）	【	演習問題
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
講義で扱った項目に関する演習問題を宿題とします。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
プリント配布		生物学、人体の構造と機能

課題に対するフィードバック
演習問題の採点結果を返却
備考

科目名	化学の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	山城 安啓	関連する資格		

授業概要

日常生活に関係する物質や様々な現象を取り上げ説明し、理解させることで化学に親しみを持たせることから始める。また、この知識を発展させ生化学を学ぶ上での基礎となる化学の知識を身に付けさせる。原子・元素の構造と機能など無機化学を中心に学習し、有機化学・教養教育の化学へと結びつけるとともに、生化学、薬理学等の講義に備える。

到達目標

B1222

化学の基礎知識を習得する

- 1) 元素記号と分子の構造の表し方が説明できる。
- 2) 浸透圧、沸点上昇、凝固点降下等の現象を説明できる。
- 3) 酸・塩基の違いを説明できる。
- 4) 酸化還元を説明できる。
- 5) 化学反応式が書ける。
- 6) 様々な濃度の計算ができる。

成績評価方法

出席回数を満たし、と期末試験で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				90
小テスト、授業内レポート	○	○					5
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	身のまわりの化学、化学の単位と元素 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
2)	原子の構造、化学式 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
3)	物質の三態 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
4)	液体・溶液の性質 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
5)	化学反応 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
6)	酸塩基平衡 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
7)	酸と塩基 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
8)	化学結合 【予習】高校生の教科書等で関連項目を予習しておいてください(30分)。 【復習】配布資料や参考書を用いて復習しておいてください(60分)。	授業内課題
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
授業計画に沿って、講義を進めて行きます。 授業開始時、毎回小テスト(前回講義内容)を行います。講義資料や参考書等を利用して復習しておいてください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
PowerPointで作成した講義資料 参考書 高校の化学の教科書 「系統看護学講座 基礎 化学 医学書院」		化学や生化学

課題に対するフィードバック
各人が授業内課題で作成した問題は、次の週の小テストに活用し、試験後に解説を行う。
備考

科目名	物理学の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	松本 治彦		関連する資格	

授業概要

授業は対面で実施します。なお、私のホームページを使って資料の配布をします。
後期の「物理学」の授業を理解するために必要な基本的な物理の事柄を学ぶ。
特に、看護の物理で最も必要となる「圧力」「てこの原理」を重点的に学ぶ。
グループ討議を設定。自分の考えを主張して積極的に参加する。

到達目標

B1223
看護師、保健師で必要となる物理の基本的な事柄がわかる。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				70
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	物体の運動、トルク、運動の法則、仕事 その1 予習；物理の基礎の資料全体を概観する（30分）。復習；物体の運動について理解すること（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2)	物体の運動、トルク、運動の法則、仕事 その2 予習；運動全般を概観する（30分）。復習；物体の運動について理解すること（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3)	物体の運動、トルク、運動の法則、仕事 その3 と小テスト 予習；運動全般を概観する（30分）。復習；物体の運動について理解すること（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4)	熱と気体の運動、比熱計算 予習；熱と気体の運動について調べておく（30分）。復習；熱、比熱などの計算問題を解いてみる（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5)	圧力 その1 予習；圧力全般について調べておく（30分）。復習；圧力の基本単位を理解する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6)	圧力 その2 予習；動圧、静圧について調べておく（30分）。復習；表面張力と濡れ現象について確認すること（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7)	濃度計算と音 予習；濃度と音について調べておくこと（30分）。復習；濃度計算をやってみる（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8)	確認テストと解答の解説 予習；物理の基礎資料の全体を読み返して、計算問題が解けるようになっておくこと（1時間）。	確認テスト
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
授業計画に沿って、テキスト・資料の該当単元を熟読してきてください。 テキスト・講義資料を復習して下さい。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
看護に必要な 「やりなおし数学・物理」 照林社。 資料はClassroom上にアップする。		数学の基礎、物理学、地球の環境

課題に対するフィードバック
毎回の課題提出で質問があった場合、次回の授業の最初にコメントする。
備考

科目名	数学の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	松本 治彦	関連する資格		

授業概要

授業は対面で実施します。なお、私のホームページを使って資料の配布を行います。
看護に必要な数学の知識として、基本的な数の概念、計算のルール・式のルールを確認する。
また、看護師国家試験に出題されている問題をもとに、解くために必要な基本的な知識を学ぶ。
毎回、グループ討議の時間を設定。自分の考えを主張して積極的に参加する。

到達目標

B1224
看護の専門科目の理解を容易にし、看護師国家試験に出る数学の問題を解く。

成績評価方法

毎回行うテスト、毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				40
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○				10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	基本ルール（範囲、計算順序、倍数、単位数）、小テスト 予習；数学の基礎資料、全般を概する（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	
2)	分数の計算1（分数、少数、通分、約分）、小テスト 予習；分数の計算全般を概観する（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の实力を知る。
3)	分数の計算2（分数種類、帯分数、掛け算等）、小テスト 予習；分数の計算について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の实力を知る。
4)	比例（比、比例、比例の性質）、小テスト 予習；比例計算について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の实力を知る。
5)	割合（百分率、歩合、割合、基準にする量）、小テスト 予習；割合の計算について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の实力を知る。
6)	速さ（求め方、単位変換、道のり、時間等）、小テスト 予習；速さの計算について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の实力を知る。
7)	調査（全数・標本調査、母集団、推定等）小テスト 予習；調査全般について調べておく（30分）。復習；小テストの内容を完全に理解する（30分）。	テストの結果で自分の現在の实力を知る。
8)	看護に必要な計算の確認テスト 予習；看護国家試験の過去問を調べておく（1時間）。復習；テストの内容を完全に理解する（30分）。	確認テストの結果で自分の現在の实力を知る。
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
授業計画に沿って、テキスト・資料の該当単元を熟読してきてください。テキスト・講義資料を復習する。 テスト結果を見て、間違った箇所を確認する。看護師国家試験の計算問題（過去問）が確実に解けるように自宅でも筆算を中心とした復習をする。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「やりなおし数学・物理」照林社		物理の基礎、物理学、データの科学的な見方、保健統計

課題に対するフィードバック
毎回の課題提出で質問があった場合、次回の授業の最初にコメントする。
備考

科目名	英語の基礎			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	自由	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐		関連する資格	

授業概要

対面で授業を行う。4 技能の運用に必要な基礎的文法知識を身に着けるための授業を展開する。また、日常生活や地域の問題を取り上げた英文を読み、速読直読の習慣を身に付ける。さらに、パラグラフ・リーディングおよびライティングを行い、英語の文章構成を理解する。

到達目標

(B1225)

- 1 英語の基礎的文法を理解することが出来る。
- 2 異文化を理解し、英語で簡易なコミュニケーションを図ることが出来る。

成績評価方法

定期試験、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション			○	○			10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	英語の文法事項についての概要的説明 文法事項 1 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
2)	英語の学習法についての助言 文法事項 2 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3)	英語リーディングについての説明 文法事項 3 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4)	英語ライティングについての説明 文法事項 4 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5)	英語リスニングについての説明 文法事項 5 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6)	英語スピーキングについての説明 文法事項 6 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7)	英語プレゼンテーションについての説明 文法事項 7 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8)	文法事項 8 総括およびテスト テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
『English Aid 基礎から学べる大学英文法総合演習』 白倉美里 金星堂		エッセンシャルイングリッシュ

課題に対するフィードバック
課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。
備考
未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。